

公開版

令和5年度 ヘルスケア産業国際展開推進事業 事業報告書

有限責任監査法人トーマツ
2024年3月

目次

《アウトバウンド》

第1章	業務概要	
1-1.	本業務の背景・目的	5
1-2.	アウトバウンド業務の実施方針	7
第2章	官民／招へいミッション	
2-1.	官民／招へいミッションの全体計画	9
2-2.	企業合同勉強会セミナーの開催	11
2-3.	官民ミッション	15
2-4.	招へいミッション	29
2-5.	ミッション報告会	38
第3章	ヘルスケア国際展開ウェブサイト	
3-1.	ウェブサイト関連業務の全体像	42
3-2.	カントリーポートの更新	45
3-3.	ウェブサイトの改修	47
第4章	薬事レポートおよび専門家相談業務	
4-1.	業務の概要	49
4-2.	専門家相談業務	51
4-3.	ビジネスマッチングイベント	53
第5章	総括・提言	
5-1.	本事業のまとめ	58

《インバウンド》

第6章	インバウンド支援策の概要	
6-1.	令和5年度事業で実施した業務一覧	62
6-2.	令和5年度事業の業務実施体制	64
6-3.	スケジュールと役割分担	66
第7章	医療渡航市場に係る基礎情報の把握	
7-1.	海外調査	68
7-2.	中国	70
7-3.	インドネシア	78
7-4.	ベトナム	81
7-5.	フィリピン	87
7-6.	インド	89
7-7.	バングラデシュ	97
7-8.	ミャンマー	100
7-9.	シンガポール	102
7-10.	マレーシア	108
7-11.	タイ	113
7-12.	保険会社との連携	119
第8章	マーケティング・プロモーションの実施	
8-1.	ターゲット国の選定	137
8-2.	マーケティング(ウェブアンケート調査)	142
8-3.	日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信	174
8-4.	意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出	210
Appendix		
SNSを通じたプロモーションの各投稿詳細		222

略語表

略語	正式名称（英語）	正式名称の日本語訳
AAIC	Asia Africa Investment & Consulting	-
ADP	Access and Delivery Partnership	新規医療技術のアクセスと提供に関するパートナーシップ
AfDB	Africa Development Bank	アフリカ開発銀行
AMEF	Africa Medical Equipment Facility	アフリカ医療機器ファシリティ
AMREF	African Medical and Research Foundation	アフリカ医療研究財団
CCM	Country Coordinating Mechanism	グローバルファンド国別調整委員会
CRO	Contract Research Organization	開発業務受託機関
DCA	Development Credit Authority	開発信用機構
EPSA	Enhanced Private Sector Assistance for Africa	アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアチブ
FDA	Food and Drug Administration	食品医薬品局
GFF	Global Financing Facility	グローバル・ファイナンス・ファシリティ
IDA-PSW	International Development Association - Private Sector Window	国際開発協会民間セクター・ウィンドウ
IFC	International Finance Corporation	国際金融公社
JBIC	Japan Bank for International Cooperation	国際協力銀行
JETRO	Japan External Trade Organization	独立行政法人日本貿易振興機構
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
KEMRI	Kenya Medical Research Institute	ケニア中央医学研究所
KEMSA	Kenya Medical Supplies Authority	ケニア医療品供給庁
KOL	Key Opinion Leader	キーオピニオンリーダー
MEJ	Medical Excellence JAPAN	一般社団法人 Medical Excellence JAPAN
METI	Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
NEXI	Nippon Export and Investment Insurance	株式会社日本貿易保険
NHIF	National Health Insurance Fund	国民健康保険基金
NTDs	Neglected Tropical Diseases	顧みられない熱帯病
PHC	Primary Health Care	プライマリ・ヘルスケア
PQ	Prequalification	事前認証
SCF	Supply Chain Finance	サプライチェーンファイナンス
SEO	Search Engine Optimization	検索エンジン最適化
UHC	Universal Health Coverage	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
USAID	U.S. Agency for International Development	アメリカ合衆国国際開発庁
WHO	World Health Organization	世界保健機関

アウトバウンド

第1章 業務概要

1-1. 本業務の背景・目的

1-2. アウトバウンド業務の実施方針

新興国を中心に人口増加とヘルスケア市場の成長が見込まれており、アウトバウンド・インバウンド促進に繋がる事が期待されている

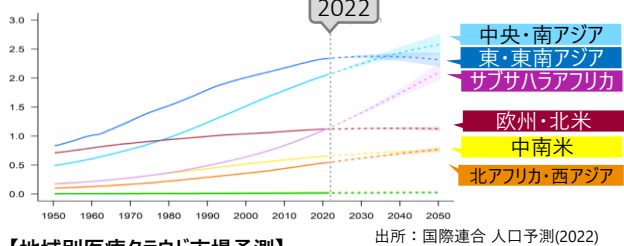
1-1. 本業務の背景・目的

業務背景

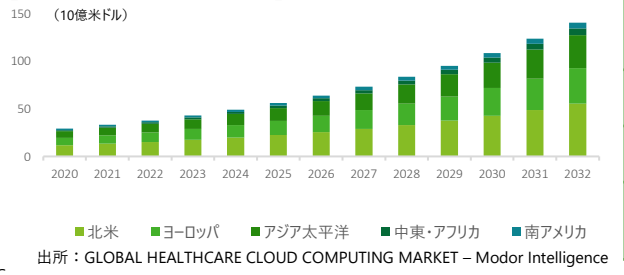
新興国を中心に人口の増加や需要に伴い、医療・介護・健康などヘルスケア市場の急成長が見込まれている。

- 人口の増加に伴いヘルスケア市場は、今後の拡大が予想されており、その中でもアジアやアフリカ地域の成長が著しいと予想される。
- 中国は2030年14.6億人、インドは2060年に16.5億人のピークに達し、サブサハラ地域は2050年に東・東南アジアに人口で並ぶと予想され、北アフリカを足すと25億人（全世界の25%）に至る。
- アフリカは平均年齢が20歳以下と若く、更にリープフロッグによる高い市場成長が見込まれている。

【人口動態の地域別予測】



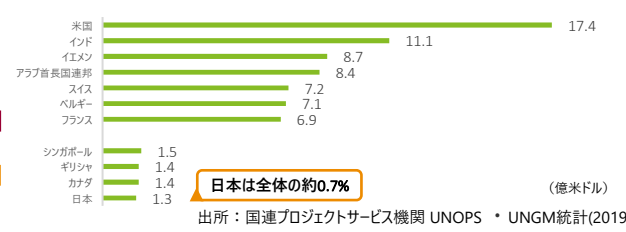
【地域別医療クラウド市場予測】



日本は世界のヘルスケア市場の需要に対応するポテンシャルを有しているが、アウトバウンド・インバウンド共に十分に事業展開が出来ているとは言い難い。

- 令和2年7月に閣議決定された「成長戦略フォーアープ」において、日本の優れたヘルスケア技術・サービス等をアウトバウンド・インバウンドの両面で推進していく旨が明記されており、ヘルスケアの国際展開は経済成長を図る上での重点施策の一つとして位置付けられている。
- 一方で、アフリカにおける日系企業の進出は限定的で、WHOや国連機関などの1年間の調達市場は約2兆円だが、日本は国別のシェアで2019年に全体の0.7%に留まっており、日本企業の展開が課題となっている。

【国別の国際調達金額】



【アフリカにおける日本企業の進出状況】

外資企業本籍地	日本	米国	中国	韓国	ドイツ	イギリス	フランス	インド
進出企業数	493	2,000	2,504	461	625	887	1,100	795
進出企業の拠点数	795	4,365	4,000~6,000	900~1,000	3,030	3,491	3,974	2,000~3,000
各国の在留人数（人）	7,544	11万~	80~100万	18,400	13.2万	16.8万	24.8万	300万超

業務実施の目的

インバウンド及びアウトバウンドに繋がる情報収集、企業支援等を通じて、ヘルスケア市場の成長に寄与する。

- インバウンド
 - 日本で医療を受けるために来日する外国人患者の受け入れを促進する。
- アウトバウンド
 - 世界のヘルスケア市場に対して、日本のヘルスケア技術・サービス等（医療・介護サービス及び医療機器・福祉用具等）の展開を推進する。

業務実施の波及効果

- ヘルスケア分野の需要を取り込む事により、日本の経済成長に寄与する。
- 日本のヘルスケア技術・サービス等の更なる充実、水準向上に資する。

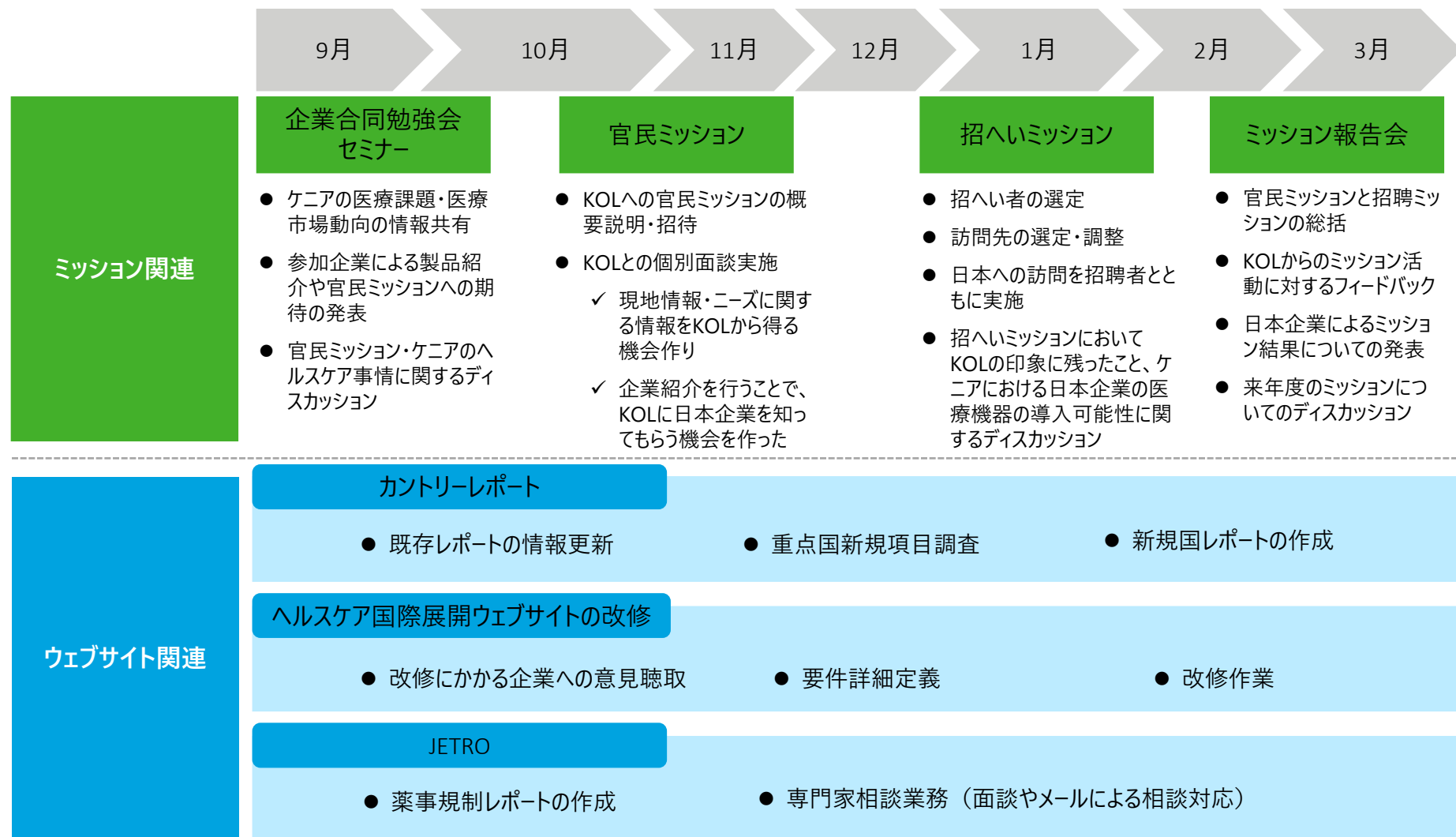
第1章 業務概要

1-1. 本業務の背景・目的

1-2. アウトバウンド業務の実施方針

アウトバウンド業務では、官民ミッション・招へいミッションに向けた準備を日本企業と進めつつ、ヘルスケア国際展開ウェブサイト公開するカントリーレポートの更新等を実施した

1-2. アウトバウンド業務の実施方針

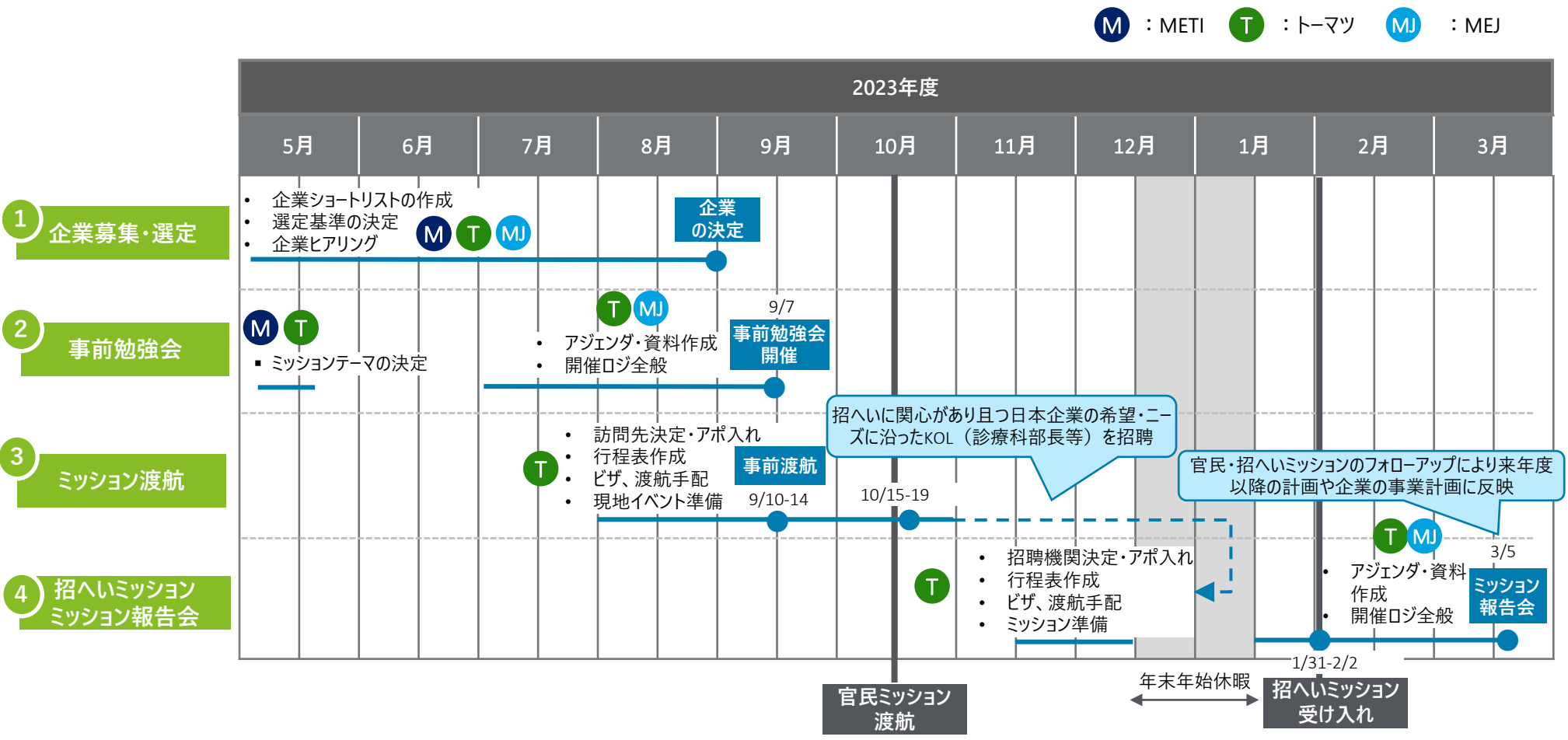


第2章 官民/招へいミッション

- 2-1. 官民／招へいミッションの全体計画
- 2-2. 企業合同勉強会セミナーの開催
- 2-3. 官民ミッション
- 2-4. 招へいミッション
- 2-5. ミッション報告会

下記のスケジュールに沿って、官民・招へいミッションにおける活動を実施した

2-1-1. 官民・招へいミッションの実施スケジュール



第2章 官民/招へいミッション

- 2-1. 官民／招へいミッションの全体計画
- 2-2. 企業合同勉強会セミナーの開催
- 2-3. 官民ミッション
- 2-4. 招へいミッション
- 2-5. ミッション報告会

企業合同勉強会セミナーでは、官民ミッションの概要・ケニアの医療課題・医療市場動向について説明した後、企業紹介を行い、最後にテーマ別ディスカッション・質疑応答を実施した

2-2-1. 企業合同勉強会セミナーの開催概要

事前勉強会の目的

- 官民ミッションに先立ち、参加企業の皆様と事前勉強会を開催し、一つ目の議題として事務局より官民ミッションの目的、概要、プログラム案について説明する。
- 各企業にケニアの医療課題・医療市場動向について理解を深めるとともに、製品紹介や官民ミッションへの期待についても発表する。
- テーマ別ディスカッションセッション・質疑応答も実施し、官民ミッション、ケニアのヘルスケア事情、企業間の連携可能性に関する議論の場を設け、参加企業同士で活発な意見交換を行う。
- また、本イベントは参加企業同士で交流を深め、ネットワークを広げる機会を作ることを目的の一つとしている。

官民ミッションに向けたディスカッション

- 官民ミッションの概要やケニアの医療課題・医療市場動向についてご説明し、企業紹介を行った後、官民ミッションに向けたディスカッションを実施した。
- 官民ミッション全般について、「一日日本病院」のブースや当日の規模のイメージ（機材を机において説明する等）や日本に招くケニアのKOLの選定方法に関する質問が参加企業より挙がった。
- ファイナンス面について、AAIC社よりケニアの47カウンティごとに毎年予算を立てているなどの地方分権化された仕組みや欧米企業による現地活動の実例（寄付、人材育成のサポートなど）に関する説明があった。

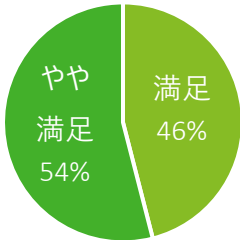
企業合同勉強会セミナーのプログラム

日程	2023年9月7日（木） 14:00-16:30		
場所	都内会議室	開催方法	ハイブリッド形式（会場+Zoom）
プログラム	概要	登壇	時間
1. 官民ミッションの概要	・ 官民ミッションの目的、概要説明 ・ プログラム（案）の紹介	経産省、トーマツ	14:00-14:05
	・ 関係者紹介 ・ 役割分担の説明	各機関、企業	14:05-14:10
2. ケニアの医療状況	・ ケニアの保健医療状況の概観 ・ ケニアの保健医療システム、政策、法制度の概要	トーマツ	14:10-14:20
3. ケニアの医療市場	・ ケニアの医療市場動向 ・ ケニアの医療分野投資状況	AAIC	14:20-14:30
4. JETRO事業のご紹介	・ JETRO提供サービスの紹介	JETRO	14:30-14:40
5. 企業紹介	・ 企業訴求製品の紹介	①朝日インテック ②アルム ③豊田通商 ④富士フイルム ⑤メロディ・インターナショナル ⑥NEC	14:40-15:40
ブレイクタイム	—	—	15:40-15:50
6. テーマ別ディスカッション、質疑応答	①官民ミッション全般についての質疑応答	ファシリテーション：トーマツ	15:50-16:20
	②渡航ミッションに向けたディスカッション		
7. Wrap-Up	事前勉強会のまとめ	ファシリテーション：トーマツ	16:20-16:25
8. 閉会挨拶、諸連絡	・ 閉会挨拶 ・ 諸連絡	経産省、トーマツ	16:25-16:30

参加企業の企業合同勉強会セミナーへの満足度は非常に高く、ケニアの医療状況や医療市場に関する現地の情報が役に立ったと回答する企業が多かった

2-2-2. 企業合同勉強会セミナーの結果 (1/2)

企業合同勉強会セミナー全般への満足度



- ケニアの医療事情に関する基本情報や現場における課題への理解を深められた参加企業が多かった。
- また、官民ミッションの他の参加企業との顔合わせができて良かったとの回答もあった。

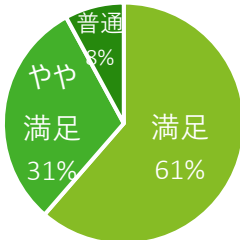
肯定的なコメント

官民ミッションの参加企業や関係者との顔合わせができた。
ケニアで医療展開されている企業や運営側より医療情勢などの定量データの紹介があり、現場における課題についてよく理解できた。
運営側・AAICの発表を通して、最新のケニア市場についてアップデートできて良かった。
少人数での開催だったため、細かい質問をし易かった。
アフリカ進出中の企業との会話を通して有益な情報を得られることを改めて実感した。
ケニア医療の全体状況を聞いたこと、また、企業からの取り組み内容が有益だった。
有用なビジネス事例が紹介された。
現地でのビジネスに繋がるような話を聞くことができた。
ケニアの医療市場を概観し、アフリカ健康構想における官民ミッションに興味がある企業や経済産業省との繋がりができた。

要望等

セミナー全体時間が短く、質疑応答の時間に制限があった。

ケニアの医療状況（トーマツ）への満足度



- 医療費や保健省の部局組織図などのケニアにおける医療事情を知ることができたと回答する企業が多かった。一方、本プログラムにもう少し時間を取ってほしかったとのコメントもあった。

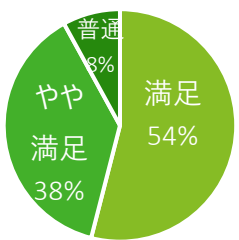
肯定的なコメント

行政面ではなく、ビジネス面での多方面からの話を伺うことができた。
ケニアにおける具体的な医療費などを知ることができた。
1国に絞ってヘルスクエアに特化した資料は貴重と感じる。保健省の部局組織図も情報を持っていなかったため貴重したい。
様々な角度から分析した情報を共有してもらえた。
発表資料のハンドアウトで大枠の情報が取れた。
基本情報が良くまとまっている。

要望等

ケニアの医療状況の説明に時間をもう少し長くって欲しかった。

ケニアの医療市場（AAIC）への満足度



- 現地情報が役に立ったと回答する企業が多かった。一方、現地の代理店に関する情報を求める声もあった。

肯定的なコメント

現地情報が取れて良かった。
現地の代理店情報なども欲しかった。
ケニアの保険や保険料の未払いによる病院の架空請求問題などの話が勉強になった。
現地に根付いた企業からの情報や発信は説得力があった。
NHIFが機能していない事を構造から説明してもらい、非常に勉強になった。
アフリカでのベンチャー投資先の事業内容紹介があり、現地でビジネスを展開するチャンスがあることが分かった。

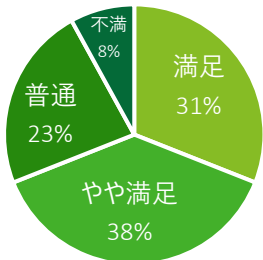
要望等

もう少し長く時間をとって欲しかった。
現地の代理店情報なども共有してほしかった。

テーマ別ディスカッションに関しては、具体的な相談ができたと回答する企業が多かった一方、議論の時間がもっと欲しかったとのコメントがあった

2-2-2. 企業合同勉強会セミナーの結果 (2/2)

JETRO事業案内への満足度



- JETROの海外支援活動への理解は深まったものの、どのサービスを選択するべきかについて迷うとのコメントがあり、一案としてさまざまなビジネススキームに合わせた提案・事例を紹介することが考えられる。

肯定的なコメント

現地ビジネスを展開する上で、JETROは代理店を探索する際の相談先というイメージがあったが、今後はもっと活用したい。

JETROの海外支援活動への理解が深まった。

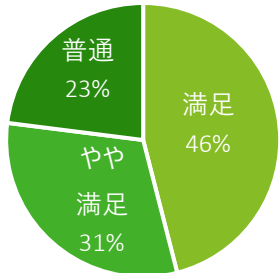
否定的なコメント

提供サービスが多いことは理解できたが、具体的にどのサービスを選択するべきかにおいて判断に迷う部分が残る。

要望等

さまざまなビジネススキームに合わせた提案や事例紹介が欲しい。

企業紹介への満足度



- 各企業のアフリカでの取組みを理解できた。一方、企業ごとにニーズ等が異なるため、参考になった部分に差があった。

肯定的なコメント

各企業のアフリカに対する取組み状況が知ることができた。

短時間で複数社が発表する形式が良かった。

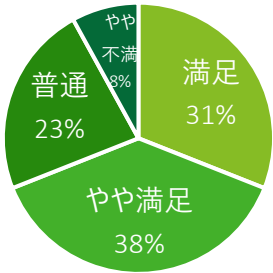
現場での課題に対して、各企業が実際に提案している内容を伺うことができた。

要望等

会社紹介よりも、ケニアでの活動状況をもっと知りたかった。

企業ごとに展開プラン、ニーズ、フィールドが異なるため、参考になる点とならない点があった。

テーマ別ディスカッションへの満足度



- ディスカッションでは具体的な相談ができ、モデレーションも良かった。一方、時間が少なかったため、個別相談の方が効果的だと考えるとのコメントもあった。

肯定的なコメント

現地における具体的な連携方法や連携にあたっての課題について伺うことができた。

運営側のモデレーションが良かった。

ケニアへのビジネス進出のために専門医・専門職学会の理事などに繋げてもらえる可能性があることを知ることができる貴重な機会だった。

細かな点まで具体的に相談できて良かった。

要望等

時間が少ない。全体会議より個別相談にすることも一案であるとする。


第2章 官民/招へいミッション


- 2-1. 官民／招へいミッションの全体計画
- 2-2. 企業合同勉強会セミナーの開催
- 2-3. 官民ミッション
- 2-4. 招へいミッション
- 2-5. ミッション報告会

2023年10月16日（月）～10月18日（水）にかけて、日本企業7社とともにケニア官民ミッションを実施し、計11機関との面談を行った

2-3-1. 官民ミッションの開催概要

開催概要	■ 2023年10月16日（月）～10月18日（水）の計3日間のプログラムにて、ケニアでの官民ミッションを実施した。 ■ 16日（月）と18日（金）の2日間では、事前の聞き取りで参加企業の関心度が高かったケニアの機関（国際機関、規制機関、医療機関、NGO等）との面談を実施した。 ■ 17日（火）は、内閣官房との共催で「1日日本病院」を実施したほか、参加企業の希望により個別面談を実施した。		
参加企業 （順不同）	■ 日本電気株式会社（NEC） ■ メロディ・インターナショナル株式会社 ■ 朝日インテック株式会社 ■ 豊田通商株式会社	■ 富士フイルム株式会社 ■ シスメックス株式会社 ■ 栄研化学株式会社 ■ 株式会社アルム（一部プログラムへのオンライン参加）	日本関係機関 （順不同） ■ 経済産業省 ■ 内閣官房 ■ 在ケニア日本大使館
プログラム	1日目：10月16日（月） 以下の機関と面談を実施 ■ Kenyatta National Hospital 医療機関 ■ AMREF Health Africa NGO ■ Kenya Medical Research Institute 研究機関 ■ Global Fund CCM 国際機関		
	2日目：10月17日（火） ■ 11:00AM～3:00PMにかけて、内閣官房事業での参加日本企業6社とともに、一日日本病院を実施 ■ 参加企業からの要望により、Karen Hospitalと個別面談を実施 医療機関		
	3日目：10月18日（水） 以下の機関と面談を実施 ■ World Health Organization 国際機関 ■ Pharmacy and Poisons Board 公的機関 ■ International Finance Corporation 国際機関 ■ MP Shah Hospital 医療機関 ■ Aga Khan University Hospital 医療機関 ■ Kenya Medical Supplies Authority 公的機関		





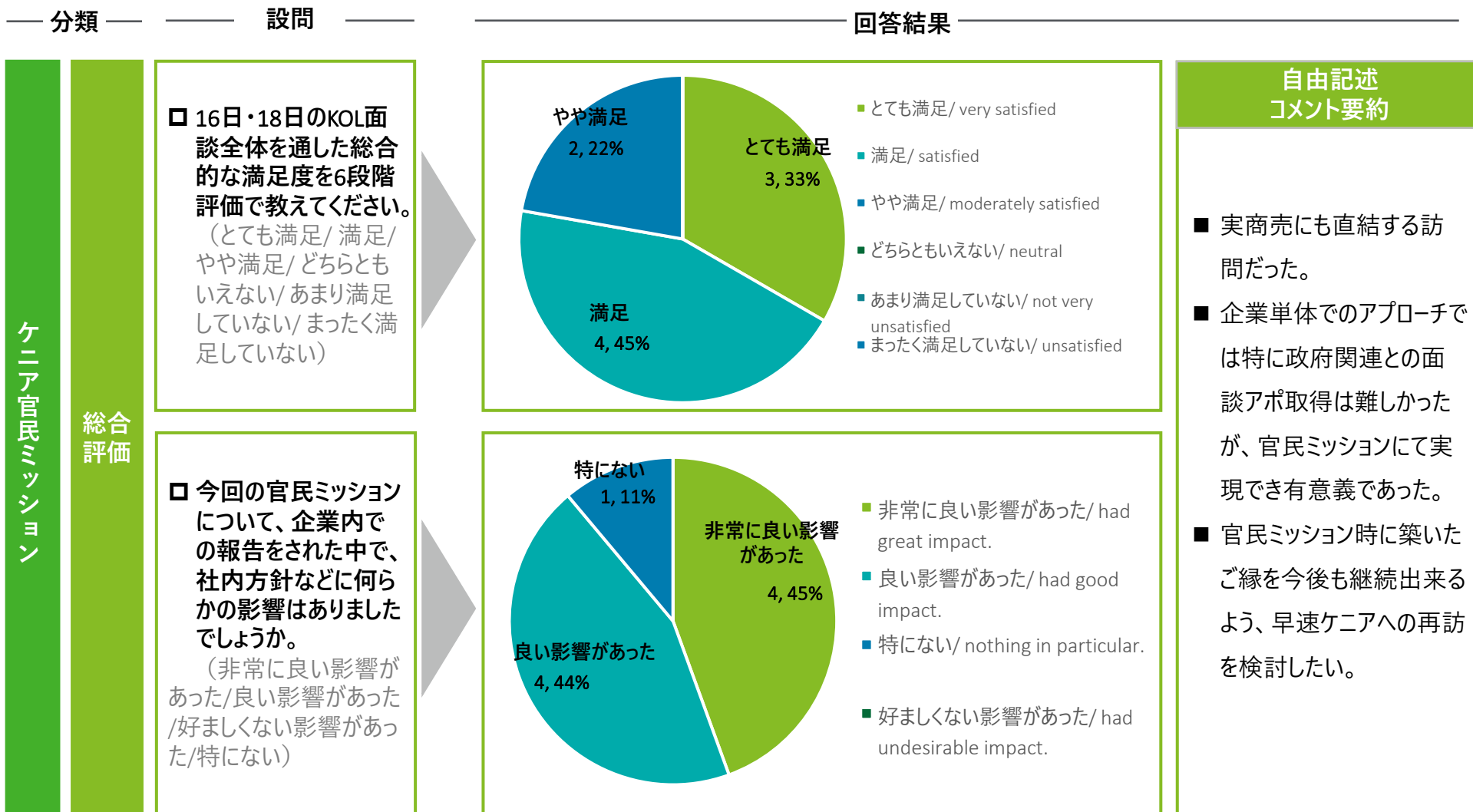
官民ミッション実施後には、全体の満足度をはじめ、各面談での気づきや成果といった観点から複数の設問を設定し、参加企業に対して事後アンケートを実施した

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（1/11） ～設問全体像～

分類		設問詳細
ケニア渡航ミッション	総合評価	<ul style="list-style-type: none">□ 16日・18日のKOL面談全体を通した総合的な満足度を6段階評価で教えてください。 （とても満足/ 満足/ やや満足/ どちらともいえない/ あまり満足していない/ まったく満足していない）□ 今回の官民ミッションについて、企業内での報告をされた中で、社内方針などに何らかの影響はありましたでしょうか。 （非常に良い影響があった/ 良い影響があった/ 好ましくない影響があった/ 特にない）
	面談	<ul style="list-style-type: none">□ 面談の満足度を6段階評価で教えてください。□ 当該面談の時間は十分でしたか。 （長い/ ちょうどよい/ 短い）□ KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか。 （解決できた/ 質問をして回答をいただいたが、まだ深堀したいことがある）<ul style="list-style-type: none">✓ 上記設問にて「質問をして回答をいただけたが、まだ深堀したいことがある」とご回答いただいた方は深堀または情報収集をしたいと思われた点をご共有ください。（自由回答）□ 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください。（複数選択可） （ケニアの医療システムについて理解が深まった/ 今後につながるコネクションができた/ ケニアへの進出・展開についてイメージできた/ 新たな視点を得られた/ 課題となっていた点が解決できた/ 新たなノウハウ・知見を得ることができた/ 特になし/ その他（自由回答））<ul style="list-style-type: none">✓ 上記設問でのご回答について、成果を得ることができた要因やポイントをご回答ください。（自由回答）
	招へいミッション	<ul style="list-style-type: none">□ KOLの日本招へいについて、招へいを希望される組織を第一希望から第三希望までご教示ください。（第2・3希望は任意）□ 病院を選択された方で、特定の診療科・人物がいらっしゃる方はご回答ください。（自由回答）

参加者からの官民ミッション全体にかかる満足度は非常に高く、企業単体でのアプローチが難しかった機関へコンタクトできた点が良かったとのコメントがあった

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（2/11）～全体～

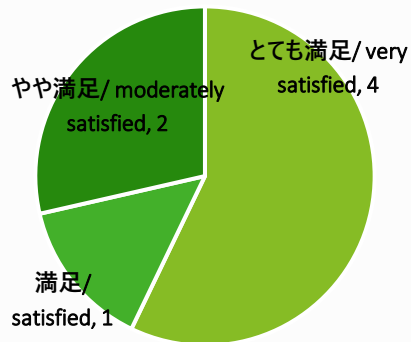


Kenyatta National Hospital (KNH) との面談については、サービス需要が確認出来たといった意見や担当者のコンタクトを入手でき有意義であったとのコメントがあった

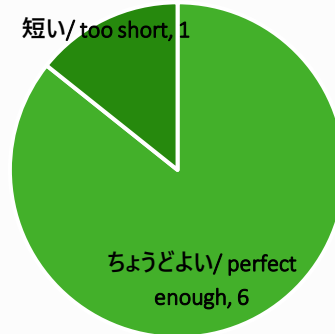
2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果 (3/11) ～各面談～

Kenyatta National Hospital (KNH) との面談 (回答者数7)

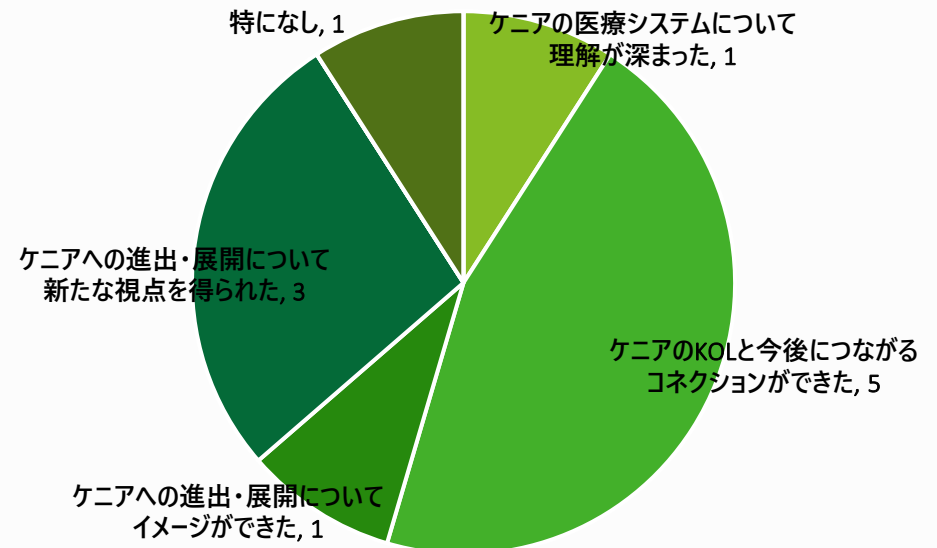
1 KNHとの面談の満足度



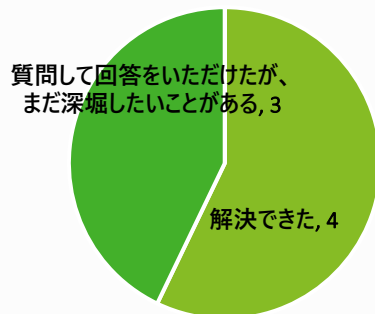
2 面談時間



4 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3 KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか



※回答要約

- KEMSAを通さなくても医療機器を病院に販売できることまでは理解できたため、その後どのような対応が必要になるかといった具体的な話を深堀したい。
- 検査業務や健診システム（実現可能性）について専門家と協議がしたい。

※回答要約

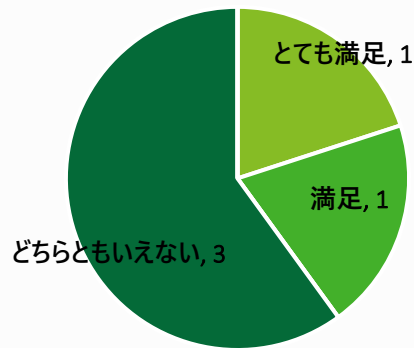
- ケニアの公立病院で当社サービスの**需要があることがわかった**。
- KNHには当社機器の導入があまり進んでおらず、KOLとの接点も一部に限られているため、**接点を増やす意味で非常に有意義だった**。
- **緊密なインタラクションができた**。
- 今後リーチアウトすることができる**研究人材のコンタクトを入手することができた**。
- UHCの実現に向けた課題が現場の見学を通じて確認できた。

Kenya Medical Research Institute (KEMRI) との面談については、薬事承認に関する知見やKEMRIが進行中のプログラムに関する現場情報が得られたとのコメントがあった

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（4/11） ～各面談～

Kenya Medical Research Institute (KEMRI) との面談（回答者数5）

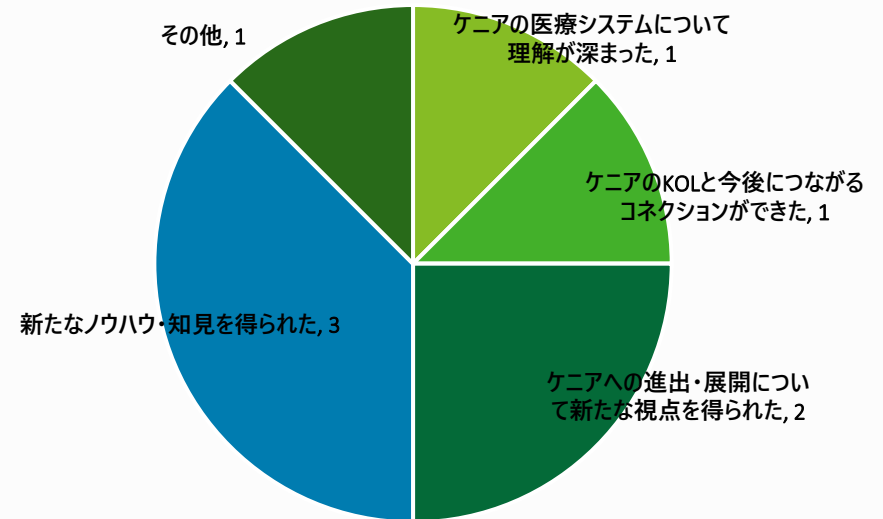
1 KEMRIとの面談の満足度



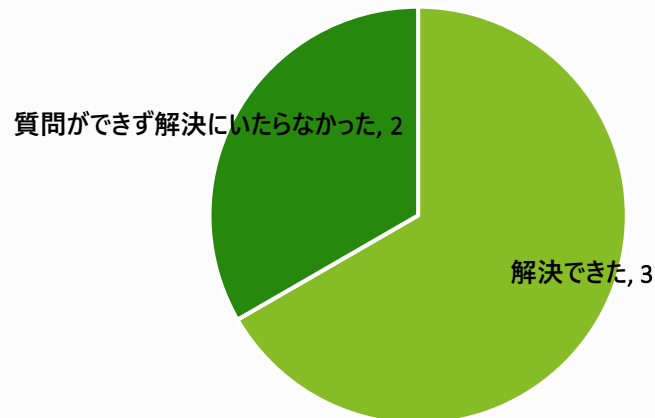
2 面談時間



4 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3 KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか



※回答要約

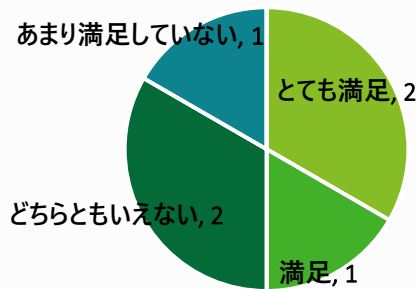
- KEMRIがどんな研究機関かなど理解することができたものの、KEMRIとのコネクションを今後どのようなことに活かせるかは要検討。
- 薬事承認の仕組みなどが理解でき、**今後何か相談事があれば相談出来るコネクションを得られた。**
- NTDs対策プログラムの実際について、**有用な現場情報が得られた。**

Global Fund CCMとの面談については、今後の議論の窓口となる担当者のコンタクトを入手できた、またCCMの東アフリカでの戦略の理解に役立ったというコメントがあった

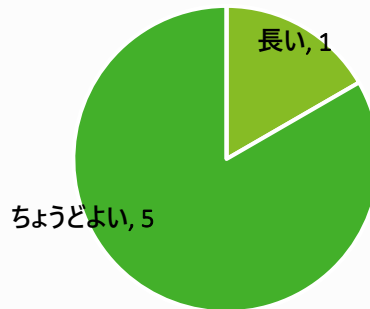
2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（5/11） ～各面談～

Global Fund Country Coordinating Mechanism (CCM) との面談（回答者数6）

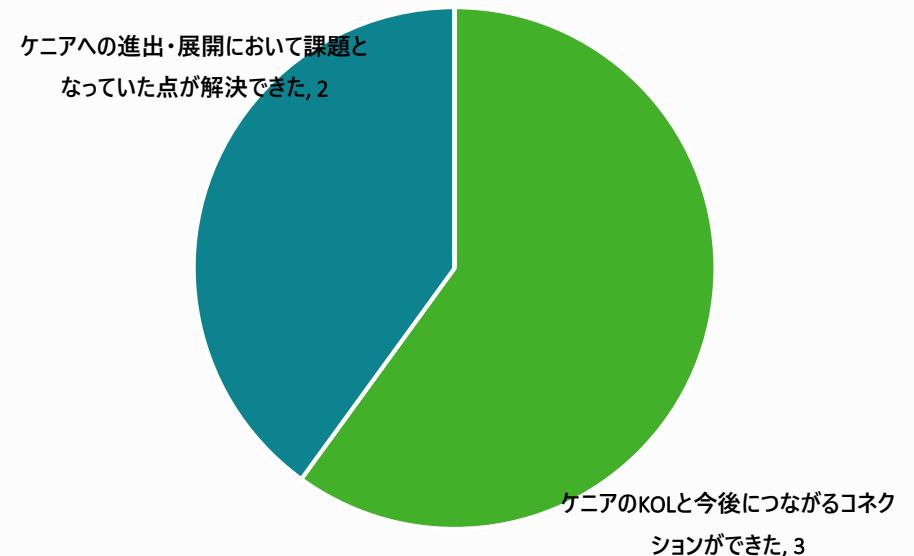
1 CCMとの面談の満足度



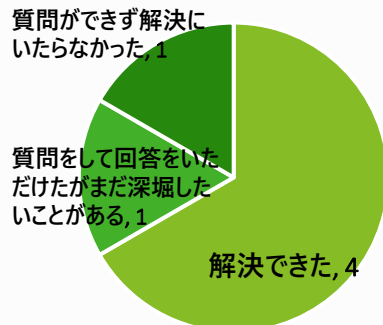
2 面談時間



4 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3 KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか



※回答要約

- どのようにしたら融資が得られるのかという点について明確にしたい。
- 当社からPR、議論したいトピックがあり、別途ミーティングの時間を設けたい。

※回答要約

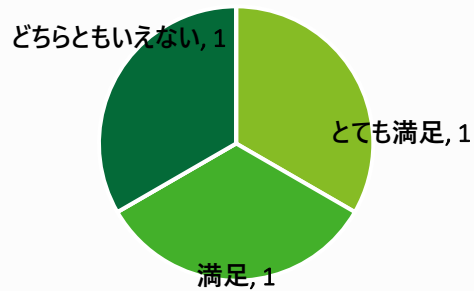
- Global Fundの入札に関する今後のロビー活動について、**ケニアにおける窓口を掴んだ。**
- 当社の製品・サービスについて**直接CCMと議論をすることができた。**
- 保健省への資金提供パートナーが**東アフリカで採用している戦略について理解することができた。**

WHOとの面談については、担当者との直接のコンタクトが得られた、WHOからの推奨に関する知見を得られたとのコメントが挙がった

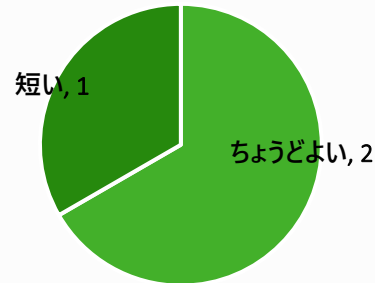
2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（6/11） ～各面談～

World Health Organization (WHO) との面談（回答者数3）

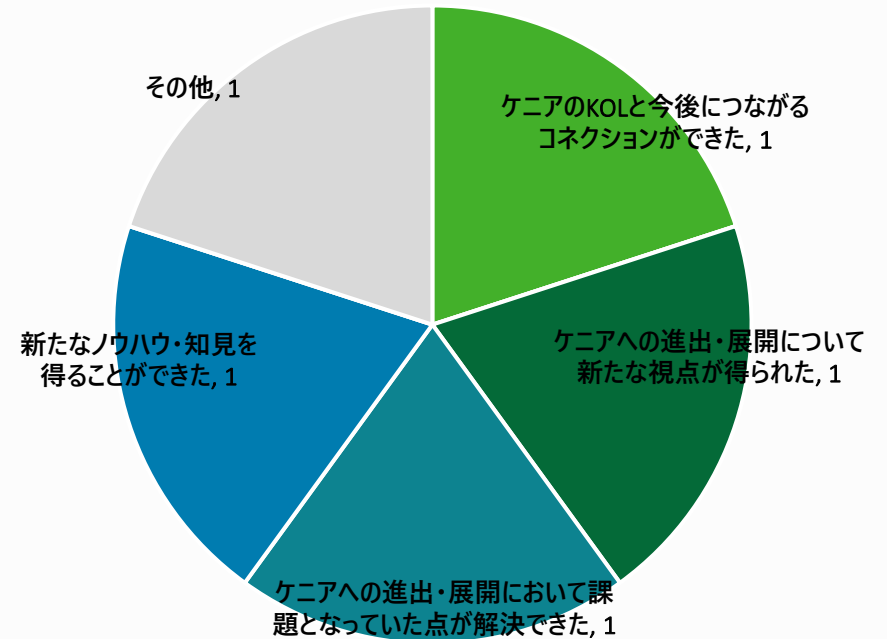
1 WHOとの面談の満足度



2 面談時間

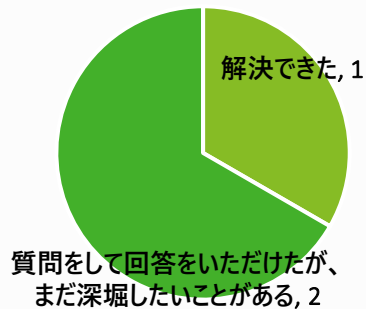


4 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3 KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか

※回答要約



- WHOからの推奨を得るのはE-カタログに登録される必要があると言っていたが、それに登録するためにどうしたらいいかという点を明らかにしたい。
- ケニアWHOがどの程度の影響力をもっているのか、WHOから具体的にどのような支援が期待できるのかについて深堀したい。
- WHOの組織体と権限委譲の可能性について深堀したい。

※回答要約

- 直接のコネクションが出来た点が良かった。
- ジュネーブ本部との関係性について情報が得られた。
- WHOからの推奨を得るのはE-カタログに登録される必要だと理解できた。

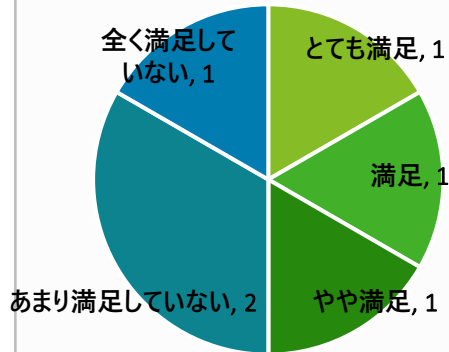
International Finance Corporation (IFC) との面談については、組織の有するスキームに対する理解が深まった一方で、追加・深堀質問をしたいとの要望が複数挙がった

2-3.2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（7/11） ～各面談～

International Finance Corporation (IFC) との面談（回答者数6）

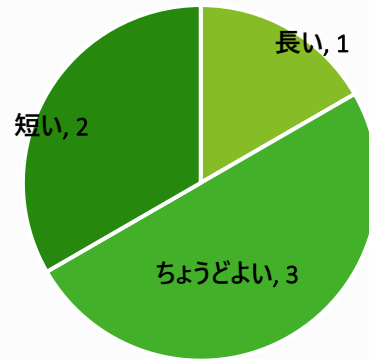
1

IFCとの面談の満足度



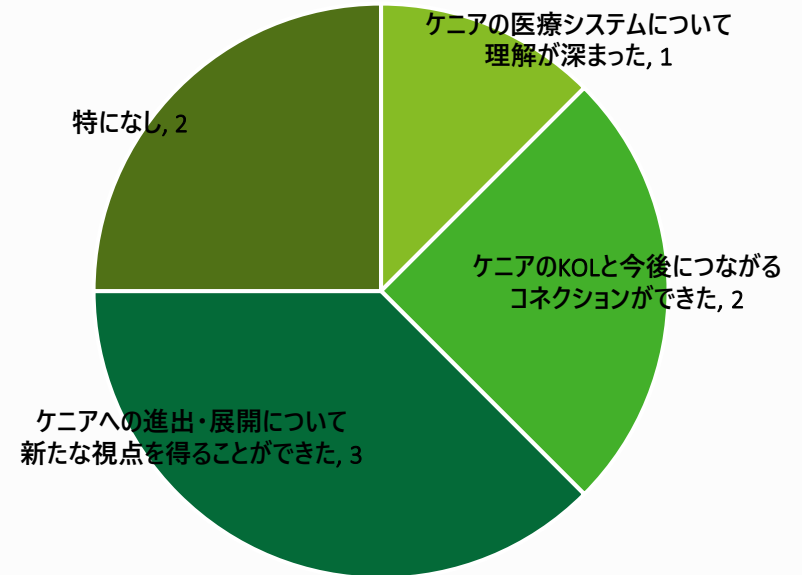
2

面談時間



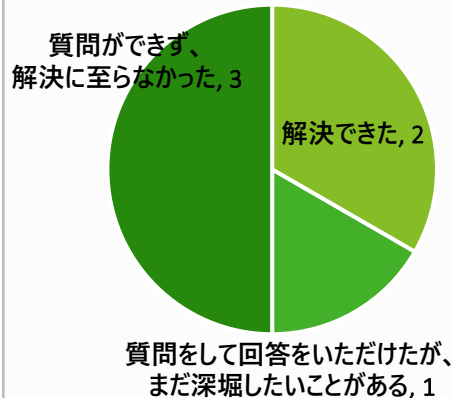
4

当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3

KOLに聞きたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか



※回答要約

- 扱う金額の大きさによって支援の可能性が変わるのかという点が気になった。
- 具体的な実施例や今後の融資可能性についてイメージが掴めなかった。

※回答要約

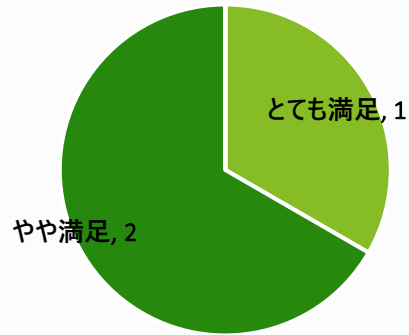
- 医療機器を買うために一括で病院が払えなくても、代わりに支払いをしてくる制度があることを知ることができた。
- アフリカにおける検査事業は検討の一つであり、その内容を一部聞けたことが良かった。
- 医療機関や代理店などを中心とした時間をかけた交渉が必要と感じた。
- 協議中の事項について現地スタッフが直接相談する機会を得られた。

Aga Khan University Hospitalとの面談については、病院施設内の見学ができた、ビジネスに繋がるコンタクトを入手できたとのコメントがあった

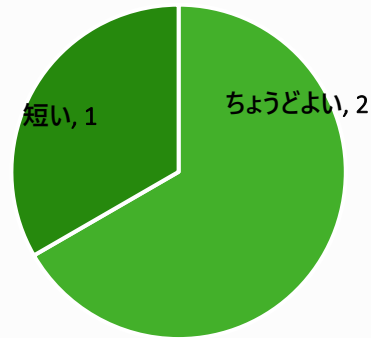
2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（8/11） ～各面談～

Aga Khan University Hospitalとの面談（回答者数3）

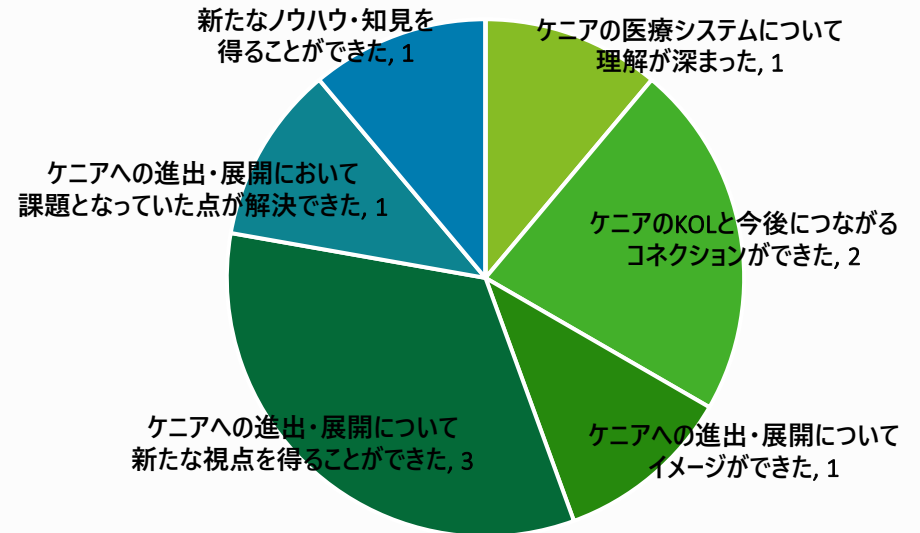
1 Aga Khanとの面談の満足度



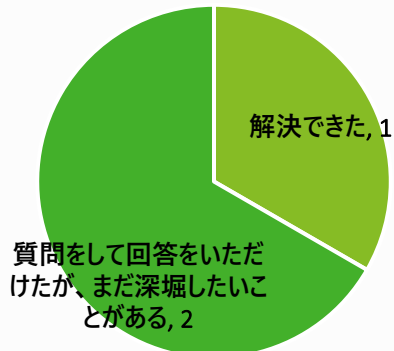
2 面談時間



4 当該面談にて得られた成果がありましたらご回答ください



3 KOLに聞いたかった疑問・質問について、面談内で解決できましたか



※回答要約

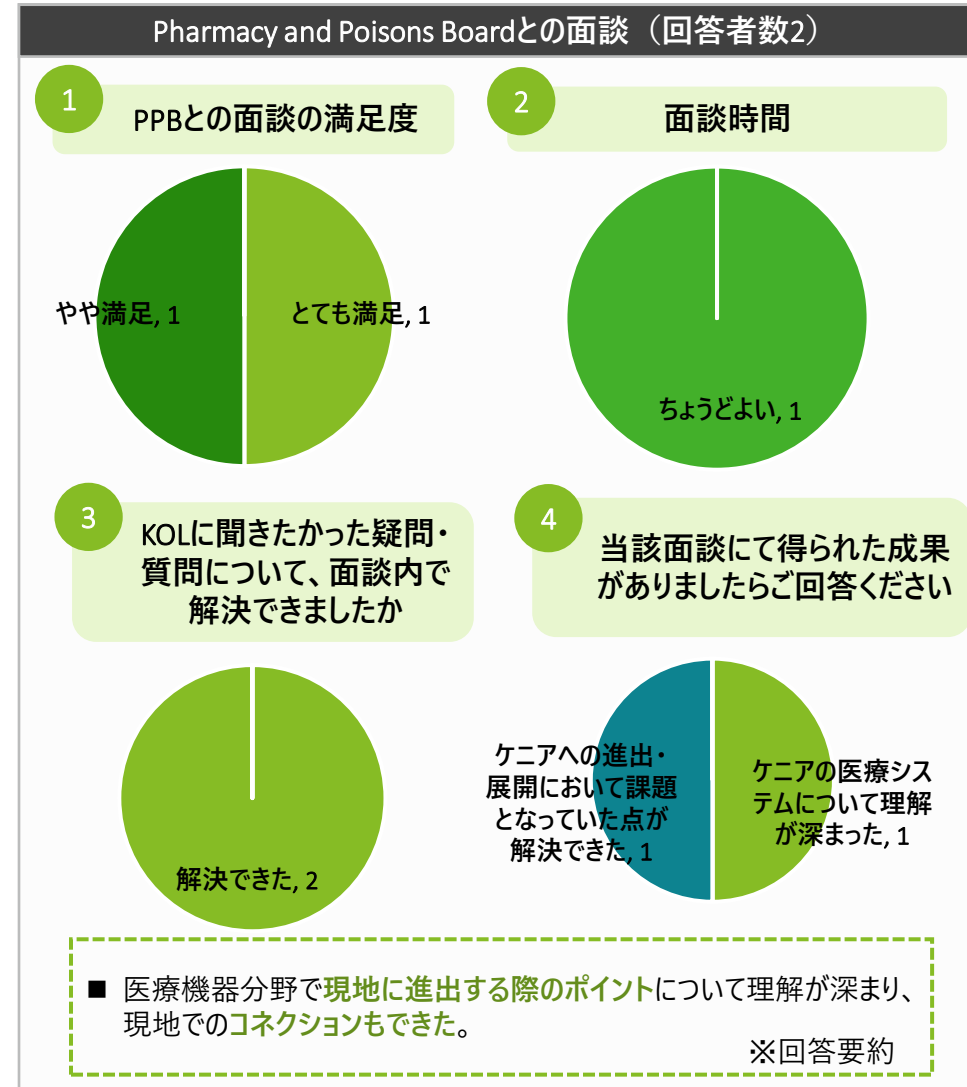
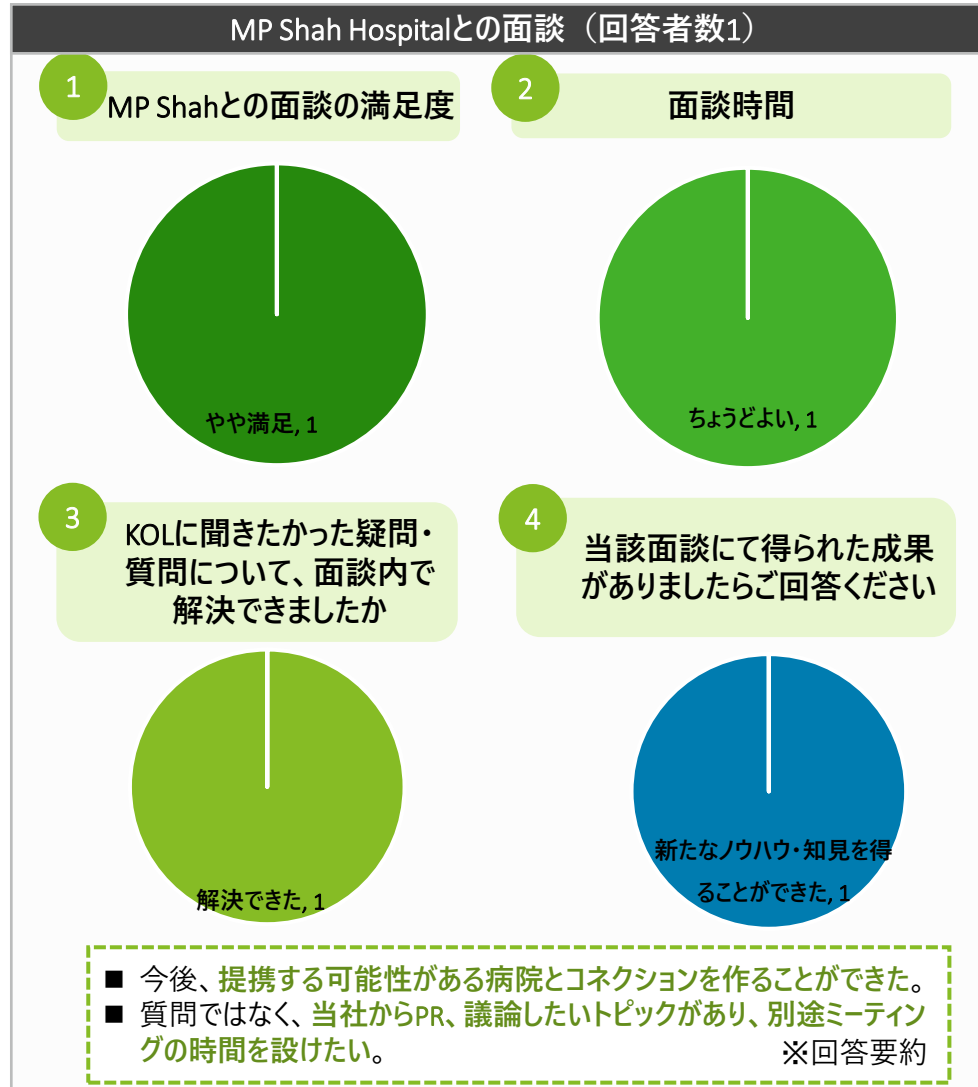
- 病院の診察アプリとの連携など提案してみたい。診療科の内部を見せてもらい現状を把握したい。
- 具体的な課題、ニーズ、困りごと、日本企業への期待を深堀したい。

※回答要約

- これまで代理店を通じては出来なかった有名病院への訪問や病院施設（カテラボ等）見学など出来た。
- ラボナースやエンジニアと繋がることが出来、**早速ビジネスに直結する成果が得られた**と感じている。これを機に繋がりの出来た日系他社との連携なども積極的に進めていきたい。

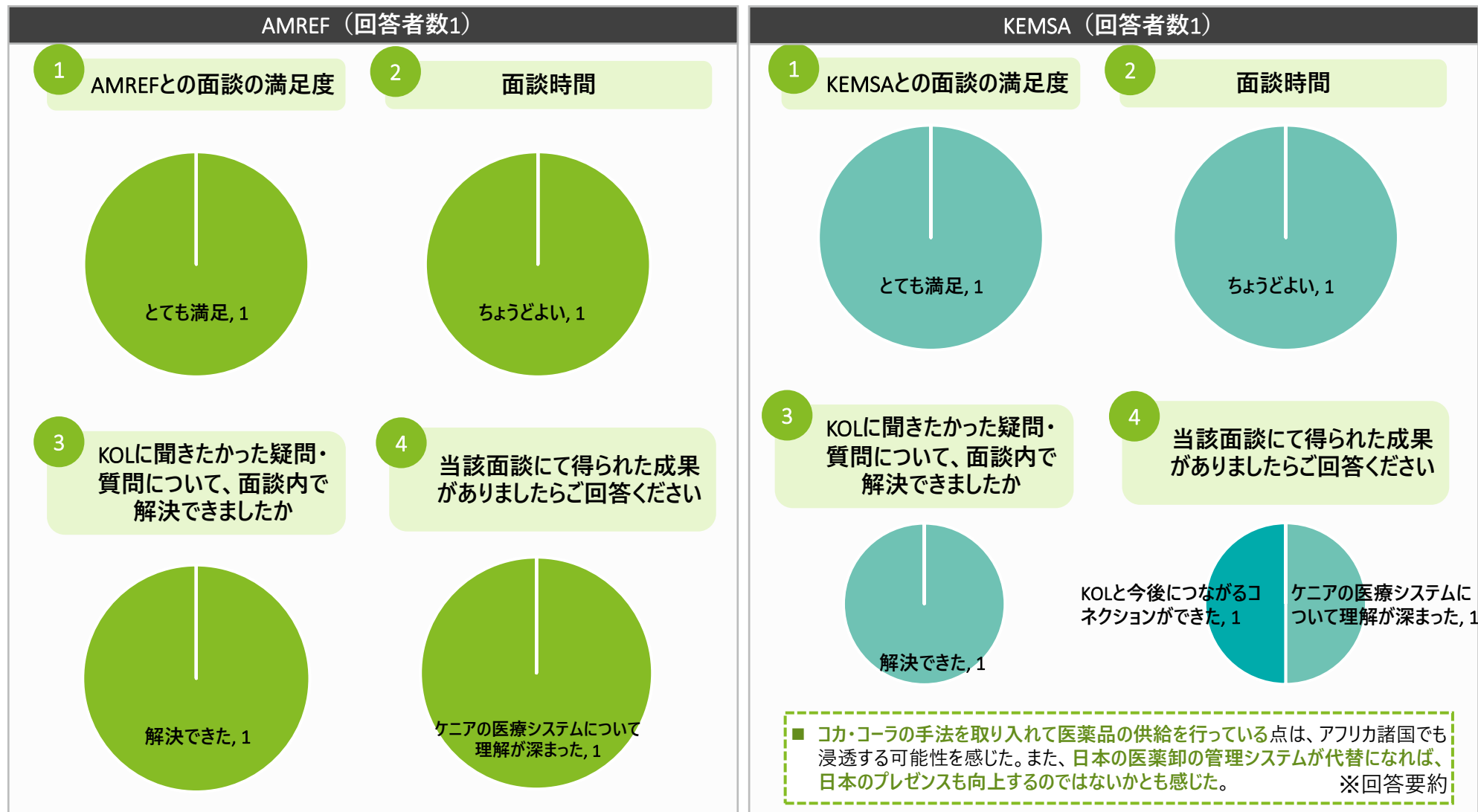
MP Shah HospitalやPharmacy and Poisons Boardとの面談については、現地進出をする際に有益なコネクションを築くことが出来たというコメントがあった

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（9/11） ～各面談～



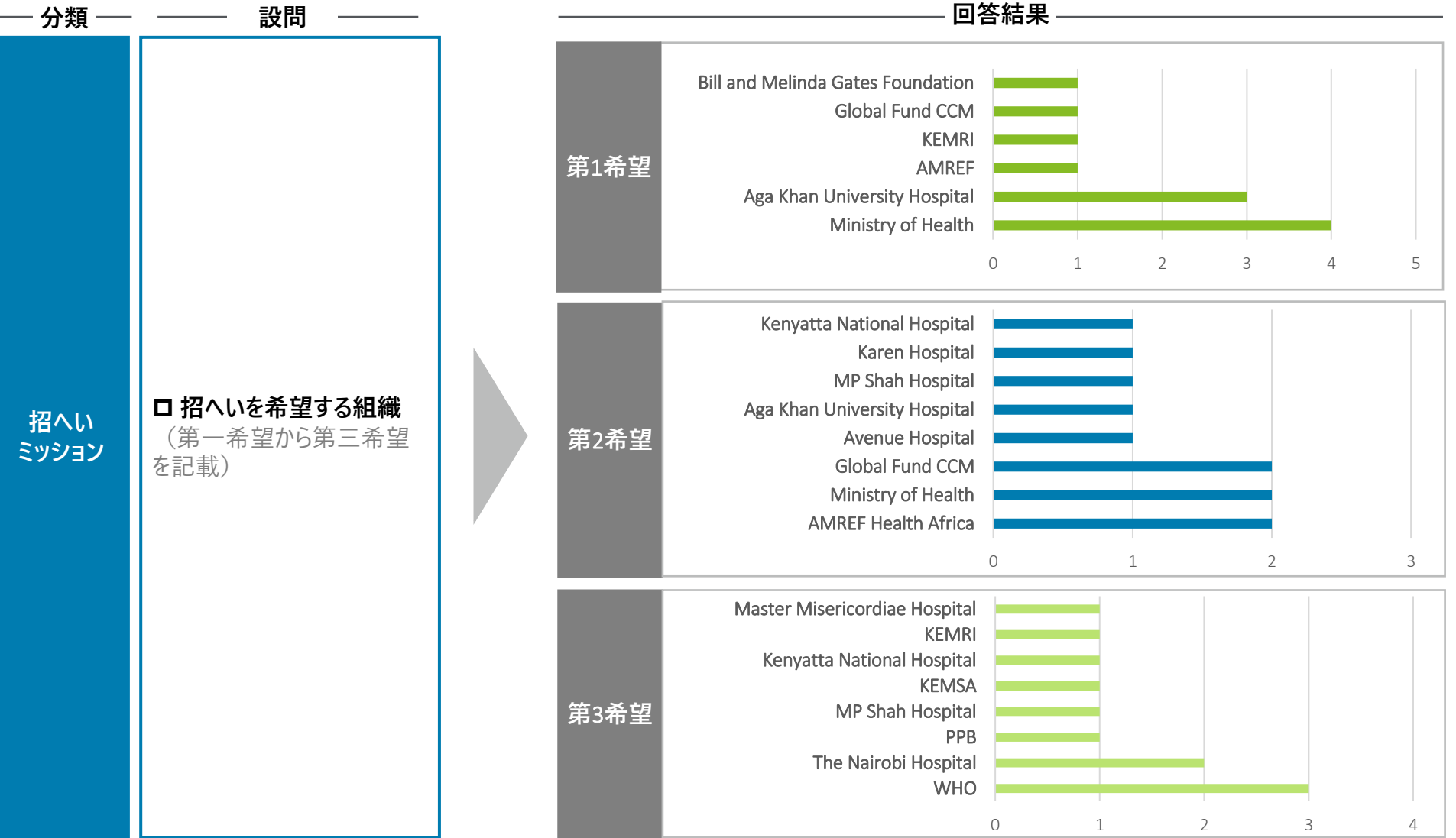
AMREFとKEMSAの面談については、総じて満足度が高く、現地組織の仕組みに関する理解に対する理解促進に役立ったというコメントがあった

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（10/11） ～各面談～



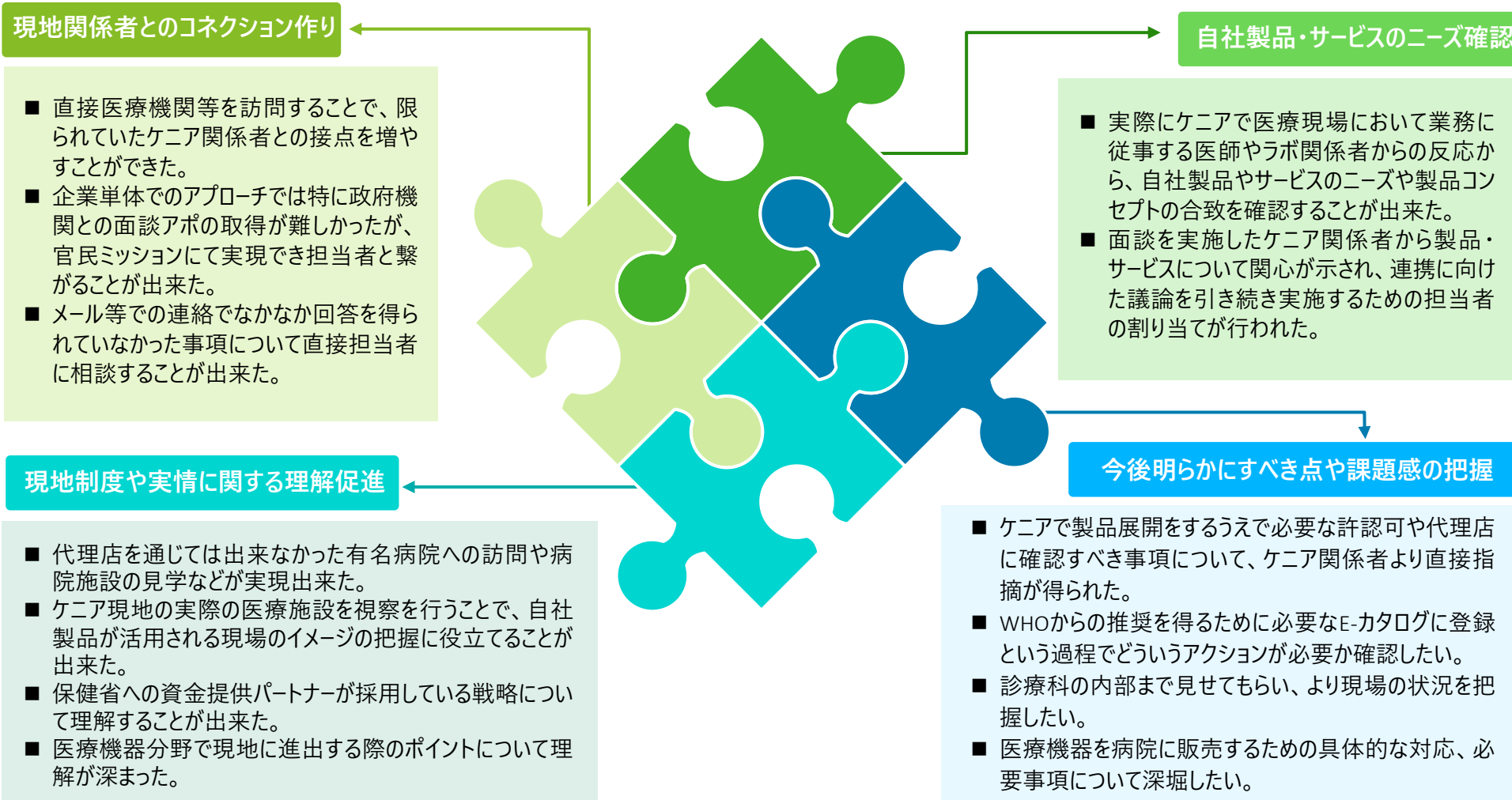
招へいミッションで招へいする機関については、保健省を希望する声が多く、次いでAga Khan University Hospital等の医療機関が多いという結果となった

2-3-2. 官民ミッションの結果 1) アンケート結果（11/11） ～招へいするケニア組織の要望～



官民ミッションの主な成果としては、①現地関係者とのコネクション作り、②製品ニーズの確認、③現場への理解促進、④今後明らかにすべき点の把握の4点が挙げられる

2-3-2. 官民ミッションの結果 2) 主な成果



第2章 官民/招へいミッション

- 2-1. 官民／招へいミッションの全体計画
- 2-2. 企業合同勉強会セミナーの開催
- 2-3. 官民ミッション
- 2-4. 招へいミッション
- 2-5. ミッション報告会

招へいミッションは官民ミッション後のフォローアップとして実施し、ケニア人招へい者と企業の個別対話を行うことでより広範で強いネットワーク構築を支援した

2-4-1. 招へいミッションの開催概要

招へいミッション開催の狙い

- 1. 官民ミッションの成果を招へいミッションで最大化する
 - 官民ミッションで手応えのあった現地機関またはミッション参加企業が要望する現地機関のKOLを日本に招へいし、それぞれの企業との個別的な対話の場を設定し、より深い日本医療機器、サービスの理解を促す。
- 2. より広範で強いネットワークづくりを支援する
 - 日本企業と相手国KOLとの直接的なコミュニケーションを図ることで、Face To Faceの関係づくりを可能とし、招へいしたKOLからより広範なネットワークの拡大を可能とするきっかけづくりを行う。

招へいミッションの参加

参加企業（6社）

参加企業	<ul style="list-style-type: none">豊田通商株式会社メロディ・インターナショナル株式会社テルモ株式会社朝日インテック株式会社日本電気株式会社（NEC）富士フイルム株式会社
------	--

招へいミッションのケニア側参加者（5名）

所属機関	役職
Ministry of Health	Head of Digital & Pharmaceutical Technology
Aga Khan University Hospital	Interventional Cardiology
Aga Khan University Hospital	Consultant Radiology
MP Shah Hospital	Head of Radiology
The Karen Hospital	CEO

招へいミッションのプログラム

日	時間	プログラム	場所
1/31 (水)	9:00-10:00	経済産業省表敬	経済産業省
	10:30-12:00	オリエンテーション／ 企業製品紹介	トーマツニ重橋オフィス (兼オンライン)
	12:00-13:00	昼休憩	－
	13:30-15:00	企業個別面談① メロディ・インターナショナル	トーマツニ重橋オフィス (兼オンライン)
	16:00-17:30	企業個別面談② 豊田通商	本社
2/1 (木)	9:00-11:00	企業個別面談③ テルモ	テルモメディカルプラネックス (神奈川県小田原市)
	12:00-13:00	昼休憩	－
	14:30-16:30	企業個別面談④ 朝日インテック	グローバル本社 (愛知県瀬戸市)
2/2 (金)	10:00-12:00	企業個別面談⑤ NEC	本社
	12:00-14:00	昼休憩	－
	14:00-16:00	企業個別面談⑥ 富士フイルム	Open Innovation Hub
	17:00-18:15	ラップアップセッション	トーマツニ重橋オフィス (兼オンライン)

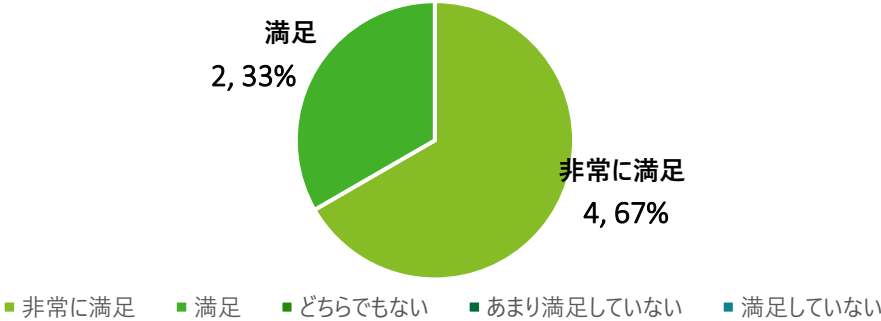
参加企業は招へい者の適性や知見、来日中にとったコミュニケーションの量などを踏まえ、100%が「非常に満足」「満足」と回答をしている

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①参加企業向け (1/3)

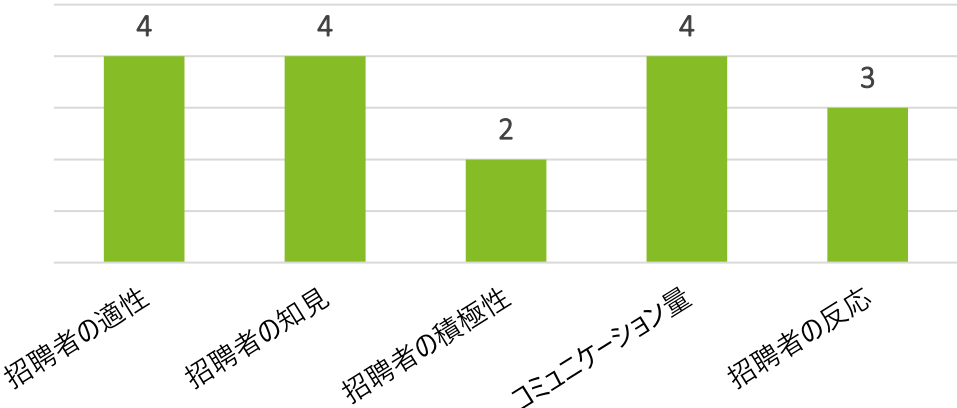
N=6

全体の満足度

■ 訪問の満足度

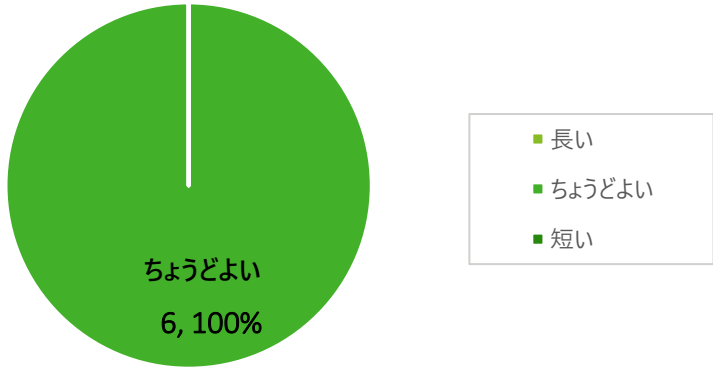


「非常に満足/満足」の要因

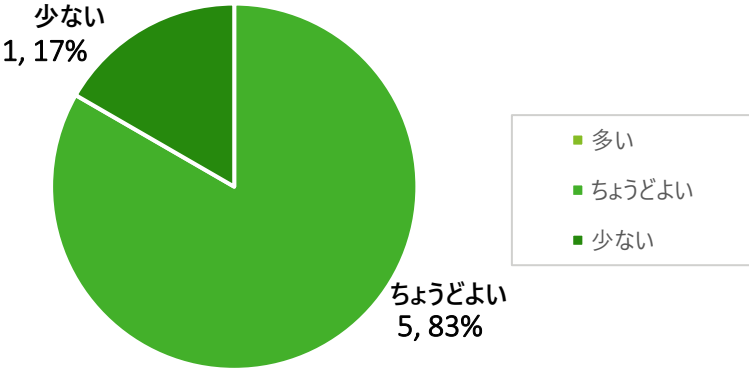


招へいの時間・人数

■ 訪問時間



■ 訪問人数



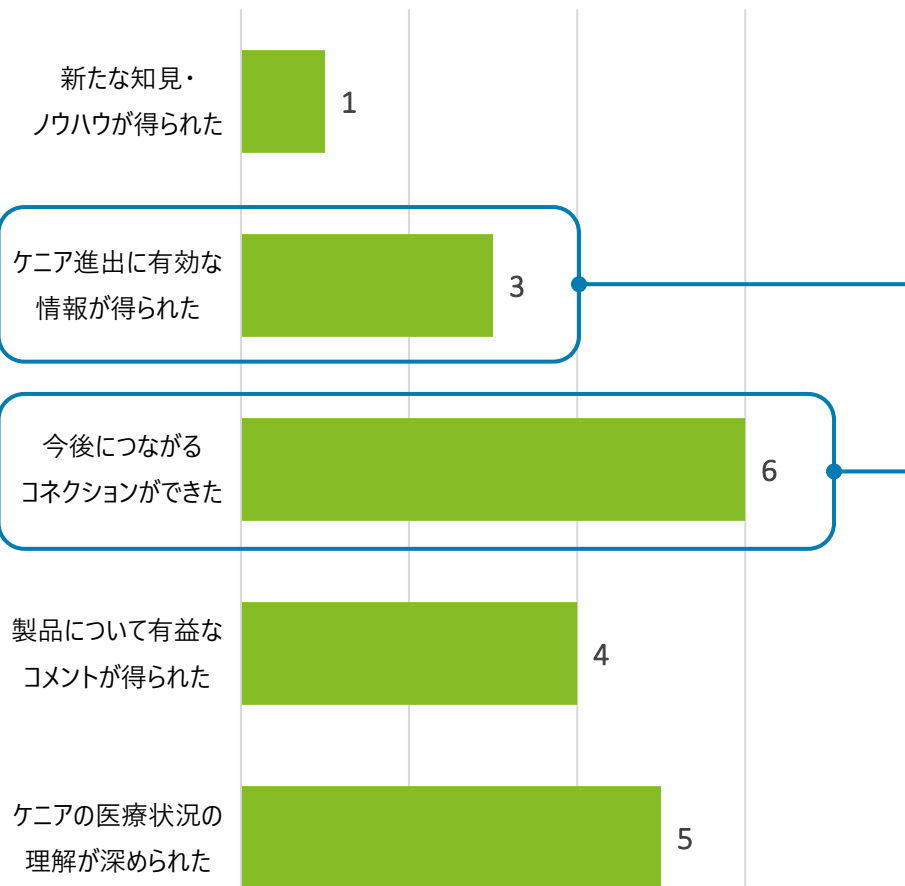
参加企業はこれまで有していなかったKOLとのつながり構築や、直接会話をしたことによって具体的なアドバイスを得られた点、さらには具体的な取組につながった旨コメントを受けた

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①参加企業向け (2/3)

N=6

招へいミッションで得られた成果

■ 成果



左記の得られた成果について見られたコメント

- 今まで取引のなかったKaren Hospitalとコネクションができ、早速現地でアポイントメントを獲得できた。また、専門医学会への紹介など、現地活動の幅が広がるきっかけとなった。
- 医療機器申請に関するキーマンにお会いできた。併せて、現地での競合品、価格帯を知れた。
- 現在進行中のプロジェクトに関する医師とのコネクションができ、プロジェクトへのアドバイスを直接いただいた。
- 保健省のデジタル担当につないでいただけることとなった。
- ご訪問後、招へい参加者の一人より個別で今後の販促活動増加の依頼をいただき、弊社でアフリカを担当している支店に共有ができた。
- ケニアで商品を広めるために、ケニア保健省・政府として動いてもらうために必要なポイントを教えてもらえた。（クラウドのセキュリティ面の保証、製品導入前後の死亡率低下の証明・研究）

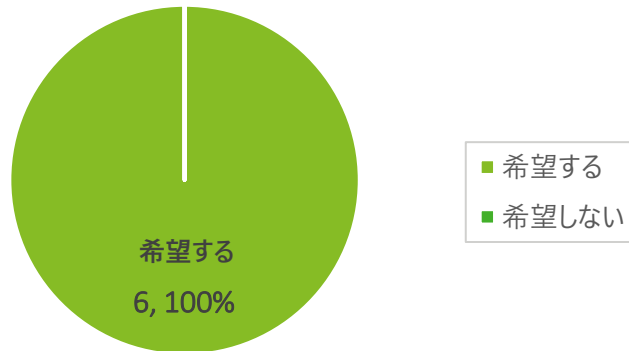
参加企業は今回の招聘によって得られた成果を踏まえ、今後同様な機会があった際への参加を希望している

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①参加企業向け (3/3)

N=6

今後のミッションへの参加意向・要望

■同様の機会がある場合の参加希望



【招へいの希望として挙げられた機関】

- 国際機関や政府/保健省
- 大手病院（経営にかかわる方、デジタル担当者）
- Kenya Cardiac Societyのステークホルダー

【招へいの希望として挙げられた診療科】

- 医療の画像診断に関わる分野の医師
- 脳外科
- 循環器内科（Cardiologist、Interventional Cardiologist）
- 放射線科
- 産婦人科領域の医師・助産師
- 新規領域

《その他コメント》

- ケニアに留まらず、アフリカ諸国へのプレゼンス向上に寄与したい。
- 本件のような形でぜひ今後とも実施いただきたい。
- 弊社施設でのトレーニングとして案件を作っていただいても協力が可能であるため、ぜひご検討いただきたい。
- 企業訪問から懇親会まで、多くの時間招へい者と話ができて、素晴らしい機会だった。
- 現地ミッション前に招へいを実施すると現地に行った際によりキーパーソンへのアプローチが可能になるのではと思った。
- ケニアの医師や技師、経営者との交流を通して、改めて弊社の製品が世界中で使用されていることを実感するとともに、各地域のニーズに沿った解決策を想像することの難しさや大切さに気付かされた。
- 今後は弊社の様々なアプローチ方法で、ケニア医療への貢献を増進させていく所存である。

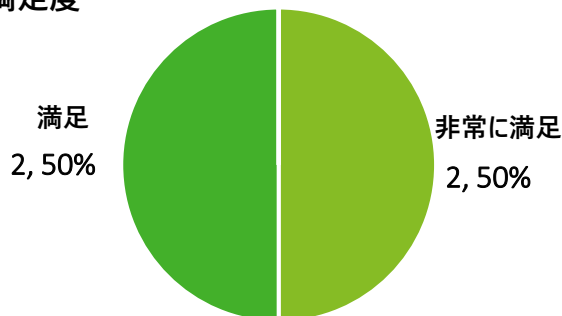
招へい者は100%が「満足」または「非常に満足」と回答をしており、企業との個別面談についても自身への関連性や実践的なプログラム、明確な説明などを要因に満足と回答を受けた

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①ケニア人招へい者向け (1/3)

N=4

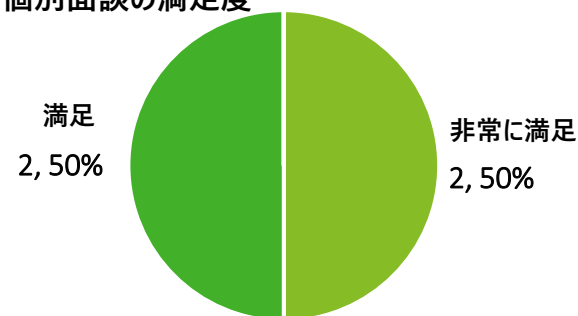
全体の満足度

■訪問の満足度



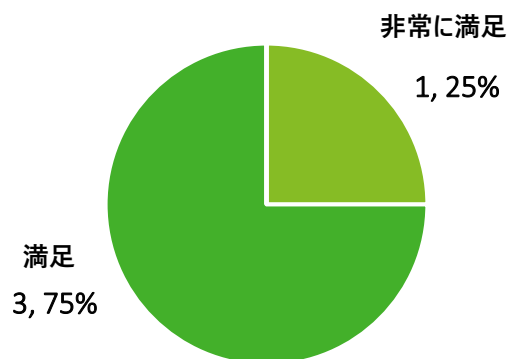
■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない ■あまり満足していない ■満足していない

■企業との個別面談の満足度



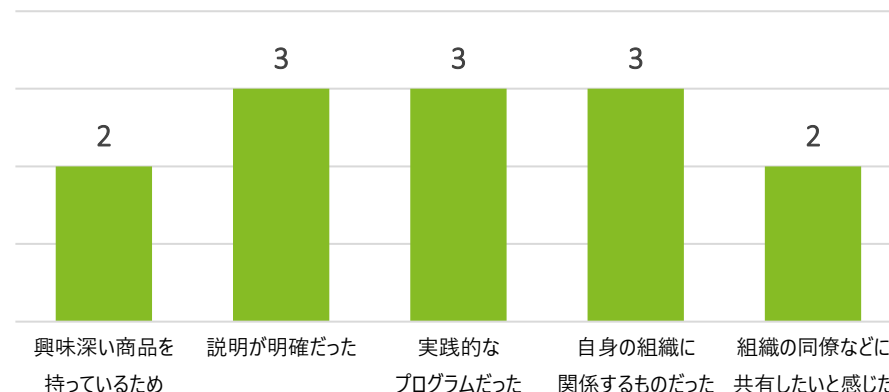
■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない ■あまり満足していない ■満足していない

■日本企業の選定の満足度



■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない ■あまり満足していない ■満足していない

「非常に満足/満足」の要因



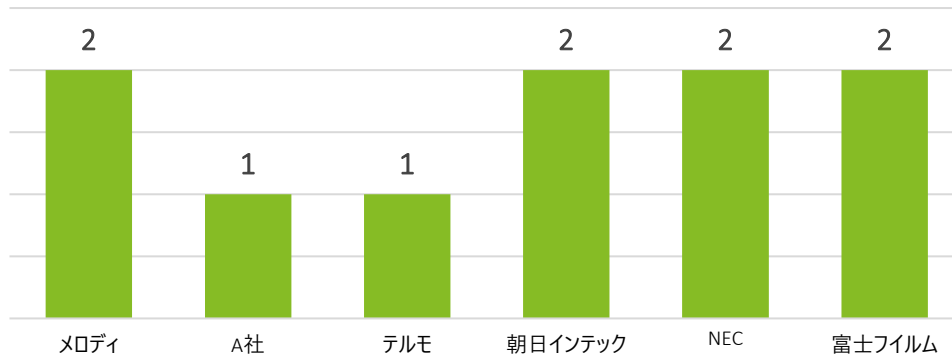
企画がよくされていた点、担当者も高い知見を有している点についてよかったとコメントを受けたが、一方で企業は価格についてアイデアを持つべきというコメントが見られた

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①ケニア人招へい者向け (2/3)

N=4

企業との個別面談に対する意見

■最も興味深かった面談先（最大3つ選択可）



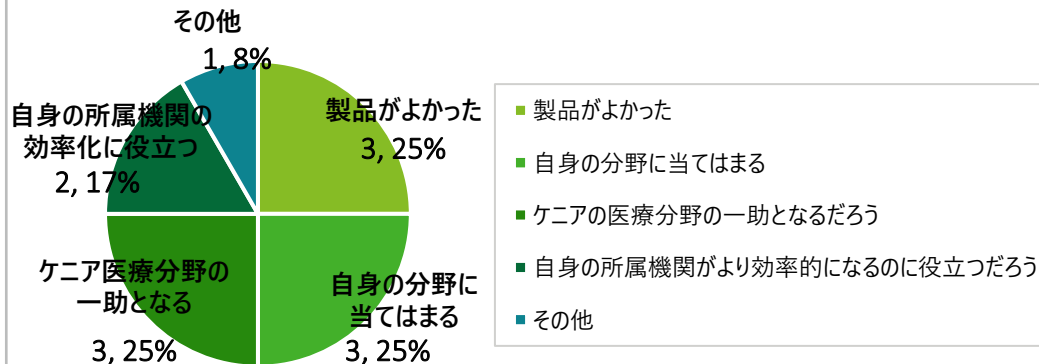
《良かった点に関するコメント》

- よく計画されており全体的に良かった。
- 非常によく企画されており、質の高いものだった。
- 各企業の代表者は、提供する製品について高い知識を持っていた。

《改善点に関するコメント》

- 製品の価格についての話をするための事前準備をするようアドバイスをしておくとい。
- 価格は、医療セクターの大多数にとって常に制限となる要因であり、調達の決定要因になり得るため重要な点である。

興味深かった面談の要因



—— 今後同様の機会があった際に訪問したい企業の種類 ——

- 産婦人科分野をターゲットにした医療企業（人口に大きな影響を与える可能性のある企業）
- インターベンショナル手技に使用されるカテーテルのような医療機器メーカー（心臓以外のHSG※¹カテーテル、生検システム、自動生検システムなど）
- HMIS、医療アプリケーション、CRMアプリケーション、バイオメディカル（酸素プラント、ソーラープラント、医療廃棄物処理）、病院用家具、医療用衣類（患者・医師用）
- キヤノメディカルシステムズ、オリンパス、日立ヘルスケア、島津製作所

※¹HSG: Hysterosalpingography（子宮卵管造影検査）

※²HMIS: Health Management Information System（保健医療情報システム）

※³CRM: Customer Relationship Management（顧客関係管理）

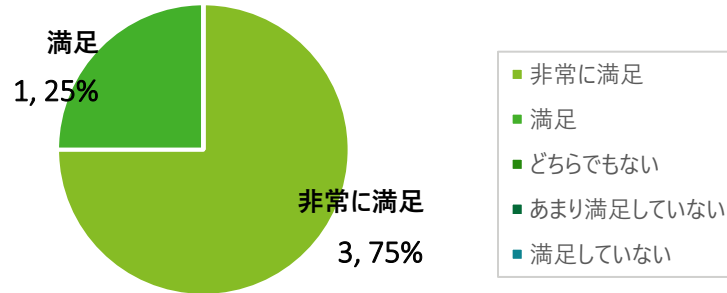
招へい者はオペレーションについても満足をしているが、スケジュールのタイトさやフォローアップの対応等の改良の余地についてコメントを受けた

2-4-2. 招へいミッションの結果 1) アンケート結果 ①ケニア人招へい者向け (3/3)

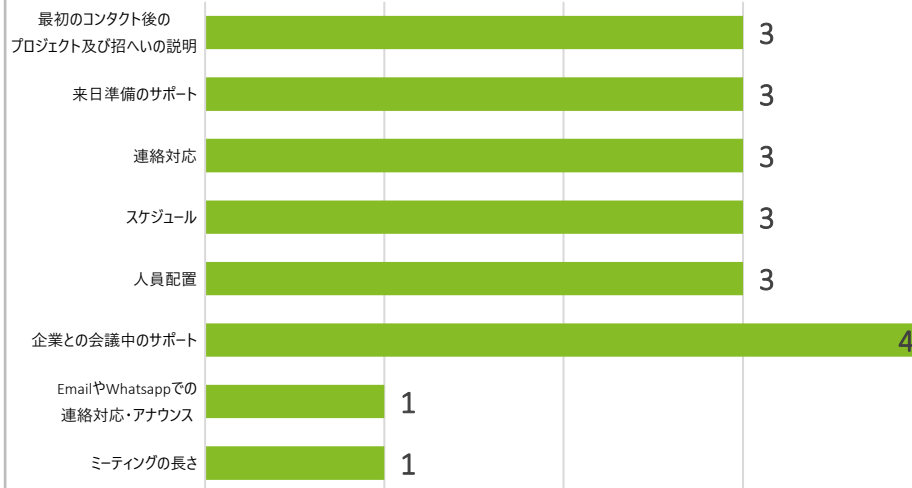
N=4

招へいミッション運営に対する意見

■ オペレーションの満足度



オペレーションの良かった点



《改善点についてのコメント》

- 最初のコンタクト後のプロジェクト及び招へいの説明がもっとあったらよかった。
- 会議が長すぎた。
- スケジュールがかなりタイトで疲れた。少なくとももう1日長くすべきだ。
- 招聘後に、日本企業とZoom面談できるようサポートが必要だ。

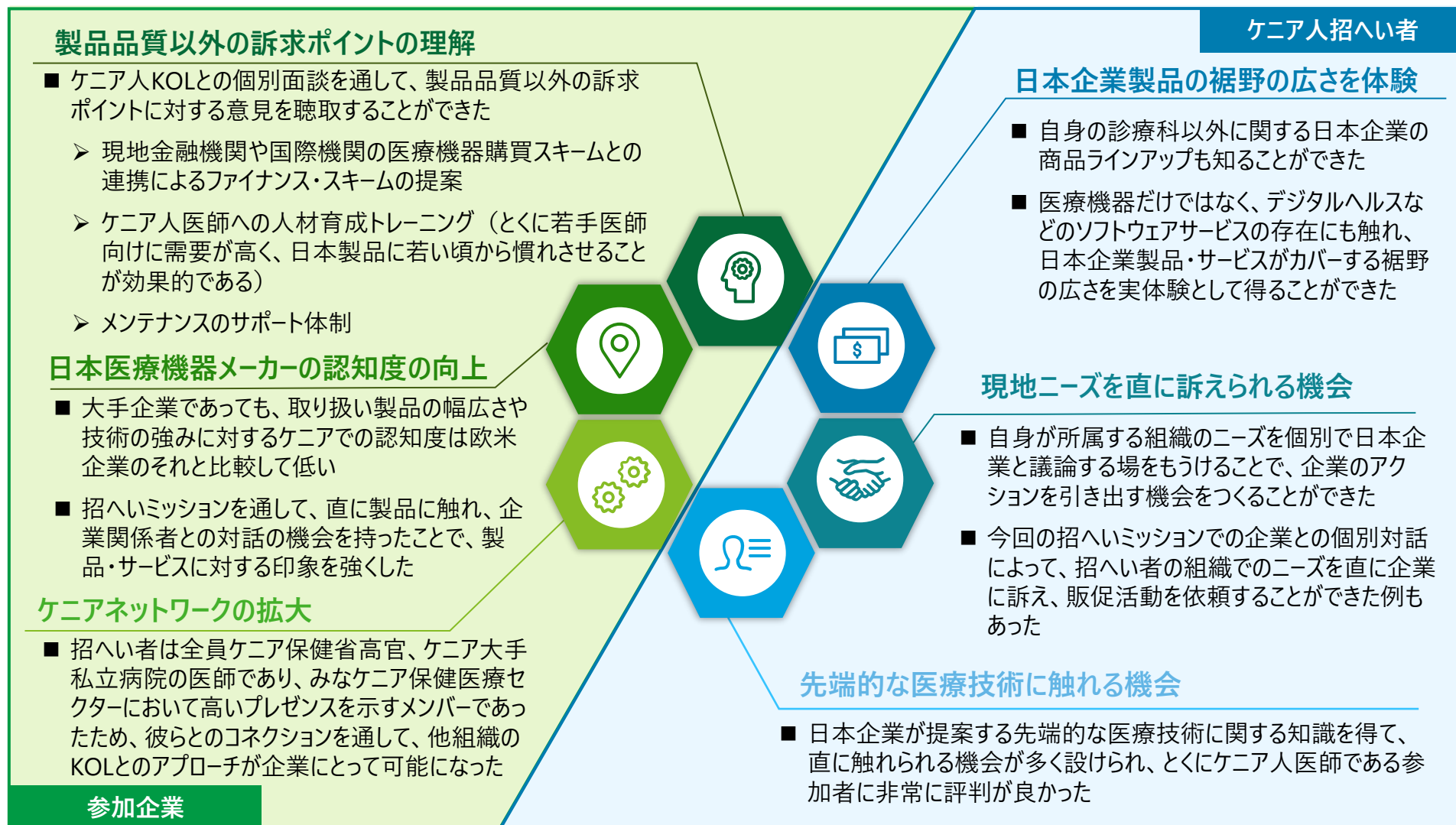
《その他自由記述でのコメント》

- 経皮的冠動脈インターベンション(PCI) 用ワイヤーのハンズオンを楽しんだ。
- 最新の超音波装置やプローブにも触れたかった。
- スケジュールがタイトだった。会議に向け十分に休養を取ることができなかったため、私を含め他のステークホルダーも苦労したと思う。初日の前に少なくとも1日フリーの日を設けることを勧める。
- METIが資金提供をして実施する出張の場合、ケニア大使館の商務官または代理人が会議の開閉に立ち会うべき。
- ケニアに関心のある戦略的投資家との面談も含めるとよい。

- 全体としてよく計画・運営されていて、非常に楽しい本邦招へいだった。
- 日本の方々のホスピタリティは他のどの国にも引けを取らず、招待をしてもらえて大変うれしく思う。
- 今後も日本の医療メーカーとの協力関係を続けていきたい。

招へい者と企業との個別対話の機会を設けることで、双方にとってより多くのメリットがあった

2-4-2. 招へいミッションの結果 2) 主な成果



第2章 官民/招へいミッション

- 2-1. 官民／招へいミッションの全体計画
- 2-2. 企業合同勉強会セミナーの開催
- 2-3. 官民ミッション
- 2-4. 招へいミッション
- 2-5. ミッション報告会

官民ミッション及び招へいミッションの総括として報告会を実施し、日本企業やケニアKOLより、ミッションから得られた成果や学び等について発表された

2-5-1. ミッション報告会の開催概要

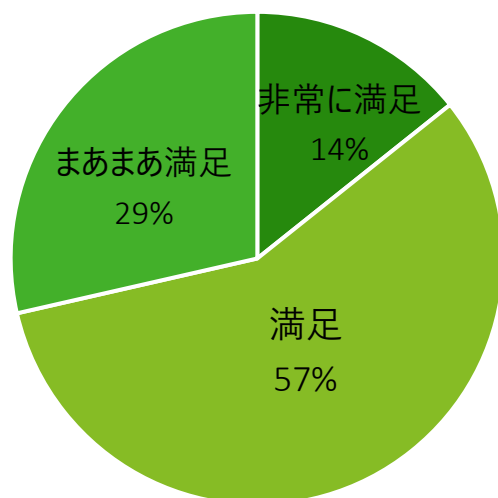
日時	2024年3月5日（火） 15:00～		
会場	都内会議室		

プログラム	時間	概要	スピーカー
1. オープニング	15:00-15:05	オープニング	経済産業省
	15:05-15:15	参加者紹介	出席者
2. ミッション活動の総括	15:15-15:25	ミッション活動の総括（渡航ミッション/招へいミッション）	監査法人トーマツ
3. ケニアKOLsからの総括	15:25-15:40	ケニアKOLからの活動に対するフィードバック	ケニア人出席者 (Facilitator:監査法人トーマツ)
4. 日本企業からの発表①	15:40-16:20	日本企業によるミッション結果についてのプレゼンテーション	①シスメックス ②豊田通商 ③富士フイルム ④メロディ・インターナショナル
休憩	16:20-16:30	—	—
4. 日本企業からの発表②	16:30-17:10	日本企業によるミッション結果についてのプレゼンテーション	⑤NEC ⑥テルモ ⑦朝日インテック ⑧栄研化学
5. 質疑応答・ディスカッション	17:10-17:40	①日本企業からのプレゼンについてのQ&A	Facilitator:監査法人トーマツ
		②来年のミッションについてのディスカッション	
6. ラップアップ	17:40-17:45	ラップアップ	Facilitator:監査法人トーマツ
7. クロージング	17:45-17:50	クロージングコメント	経済産業省、監査法人トーマツ

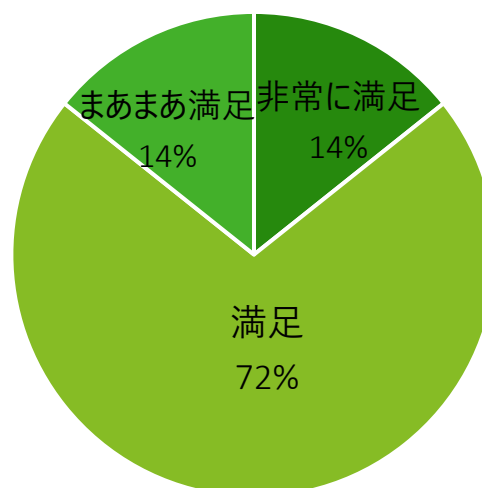
ミッション報告会の総合的な満足度については、「満足」・「非常に満足」が71%であり、各プログラムにおいても7割～8割の参加者が「満足」・「非常に満足」との回答を示した

2-5-2. ミッション報告会の結果 1) アンケート結果

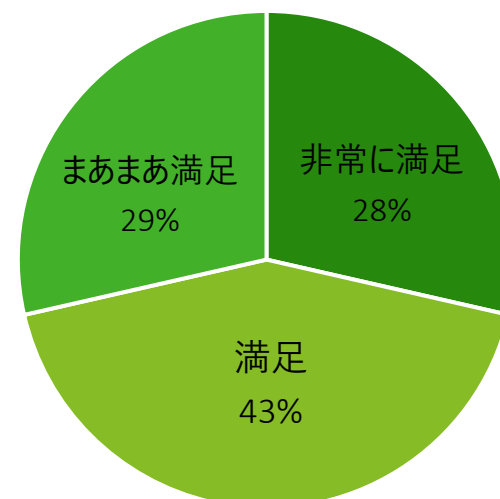
—— ミッション報告会の総合的な満足度 ——



—— 日本企業によるミッション結果のプレゼンテーションの満足度 ——



—— ディスカッションおよびラップアップの満足度 ——



本報告会や来年度のミッションについての意見・期待等 (関係者の声)

- 弊社としてもこのような機会を最大限活かすため、社内の調整から準備をし、アフリカでのプレゼンスを上げていきたいと思っている
- いわゆる関係構築では不十分だと感じており、日本や日本企業のために活動してくれる現地推進者の獲得を目指す活動も含まれると良いと考える
- 是非本事業に継続的に参加させていただきたく、次回以降もお声がけいただけたら必ず参加したいと考えている

官民・招へいミッションについて、ケニアKOL及び日本企業からポジティブな意見が多く挙がり、日本企業が求めているケニアへの市場参入における重要なポイント等も取り上げられた

2-5-2. ミッション報告会の結果 2) 主な成果

官民・招へいミッションに参加して 得られたこと (関係者の声)

ケニアKOL側：

- 日本の強みとなる機器、製造業者について理解でき、今後コラボレーションが実現できると考える
- 招へいミッションは充実した渡航となり、企業訪問で多くを学び、帰国後も他の民間病院などに得た情報を伝えた
- 招へいミッションに参加したメンバーから「日本の製品は高品質であった、なぜこのような素晴らしい製品ができるのか」と報告を受けた

日本企業側：

- 現地からのフィードバックや検証を重ね、市場への展開方法を理解した。また、ローカルパートナーの協力を得ることができ、市場に根付くことができれば、地域の医療課題の支援となり得ると考える
- 薬事関連の専門家と話せて薬事について知ることができた。現地ヘルスケア状況を把握し、医療関連ネットワークを構築できたことは非常に良かった
- 日本では作れない対面コネクションが構築でき、ケニアKOLから意見をもらうことにより、製品の課題を明確にできた
- コンタクトパーソンを紹介いただき、技術紹介を実施した上でフィードバックをもらった。企業独自では難しいため、Next stepに繋げていただいたことが非常にありがたい

ケニアへの市場参入において 重要なポイント (ケニアKOLの声)

- いかに日本の存在感を出し、ケニア市場で製品・サービスを露出させるかが重要である。ケニア政府と協業し、研究開発に取組み現場に根付いていくことで、ケニア市場での認知が広がり、信用の確立などにも繋がる
- ケニアへの参入に際してはいかにローカルのサポートやデータを活用し、ケニア市場にどのように流通させていくか検討が必要である
- 日本とケニアの違いを踏まえ、製品・サービスを「ケニア化」し、日本のシステムのケニアでの標準化を期待している
- 機械トラブルの際には短期間で修復が求められるため、サポートシステムをケニア国内で作ると良いだろう。研究開発やデータもローカルに見合ったものにすべきであり、ローカルデータを集めるべきである
- ケニアが入手できる価格で、どのような形で供給が可能であるか、今後話し合いが必要である
- 将来的にはエンジニア育成などが実現できれば、現地製造が可能になり、日本製品のアフリカ市場への流通が可能となるだろう
- ケニアで機器を製造する際に機械やエンジニアリングへの理解促進、トレーニングなどが必要である

第3章 ヘルスケア国際展開ウェブサイトの更新

- 3-1. ウェブサイト関連業務の全体像
- 3-2. カントリーレポートの更新
- 3-3. ウェブサイトの改修

ウェブサイト関連業務としては、カンントリーレポートにかかる作業とヘルスケア国際展開ウェブサイトの改修の2種類を実施した

3-1-1. ウェブサイト関連業務の全体像

ウェブサイト 関連業務の 全体像

既存カンントリーレポートの情報更新



昨年度までに作成・更新した17か国分既存カンントリーレポートの各項目の情報を更新

重点国新規項目調査



重点国と追加調査項目を選定したうえで対象項目に対する新規調査を実施

新規国レポートの作成



対象国を選定したうえで、2か国分の新規レポートを作成

ヘルスケア国際展開ウェブサイトの改修



医療国際展開に資する情報・資料掲載、その他利便性の向上を目的として、ウェブサイトの改修を実施

カンントリーレポート作成イメージ



既存カンントリーレポート一覧

国際展開情報

国別アップデート状況、詳細ページから確認いただけます。

インド	インドネシア	カンボジア	ケニア
サウジアラビア	シンガポール	タイ	中国
トルコ	ブラジル	インドネシア	ブラジル
ベトナム	マレーシア	南アフリカ共和国	カンボジア
メキシコ	ロシア	韓国	

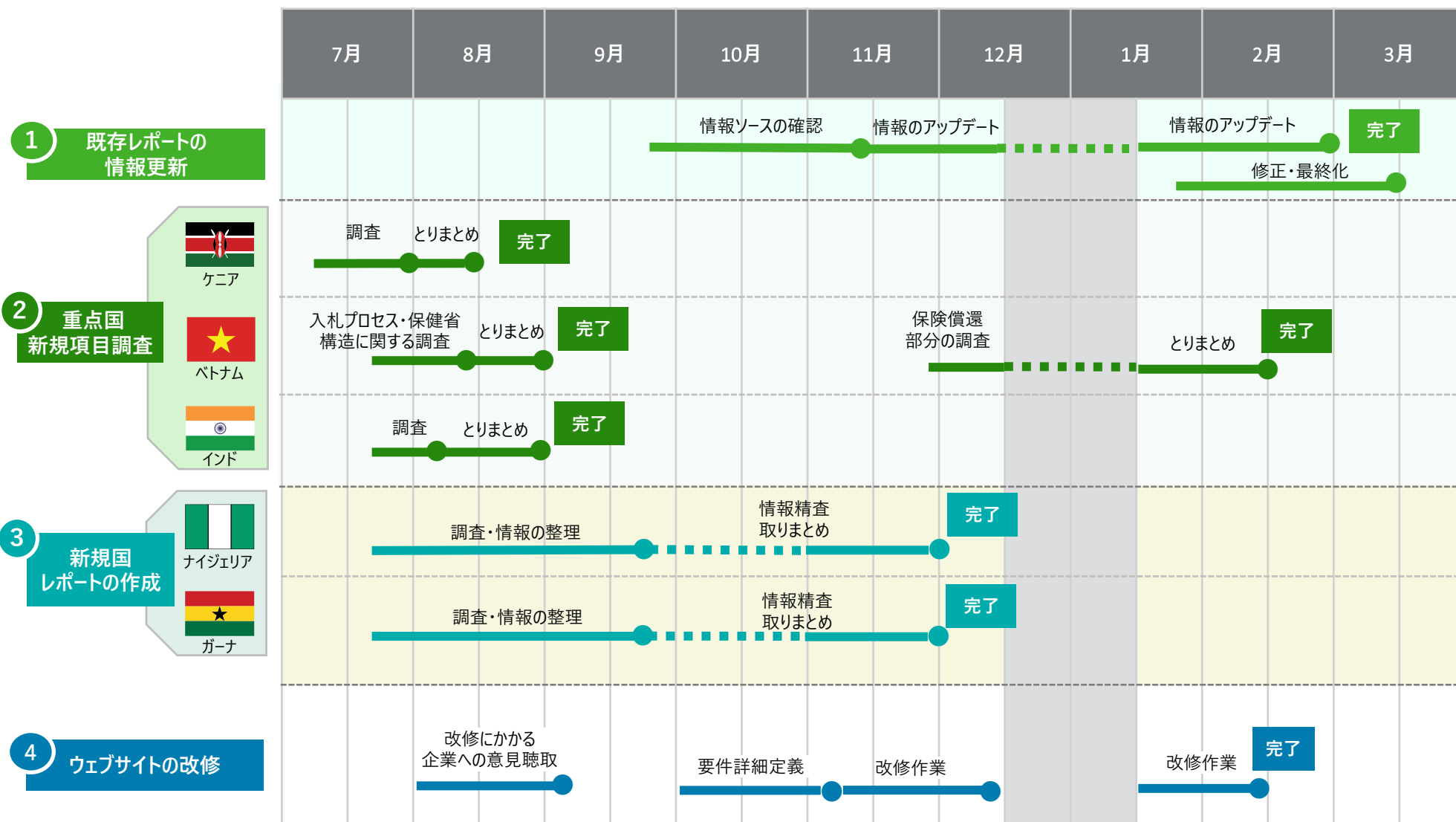
※昨年度分までを表示

ウェブサイトイメージ



ウェブサイト関連業務については、2023年7月から2024年3月中旬にかけて実施した

3-1-2. ウェブサイト関連実施スケジュール

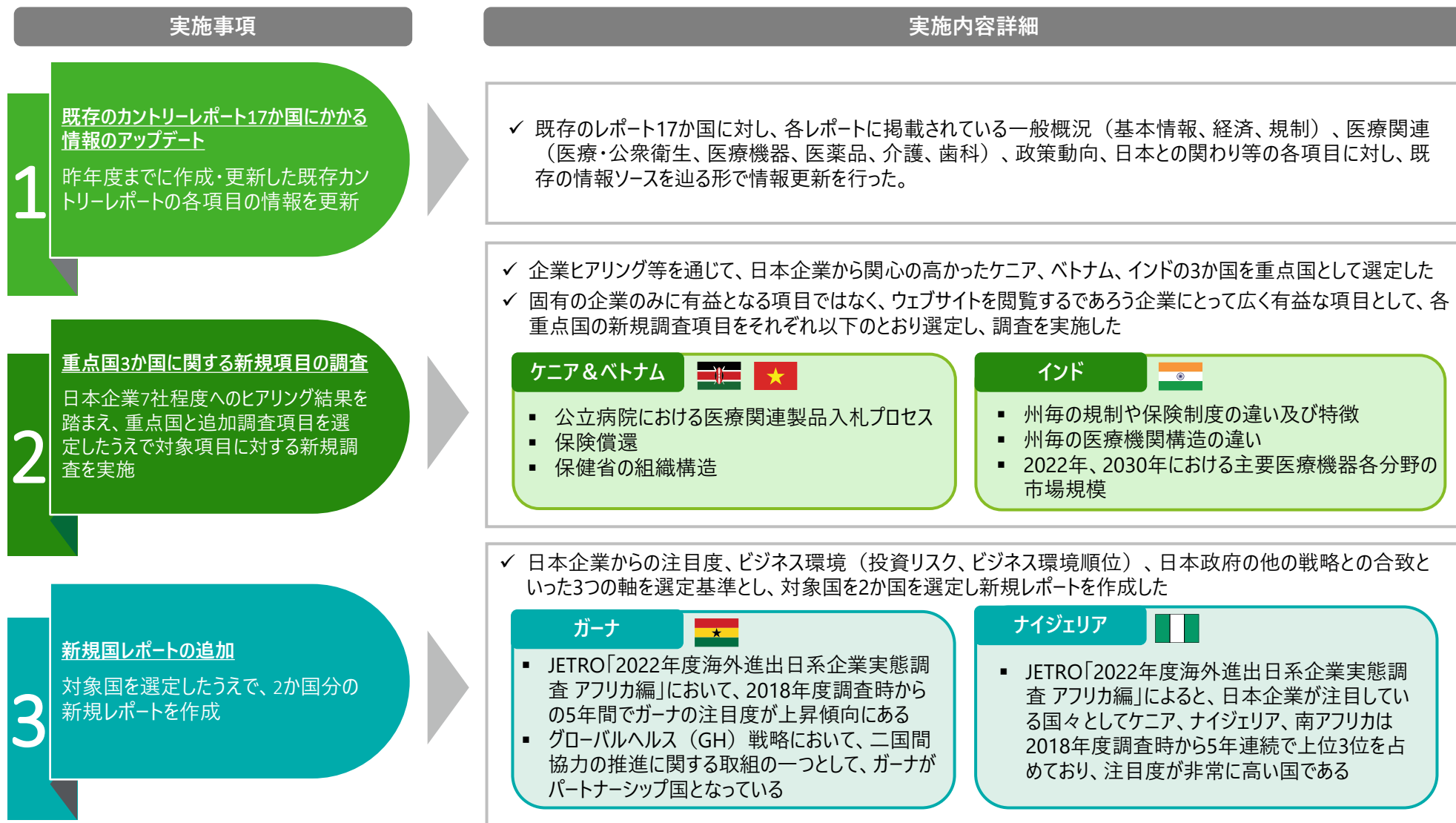


第3章 ヘルスケア国際展開ウェブサイトの更新

- 3-1. ウェブサイト関連業務の全体像
- 3-2. カントリーレポートの更新
- 3-3. ウェブサイトの改修

カントリーレポートについては、既存のカントリーレポート17か国の更新、重点国3か国に対する新規項目の調査、2か国の新規レポートの作成を実施した

3-2-1. カントリーレポートの作業全体像と実施内容



第3章 ヘルスケア国際展開ウェブサイトの更新

- 3-1. ウェブサイト関連業務の全体像
- 3-2. カントリーレポートの更新
- 3-3. ウェブサイトの改修

認知度向上、医療国際展開に資する情報・資料掲載、その他利便性の向上を目的として、Webサイトの改修を実施した

3-3-1. ウェブサイトの改修にかかる実施内容

2022年度に、認知度向上、医療国際展開に資する情報・資料掲載、その他利便性の向上を目的として、以下10項目のWebサイト改修内容が検討された。2023年度ではこれらの中から4項目を実施した。

No.	アイデア名	詳細	必要性	
1	検索条件の全クリアボタンの設置	■ 検索条件のクリアボタンが「知りたい情報から選ぶ」「エリアから選ぶ」等の区分ごとに設定されており、全区分の条件を一気にクリアすることが出来ないため、全クリアを可能にする	高	23年度 実施済み
2	カテゴリから検索する際の選択済み条件の可視化	■ カテゴリから検索する際の選択済み条件、加えてフリーワード検索のフィルターが適用されている際はその条件の可視化 ■ いずれかのカテゴリのチェック項目を表示した状態で検索ボタンを押すと、検索結果ページですべての選択項目が表示されてしまうのを防ぐ	高	
3	検索結果からもとの報告書へのアクセスの欠如	■ 検索結果から元の報告書へのリンクが表示できるようにする	高	
4	サイトの検索上位化	■ SEO対策を実施、現状のサイトのSEOを把握したうえでHTMLの最低化やコンテンツ改善を行う	高	
5	検索タグの追加・粒度感の変更	■ 疾病で検索する際には「循環器」等の分類ではなく病名で検索できるようにする ■ 「価格情報」等、頻繁に使われるタグを追加し、検索できるようにする	中	24年度 検討対象
6	サイトトップにイントロダクション欄を追加	■ サイトトップに、どのようなサイトで、どのような使い方が可能かを紹介するイントロダクション欄を設ける	中	
7	サイトトップに「新着情報」欄の作成	■ トップページ上部に「新着情報」コーナーなどを設け、新たに追加されるコンテンツをもっと見てもらえるようにする（ただし、継続的な内容の更新が必要となる）	中	
8	アクセス解析機能の追加	■ サーバの容量を追加し、アクセス解析ができるツールを導入	中	
9	スピード改善	■ サーバのスペックアップを実装 ■ 検索を行うと、プレビュー画面ではなくPDFのリンクが表示されるようにする	中	24年度 検討対象
10	キーワード検索時、検索方法によるばらつきへの削減	■ アルゴリズムの見直しによりスペースの取り方などで検索結果に差が出ないようにする	低	

第4章 薬事レポートおよび専門家相談業務

4-1. 業務の概要

4-2. 専門家相談業務

4-3. ビジネスマッチングイベント

JETROは海外の薬事規制、マーケティング戦略に精通した専門家を活用して各種コンサルティングや情報提供などの支援事業を実施した

4-1-1. 薬事レポートの更新及び相談業務の概要

専門家概要

1 クアルテック・ジャパン・コンサルティング株式会社

アジア諸国の規制当局への医療機器製品登録、現地法定代理人サービスを提供。中国、台湾では臨床試験のCRO（Contract Research Organization：開発業務受託機関）として日本、欧米の医療機器メーカーの海外展開をサポートする。

2 mk DUO合同会社

国内外法規制に関するコンサルティングを行う。多様な顧客ニーズに応えるテ일러メイドのサービスに定評がある。

3 i Access Consulting合同会社

アジア・米国等への輸出に伴うNMPA（National Medical Products Administration：中国国家薬品监督管理局）・FDA申請全般に関する相談対応、臨床試験、医療機器の販路開拓に関するコンサルティングサービスを幅広く提供している。

実施概要

1 海外薬事規制レポート更新（米国、欧州、中国、ASEAN各国）

2 コンサルティング（面談やメールによる相談対応）

※次頁以降にてコンサルティング内容を記載

- 実施機関： 2023年6月20日～2024年2月2日
- 相談企業数： 72社
- 対応形式： WEB面談90件、メール回答30件

第4章 薬事レポートおよび専門家相談業務

4-1. 業務の概要

4-2. 専門家相談業務

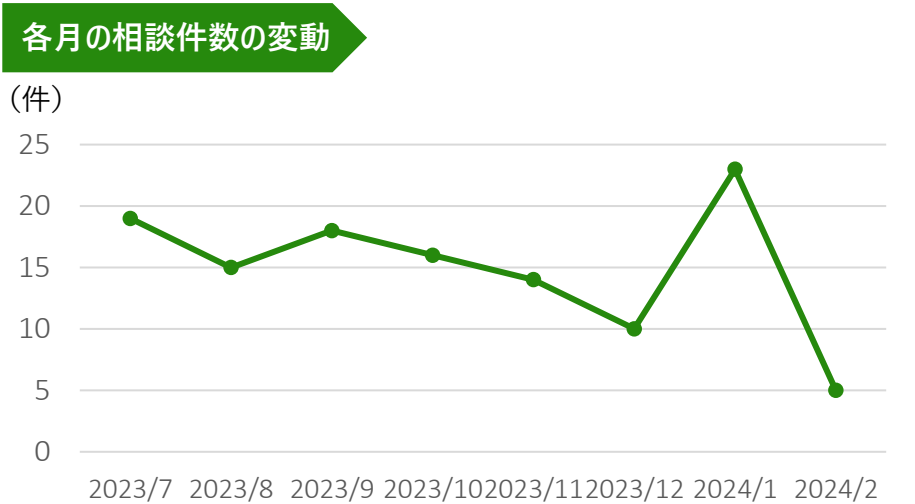
4-3. ビジネスマッチングイベント

専門家相談業務で受けた相談は米国に次いで東南アジア（タイ、ベトナム、インドネシア）、欧州が輸出検討先として多く、現地薬事に関連する内容の相談が最多であった

4-2-1. 専門家相談業務の傾向

輸出検討先の傾向			
輸出検討先	件数	輸出検討先	件数
米国	51	韓国	2
タイ	11	英国	2
ベトナム	10	ベルギー	2
インドネシア	10	オーストラリア	2
欧州	10	パキスタン	1
インド	9	モンゴル	1
中国	8	アルゼンチン	1
マレーシア	7	リビア	1
シンガポール	7	ウクライナ	1
UAE	5	台湾	1
ドイツ	5	バングラデシュ	1
フィリピン	5	スペイン	1
ブラジル	3	ASEAN	1

相談内容	
相談内容	件数
現地薬事関連（規制対応、薬事法関連、認証、申請等）	77
マーケティング関連（販売体制、上市、商流、競合等）	18
現地市場調査関連	13
その他輸出に関する相談	10
技術移転	2



第4章 薬事レポートおよび専門家相談業務

- 4-1. 業務の概要
- 4-2. 専門家相談業務
- 4-3. ビジネスマッチングイベント

中国にて、日本の介護サービス、福祉用具分野のアウトバンドの促進を目的としたビジネスマッチングイベントを計3事業実施した

4-3-1. ビジネスマッチングイベント

	事業名	開催都市	開催日	日本企業	中国企業	商談件数	成約件数	成約金額(円)
1	日中高齢者産業交流会 (江蘇省)	南京市	2023年9月21日～ 9月23日	32	-	486	160	396,350,793
2	日中高齢者産業交流 (青島市・濰坊市)	青島市	2023年10月19日	13	49	112	39	203,190,576
		濰坊市	2023年10月20日	12	36	55	25	14,465,568
3	日中高齢者産業交流会 (広東省)	広州市	2023年11月17日 11月～19日	20	-	714	157	248,318,740

※各交流会の詳細は次頁以降に記載

中国にて、日本の介護サービス、福祉用具分野のアウトバンドの促進を目的としたビジネスマッチングイベントを開催した

4-3-2. ビジネスマッチングイベント ①日中高齢者産業交流会（江蘇省）

《開催概要》

日時

2023年9月21（木）～23日（土）

形式

2023江蘇国際養老服務博覧会ジャパンパビリオン

主催

- 日本貿易振興機構
- 江蘇省民政庁
- 中国国際貿易促進委員会江蘇省分会
- 江蘇省工業和信息化庁
- 江蘇省市場監督管理局
- 江蘇省障害者連合会

参加企業

日本企業 32社（右記リスト企業）

商談成果

- 商談件数： 486件
- 成約件数： 5件
- 成約金額： 27,030,768円
- 成約見込件数： 155件
- 成約見込金額： 369,320,025円
- 役立ち度（4段階評価中上位2項目）：100%

#	企業名	出品内容
1	トヨタ車体株式会社	サイドリフトアップシート
2	財団法人福岡県中小企業振興センター	介護サービス
3	アサヒシューズ株式会社	高齢者用シューズ
4	三和株式会社	アルカリイオン整水機
5	株式会社PLATZ	介護用ベッド
6	株式会社ヘルスケアシステムズ	腸内環境検査サービス
7	ガードナー株式会社	ガードナーベルト
8	金橋貿易株式会社	情報解析システム、自動入浴機他
9	エコパラダイス株式会社	Ecoparadise Solution製品
10	オカザキ・UD Planning株式会社	ユニバーサルデザイン提案
11	オーウイル株式会社	ドライシャンプー他
12	オージー技研株式会社	ウォーターベッド型マッサージ器
13	株式会社カワムラサイクル	多機能型車いす他
14	株式会社GrandA	高齢者用おむつ、体拭き
15	フランスベッド株式会社	電動介護ベッド他
16	興和製薬株式会社	サポーター
17	サラヤ株式会社	ドライシャンプー、消毒剤、洗浄剤
18	タカノ株式会社	車椅子クッション
19	株式会社スブランドゥール	機能性インナー
20	株式会社創心會	介護施設のコンサルティング他
21	株式会社TAKARA堂	吸水消臭ショーツ
22	株式会社滝つばめ	介護用の繊維製品
23	ダイヤ工業株式会社	サポーター、テーピング他
24	日本シグマックス株式会社	腰サポーター
25	日本製紙クレシア株式会社	大人用おむつ
26	有限会社バイン・コーン	介護のトレーニング、人材教育
27	パラマウントベッド株式会社	電動介護ベッド
28	ふれあい総研株式会社	リハビリ機器、高齢者介護用品
29	株式会社ホーマイオン研究所	低周波治療器
30	三貴ホールディングス株式会社	車いす、ポータブルトイレ他
31	メディカル・ケア・サービス株式会社	施設運営コンサル、人材教育
32	東海機器工業株式会社	車いす車輪洗浄機

中国にて、日本の介護サービス、福祉用具分野のアウトバンドの促進を目的としたビジネスマッチングイベントを開催した

4-3-3. ビジネスマッチングイベント ②日中高齢者産業交流（青島市・潍坊市）

《開催概要》

日時	
2023年10月19日（木）・20日（金）	
主催	
■ 日本貿易振興機構 ■ 中国国際貿易促進委員会山東省委員会	
参加企業	
■ 青島市: 日本側13社/中国側49社 ■ 潍坊市: 日本側12社/中国側36社	
商談成果	
青島市	■ 商談件数： 112件
	■ 成約件数： 5件
	■ 成約金額： 2,076,000円
	■ 成約見込件数： 34件
	■ 成約見込金額： 201,114,576円
潍坊市	■ 役立ち度（4段階評価中上位2項目）： 100%
	■ 商談件数： 55件
	■ 成約件数： 2件
	■ 成約金額： 830,400円
	■ 成約見込件数： 23件
潍坊市	■ 成約見込金額： 13,635,168円
	■ 役立ち度（4段階評価中上位2項目）： 100%

#	企業名	出品内容
1	アサヒシューズ株式会社	高齢者用靴
2	パラマウントベッド株式会社	介護用ベッド
3	フランスベッド株式会社	介護用ベッド、マッサージ機他
4	株式会社カワムラサイクル	車椅子
5	株式会社創心会	介護施設コンサルティング、人材育成
6	板橋貿易株式会社	サプリメント（栄養機能食品）
7	日本製紙クレシア株式会社	成人紙おむつ
8	東海機器工業株式会社	福祉機械の製造及び販売
9	あさひ恵ヘルスケア株式会社	介護サービス
10	蔚藍集団産業株式会社	介護サービス
11	株式会社ヤマシタ	福祉用具レンタル・販売
12	旭松食品株式会社	介護食(カットグルメ)等の製造販売
13	ロングライフホールディング株式会社	委託の訪問介護事業

中国にて、日本の介護サービス、福祉用具分野のアウトバンドの促進を目的としたビジネスマッチングイベントを開催した

4-3-4. ビジネスマッチングイベント ③日中高齢者産業交流（広東省）

《開催概要》

日時

2023年11月17日（金）・19日（日）

形式

2023中国国際シルバー産業博覧会ジャパンパビリオン

主催

■ 日本貿易振興機構

■ 中国老齡産業協会

■ 中国保利集团公司

■ 広東省老齡委員会

参加企業

日本企業 20社（右記リスト企業）

商談成果

■ 商談件数：714件

■ 成約件数：34件

■ 成約金額：5,349,219円

■ 成約見込件数：123件

■ 成約見込金額：242,969,521円

■ 役立ち度（4段階評価中上位2項目）：100%

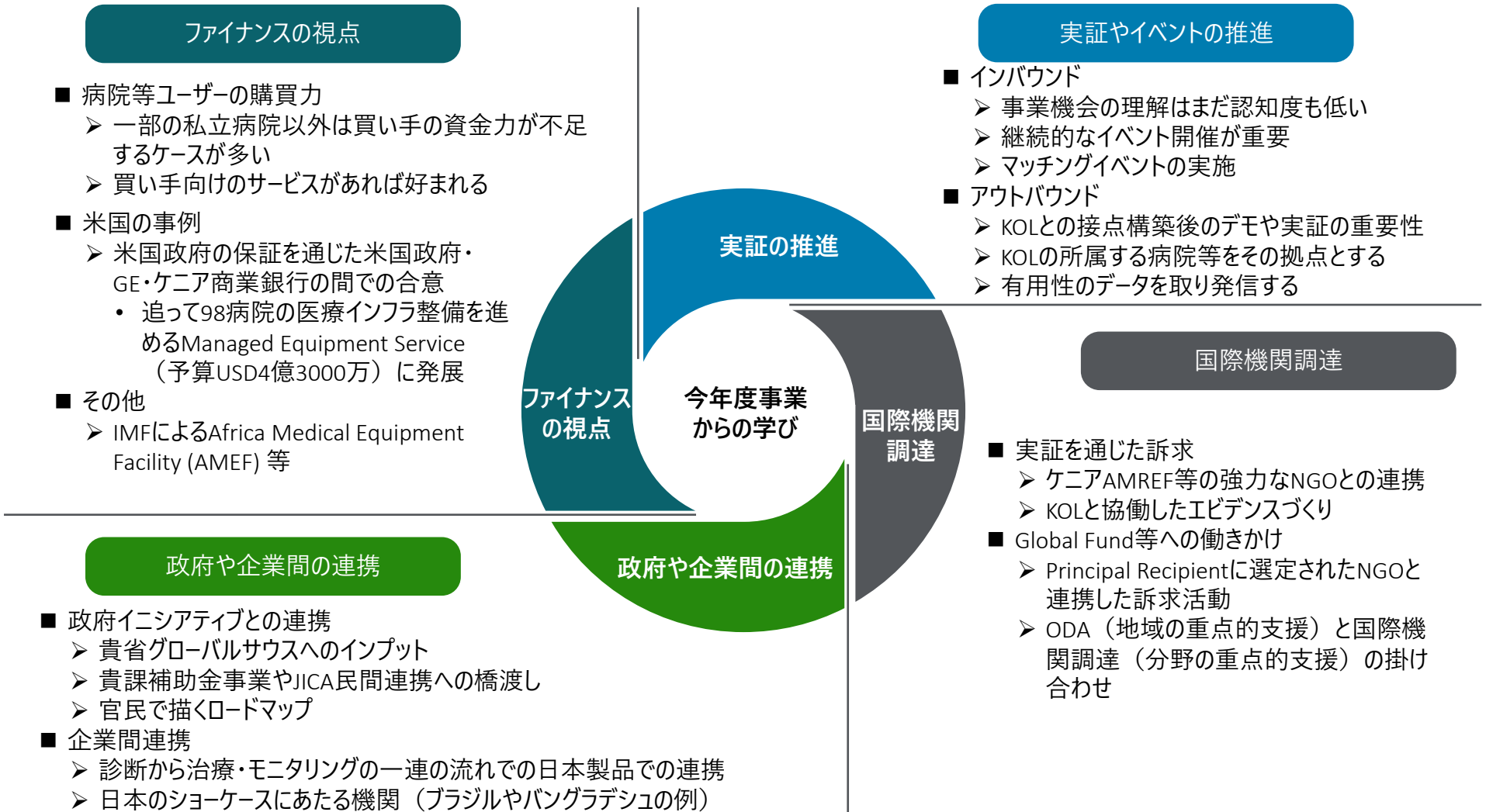
#	企業名	出品内容
1	アサヒシューズ株式会社	高齢者用靴
2	オーウィル株式会社	指サック型歯磨きシート
3	オージー技研株式会社	福祉用具（お風呂）
4	オカザキ・UD Planning 株式会社	施設設計
5	ベストスキップ株式会社	介護施設運営・コンサル
6	メディカル・ケア・サービス株式会社	介護施設運営・コンサル
7	株式会社カワムラサイクル	福祉用具（車椅子）
8	株式会社ホー・マー・イオン研究所	治療用機器（電気刺激）
9	株式会社創心會	介護施設運営・コンサル
10	株式会社滝つばめ	福祉用具（マット、介護服）
11	三貴ホールディングス株式会社	福祉用具（車椅子）
12	東海機器工業株式会社	福祉用具（消毒機器）
13	興和株式会社	消炎鎮痛絆創膏、膝パッド
14	蔚藍集団産業株式会社	高齢者用靴、食器
15	株式会社ヤマシタコーポレーション	福祉用具レンタル
16	有限会社アコード	認知症介護
17	株式会社グローカルアクション	福祉用具（車椅子、手すり）
18	東リ株式会社	床材
19	侘-architect株式会社	施設設計
20	牛尾電機株式会社	消臭機器

第5章 総括・提言

5-1. 本事業のまとめ

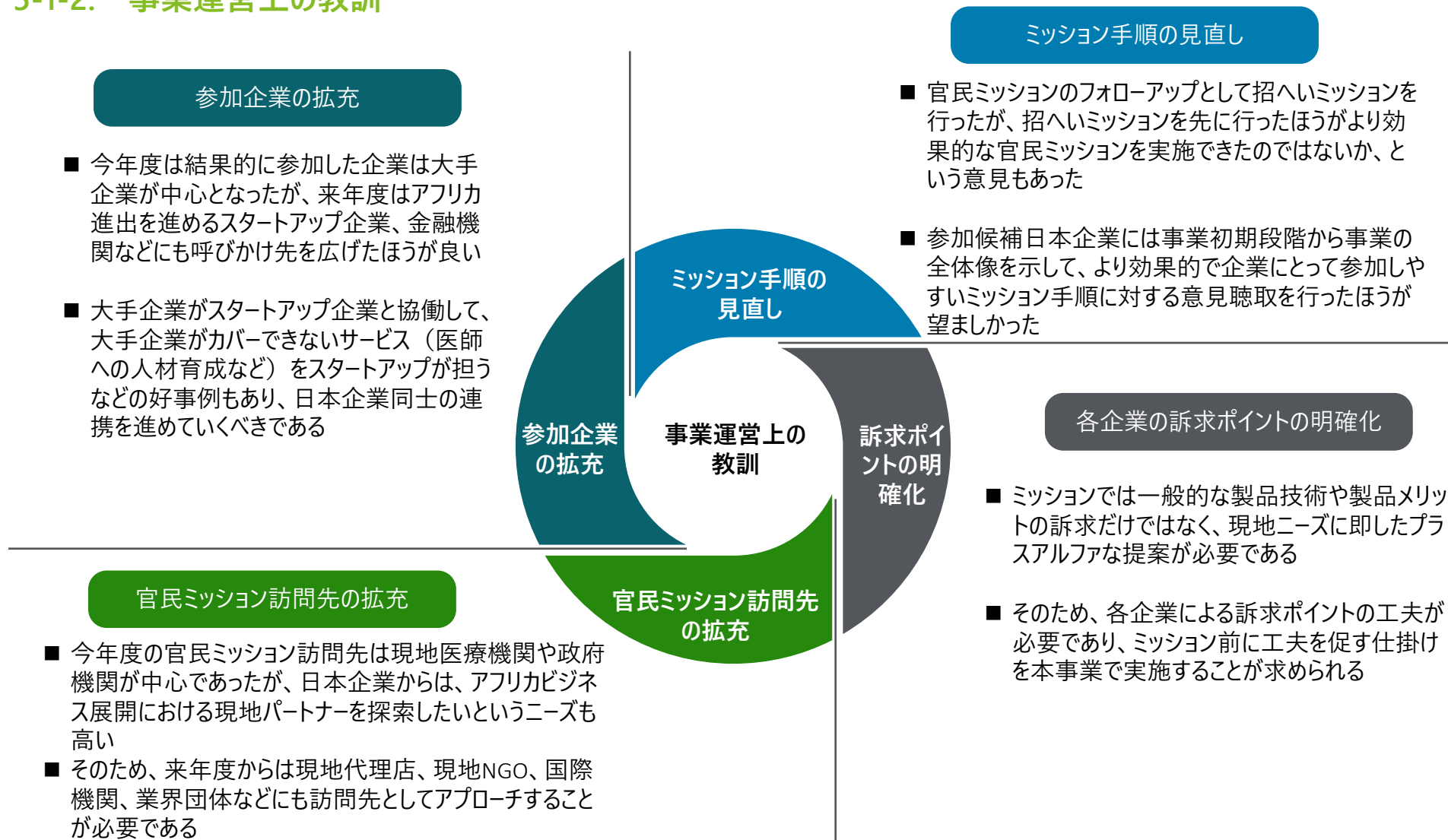
令和5年度事業での渡航や招聘時に関係者から、実証等の推進、ファイナンスの視点の追加、さらなる政府や企業間の連携と国際機関事業の受託について提起された

5-1-1. 今年度事業からの学び



令和5年度事業に参加した関係者の声や得られた成果た反省点を振り返り、以下のとおり事業運営上の教訓が得られた

5-1-2. 事業運営上の教訓



インバウンド

第6章 インバウンド支援策の概要

- 6-1. 令和5年度事業で実施した業務一覧
- 6-2. 令和5年度事業の業務実施体制
- 6-3. スケジュールと役割分担

令和5年度は海外調査で対象国を選定し、その対象国に対し、アンケート調査、情報発信などマーケティング・プロモーションを実施した

6-1. 令和5年度事業で実施した業務一覧

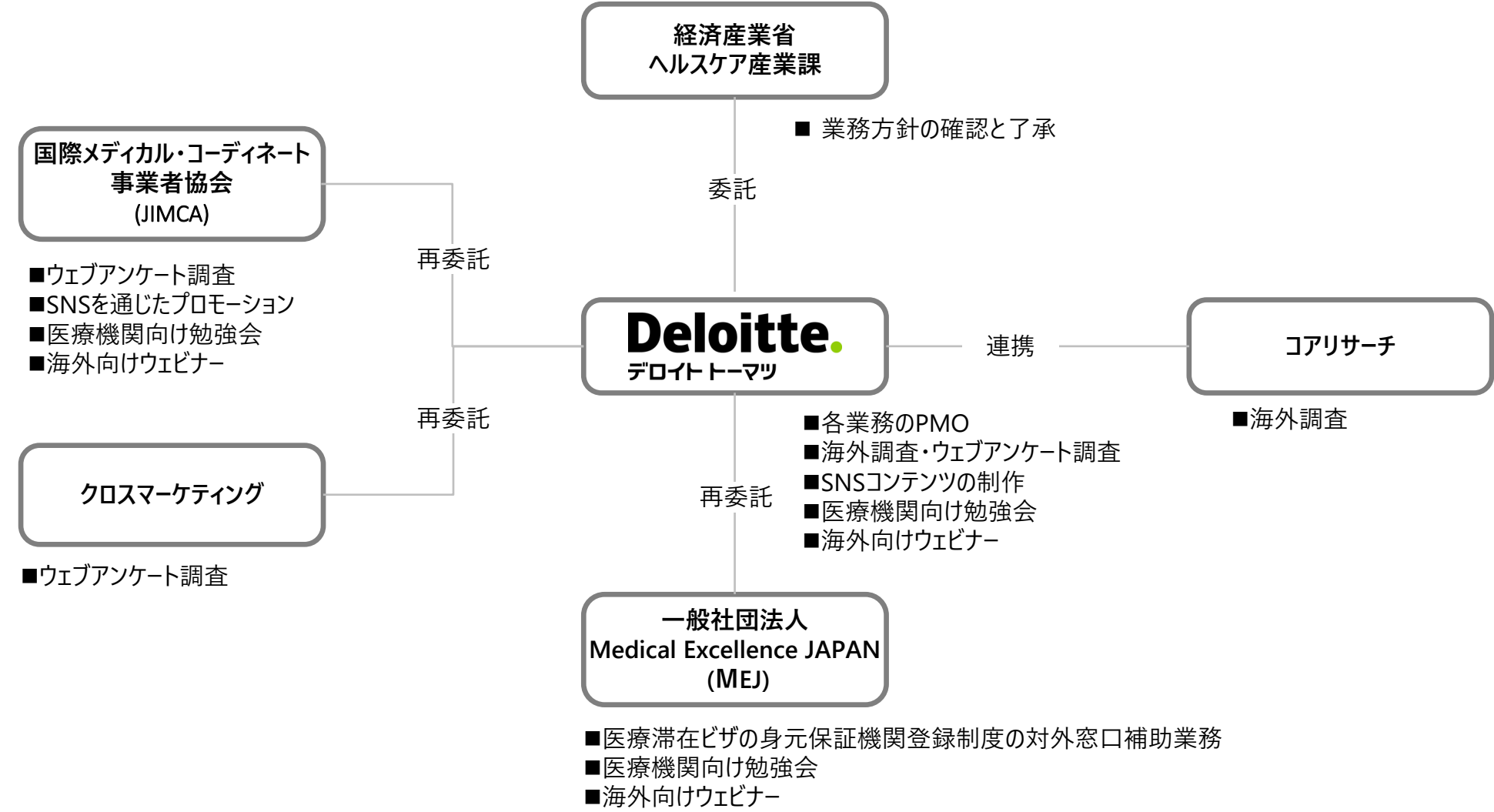
No.	業務	業務内容
医療渡航市場に係る基礎情報の把握		
1	海外調査	医療インバウンドの先進国の取組や、日本への医療インバウンドのターゲットとなる国々の基礎情報や医療インバウンドの取組について調査した
マーケティング・プロモーションの実施		
2	ターゲット国の選定	1の調査結果や日本への医療渡航受診者の動向に基づき、中国、ベトナム、インドネシアを本年度事業のターゲット国に選定した
3	マーケティング (ウェブアンケート調査)	医療渡航受診者のニーズや日本の受入れ体制に関する課題を把握し、今後の受入体制の整備やプロモーションに活用する目的で中国、ベトナム、インドネシアを対象にウェブアンケート調査を実施した
4	日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信	<ul style="list-style-type: none">• SNSを通じたプロモーションの実施• 海外向けウェビナーの開催• アーカイブ動画の配信
5	意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出	<ul style="list-style-type: none">• 医療機関向け勉強会の開催 日本国内の医療機関及び医療渡航支援企業を主な対象とし、国内の医療渡航の成功事例や医療機関が抱えている課題に対する解決策を紹介することで、医療インバウンドの普及促進を図った
6	医療滞在ビザの身元保証機関登録制度の対外窓口補助業務	MEJに再委託したため、MEJの報告書を参照

第6章 インバウンド支援策の概要

- 6-1. 令和5年度事業で実施した業務一覧
- 6-2. 令和5年度事業の業務実施体制
- 6-3. スケジュールと役割分担

本事業を推進するにあたり、ターゲット国である中国やアジア諸国の医療インバウンド事情やマーケティング・プロモーションに精通した組織と連携を図った

6-2. 令和5年度事業の業務実施体制



第6章 インバウンド支援策の概要

- 6-1. 令和5年度事業で実施した業務一覧
- 6-2. 令和5年度事業の業務実施体制
- 6-3. スケジュールと役割分担

医療渡航市場に係る海外調査結果に基づきターゲット国を選定し、対象国の人々に対しウェブアンケート調査を実施した。更にそれらの結果に基づき情報発信の施策を推進した

6-3. 年間スケジュールと役割分担

タスク	担当	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
医療渡航市場に係る基礎情報の把握																									
1. 海外調査																									
デスクトップ調査	トーマツ、コアリサーチ																								
マーケティング・プロモーションの実施																									
2. ターゲット国の選定																									
ターゲット国の選定	トーマツ																								
3. マーケティング(ウェブアンケート調査)																									
調査票の作成	トーマツ																								
調査の実施	クロスマーケティング、JIMCA												★												
結果分析	トーマツ																								
4. 日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信																									
(SNS)コンテンツの作成	トーマツ																								
(SNS)コンテンツの投稿	JIMCA																								
(SNS)データ分析	トーマツ																								
(海外向けウェビナー)開催準備・関係者との調整	JIMCA、MEJ、トーマツ																								
(海外向けウェビナー)ウェビナーの開催	JIMCA、MEJ、トーマツ																						★		
(海外向けウェビナー)開催後アンケートの取りまとめ	トーマツ																								
(アーカイブ動画)作成・配信	METI、トーマツ																								
5. 意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出																									
(勉強会)開催準備・関係者との調整	JIMCA、トーマツ																								
(勉強会)勉強会の開催	JIMCA、MEJ、トーマツ																		★		★		★		
(勉強会)開催後アンケートの取りまとめ	トーマツ																								

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

7-1. 海外調査

7-2. 中国

7-3. インドネシア

7-4. ベトナム

7-5. フィリピン

7-6. インド

7-7. バングラデシュ

7-8. ミャンマー

7-9. シンガポール

7-10. マレーシア

7-11. タイ

7-12. 保険会社との連携

アジア地域における医療インバウンド先進国や日本への医療インバウンド対象候補となり得る国々の経済水準や医療水準の比較を行った

7-1-1. アジア地域の諸外国の医療水準等の比較

- 医療渡航を希望するケース (仮説)
- 1. 医療に費用を掛ける余裕があるため、他国でより良い医療を受けたい(例：中国・インドネシア・ベトナム)
 - 2. 医療費自己負担割合が高く、自国の医療水準が低いため、他国で質の良い医療を受けたい(例：インド・バングラデシュ・ミャンマー)

	インバウンド先進国(例)			日本へのインバウンド対象候補国(案)						
	シンガポール	マレーシア	タイ	中国	インドネシア	ベトナム	フィリピン	インド	バングラデシュ	ミャンマー
人口(1,000人・2022年)	5,976	33,938	71,697	1,425,887	275,501	98,726	115,559	1,417,173	171,186	54,179
1人当たりGDP (USドル・2022年)	82,808	12,364	7,651	12,814	4,798	4,087	3,623	2,379	2,731	1,053
1人当たり保健医療支出 (USドル・2020年)	3,537	419	305	583	133	166	165	57	51	72
1人当たり医療費自己負担額(USドル・2020年)	671	150	32	203	42	66	74	29	37	56
医療費自己負担割合 (%・2020年)	19%	36%	11%	35%	32%	40%	45%	51%	74%	78%
平均寿命(歳・2021年)	83.4	74.9	78.7	78.2	67.6	73.6	69.3	67.2	72.4	65.7
5歳未満の乳幼児死亡率 1,000人当たり(人・2021年)	2.1	7.6	8.3	6.9	22.2	20.6	25.7	30.6	27.3	41.8
1,000人当たり医師(人)	2.46(2019)	2.29(2020)	0.95(2020)	2.23(2019)	0.62(2020)	0.83(2016)	0.77(2020)	0.74(2020)	0.67(2020)	0.74(2019)
1,000人当たり病床数(床)	2.49(2017)	1.88(2017)	2.10(2010)	4.31(2017)	1.04(2017)	2.60(2014)	0.99(2014)	0.53(2017)	0.79(2016)	1.04(2017)

出所： <https://worldpopulationreview.com/>、 <https://www.imf.org/external/datamapper/NGDPDPDC@WEO/OEMDC/ADVEC/WEOWORLD>、
<https://apps.who.int/nha/database/Select/Indicators/en>、 [https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/medical-doctors-\(per-10-000-population\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/medical-doctors-(per-10-000-population))、
<https://databank.worldbank.org/source/world-development-indicators>、 <https://data.worldbank.org/indicator/SH.XPD.OOPC.CH.ZS>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

7-1. 海外調査

7-2. 中国

7-3. インドネシア

7-4. ベトナム

7-5. フィリピン

7-6. インド

7-7. バングラデシュ

7-8. ミャンマー

7-9. シンガポール

7-10. マレーシア

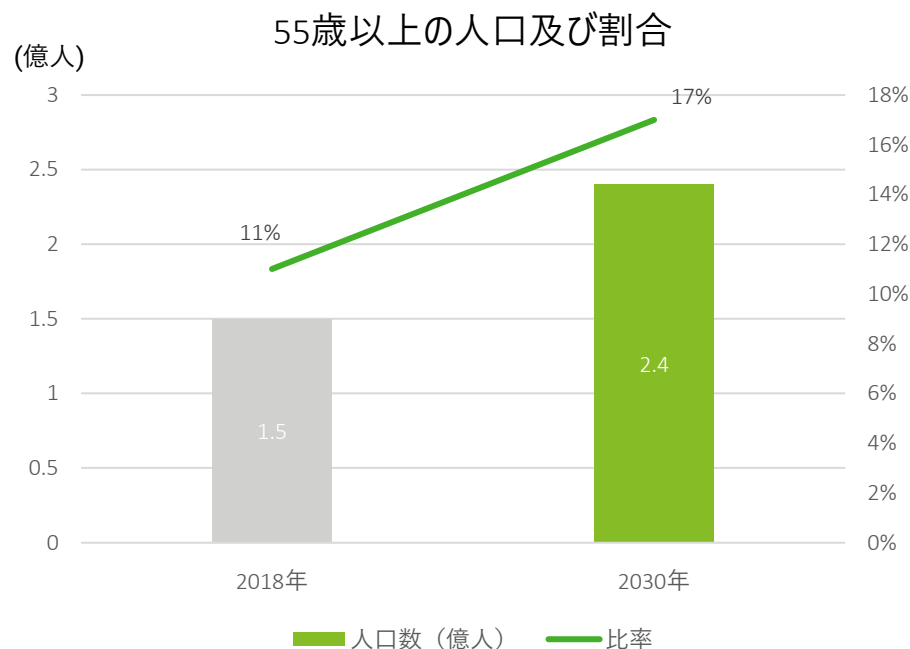
7-11. タイ

7-12. 保険会社との連携

中国では高齢化が進み、1人当たりの年間保健医療支出額が年々上昇していることから、医療需要の高まりが予測される

中国：高齢化の割合

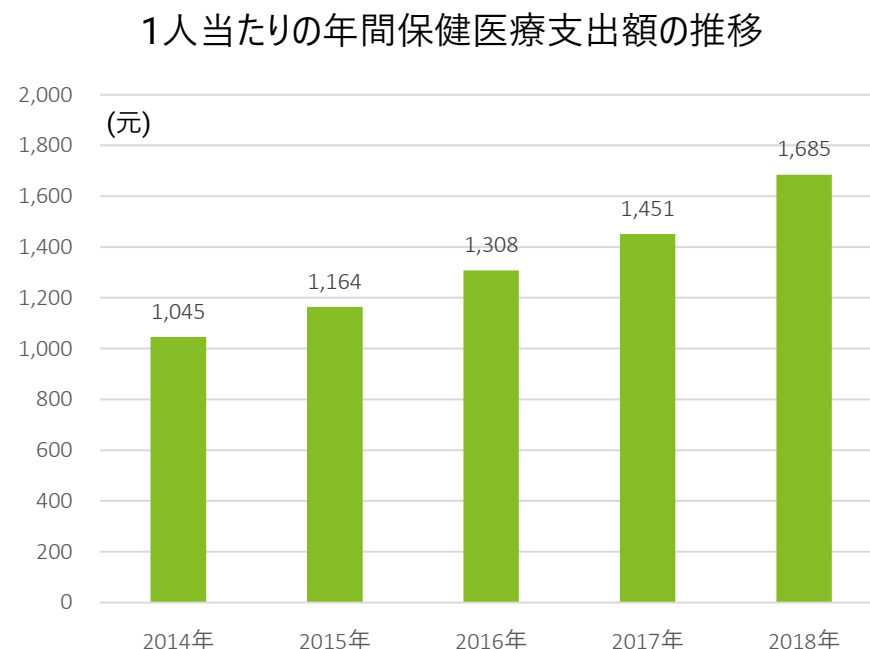
- 2018年時点では、55歳以上の人口は1.5億人で、全人口の11%を占めている。2030年には、55歳以上の人口は2.4億人、全人口に占める割合は17%に上ると予測される



中国：保健医療支出額の推移

- 中国の経済発展により、市民の健康意識と医療ニーズが高まっており、1人当たりの年間医療支出額が年々上昇している
- 1人当たりの年間保健医療支出額は2014年に1,045元(21,841円*)で、2018年に1,685元(35,217円*)に達した

*1元 = 20.9円, 2024.03.28時点

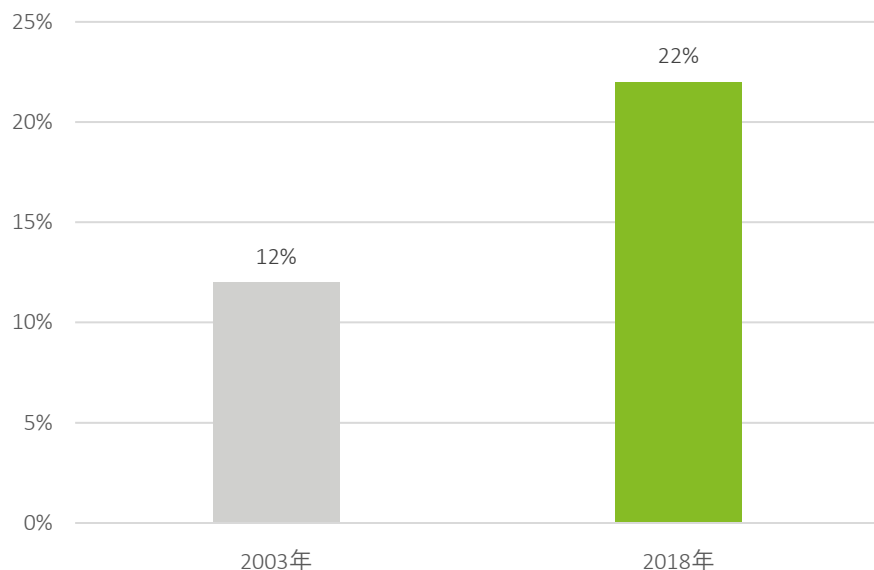


中国では慢性疾患に罹患している人が増加している。また、がんの5年生存率は40%で日本の半分以下である

中国：慢性疾患の罹患率

- 2003年に全人口の中で、慢性疾患の罹患率は12%だったが、2018年には22%に上昇し、ほぼ倍となっている

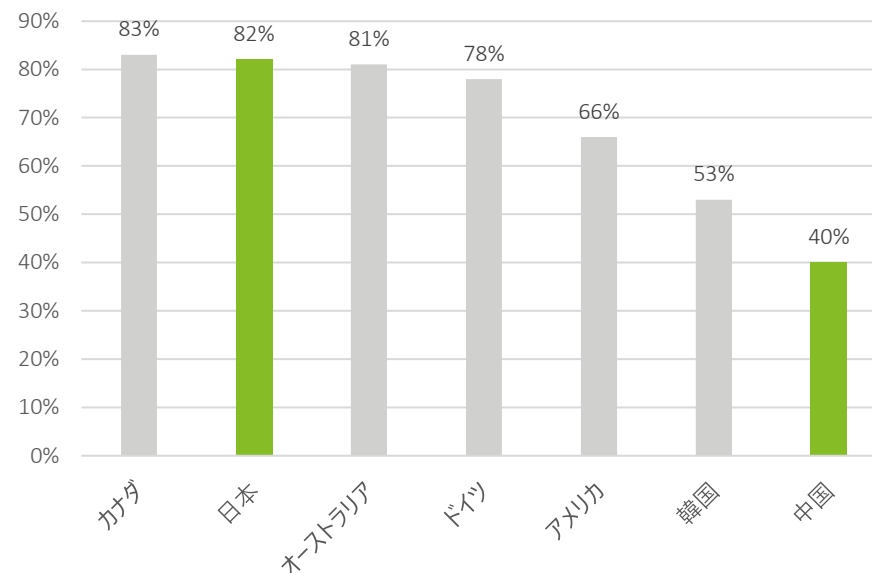
慢性疾患の罹患率



中国：がんの5年生存率

- がんの5年生存率について、最も高かったのはカナダで、83%に達している。次いでは日本であり、82%となっている
- 中国のがんの5年生存率は40%で日本の半分以下である

がんの5年生存率(2018年)



中国では国内や海外へ、医療と観光を組合せた医療旅行をする人が増えており、市場規模が年々拡大している。医療旅行の目的は重症治療が占める割合が最も多かった

中国：医療旅行の市場概況

- 中国では医療資源が都市部に偏っているため、高度な医療サービスを受けるために中国国内都市部若しくは海外に行く人がある
- 中国の医療旅行の市場規模は年々高まっていることから、医療旅行の需要が高まっていることが推測される
- 2018年の中国の医療旅行の市場規模は1,186億元(24,787億円*)に達した

*1元 = 20.9円, 2024.03.28時点

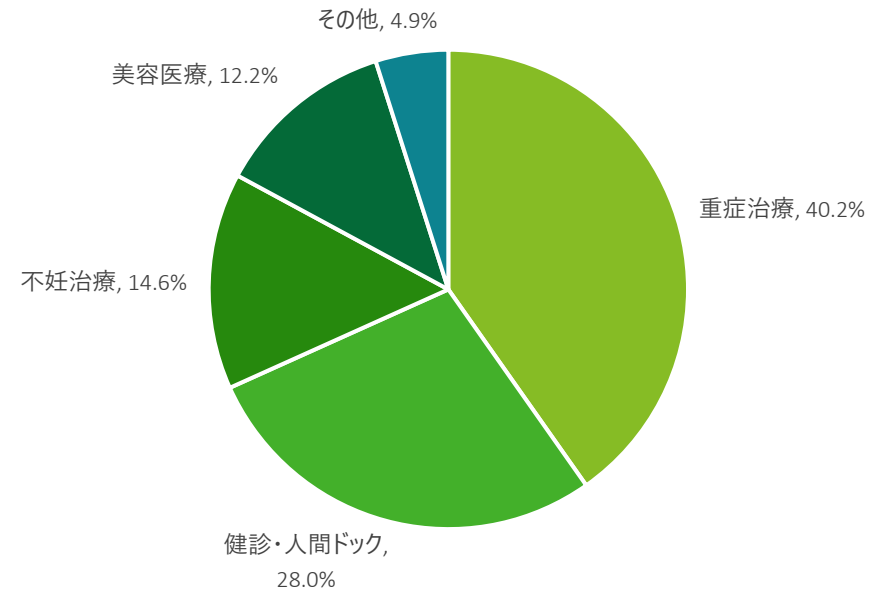
医療旅行の市場規模の推移



中国：医療旅行の目的

- 医療旅行の目的として最も多かったのは重い病気の治療で、全体の40.2%を占めている
- 次いで多かったのは健診・人間ドックで、全体の28.0%を占めている

医療旅行の目的の内訳(2017年)



中国は国内の医療旅行を推進する政策を多く発表し、4つの国家医療旅行パイロット地域及び3つの主要国家健康産業開発区を指定した

中国：国内の医療旅行推進政策

医療旅行：国内や海外での医療と観光を組合せた旅行

発表日	政策	主な内容
2009年12月	「観光産業の発展に関する意見」	地域の医療旅行の開発を支援する
2010年11月	「医療機関設立に向けた社会資本の増加に関する意見」	海外に対する市場の開放を拡大し、外資による医療機関の設置を可能にする
2013年9月	「健康サービス産業の振興に関する諸意見」	地域の国内外での医療旅行の開発を奨励する
2016年7月	「全国漢方医療旅行実証地域(拠点・事業)の設置に関するお知らせ」	3年以内に10の医療旅行実証地域、100の実証基地を建設し、1,000の実証項目を実施する
2016年10月	「健康中国2030」企画概要	医療と観光の統合を促進し、業界標準を策定し、国際的に競争力のある地域を作る
2017年4月	「医療旅行の発展を促進するための指導及び意見」	医療旅行の供給能力を向上させ、市場を開拓し、政策環境を最適化する
2017年9月	「医療旅行の実証基地建設のお知らせ」	13ユニットの医療旅行実証基地の建設を承認し、直接的な試行のための方針と措置を明確にした
2019年1月	「海南省健康医療旅行実施計画」	10年以内に海南を国際的な医療旅行の目的地及び観光客の供給源にし、医療旅行の総収入の目標を400億元とする
2019年9月	「博鳌樂城国際医療観光試験区建設支援実施計画」	国際基準に合わせ、国際医療と高水準の医療サービスの発展を促進し、海南国際観光消費センターの建設のための重要な支援プラットフォームを作成する

4つの国家医療旅行パイロット地域

- 海南博鳌樂城国際医療旅行試験区
- 江蘇省常州国際医療旅行試験区
- 江西上饒国際医療旅行試験区
- 山東青島国際医療旅行試験区



3つの主要国家健康産業開発区

- 海南博鳌樂城国際医療旅行試験区
- 秦皇島北戴河生命健康産業創新模範区
- 昆明健康産業模範区

出所：http://www.199it.com/archives/1266396.html

中国国内のオンライン旅行会社は海外医療機関及び投資会社と提携し、健診・人間ドック、療養からより専門的な治療まで、幅広い医療旅行を提供している

【参考】医療旅行企業(例)

- ・ オンライン旅行会社は海外医療機関、又は投資会社と提携し、健診・人間ドック、温泉療養、睡眠改善など軽度な医療旅行を提供している
- ・ 近年、海外の医療技術の発展及び国内の医療需要の高まりにより、軽度な医療にとどまらず、より専門的な医療を提供するサービスも台頭してきた

年	凱撒旅游(凱撒オンライン旅行会社)
2013	医療旅行プランを展開し、日本、韓国、シンガポールへの健診・人間ドックなどの海外医療旅行サービスを取り扱っている
2017	バーレーン政府と中国国内の投資会社と提携し、バーレーンへの健診、リハビリ、美容医療等の医療旅行を展開した
2019	投資会社と提携し、今後、中国国内の医療旅行を展開する予定

——凱撒オンライン旅行会社の公式サイト——



年	携程旅游(携程オンライン旅行会社)
2013	医療旅行プランを展開し、日本、ヨーロッパ、アメリカへの健診・人間ドックなどの海外医療旅行サービスを取り扱っている
2016	アメリカの医療コンサル会社に投資し、体外受精などの不妊治療を提供する医療旅行を展開した
2017	アメリカの旅行会社と提携し、卵子凍結などの不妊治療を提供する医療旅行を展開した

——携程オンライン旅行会社の公式サイト——

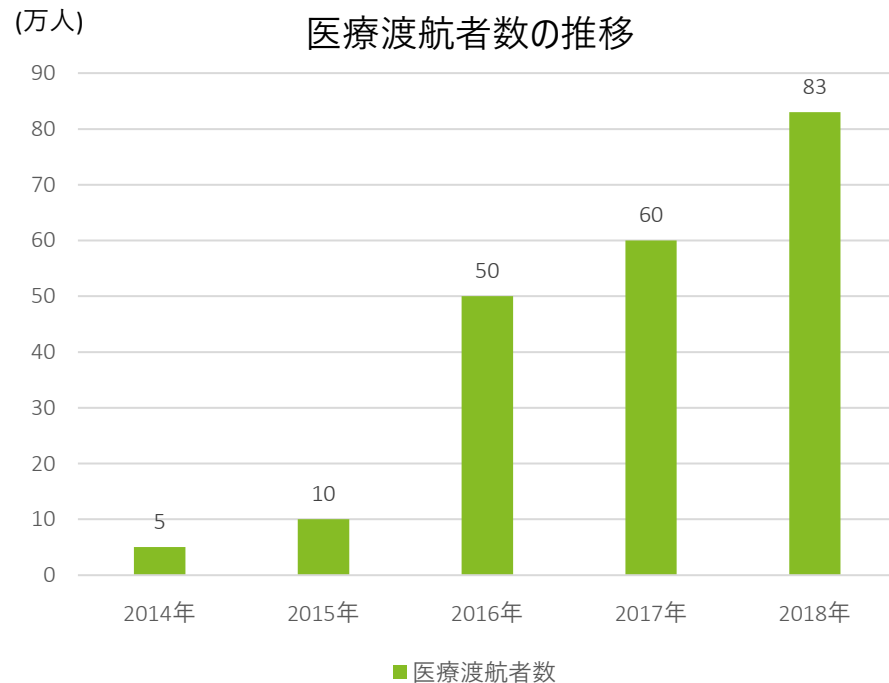


出所：http://www.199it.com/archives/1266396.html,https://www.caissa.com.cn/,https://www.ctrip.com/

中国では海外の医療を求めて渡航をする人も年々増加しているが、帰国後の体調管理、通訳及び介護者の手配、カルテの翻訳が医療渡航時の懸念事項として挙げられている

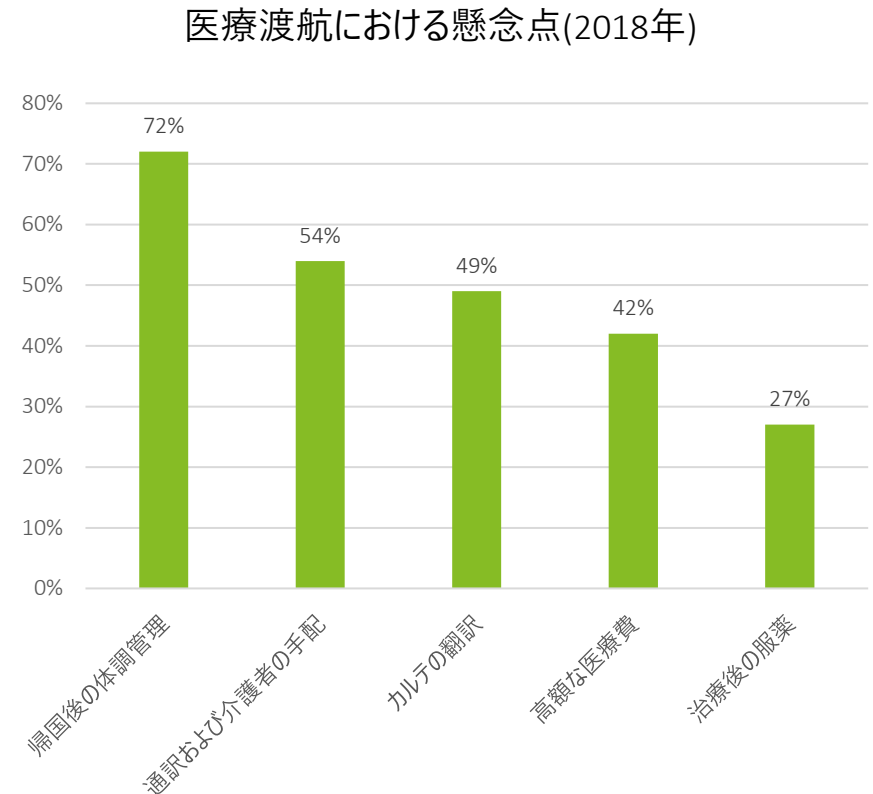
中国：医療渡航者数の推移

- 医療渡航の需要が年々高まっており、2018年の医療渡航者数は83万人に達した



中国：医療渡航における懸念点

- 医療渡航における懸念点として、対象者の7割以上の人々が帰国後の体調管理を選択した。そのほか通訳と介護者の手配、カルテの翻訳についても約半数の人が懸念している

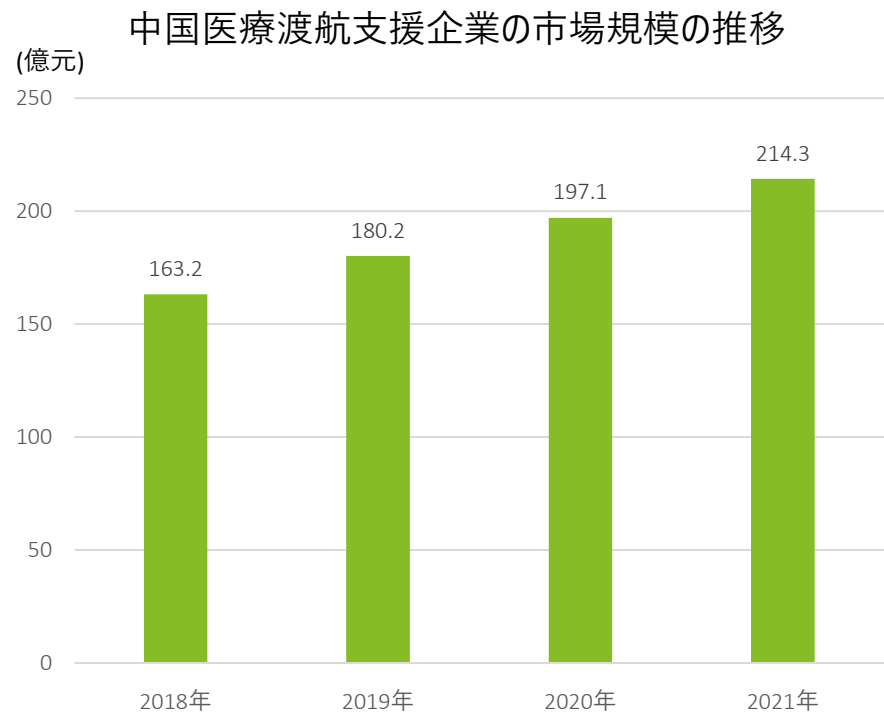


中国の医療渡航支援企業の市場規模は年々拡大している。また、2016年に医療渡航先として最も多かったのは日本であった

中国：医療渡航支援企業の市場規模

- 中国の医療渡航支援企業の市場規模は拡大しており、2021年に214.3億元(4,478.87億円*)に達した

*1元 = 20.9円, 2024.03.28時点



中国：医療渡航先ランキング

- 2016年において、医療渡航先として最も多く選択されたのは日本であり、次いで韓国、アメリカ、台湾であった

医療渡航先ランキング(2016年)

順位	国
1	日本
2	韓国
3	アメリカ
4	台湾
5	ドイツ
6	シンガポール
7	マレーシア
8	スイス
9	タイ
10	インド

出所： <https://baijiahao.baidu.com/s?id=1762223972676900537&wfr=spider&for=pc>,
<http://www.ctaweb.org.cn/cta/mtjj/202103/16a5f57011a543e98177676320af4f2a.shtml>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

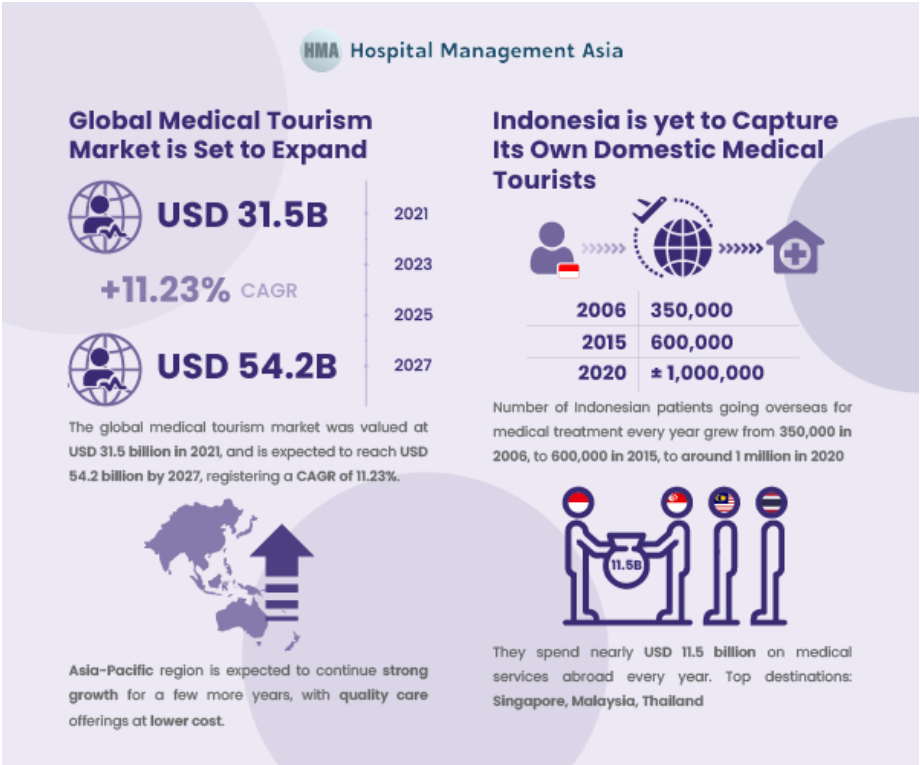
- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

ケアのためにシンガポールやマレーシア等に旅行するインドネシア人が年間約100万人いたが、インドネシア政府は国内でのケア及び外国人観光客の誘致に向けた政策に着手している

インドネシア：医療渡航の推進に関する政策

項目	内容
世界の医療 ツーリズム市場	✓ 2021年には、世界の医療ツーリズム市場は既に315億USDルを超えると評価されており、2027年までに500億USDルを超えると予想されている
インドネシアの 医療ツーリズム市場	<div>✓ アジアで最も人口の多い国（約2.7億人）であるインドネシアにおいて、ケアのために海外に旅行するインドネシア人の数は、2015年から2020年にかけてほぼ倍増（2015年60万人、2020年には100万人）</div> <div>✓ インドネシアの富裕層のほとんどは、外国の医療サービスを利用することを好む傾向にあり、<u>渡航先はシンガポール、マレーシア、韓国等</u>に渡航している</div> <div>✓ こうした海外の医療に患者は年間115億ドルを費やしている</div>

———インドネシア保健省「medical tourism infographic 2019」———



保健省は、外国人観光客がインドネシアに治療のために訪れ、地元の人々が他国ではなく国内でケアを求めるように誘致することに着手

出所 : <https://www.hospitalmanagementasia.com/tech-innovation/how-indonesia-plans-to-win-over-medical-tourists/>

インドネシアでは医療渡航の促進に向けて外国人受入れ専門機関の設置や医療観光特別経済区の準備を進めている

インドネシア：医療渡航の推進に関する取組

IMTB (Indonesian Medical Tourism Board)

- ✓ インドネシアの医療ツーリズム業界を促進する機関としてIMTB (Indonesian Medical Tourism Board) を設立。業界の連携を調整し、人々がインドネシアで素晴らしい旅行体験を楽しみながら、最先端の医療サービスや施設にアクセスできるよう調整している
- ✓ 提供サービスは以下の通り
 - ・ 病院での検査や医師のスケジュール予約
 - ・ 専門家からの医学的セカンドオピニオンの提供
 - ・ 顧客のニーズに合った費用の見積もりを提供
 - ・ コンシェルジュサービスとミートアンドグREETサービス
 - ・ 安全で便利な旅行プラン相談
 - ・ 治療計画に関するサポート 等



Indonesia plans medical tourism 「SEZ」

- ✓ 2022年からインドネシアのバリ島のサヌールにある地域に、高齢者の観光客をターゲットとした医療及び健康、観光のための最初の医療観光特別経済区 (SEZ) を準備している
- ✓ サヌール SEZでは、国際的な病院と高級リゾート、商業センター、ホテル、介護施設からなる宿泊施設を備えた「世界クラスの医療及びウェルネスセンター」になることを期待しており、これらの施設は、合計で最大5,000人を収容できると予想している



出所 : <https://imtb.id/>、<https://www.fdiintelligence.com/content/news/indonesia-plans-medical-tourism-sez-81802>、
<https://www.thestar.com.my/aseanplus/aseanplus-news/2021/03/06/indonesia-develops-medical-tourism-for-elderly-tourists>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

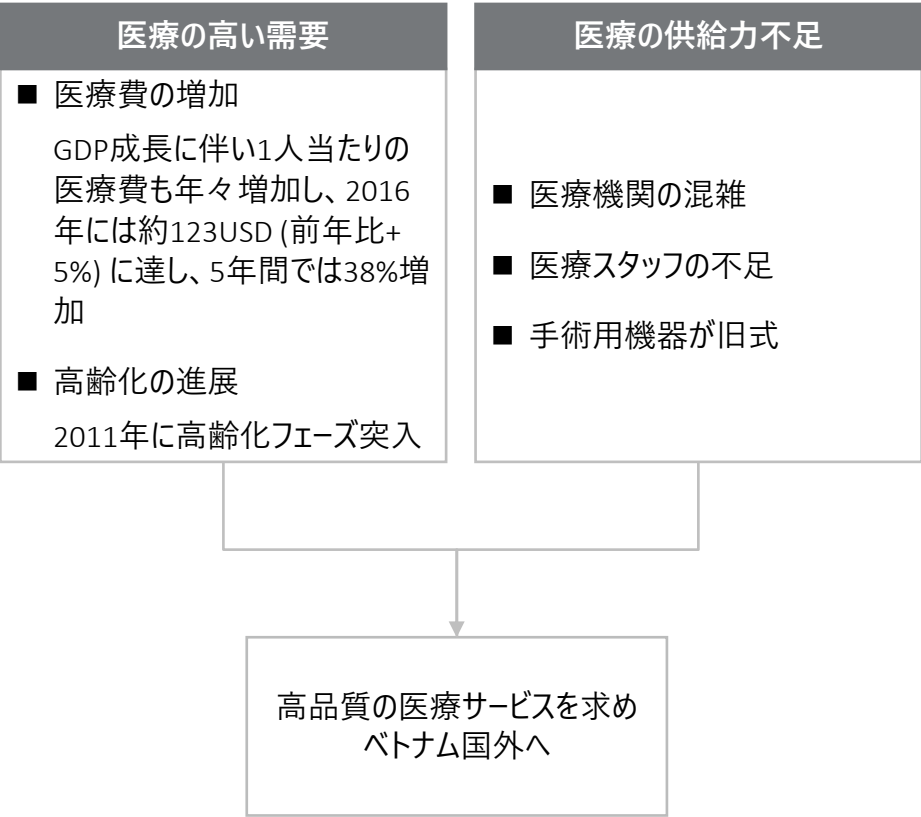
- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

2017年にはベトナム人による医療渡航消費額が約20億ドルに達しており、ベトナム国内の医療供給力が需要に対して不足していることが考えられる

ベトナム：医療渡航の背景と規模

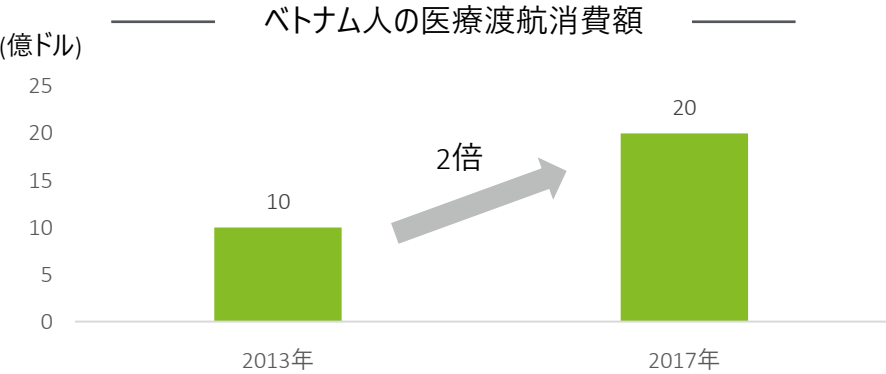
B&Company Inc.レポートより

■ ベトナム国内の医療の状況



ベトナムからの医療渡航先主要国

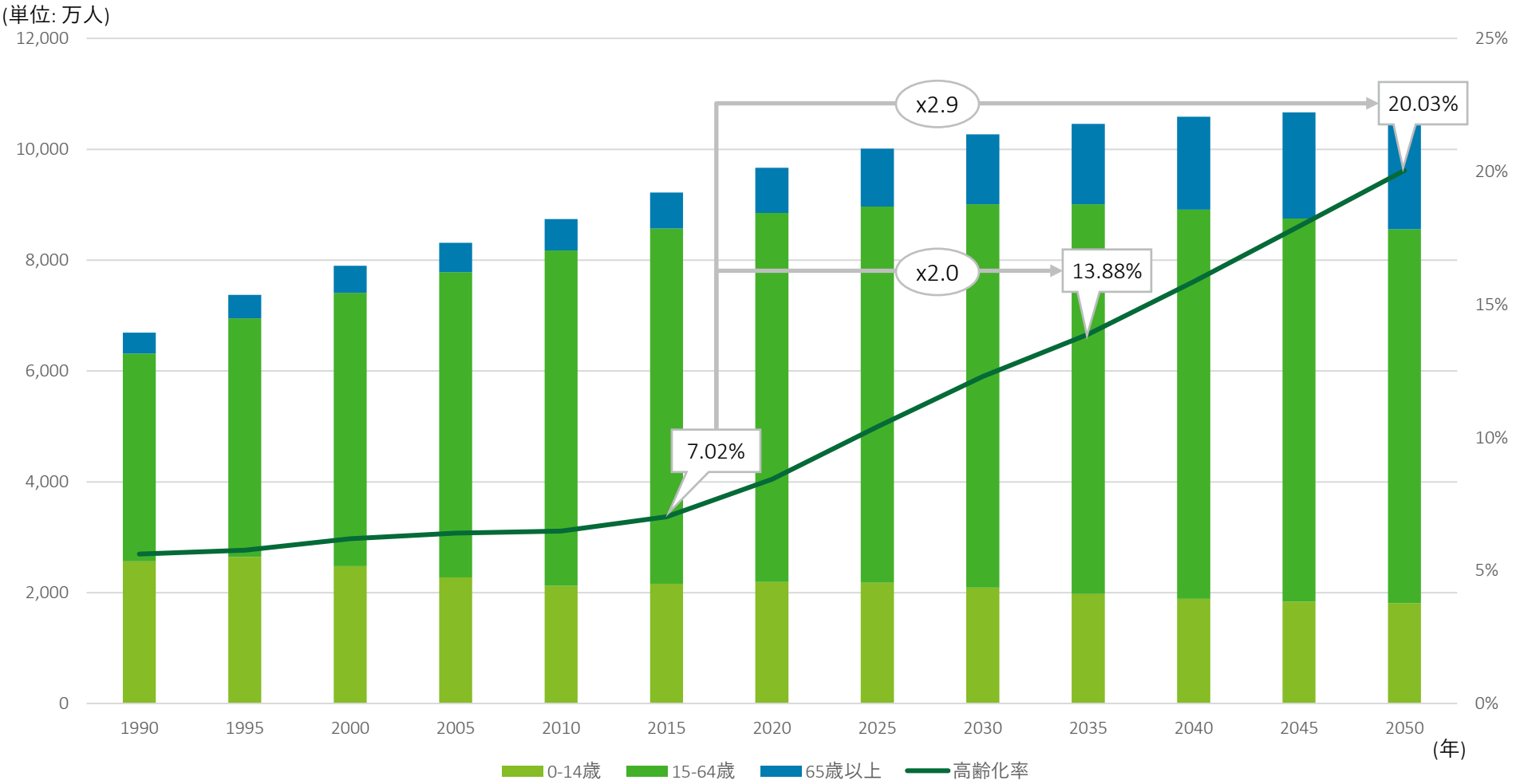
渡航先国	規模 (人数、消費額等)	主要目的
シンガポール	Parkway Health: 約10,000 人 / 年 シンガポール国立病院: 2,000 人 (2017年)	がんや心臓血管の治療
マレーシア	2017 年: 11,000 人 2018 年: 14,000 人	—
韓国	2017 年: 7,447人 2018 年: 7,532人	美容整形
タイ	910万USドルを医療費として消費 (2017年)	美容整形



出所: <https://b-company.jp/medical-tourism-en/#:~:text=Most%20destination%20countries%20for%20Vietnamese,and%205th%20in%20Southeast%20Asia>.

ベトナムで高齢化が進んでおり、2015年と比較し、2035年には倍の14%、2050年には2.9倍の20%に達する見込みである

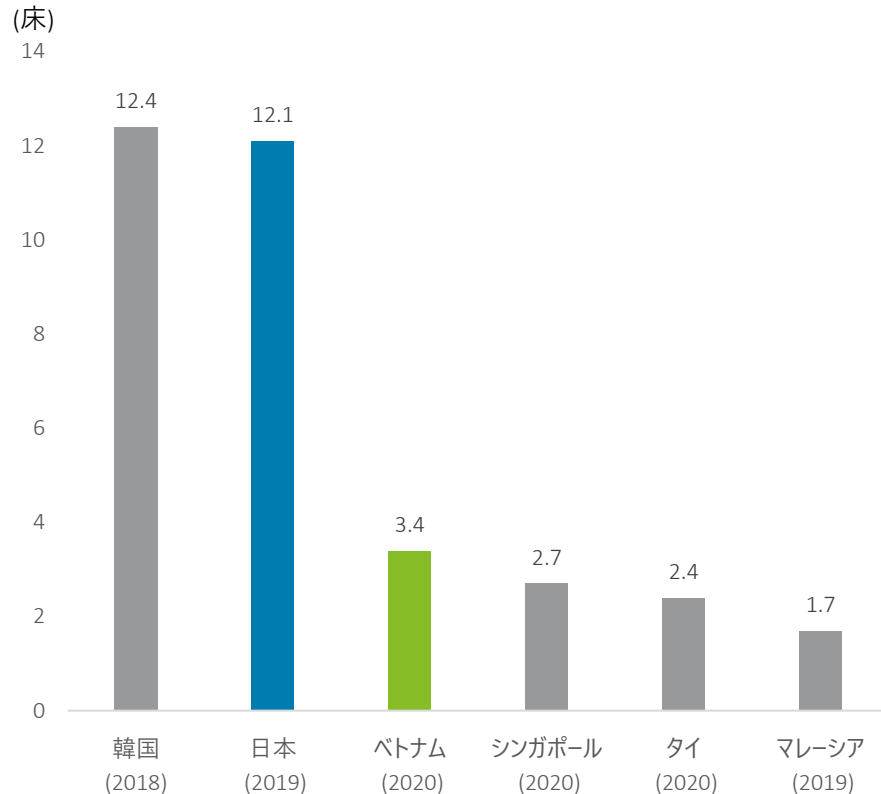
ベトナム：年齢グループ別人口と高齢化率の推移予測



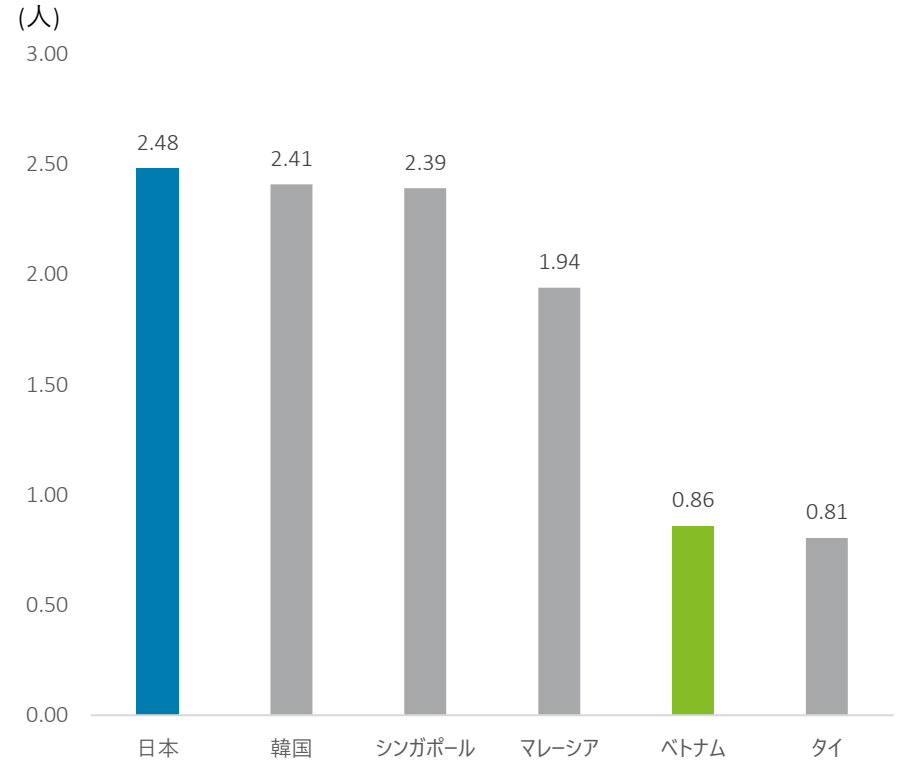
出所: <https://population.un.org/dataportal/data/indicators/71/locations/704/start/1990/end/2050/table/pivotbylocation>

ベトナム人の主要医療渡航先国と比較すると日本の病床数や医師数は上位を占めており、日本はベトナムからの医療需要に対応できる可能性がある

ベトナム：人口1,000人あたり病床数 (*1)



ベトナム：人口1,000人あたり医師数 (2018年) (*2)



*1 経済産業省のカントリーレポートを参照したが、韓国のみ世界銀行の統計値を使用

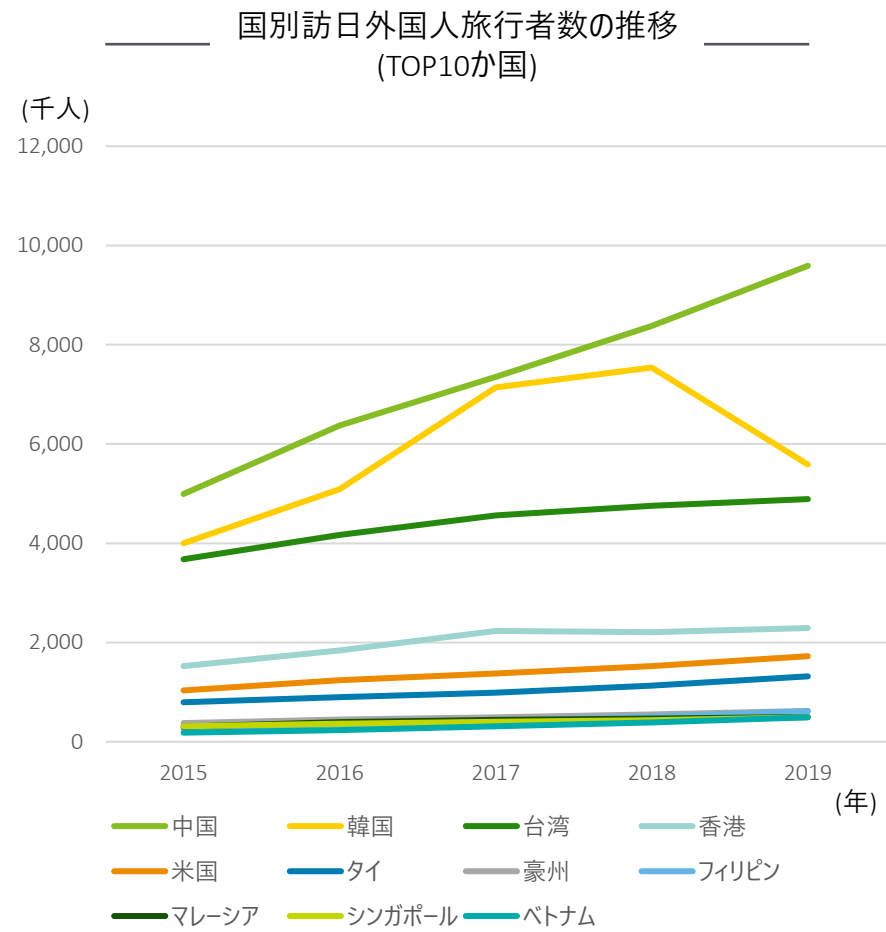
*2 世界銀行の統計値を使用したが、ベトナムのみ政府系機関General Statistics Officeの統計データに基づき換算

出所: https://healthcare-international.meti.go.jp/files/document/r3fy_countryreport_compaprisson.pdf, <https://data.worldbank.org/indicator/SH.MED.BEDS.ZS>, <https://data.worldbank.org/indicator/SH.MED.PHYS.ZS>, <https://www.gso.gov.vn/en/statistical-data/>

新型コロナウイルス感染症の拡大以前、訪日外国人旅行者数は増加傾向であり、中でもベトナムからの旅行者数は2019年の対前年比伸び率が最も高い

ベトナム：訪日外国人旅行者数の動向

➤ ベトナムからの2019年の旅行者数は全体で10位であるが、同年の対前年比伸び率は最も高く、27.3%である



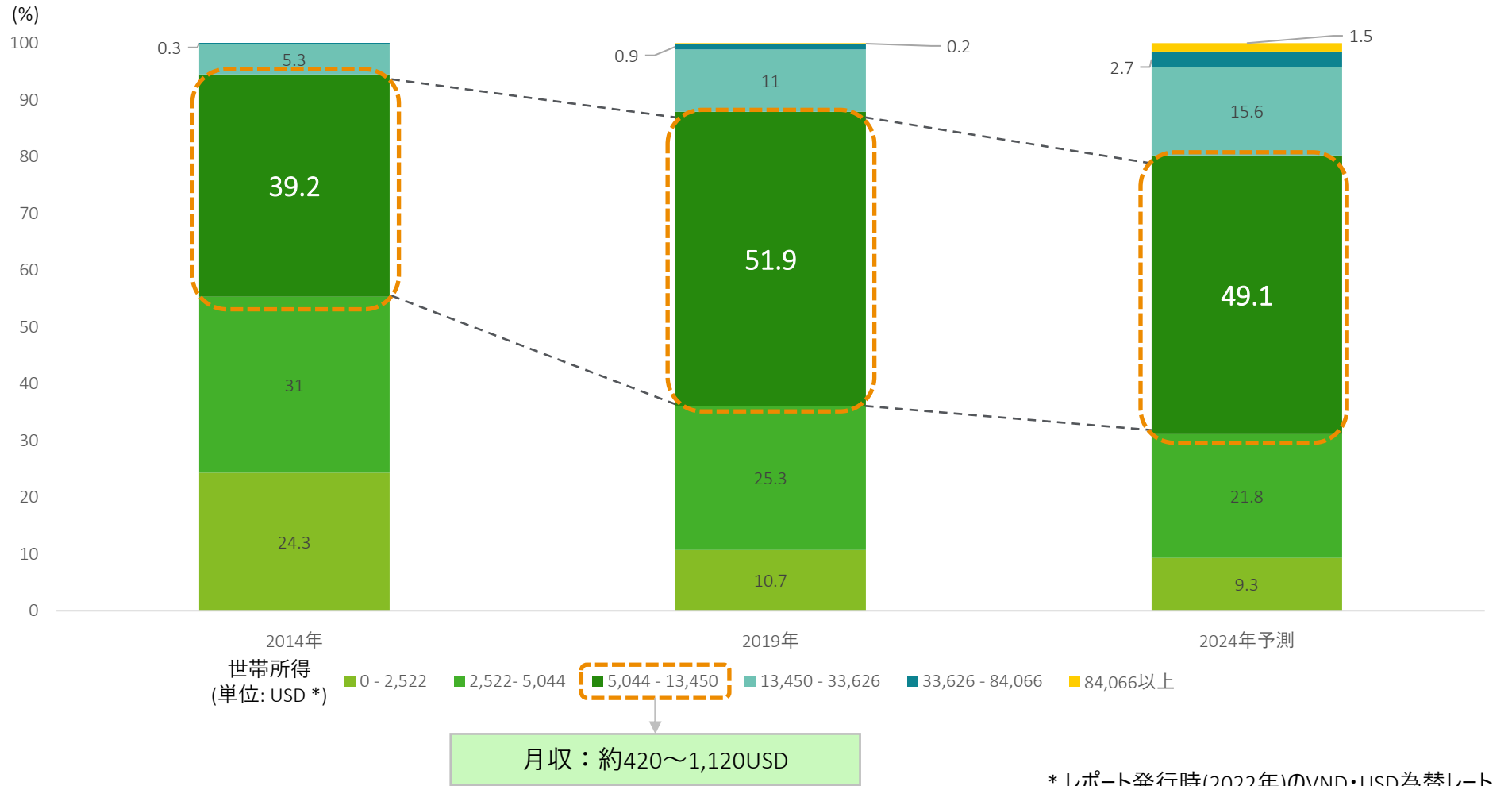
訪日外国人旅行者数の伸び率 (2018から2019年)

順位	国	旅行者数 (人)		伸び率
		2018年	2019年	
1位	ベトナム	389,005	495,051	+27.3%
2位	フィリピン	503,976	613,114	+21.7%
3位	タイ	1,132,160	1,318,977	+16.5%
4位	中国	8,380,034	9,594,394	+14.5%
5位	米国	1,526,407	1,723,861	+12.9%
6位	シンガポール	437,280	492,252	+12.6%
7位	豪州	552,440	621,771	+12.5%
8位	マレーシア	468,360	501,592	+7.1%
9位	香港	2,207,804	2,290,792	+3.8%
10位	台湾	4,757,258	4,890,602	+2.8%

出所: <https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

ベトナムにおいて最も多い世帯所得の範囲は5,044～13,450USD、月収にすると約420～1,120USDである

ベトナム：世帯所得の分布



* レポート発行時(2022年)のVND・USD為替レート

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

フィリピンは2016年に医療渡航を推進するプログラムを策定したが、政府の取組が断片的かつ競合国と差別化する医療サービスが確立されておらず、発展途上にある

フィリピン：医療渡航の推進に関する政策

政策名	行政命令第 2016-0023 号
発表日	2016年6月22日
制定理由	<ul style="list-style-type: none">✓ 医療渡航において、フィリピンは他の ASEAN 諸国に比べて著しく遅れを取っている✓ 医療渡航に関する包括的な政策枠組みやガイドラインが存在しない
目標	<ul style="list-style-type: none">✓ 国際的な医療渡航とウェルネスツーリズムをフィリピンの医療制度に統合するための国家政策の枠組みである「フィリピンメディカルトラベル及びウェルネスツーリズムプログラム」を策定する

政策名	ポリシーノート(ギャップに対処する: 新興の医療渡航目的地としてのフィリピン)		
発表日	2021年4月		
制定理由	フィリピンの医療渡航は、国の医療制度と経済成長に多大な利益をもたらす可能性があるが、政策とガバナンスに解決すべき課題が存在する		
内容	現状	中央政府は2000年代半ばから医療渡航プログラムの開発を行ってきたが、まだ開発の初期段階にあり、ASEAN諸国に比べて含む様々な対策で遅れを取っている	
	強み	<ul style="list-style-type: none">① ホスピタリティ② 英語を話す専門家の豊富な人材③ 低価格の医療サービス④ 医療専門家の教育とスキルなど	
	課題	<ul style="list-style-type: none">① 医療渡航プログラムを開発するための政府の取組が断片的で統一されていない② マレーシア・タイ・シンガポールなどの競合国と差別化となる医療サービスが確立されていない	
	解決策	政府全体及び複数部門によるアプローチが必要である	

出所 : <https://www.foi.gov.ph/requests/aglzfmVmb2ktcGhyHQsSB0NvbnRlbnQiEERPSC03MDc5MzgwOTYyODkM>
<https://www.foi.gov.ph/requests/aglzfmVmb2ktcGhyHQsSB0NvbnRlbnQiEERPSC03MDc5MzgwOTYyODkM>

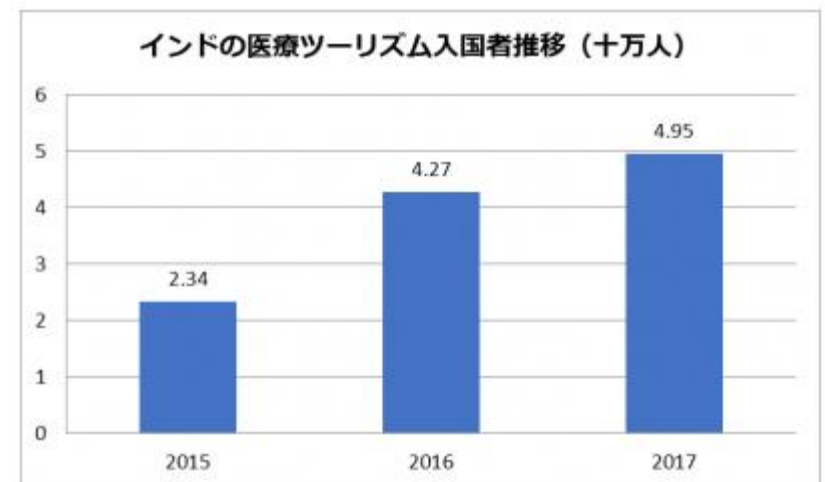
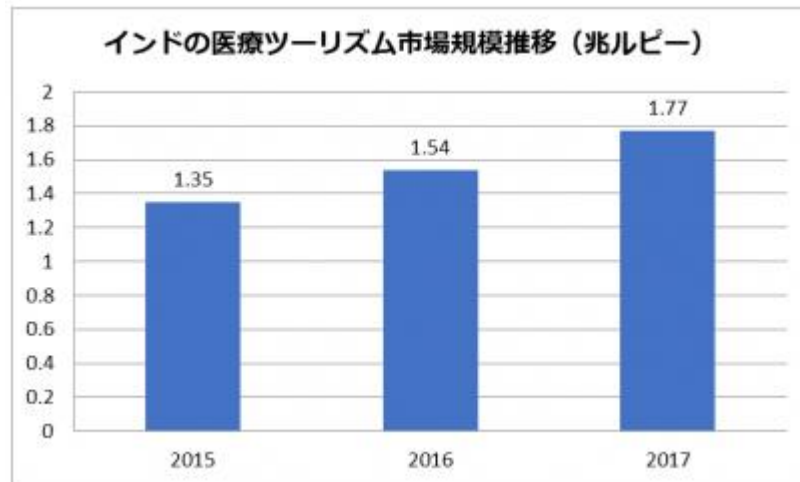
第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

インドの医療渡航市場は市場規模・医療目的の外国人入国者数の増加により、拡大している

インド：医療渡航市場の概要

- ◆ 観光省が発表した数値によると、インドの医療ツーリズム市場規模は2015年時点で1兆3,519億3千万ルピー、2016年は1兆5,414億6千万ルピー、2017年は1兆7,787億4千万ルピーであり、増加傾向にある
- ◆ 市場成長の要因は、欧州や北米、東南アジアなどと比較し割安な医療費である
- ◆ 世界の医療ツーリズム市場の18%をインドが占めており、主要な外貨獲得源にもなっている
- ◆ 医療を目的としてインドに入国する外国人は2015年23万4千人、その後1年で約1.8倍の42万7千人と大幅に増加、2017年は49万5千人に到達している
- ◆ 来訪国はバングラデシュが最も多く、2017年は22.1万人が訪問。その他、アフガニスタン、オマーン、モルディブ、ウズベキスタン、スーダン、イラク、イエメンといった国からの入国者が多い



インド政府は医療ビザ・医療付帯者ビザ発行によるビザ取得要件の緩和や医療渡航に関するポータルサイトの作成により、患者の誘致を進めている

インド：医療ビザの詳細

- ✓ インド政府はビザの取得要件拡大政策の1つとして、医療目的で来訪する方への医療ビザを発行している
- ✓ 医療ビザを発行された患者の血縁者であれば、医療付帯者ビザの取得が可能である
- ✓ 手続きの簡便化を目的に、医療ビザ・医療付帯者ビザ共にオンライン申請が可能である

医療ビザ (Medical VISA)

- ✓ 滞在期間が60日のトリプルエントリービザ(有効期間内に3回入国できる)である
- ✓ インド政府が認定している165か国の方はオンラインでも申請が可能であるため、大使館に訪問しなくても取得できる

医療付帯者ビザ (Medical Attendant VISA)

- ✓ 医療ビザを取得した患者の血縁者が付き添うためのビザである
- ✓ 医療ビザと同様、滞在期間が60日のトリプルエントリービザであり、オンライン申請が可能である

インド：医療渡航ポータルサイト



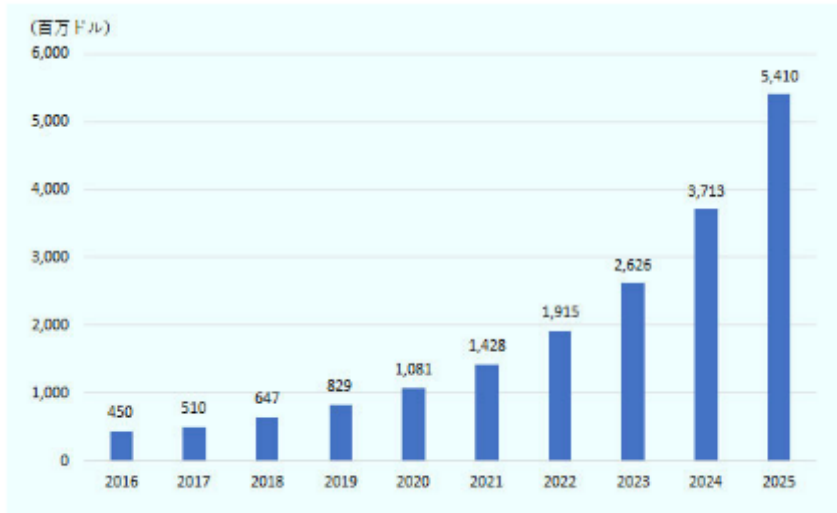
- ✓ インドの政府機関であるサービス輸出促進協議会(SEPC：Service Export Promotion Council)によるインドで医療を受ける外国人向けのポータルサイト。下記について情報を公開している
 - ・ 医療費(通常の医療とアールヴェエダ)
 - ・ 医療機関情報(医療機関の場所に加え、疾患や手技でも検索することができる)
 - ・ インドの医療に関する情報(設備・先端技術など)
 - ・ インド国外からのアクセスに関する情報(主要航空会社名・空港・旅費など)
 - ・ インドで医療を受ける際の手順
 - ・ ビザ延長や長期治療時の登録を行う地域事務所の情報

出所：<https://www.indiavisa-online.org/india-visa-types/medical-visa>、<https://www.indiavisa-online.org/india-visa-types/medical-attendant-visa>、<https://www.indiahealthcare.org/home>

インドでは国際医療と親和性がある遠隔医療サービスが注目されており、政府は規制の明確化などによりサービスの普及を後押ししている

インド：遠隔医療の市場概況

インドの遠隔医療分野における市場規模推移



出所：データラボス公表資料を基にジェトロ作成

- ✓ インドでは近年、多数のスタートアップ企業が医療分野に参入しており、デジタル技術を活用した遠隔医療サービスがコロナ禍の影響により注目されている
- ✓ 医療機関では、診療予約、オンライン診療、処方箋の発行・受領、薬の注文ができるオンライン診療サービスやAIを活用した遠隔画像診断・読影サービス導入の動きがある
- ✓ 保険規制開発庁が遠隔診療を保険の適用範囲にするよう保険会社に促すなど、規制の明確化などによる政府からの後押しもなされている

インド：遠隔医療と医療渡航の親和性

診療前・診療後のケアの強化

- ✓ 旅行前に患者と海外の医師間の調整を強化でき、医療観光の品質と効率、顧客サービスを向上させることができる
- ✓ 診療後の遠隔モニタリングにより、再入院等、帰国後のリスクを軽減できる

患者の家族とのコミュニケーション促進

- ✓ 患者を心配しているが現地に赴けない家族が医師をはじめとした医療チームと重要な時期にほぼ対面でコミュニケーションを取れるため、治療効果・治療の満足度向上を図ることができる

医師間のコミュニケーション強化

- ✓ 医療情報の交換が容易になり、患者の治療が終わり、退院した後、患者の母国の医師とのデータのやり取り、治療法の相談などが簡便化され、継続的な患者の状態管理が可能となる

出所：<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2020/349f2efd8d760d6f.html>、<https://travel.economictimes.indiatimes.com/news/tourism/how-telehealth-is-going-to-revolutionise-medical-tourism-in-2023/97244220>

インドの医療渡航市場は医療渡航とウェルネスツーリズムに分かれ、政府は現地で患者をサポートするファシリテーションセンターの設立などにより市場拡大・体制整備を図っている

インド：医療渡航とウェルネスツーリズムの概要

*全てインド政府直属の省

	管轄機関	サービス内容	政策
医療 渡航	Ministry of Health & Family Welfare* (保健家族福祉省)	◆ 医療的な治療(手術・移植など) 【人気の高い治療】 ・ がん治療 ・ 臓器移植 ・ 歯科治療 (付け歯・インプラント・入れ歯・口腔内手術など)	【ファシリテーションセンターの設置】 ✓ <u>医療渡航に係る事柄についてサポートするファシリテーションセンター</u> をデリー、ムンバイ、チェンナイ、バンガロール、ハイデラバード、ゴア、コルカタに設置 ✓ 医療ビザ取得者向けに宿泊施設の確保・医師の予約・病院への送迎などを行っている
	Ministry of Tourism* (観光省)	・ 美容整形 (植毛・脂肪吸引・鼻や皮膚の整形など)	【医療ビザ・医療付帯者ビザ発給手続きの簡便化】 ✓ 医療ビザと患者の血縁者向けの医療付帯者ビザの発給は <u>オンライン申請が可能</u> 【医療渡航ポータルサイト】 ✓ インドの政府機関であるサービス輸出促進協議会が外国人向けに <u>ポータルサイトを作成し、医療費・医療機関・設備・先端技術などに関する情報を公開</u>
ウェルネス ツーリズム	Ministry of AYUSH* (伝統医療省)	◆ インドの伝統的医療 【伝統的医療の例】 ・ アーユルヴェーダ ・ ヨガ ・ シツダ ・ 自然療法	【病院と連携した体制整備】 ✓ ウェルネスツーリズムのガイドラインを作成し、広報資料の提供、サービス提供者向けのトレーニングと能力開発、国外及び国内のウェルネス関連イベントへの参加などに関する体制を整備 ✓ 国内のウェルネスセンターの急増が質の高いサービス提供に対する懸念点であったため、 <u>ウェルネスセンターの認定のためのガイドライン</u> を伝統医療省と病院とヘルスケアサービスの認定のための全国委員会(NABH)が共同で作成

出所： <https://tourism.gov.in/wellness-medical-tourism>、<https://www.clinicspots.com/blog/medical-tourism-in-india-statistics-2022>

医療ビザ発給先で最も多いのはバングラデシュであり、2017年の発給数は約22万件で全体の約45%を占めている

インド：国籍別医療ビザ発給数(トップ10 + 日本のインバウンド対象候補) …日本のインバウンド対象候補

順位*1	国名	2014		2015		2016		2017	
		医療ビザ*2 発給数	シェア	医療ビザ*2 発給数	シェア	医療ビザ*2 発給数	シェア	医療ビザ*2 発給数	シェア
1	バングラデシュ	60,292	43.2%	120,388	51.5%	210,142	49.2%	221,751	44.8%
2	アフガニスタン	11,001	7.9%	27,505	11.8%	61,231	14.3%	55,681	11.2%
3	イラク	758	0.5%	11,378	4.9%	33,125	7.8%	47,640	9.6%
4	モルディブ	2,691	1.9%	1,836	0.8%	10,523	2.5%	45,355	9.2%
5	オマーン	5,327	3.8%	8,308	3.6%	25,002	5.9%	28,157	5.7%
6	イエメン	8,577	6.2%	5,291	2.3%	8,837	2.1%	11,903	2.4%
7	ウズベキスタン	データなし		6,398	2.7%	9,564	2.2%	8,309	1.7%
8	エチオピア	892	0.6%	1,503	0.6%	2,666	0.6%	7,659	1.5%
9	ケニア	4,619	3.3%	6,400	2.7%	8,701	2.0%	7,496	1.5%
10	スーダン	1,335	1.0%	1,869	0.8%	4,324	1.0%	6,908	1.4%
中略									
16	ミャンマー	1,117	0.8%	1,354	0.6%	1,812	0.4%	1,791	0.4%
34	マレーシア	202	0.1%	163	0.1%	208	0.0%	441	0.1%
41	フィリピン	60	0.0%	77	0.0%	131	0.0%	304	0.1%
45	インドネシア	98	0.1%	155	0.1%	141	0.0%	249	0.1%
合計		139,447	-	233,918	-	427,014	-	495,056	-

アポロホスピタルグループはインドの民間の医療グループで、外国人患者向けの病院を8つ運営しており、外資系医療グループとも協業し、販路の拡大を図っている

インド： Apollo Hospital Group(アポロホスピタルグループ)の概要

病院名	Apollo Hospital Group	
運営形態	民間	
設立年度	1983年(チennaiに設立)	
病院の概要	✓ 64の病院(8つは外国人患者向け)の運営に加え、診療所・薬局の運営、保険商品の販売などを行っている民間の医療グループ ✓ グループ全体で毎年約2万人の外国人患者が訪れている	
外国人患者向け病院	場所	病床数
	チennai(Chennai)	100
	アーメダバード(Ahmedabad)	276
	バンガロール(Bangalore)	250
	デリー(Delhi)	700
	ハイデラバード(Hyderabad)	530
	コルカタ(Kolkata)	610
	ムンバイ(Mumbai)	500
	マイスール(Mysuru)	224

主な診療科目	✓ 移植(心臓・肺・肝臓・腎臓) ✓ 循環器疾患(MitraClip・TAVI) ✓ 整形疾患(膝関節置換術・脊椎手術) ✓ ロボット手術(ダヴィンチ・ヒューゴ) ✓ 健診 ✓ 肥満手術 ✓ 画像下治療(IVR) ✓ 耳鼻科疾患
医療渡航に関する動向	【国際認証の取得】 ✓ チennai・アーメダバード・バンガロール・ハイデラバード・コルカタ・ムンバイの6病院はJCI認証を取得している 【外資系医療グループとの協業】 ✓ コルカタの病院はマレーシアの医療グループIHH傘下でシンガポールに拠点を置くパークウェイグループと合併で設立され、シンガポール・マレーシアからの患者をターゲットにしている

医療に関する品質を満たした組織を認証しているNABHがファシリテーターも認証しており、インドに医療目的で渡航する人をサポートしている

インド：医療渡航に係るファシリテーター

医療渡航に関する政府のポータルサイト「Heal in India」



「Facilitator」をクリック

- 品質評価を行う政府関連組織 QCI(Quality Council of India : インド品質評議会)が管轄し、医療に関する品質基準を満たした組織を認証する NABH(National Accreditation Board for Hospitals & Healthcare Providers) がインドに医療目的で渡航する人をサポートする組織である「ファシリテーター」を認証している
- NABHのHPによると、2023年6月13日現在、32組織が認証されている
- 医療渡航に関する政府のポータルサイト「Heal in India」では上記ファシリテーターを州・都市ごとに検索できる

ファシリテーターの例

組織名	Curestay Service Private Limited
組織形態	民間企業
所在地	デリー
HPの 対応言語	英語、アラビア語、フランス語、ロシア語、フィリピン語、インドネシア語、マレー語、ベンガル語、アムハラ語
提携病院数	89施設
紹介患者数	約55,000人
サービス概要	<ul style="list-style-type: none">自社のサイト「healthtrip.com」で病気の治療、審美治療、ウェルネスの治療目的ごとにおすすめの医師・医療機関を紹介病院の予約、優先来院の手配ビザ取得サポート航空券取得サポート宿泊施設の手配通訳者の手配空港からの送迎・市内移動のサポート観光プランの紹介支払いに関するサポート治療後のフォローアップのサポートオンライン診療アプリの提供

出所： <https://healinindia.gov.in/>、 <https://nabh.co/MVTF.aspx#gsc.tab=0>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- 7-1. 海外調査
- 7-2. 中国
- 7-3. インドネシア
- 7-4. ベトナム
- 7-5. フィリピン
- 7-6. インド

- 7-7. バングラデシュ
- 7-8. ミャンマー
- 7-9. シンガポール
- 7-10. マレーシア
- 7-11. タイ
- 7-12. 保険会社との連携

2018年のバングラデシュからの医療渡航者は約46万人であり、市場規模は約9億3千USDと推計されている

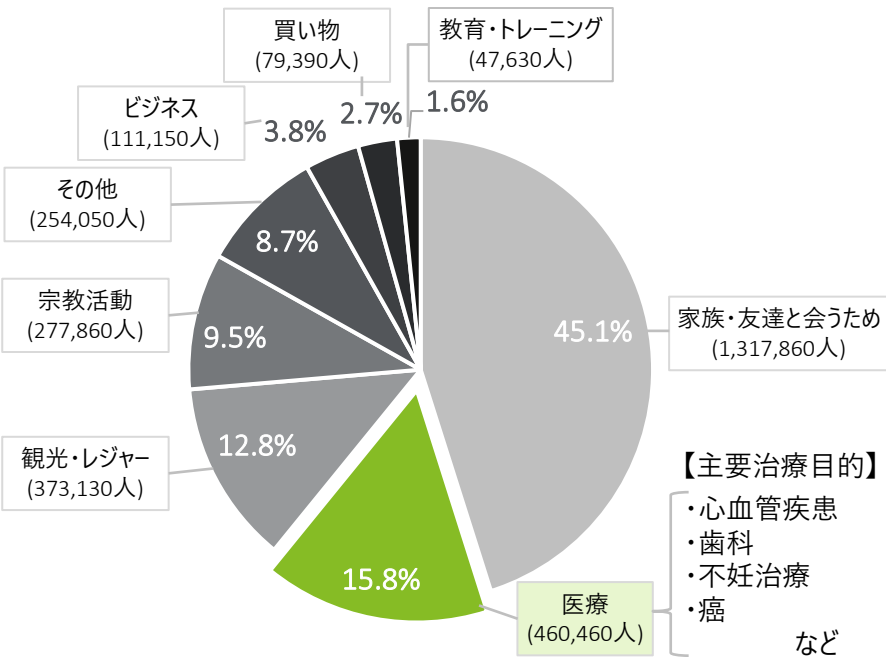
バングラデシュ：医療渡航市場の概況

*5月29日5:52UTC時点為替レートを適応

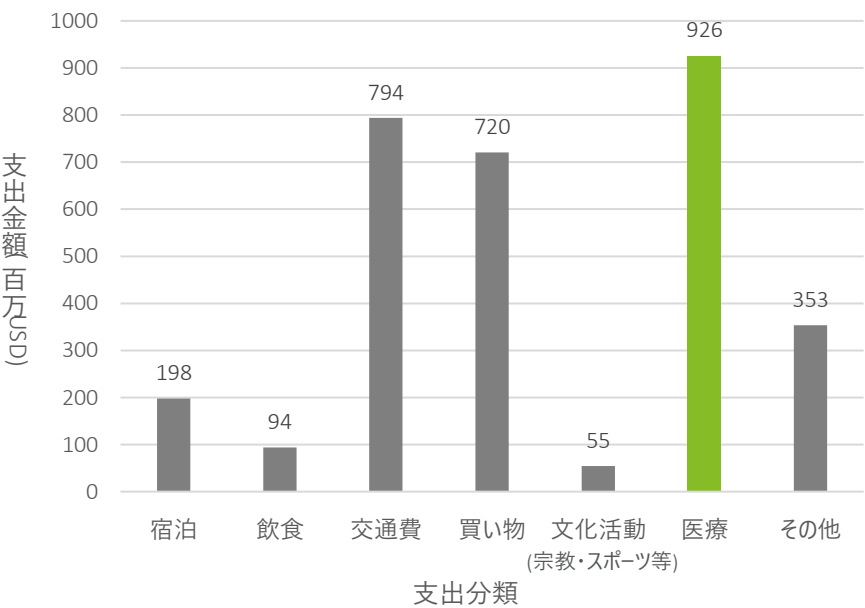
- バングラデシュ統計局 (Bangladesh Bureau of Statistics) の推計によると、2018年に海外旅行したバングラデシュ居住者は 約252万人であり、そのうち 約46万人 (15.8%) が医療目的で海外へ渡航していた
- バングラデシュでは自国の医療水準に不満を抱える人が多く、自国では受けられない先進医療、質の高い医療サービス、衛生的で安全な治療環境を求め医療渡航しているとされている

- 2018年のバングラデシュ海外旅行者の総支出額は約31億4千万USDであり、そのうち約9億3千万USD (29.3%) が医療関連 (Health/Medical) 支出であった。全体の支出分類のうち、医療関連支出が最も多い金額が報告されていた

海外旅行者の主要目的



海外旅行者の主要支出内容



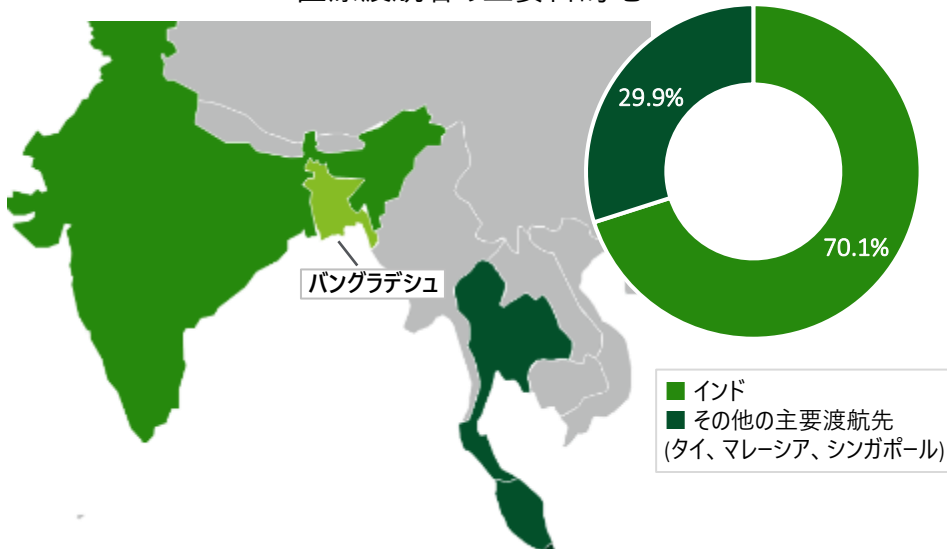
出所: https://bbs.portal.gov.bd/sites/default/files/files/bbs.portal.gov.bd/page/b343a8b4_956b_45ca_872f_4cf9b2f1a6e0/2021-11-25-09-20-712d6a0fe8d9ed6239e23d39b70c55f7.pdf,
https://www.researchgate.net/publication/353320684_Why_Bangladeshi_Patients_Prefer_Outbound_Medical_Travel_An_Analytical_Study

バングラデシュからの医療渡航者の目的地として最も人気の国はインドであり、その他ではタイ・マレーシア・シンガポールへの渡航者が多い

バングラデシュ：医療渡航の主要目的地

- インド観光省 (Ministry of Tourism) の公表データによると、2018年に医療目的でバングラデシュからインドへ渡航した者は約32万人であり、バングラデシュ統計局が発表した医療渡航者全体数の約7割である
- その他の主要渡航先として、タイ、マレーシア、シンガポールが挙げられており、一部の富裕層はアメリカ、イギリス、ドバイへ渡航しているとされている
- バングラデシュ海外旅行者の主要交通手段・滞在施設から、医療渡航者も同様に、近隣諸国で、身寄りがいる地域を優先すると推測される

医療渡航者の主要目的地



バングラデシュ海外旅行者の主要交通手段

主要交通手段	人数 (千人)	割合 (%)
バス	1,402.57	48.01
電車	538.98	18.45
飛行機	327.68	11.22
レンタカー等	266.55	9.12
自家用車等	107.18	3.67
船	55.12	1.89
その他	223.55	7.65

- バングラデシュ海外旅行者の約80%はバス、電車、レンタカー、自家用車等の陸上系交通手段を利用している

バングラデシュ海外旅行者の主要滞在施設

宿泊施設	人数 (千人)	割合 (%)
家族・友達の家	1401.5	47.97
ノンスターホテル	750.12	25.68
スターホテル	197.4	6.76
モテル・ゲストハウス等	138.13	4.73
宗教施設	19.74	0.68
その他	236.88	8.11

- バングラデシュ海外旅行者の約48%は家族・友達の家で宿泊しており、渡航者にとって、訪問国での家族・友達の存在が重要な要素だと考えられる

出所: https://bbs.portal.gov.bd/sites/default/files/files/bbs.portal.gov.bd/page/b343a8b4_956b_45ca_872f_4cf9b2f1a6e0/2021-11-25-09-20-712d6a0fe8d9ed6239e23d39b70c55f7.pdf, <https://tourism.gov.in/sites/default/files/2023-05/India%20Tourism%20Statistics%202019.pdf>, <https://businesspostbd.com/governance/2021-12-21/why-bangladeshis-go-overseas-for-treatment-41336>, https://www.researchgate.net/publication/353320684_Why_Bangladeshi_Patients_Prefer_Outbound_Medical_Travel_An_Analytical_Study

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

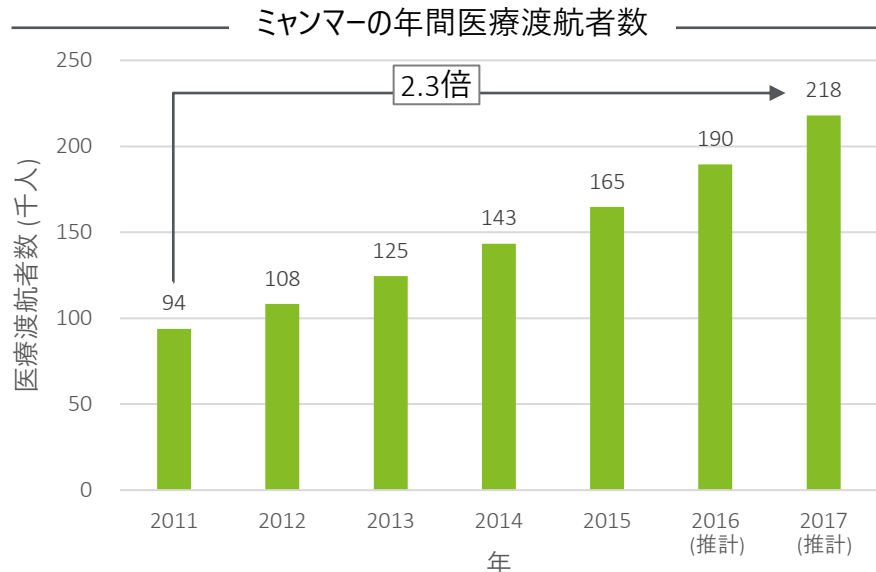
- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

2017年、ミャンマーからの医療渡航者は約21万8千人と推計されており、主にタイ、インド、マレーシア、シンガポールへ自国では受けられない質の高い医療を目的に渡航している

ミャンマー：医療渡航者数の推移・市場

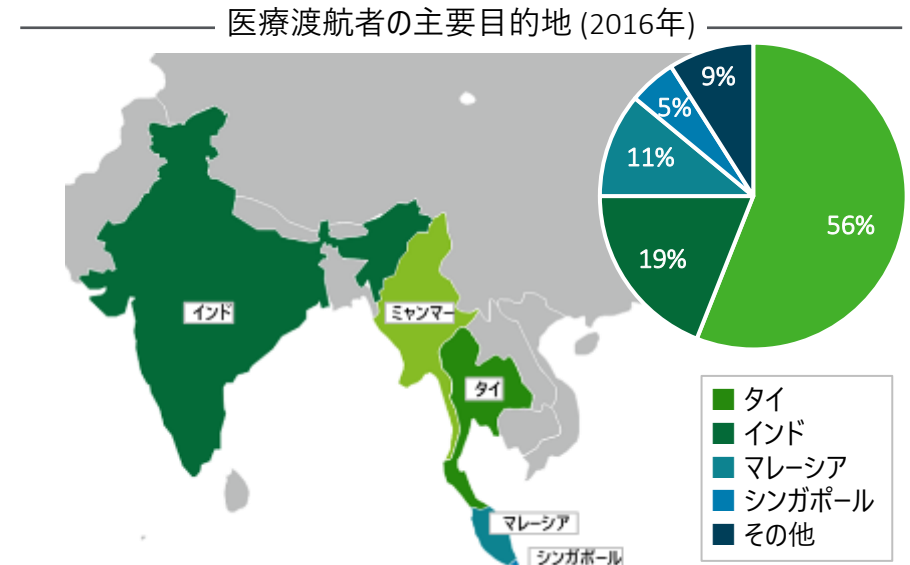
- 2016年、ミャンマーからの海外旅行者数は約100万人であり、そのうち約19万人(19%)が医療目的で渡航したと推計されている
- 2017年のミャンマーからの医療渡航者数は21万8千人と推計され、2011年～2017年の8年間で2.3倍に増加している
- 渡航先として最も人気のタイにおいて2016年、ミャンマーからの渡航者の医療費支出額は約3,894万USD(1億3,500万バーツ)であり、タイ国内の国別医療渡航収入ランキングで第5位であった。1人当たりの支出額は約366USDと推計される(38,940,000USD/(190,000人×56%(タイへの渡航者の割合))

*2023年6月12日点を為替レートに適応



ミャンマー：医療渡航者の主要目的地・渡航理由

- ミャンマーからの医療渡航者の主要目的地は、タイ、インド、マレーシア、シンガポールである
- 急速な経済発展により経済的に豊かな患者、外国人駐在員を中心に自国の医療水準では受けられない質の高い医療を求め渡航している
- ミャンマーからの医療渡航者が求める主な診療項目は、健康診断、心臓血管、癌、移植、脳神経、整形外科、小児科である
- タイで医療渡航者を積極的に受け入れているバムルンラード国際病院はミャンマーの旧首都ヤンゴンにクリニックを展開し医療渡航に係るサポートを行っている



第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

シンガポールの物価・医療費は近隣国と比べ高いが、医療及び医療機関のホスピタリティの質の高さから特にインドネシアから患者が訪れている

シンガポール：医療渡航市場の概要

医療の質	<ul style="list-style-type: none">✓ Medical Tourism.comが発表した医療渡航の目的地総合ランキングにおいて、<u>シンガポールはアジア圏で最上位</u>である✓ 平均寿命等で比較すると、<u>シンガポールの健康水準・医療水準はマレーシア・インドネシアと比べて高く、アメリカ・日本と比べても遜色はない</u>✓ <u>外国人患者向けのホスピタリティ</u>に力を入れている医療機関がある(例：ファラーパーク病院)
医療費	<ul style="list-style-type: none">✓ <u>医療費は上昇傾向にあり、通院と治療の費用は2015年以降で8～9%上昇している</u>✓ 例として、<u>膝関節置換手術の費用はアメリカの1/2だが、ベトナム・マレーシア・インドと比べると約2倍である</u>✓ アメリカで医療を受けた場合と比較した患者の治療費の削減率を<u>マレーシアと比較すると、シンガポールの医療費削減率は30～40%低い</u>
物価・インフレ率	<ul style="list-style-type: none">✓ 6年連続で<u>世界で最も物価の高い都市</u>にランクされている✓ マレーシアと比較し、インドネシア・ルピアを基準とした為替の上昇率は13%高い
医療渡航目的の患者	<ul style="list-style-type: none">✓ コロナ前は毎年50万人の医療渡航を目的とする患者が訪れており、その<u>約半数がインドネシアからの患者</u>である✓ インドネシアから医療目的で渡航する人の約半数がシンガポールを訪れている

出所：<https://www.budgetdirect.com.sg/travel-insurance/research/medical-tourism-singapore>

シンガポールの健康水準・医療水準はマレーシア・インドネシアと比べて高く、アメリカ・日本と比べてもそんな色はない

シンガポール：健康水準・医療水準の比較

	シンガポール		日本		アメリカ		マレーシア		インドネシア	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
平均寿命(2021年)	81.1歳	85.9歳	81.4歳	87.6歳	73.5歳	79.3歳	72.7歳	77.41歳	65.5歳	69.7歳
	83.4歳		84.5歳		76.3歳		74.9歳		67.6歳	
5歳未満の乳幼児死亡率 1,000人当たり (2021年)	2.1人		2.3人		6.2人		7.6人		22.2人	
妊産婦死亡率 10万人当たり (2020年)	-	7.5人	-	4.3人	-	21人	-	21人	-	173人
肥満 ^{注)} の人の割合	43.4% (2017)	29.4% (2017)	33.0% (2019)	24.0% (2019)	76.2% (2017-2018)	69.7% (2017-2018)	46.1% (2019)	54.0% (2019)	12.1% (2018)	15.1% (2018)

注)BMI25以上

出所: <https://databank.worldbank.org/source/world-development-indicators>、[https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/maternal-mortality-ratio-\(per-100-000-live-births\)](https://www.who.int/data/gho/data/indicators/indicator-details/GHO/maternal-mortality-ratio-(per-100-000-live-births))、<https://www.worldobesity.org/>

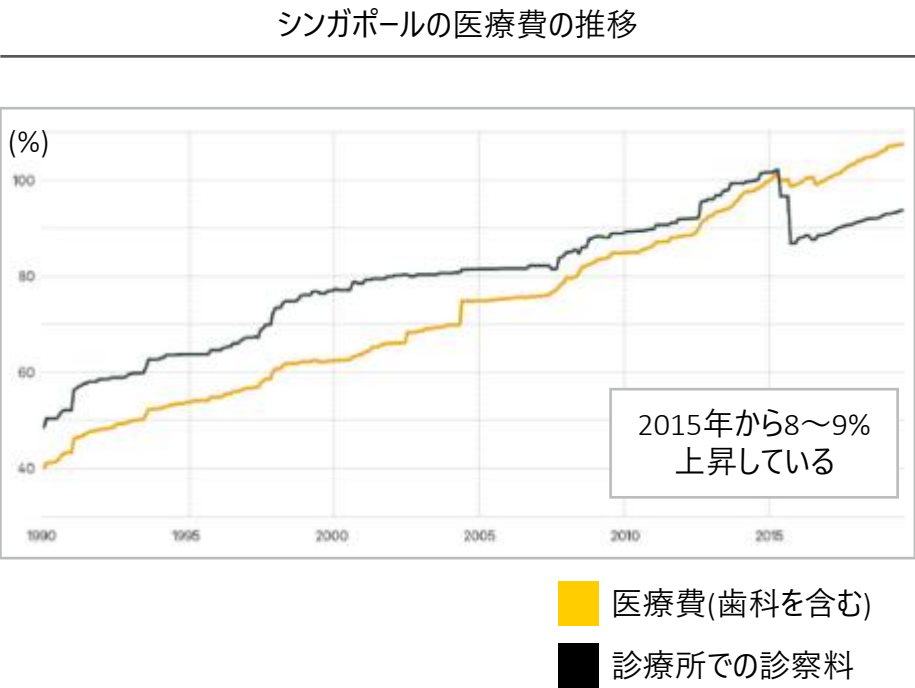
ファラーパーク病院は患者の半分以上が外国人で、外国人向けクリニック・海外オフィスの設置など、患者へのホスピタリティ向上に力を入れている

シンガポール：Farrer Park Hospital(ファラーパーク病院)の概要

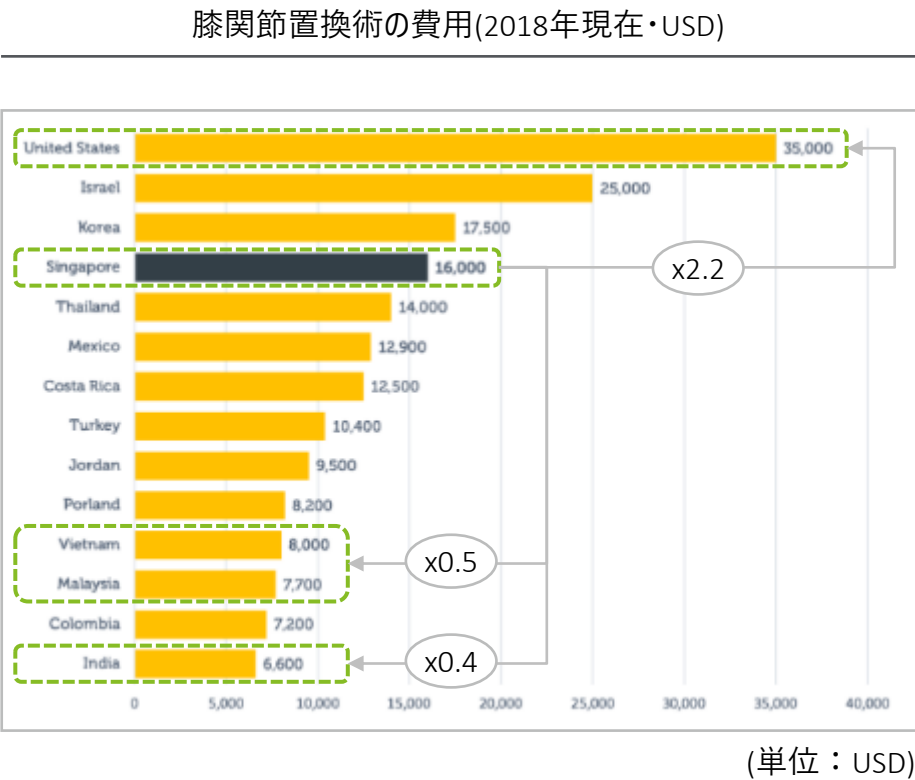
Farrer Park Hospitalの概要		サービスの概要	
病院名	Farrer Park Hospital	患者とのコミュニケーション	✓ 患者がタブレットを使用して医療記録を閲覧、食事の注文、オンラインショッピング、購入した商品を患者が指定した場所で受け取ることができる
所在地	Connexion, Singapore	外国人向けサービス	【ホスピタリティ】 ✓ 診療の相談・予約取得 ✓ ビザの申請・延長 ✓ シンガポールでの宿泊手配 ✓ 旅行計画作成 ✓ 出迎え・送迎 ✓ コンシェルジュによる患者サポート ✓ 医療翻訳・通訳サービス ✓ 患者後送と本国への送還 ✓ ホテルや寿司・中華料理レストランが病院と同じ施設(Connexion)内にある 【外国人患者集客】 ◆ ニチイインターナショナルクリニック ✓ 日本語・英語・中国語に対応しているプライマリケアが中心のクリニック ✓ 病院と同じ施設(Connexion)内にある ◆ 海外オフィス ✓ 2017年にバングラデシュオフィスを開設
運営形態	民間		
設立年度	2016年3月		
病床数	220床	外国人向けサービス	【ホスピタリティ】 ✓ 診療の相談・予約取得 ✓ ビザの申請・延長 ✓ シンガポールでの宿泊手配 ✓ 旅行計画作成 ✓ 出迎え・送迎 ✓ コンシェルジュによる患者サポート ✓ 医療翻訳・通訳サービス ✓ 患者後送と本国への送還 ✓ ホテルや寿司・中華料理レストランが病院と同じ施設(Connexion)内にある 【外国人患者集客】 ◆ ニチイインターナショナルクリニック ✓ 日本語・英語・中国語に対応しているプライマリケアが中心のクリニック ✓ 病院と同じ施設(Connexion)内にある ◆ 海外オフィス ✓ 2017年にバングラデシュオフィスを開設
概要	✓ 当時の保健大臣主導で設立された民間の三次医療機関 ✓ Connexionというメディカルセンター・ホテル・レストランが入っている複合施設内にあり、施設の下にはMRT Farrer Park駅がある ✓ 患者の半分以上を外国人が占める		
関連病院・施設	✓ Farrer Park Medical Centre ✓ One Farrer Hotel		

シンガポールの医療費は上昇を続けている。膝関節置換術の費用を例に他国と比べると、アメリカの約半額だが、ベトナム・マレーシア・インドと比べると約2倍である

シンガポール：医療費の推移



シンガポール：膝関節置換術の費用の他国との比較

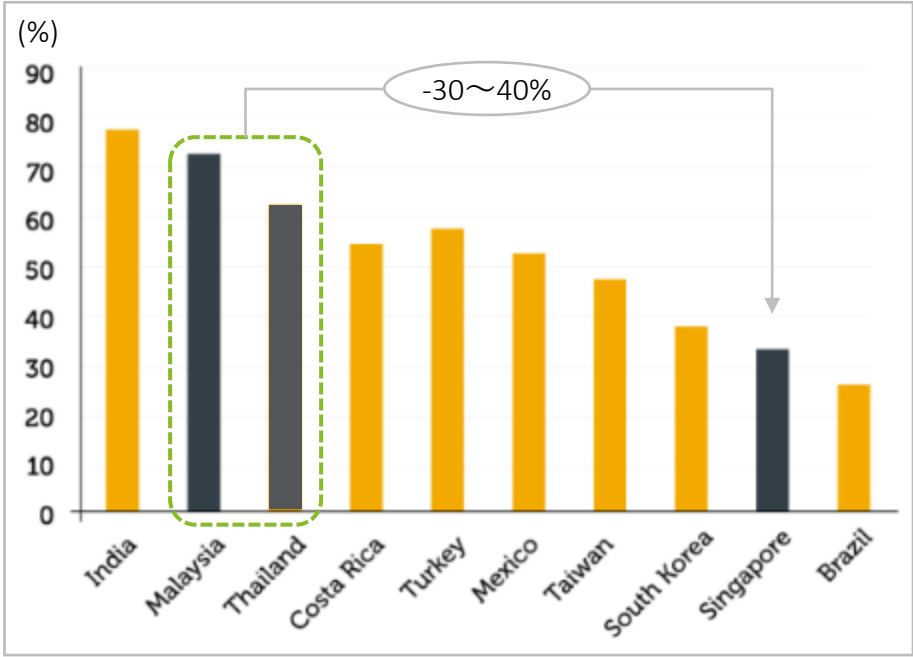


出所：<https://www.budgetdirect.com.sg/travel-insurance/research/medical-tourism-singapore>

アメリカで医療を受けた場合と比較した患者の治療費の削減率をマレーシア・タイと比較すると、シンガポールの医療費削減率は30～40%低い

シンガポール：アメリカで医療を受けた場合と比較した患者の治療費の削減率と為替の上昇率

アメリカで医療を受けた場合と比較した患者の治療費の削減率



為替の上昇率
(シンガポール・マレーシア：インドネシア・ルピアが基準)

年度	SGD-IDR	MYR-IDR
2013	22%	18%
2014	-3%	-5%
2015	4%	-9%
2016	-4%	-6%
2017	9%	12%
2018	4%	4%
2013～2018通算	34%	21%

- SGD・・・シンガポール・ドル
- MYR・・・マレーシア・リンギット
- IDR・・・インドネシア・ルピア

シンガポールは医療渡航先の先進国として挙げられており、特にインドネシアからの渡航者が多いが、同地域で受けられる治療費やインドネシア・ルピアに対する為替の上昇率を比較すると、マレーシアやタイのほうが患者の財政負担を抑えられる状況にある

出所： <https://www.budgetdirect.com.sg/travel-insurance/research/medical-tourism-singapore>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

1998年以降保健省を中心としてマレーシア政府は医療渡航の推進に取り組んでおり、メディカルツーリズム専門機関の設立やヘルスケアトラベルブランドの開発を進めている

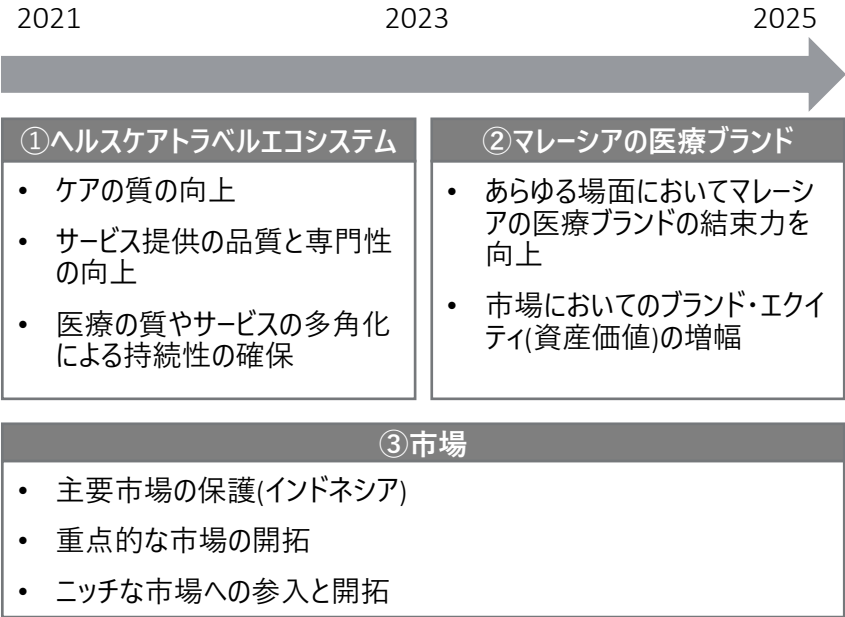
マレーシア：医療渡航の推進に関する政策

- ヘルスケアトラベル推進に関する政策動向
 - 1998年にメディカルツーリズム推進委員会が設立されて以降、政府は医療渡航推進に関する施策を複数実施している

年	出来事
1998	・ メディカルツーリズム推進委員会を設立 →保健省、観光局、私立病院等により運営
2009	・ 保健省傘下組織として、The Malaysia Healthcare Travel Council (MHTC)というメディカルツーリズムの推進組織を設立
2010	・ 観光局がメディカルツーリズム専用の公式ホームページを開設
2011	・ マレーシアにおけるヘルスケアトラベルのブランドである“Malaysia Healthcare”を設立 →政府省庁、私立病院、旅行代理店等により運営
2021	・ MHTCによる“Healthcare Travel Industry Blueprint 2021-2025”の公表

- The Malaysia Healthcare Travel Council (MHTC)
 - 2009年、ヘルスケアトラベル産業を拡大するという目的で保健省内の組織として発足し、以降政府・財務省・観光局・入国管理局等の支援を受けて活動を実施している

- 現在実施されているヘルスケアトラベル推進施策
 - Healthcare Travel Industry Blueprint 2021-2025
 - ・ MHTCは2021年に、今後5年間でマレーシアにおけるヘルスケアトラベル産業を拡大していくための戦略を示したレポートである“Healthcare Travel Industry Blueprint 2021-2025”を公表した
 - ・ 同レポートでは、今後重点的に焦点を当てる3つの項目とその実施時期について以下のように定めている



出所: https://www.jkri.or.jp/PDF/2012/sogo_64_mano.pdf、<https://www.mhtc.org.my/about-malaysia-healthcare/>、<https://mhtc.org.my/wp-content/uploads/pdf/malaysia-healthcare-travel-industry-blueprint-2021-2025.pdf>

マレーシアは高品質かつ低価格な医療やムスリムフレンドリーな環境をプラス要因として分析している一方、周辺には医療渡航等が盛んな国が複数あるため競争の激化が予測される

マレーシア：医療渡航の方針

- マレーシアにおけるメディカルツーリズムの分析
- MHTCはマレーシアの特徴として高品質かつ低価格な医療、周辺国からの良好なアクセス、ムスリムフレンドリーな環境等を挙げている
 - 一方で、周辺国にはタイやベトナムといった観光資源が豊富な国や先進医療の提供が盛んなシンガポールが位置しており、将来の競争力を確保するための積極的な対応が必要であるとし、マレーシアが国際市場において関連性と競争力を維持するために、ヘルスケアトラベル産業全体で協調的に行動していくとしている

MHTCによるメディカルツーリズムの分析

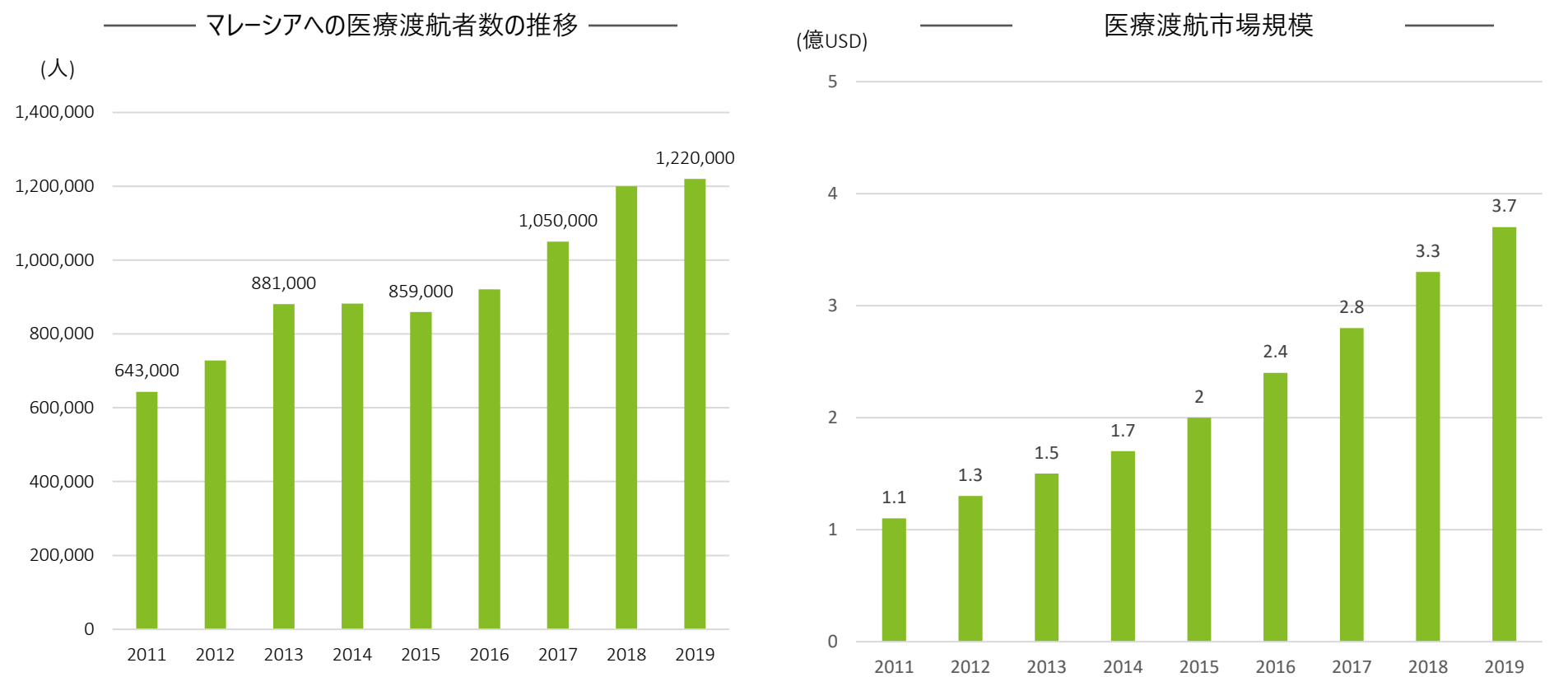
	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none">高品質で低価格な医療の提供周辺国からマレーシア半島へのアクセスの良さ(空路、陸路、海路)	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none">医療渡航パッケージが開発段階にとどまる東マレーシア(ボルネオ島)へのアクセスの不足(航空路)インドネシア市場への依存度が高い
外部環境	<p>機会</p> <ul style="list-style-type: none">マレーシアと比較して医療レベルの低い国からの渡航(インドネシア、ミャンマー、カンボジア等)ムスリム(イスラム教)フレンドリーな環境	<p>脅威</p> <ul style="list-style-type: none">医療渡航市場の大きい周辺国との競争(シンガポール、タイ、韓国等)

マレーシア及び周辺国の地理



年間約120万人の外国人がマレーシアに医療渡航しており、その市場規模は増加している

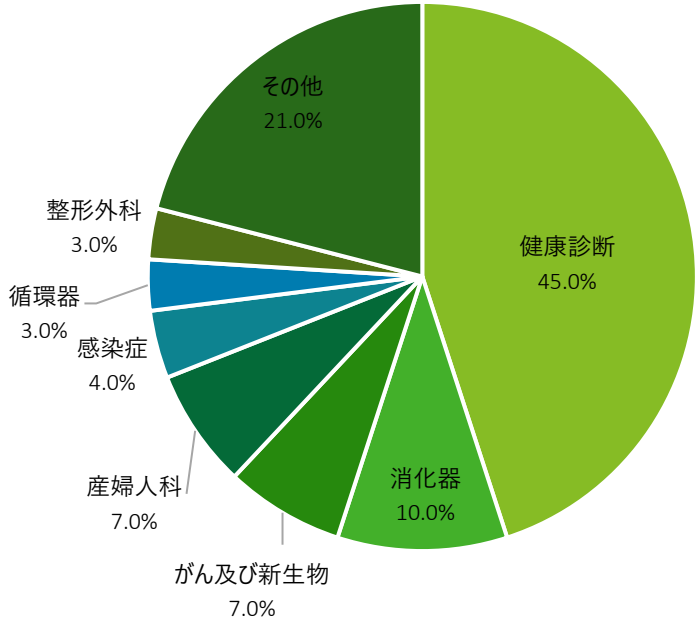
マレーシア：医療渡航者数及び市場推移



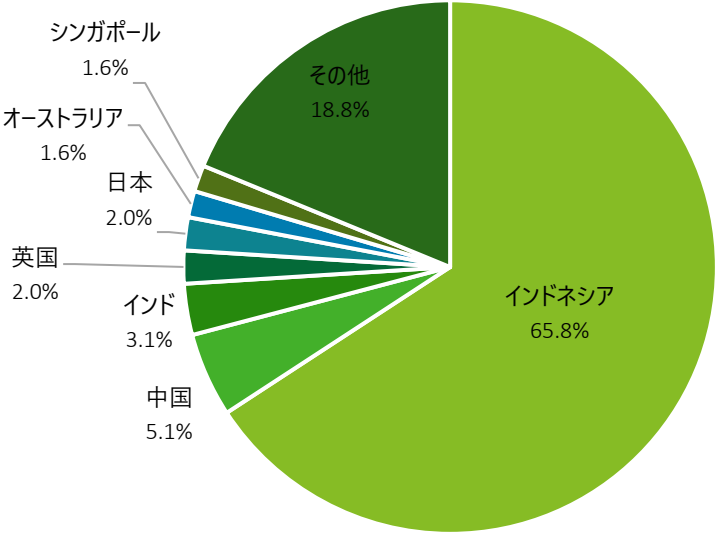
マレーシアへの医療渡航の目的として、健康診断(45%)、次いで消化器系疾患(10%)、国別ではインドネシアが全体の約65%を占めている

マレーシア：医療渡航者数及び市場推移

マレーシアへの医療渡航の目的(2019)



医療渡航受診者の国籍割合 (2019)



第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

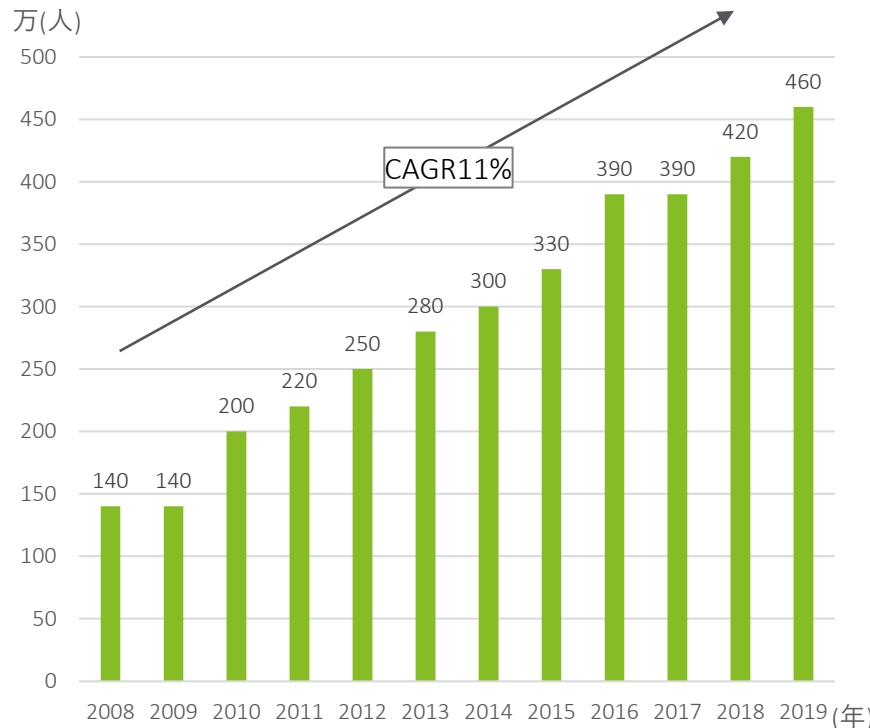
タイの医療渡航者数・医療渡航市場は急速に成長しており、COVID-19により市場は一時的減少するも2023年には回復見込みである

タイ：外国人患者数の推移

- タイの医療渡航者数は、2019年時点で累計460万人に達し、2008年～2019年で年平均成長率約(CAGR)11%の増加と予測されている*1

*1 医療渡航目的の患者、旅行中に体調不良となった患者、在留外国人の区別が困難な場合があり、更に患者数ではなく受診回数で報告する医療機関があるため正確な数値の把握が困難とされている

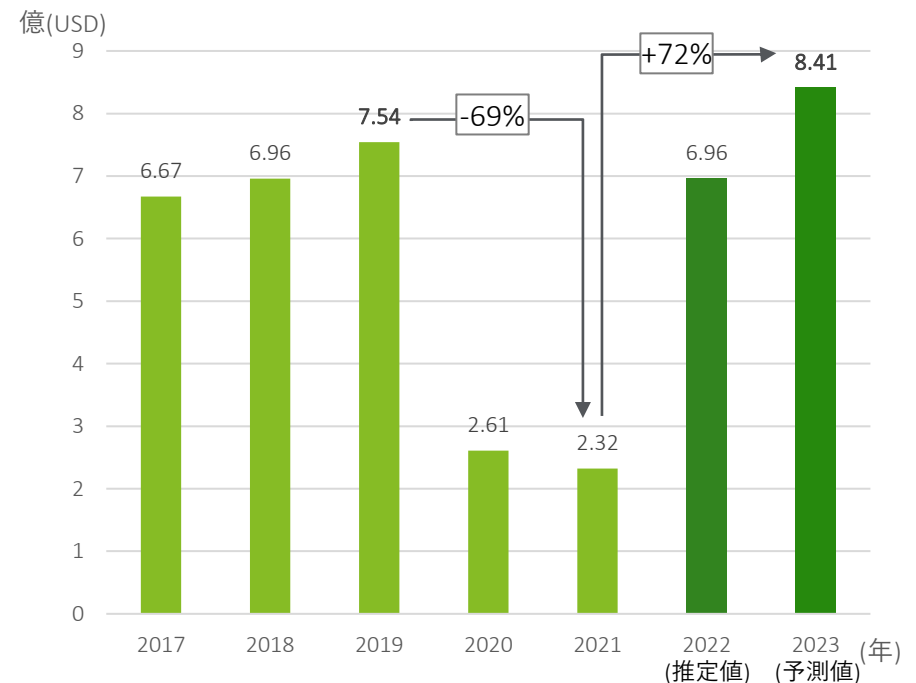
タイの医療渡航者数推移予測



タイ：医療渡航市場の市場推移・予測

- タイの医療渡航市場は2017年～2019年において年平均成長率約8%で成長したが、2021年はCOVID-19により大幅に減少した
- しかし、国際医療センター(Medical Hub)やアンドAMANウェルネス回廊(Andaman Wellness Corridor)の開発、医療ビザの導入などの取組により、2023年は2019年の市場を上回ると予測されている

タイの医療渡航市場規模,2017年-2023年(億USD)*2



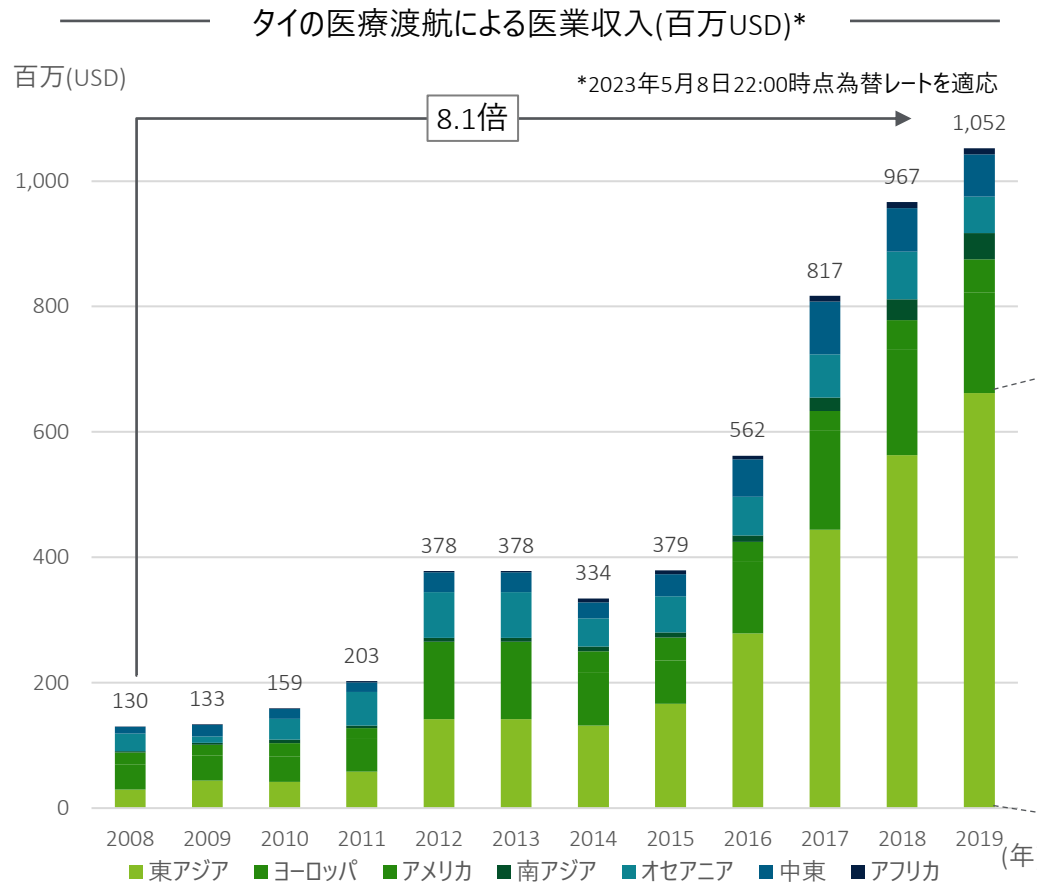
*2 USD為替レートは2023年5月1日7:27UTC時点のものを適応、市場規模は医療費のみを換算

出所:https://content.yudu.com/web/43mml/0A43msv/IHHR1/html/print/ITI202-international-hospitals-and-healthcare-review_nov-2017.pdf、
https://www.mots.go.th/more_news_new.php?cid=411、<https://www.scbeic.com/th/detail/product/medical-tourism-020323>

タイの医療渡航による医業収入は2019年に約10億5千万USDに達し、そのうち約6割は東アジア諸国からの渡航者によるものである

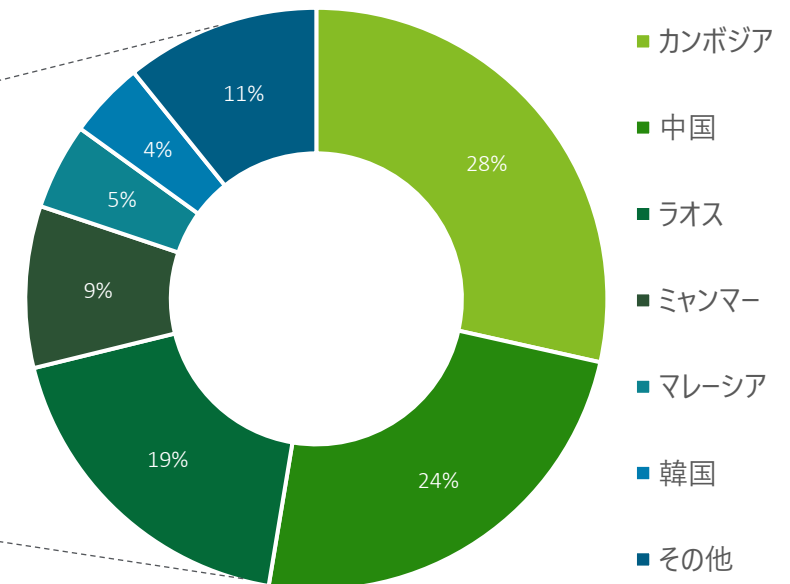
タイ：医療渡航による医業収入の推移

- タイの医療渡航による医業収入は2008年～2019年において約8倍に成長し、2019年には約10億5千万USDに達した



- 2019年の医療渡航による医業収入のうち、約6割は東アジア諸国からの渡航者によるものである
- 2019年の東アジアによる医業収入のうち、約8割はカンボジア、中国、ラオス、ミャンマーからの渡航者によるものである
- 先進国のみならず、発展途上国からの収入も多く、自国の医療水準では受けられない先進医療を求め渡航する外国人が増えていると思われる

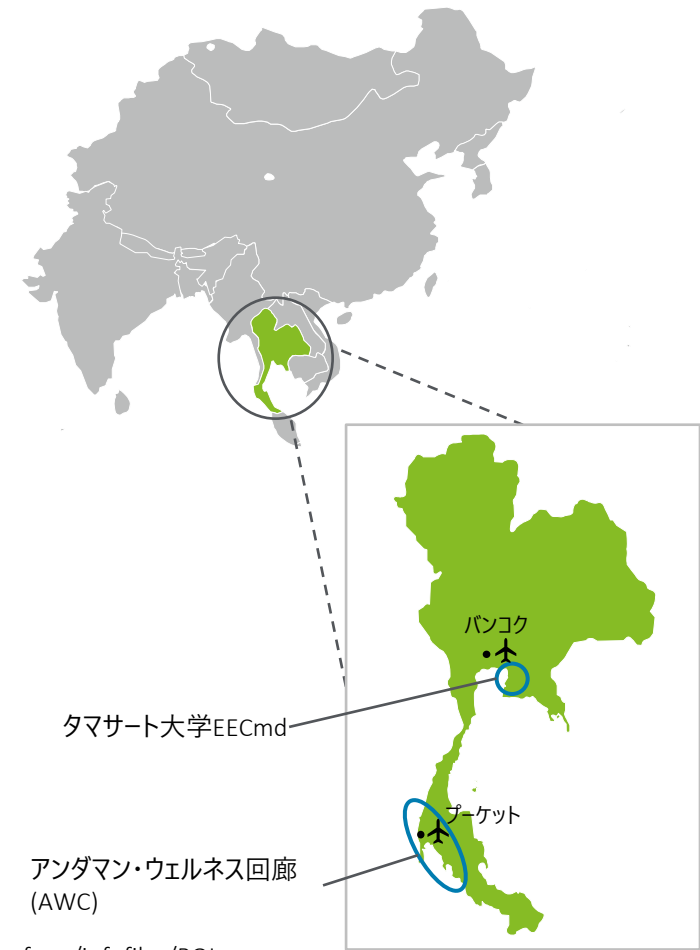
東アジア諸国の国別医業収入割合



タイ政府は2004年以降医療渡航の推進に注力し、最近ではアンダマン・ウェルネス回廊 (AWC)の開発計画や医療ビザの発給によるCOVID-19後の経済活性に取り組んでいる

タイ：政府による医療渡航の推進

年代	医療渡航推進の内容
1997	アジア通貨危機に陥り、自国通貨(タイバーツ)の通貨価値が暴落したことをきっかけに、タイの私立病院は海外からの集客に注力するようになった
2004	民間病院の国際医療の活性化に対してタイ政府は <u>アジアメディカルハブ構想</u> を打ち出し、保健省を中心とした様々な関係機関が連携を取り、以降医療観光推進のための制度を策定・実施している
2016	政府は <u>メディカルハブ戦略10年計画(2016-2025年)</u> を策定し、2016-2025年の10年間でタイをアジアにおける医療ハブ(Medical Hub)にするという目標を掲げ、活動している
2019	東部経済回廊開発の一環として、 <u>タマサート大学パタヤキャンパスでEECmd(Eastern Economic Corridor Medical Center for the medical hub scheme)の開発計画</u> が発表。585rai(約91ha)の土地において、医療ハブ、デジタルイノベーションハブ、次世代自動車ハブ、住宅・サービスエリアの4つのゾーンから成り立つ予定である
2022	政府は <u>アンダマン・ウェルネス回廊(AWC)の開発計画</u> を発表し、アンダマン海岸地方に医療センター、デンタルセンター、シニアケアセンター、スパなど様々なウェルネスサービスを整備する予定である
2023	政府は <u>医療ビザの発給を開始</u> し、医療ビザを利用してタイに入国する場合連続90日以内の滞在、1年間の有効期間内であれば複数回の入国が可能となった



出所:https://www.boi.go.th/index.php?page=business_opportunities_detail&topic_id=117526, https://agora.mfa.gr/inf/files/BOI-Medical&Pharma%20Industry_Thailand%20th.pdf, <https://healthcare-international.meti.go.jp/search/detail/1492/>, <https://thaiembdc.org/eastern-economic-corridor-eeec/>, <https://tu.ac.th/en/thammasat-080465-mou-eeCmd-now-and-next-towards-world-class-medical-center>, <https://prgroup.hss.moph.go.th/news/884>, <https://www.tatnews.org/>, <https://www.thaigov.go.th/news>

タイはアンダマン・ウェルネス回廊(AWC)の開発を通じて、医療渡航の推進及びパンデミック後の経済活性を図ることを目指している

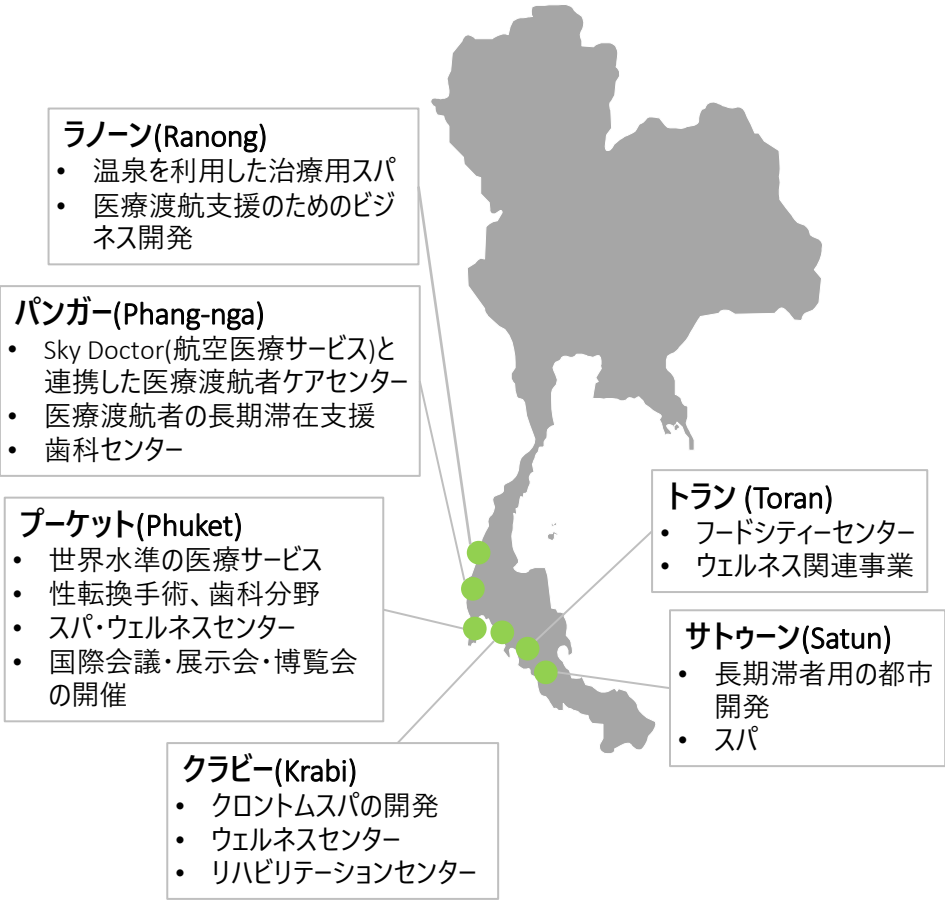
タイ：アンダマン・ウェルネス回廊の概要

- 2022年9月、タイ国政府は医療渡航推進のため **タイ・ウェルネス経済回廊(TWC)** に取り組むことを発表し、その中核プロジェクトとして **アンダマン・ウェルネス回廊(AWC)** の開発計画を承認した

—— タイ・ウェルネス経済回廊(TWC)の目的及び主要事業 ——

目的	<ul style="list-style-type: none">COVID-19からの経済復興成長ポテンシャルの高い医療渡航市場の推進
主要 3事業	アンダマン・ウェルネス回廊(AWC) <ul style="list-style-type: none">アンダマン海岸地域6県を中心とした、世界的なウェルネスセンターを整備するAWCではメディカルセンター、デンタルセンター、スパ、ウェルネスサービスなど医療渡航者誘致のための様々なビジネスを展開する
	ウドンタニ・グリーン・メディカルタウン(UGDMT) <ul style="list-style-type: none">インドシナ地域における、がんセンターをはじめとした高度医療都市を設立する
	医療関連企業の支援 <ul style="list-style-type: none">実証地域において医療関連企業を支援するためスーパーライセンスシステム(認可簡略化システム)の開発・導入を進める

—— AWC各県の注力分野 ——



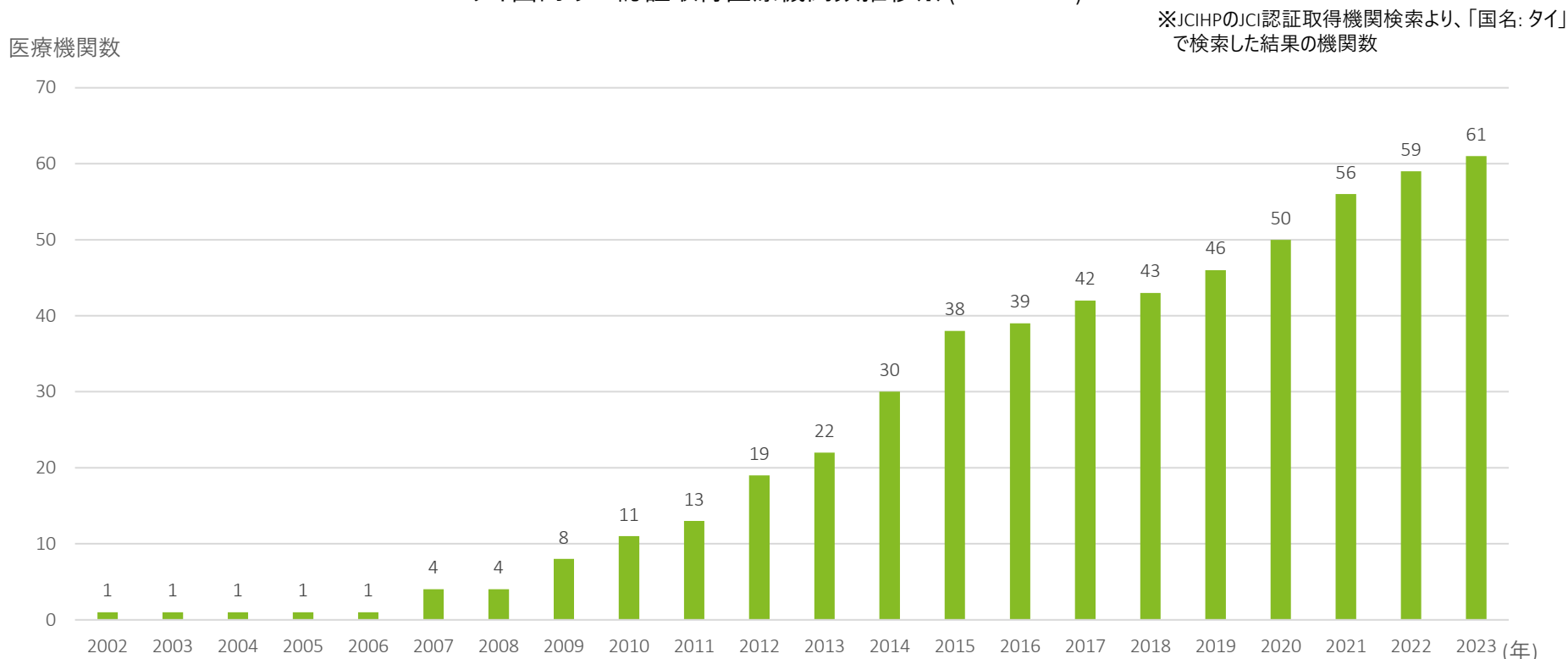
出所： https://hss.moph.go.th/show_topic.php?id=4901、<https://www.thaigov.go.th/news/contents/details/59859>、https://qa.thailand.go.th/guide-book-detail/001_07_024、https://www.researchgate.net/publication/364097487_Revitalising_South_Thai_Tourism_through_Medical_and_Wellness_Tourism

タイ政府は国内医療機関に対してJCI認証の取得を奨励しており、2023年5月時点で61機関が認証を取得し東南アジアで最多数である

タイ：JCI認証取得医療機関

- タイ政府は、国内の医療機関に対して国際的な医療機能評価であるJCI(Joint Commission International)の認証を取得することを奨励しており、2002年にバンコクのBumrungrad International Hospitalがアジアの医療機関として初めて当認証を取得した
- 2023年5月時点でタイ国内のJCI認証取得医療機関数は61機関であり、周辺国のベトナム(7機関)・インドネシア(23機関)や日本(30機関)と比較して取得数が多い。東南アジア諸国内では最多の認証取得数である

タイ国内のJCI認証取得医療機関数推移※ (2002-2022)



出所: [https://www.jointcommissioninternational.org/about-jci/accredited-organizations/#f:_Facet_Country=\[Thailand\]](https://www.jointcommissioninternational.org/about-jci/accredited-organizations/#f:_Facet_Country=[Thailand])、<https://www.bumrungrad.com/en/about-us/international-hospital-accreditation>、<https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/life-sciences-and-healthcare/articles/hc/life-sciences-healthcare-03.html>

第7章 医療渡航市場に係る基礎情報の把握

- | | |
|-------------|----------------|
| 7-1. 海外調査 | 7-7. バングラデシュ |
| 7-2. 中国 | 7-8. ミャンマー |
| 7-3. インドネシア | 7-9. シンガポール |
| 7-4. ベトナム | 7-10. マレーシア |
| 7-5. フィリピン | 7-11. タイ |
| 7-6. インド | 7-12. 保険会社との連携 |

中国の長生人壽保險有限公司の商品である「彩虹橋臻選医療保険B」では、日本での医療費に加え、提携する医療渡航支援企業による渡航前後のサポートが補償される

中国：保険商品の事例① (1/2)

※ 補償開始日から一定期間中、保険金が支払われない期間

保険商品名	彩虹橋臻選医療保険⑧		
保険会社	長生人壽保險有限公司(日本生命保險相互会社と共同出資する会社)		
加入条件	契約年齢範囲	0歳～65歳	
	契約期間	1年間	
	待機期間*	30日	
サービス内容 (医療渡航部分を 抜粋)	補償内容	中国本土の病院の専門医によって、本契約に定める「 <u>悪性腫瘍(重度)</u> 」と診断され、日本の特定の病院で治療を受けることに同意した場合、日本の病院での「悪性腫瘍(重度)」の治療により発生した必要かつ合理的な医療費(治療費、薬剤費、ベッド代、食事代、介護費、検査費、手術代等)から、本契約以外の保険等から得られる補償金を差し引いた後、残りの部分については、合意された補償割合に応じて医療費を補償する	
	追加サポート (提携する医療 渡航支援企業 が提供)	渡航前	渡航後
		<ul style="list-style-type: none">受診者及び同行者の医療ビザ申請に必要な書類の手配病院の予約セカンドオピニオンの手配及び費用の立て替えカルテの翻訳受診証明書の作成サポート治療スケジュールの作成航空券及び宿泊施設の手配	<ul style="list-style-type: none">空港までの出迎え携帯電話及びWiFiの手配通訳(医療通訳を含む)の手配宿泊費、医療費の立て替え中国語での電話問合せ(24時間)診断結果の翻訳航空券費用(同行者1名を含めた1回のみ)の補償宿泊費(30日間まで)の補償交通系ICカード1枚(5,000円分)の提供

出所： <https://www.gwclife.com/>、 <https://www.qcc.com/firm/292c00dc0acb02c7f2fca4261235ec5a.html>、 <https://zhuanlan.zhihu.com/p/61055808>

長生人寿保険有限会社の保険では、会員ランクに応じた特典として日本で人間ドック及びセカンドオピニオンを受けることもできる

中国：保険商品の事例① (2/2)

■ 長生人寿保険有限会社の会員特典

長生人寿保険有限会社のいずれかの保険に1年以上加入し、個人の年間支払い保険料が50万円以上に達した場合に「会員」となり、会員のレベルにより、以下の特典を受けることが可能となる

サービス	人間ドック(日本)	重症セカンドオピニオン(日本)
サービス内容	<ul style="list-style-type: none">人間ドックの予約・受診医療通訳者の派遣結果報告書の発行・翻訳	<ul style="list-style-type: none">中国で提供された医療情報の整理・翻訳セカンドオピニオンの予約・受診医療通訳者の派遣結果報告書の発行・翻訳
提供方式	対面	
利用回数	1回のみ	
補償費用範囲	人間ドックに関する費用 (航空券、ホテル代、その他手数料などは自己負担)	セカンドオピニオンに関する費用 (航空券、ホテル代、その他手数料などは自己負担)
渡航先病院	医療法人湘和会 湘南記念病院	医療渡航サービス機関が提携している15の医療機関

会員ランク	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド	プレミアム
個人年間支払い保険料* (1元=20円、2023.05.30時点)	50万～100万円未満	100万～240万円未満	240万～1,000万円未満	1,000万円以上
人間ドック(日本)	×	×	○(契約4年目から)	○(契約2年目から)
重症セカンドオピニオン(日本)	×	×	×	○

出所：<https://www.gwcslife.com/main/khfw/grcp18/vipfw/index.html>

中国の衆安オンライン財産保険有限株式会社の「尊享e生2022医療保険」は、2,000万円を上限に日本での治療に係る医療費を70%補償し、渡航前後のサポートも提供している

中国：保険商品の事例②

※ 補償開始日から一定期間中、保険金が支払われない期間

保険商品名	尊享e生2022医療保険		
保険会社	衆安オンライン財産保険有限株式会社		
加入条件	契約年齢範囲	0歳～70歳	
	契約期間	1年間	
	待機期間*	30日	
サービス内容 (医療渡航部分を 抜粋)	補償内容	・ 中国本土の2級以上の公立病院で「悪性腫瘍(重度)」と診断され、日本の特定の病院での治療に同意した場合、指定された日本の病院での治療により発生した必要かつ合理的な医療費を70%補償する	
	追加サポート (提携する医療 渡航支援企業 が提供)	渡航前	・ 日本の病院でのセカンドオピニオンの予約 ・ 病院の予約 ・ 宿泊施設の手配
		渡航後	・ 空港までの出迎え ・ 病院での通訳手配
補償疾病範囲	悪性腫瘍(重度)		
補償割合	治療に伴って発生した必要かつ合理的な医療費を70%補償する		
補償金額上限	2,000万円(1元=20円、2023.05.30時点)		

出所：https://www.zhongan.com/、https://baijiahao.baidu.com/s?id=1616912729453777084&wfr=spider&for=pc

インドネシア金融サービス機構及び保険会社のHPによると、インドネシアで医療保険を提供している保険会社のうち、19社が海外での受診を補償する国際医療保険を提供している

次頁以降で詳細記載

※売上げは6月27日時点のレートで換算

※「-」：公開情報なし

インドネシア：医療保険を提供している保険会社

内資系保険会社

No.	保険会社名	生命・医療 累計保険売 上げ(2021年)	国際医療 オプション
1	Asuransi Jiwa Inhealth Indonesia	136,628,651	○ 公開情報少
2	Asuransi Jiwa Central Asia Raya	12,628,580	-
3	Equity Life Indonesia	7,495,605	-
4	Astra Aviva Life	3,898,455	-
5	Asuransi Jiwa Syariah Jasa Mitra Abadi	2,906,737	-
6	Perta Life Insurance	2,385,756	-
7	MNC Life Assurance	2,213,064	-
8	Asuransi Ciputra Indonesia	1,557,328	-
9	Asuransi Jiwa Sequis Life	1,105,822	○
10	Asuransi Jiwasraya (Persero)	332,260	-
11	Central Asia Financial	328,421	-
12	Asuransi Jiwa Adisarana Wanaartha*	145,028	- 事業撤退
13	Asuransi Simas Jiwa	118,557	○
14	Asuransi Jiwa Starinvestama	2,774	○

インドネシアの医療渡航事情

- ・インドネシアでは、毎年約60万人が医療目的で海外渡航しており、その累計支出額は約\$19億と想定されている（主要渡航先：マレーシア、シンガポール）
- ・医療渡航で受ける主要な治療はがん・心臓血管手術・健康診断等
- ・政府は患者の海外流出を課題視し、自国の医療の質の改善に取り組んでいる（バリ国際病院の建設・外国でトレーニングを受けたインドネシア医師の優遇等）

ジョイントベンチャー系保険会社

No.	保険会社名	生命・医療 累計保険売 上げ(2021年)	国際医療オ プション
1	Asuransi Jiwa Manulife Indonesia	81,043,065	○
2	AXA Mandiri Financial Services	49,109,490	○
3	AXA Financial Indonesia	37,018,103	○
4	BNI Life Insurance	36,210,211	○
5	Asuransi CIGNA	23,247,593	-
6	Alia Financial	21,600,117	○
7	Prudential Life Assurance	20,842,775	○
8	Asuransi Jiwa Sinarmas MSIG	17,620,544	-
9	Asuransi Jiwa Generali Indonesia	17,444,596	○
10	Great Eastern Life Indonesia	8,346,920	○
11	Avrist Assurance	6,007,335	-
12	Asuransi Takaful Keluarga	3,532,558	-
13	Asuransi Allianz Life Indonesia	2,744,320	○
14	Sun Life Financial Indonesia	2,182,605	-
15	Asuransi Jiwa Sequis Life（日本生命と業 務提携）	1,968,621	○
16	Asuransi BRI Life	1,840,132	-
17	PFI Mega Life Insurance	1,239,379	-
18	Hanwha Life Insurance Indonesia	1,236,954	○
19	Zurich Topas Life	848,656	○
20	Tokio Marine Life Insurance Indonesia	255,054	○
21	FWD Insurance Indonesia	61,404	○
22	Panin Dai-Chi Life	6,472	○

出所：<https://www.oliverwyman.com/content/dam/oliver-wyman/v2/publications/2018/october/the-future-of-the-indonesian-healthcare-ecosystem.pdf>,
<https://www.laingbuissonnews.com/imtj/news-imtjindonesia-takes-steps-to-reverse-outbound-medical-travel/>, <https://www.thejakartapost.com/business/2021/12/13/health-minister-budi-seeks-to-curb-outbound-medical-tourism.html> <https://www.ojk.go.id/id/kanal/iknb/data-dan-statistik/direktori/direktori-iknb/Default.aspx> ,

Sequis Financial及び東京海上インドネシアの保険では、海外でのがん治療や腎不全に係る治療が全額補償され、東京海上インドネシアの保険では健康診断も補償される

インドネシア：保険商品の比較

※為替レートは6月27日UTC7:00時点のものを適応

		内資系保険会社		ジョイントベンチャー系保険会社			
		①Sequis Financial(インドネシア)		②Manulife Indonesia (カナダ)			③東京海上インドネシア(日本)
保険商品名 (保険のグレード)		Q Hospital Rider (プラン3・4)		Proteksi Prima Sehat Global (エメラルド・ルビー・ダイヤモンド)			• Optima Health Hospital & Surgery (エグゼクティブシルバー・プラチナ)
フルカバーされる項目		• 入院中の診察、治療、手術、検査 • 入院前後の診察、検査 • <u>がん、腎不全などの重症疾患に係る治療</u> • 乳がん後の乳房再建術		• 入院中の診察、治療、手術、検査 • 入院全後のフォローアップ診察、検査、処置 • 外来での診察、検査薬剤の処方 • 乳がん後の乳房再建術			• 入院中の診察、治療、手術、検査 • <u>がん治療や腎不全に係る治療・透析</u> • 乳がん後の乳房再建術
オプション		• 救急外来、事故に係る補償料の増額 • 入院時室料の補償料の増額		• 歯科治療、妊娠・出産、理学療法			• 年間補償限度額の増加
除外項目		• 予防治療、健康診断、ワクチン、妊娠、出産、不妊治療、美容整形、性転換、歯科治療、視力矯正等 • 保険加入以前に発症した疾患 等		• 予防治療、健康診断、ワクチン、サブリ、入院時のテレビ・冷蔵庫利用料等治療に関連しないもの • 保険加入時以前に発症した疾患 等			• 妊娠、出産、不妊治療、美容整形、歯科治療、サブリ、ホルモン療法、精神疾患、性感染症、HIV/AIDS • 保険加入時前に発症した疾患 等
		プラン3	プラン4	エメラルド	ルビー	ダイヤモンド	シルバー プラチナ
対象国 ※全て日本を含む		アジア	全世界	アメリカを除く全世界			全世界
年間補償限度額(USD)		666,800	1,000,200	未記載			333,400 4,000,800
補償例 (USD)	室料/日	167	300	200	400	600	133 500
	家族宿泊費	66	100	50	67	83	フルカバー (年間上限額内)
	がん治療	フルカバー (年間上限額内)		20,004	40,008	60,012	フルカバー (年間上限額内)
	手術	フルカバー (年間上限額内)		フルカバー (年間上限額内)			フルカバー (年間上限額内)
	健康診断	対応不可		対応不可			対応不可 133

出所： <https://www.sequis.co.id/id/asuransi-kesehatan/individu/Kesehatan>, <https://www.manulife.co.id/id/produk/kesehatan/asuransi-kesehatan/proteksi-prima-sehat-global.html>, <https://www.tokiomarine.com/id/en/life/products/personal/health-protection/tm-executive-medicare.html>

Sequis Financialはインドネシア富裕層を対象とした国際医療保険を提供しており、がん治療は化学療法・放射線療法に加え、陽子線治療・免疫療法なども全額補償である

インドネシア：保険商品の事例① (Asuransi Jiwa Sequis Financial)

保険商品名	Q Hospital Rider	
保険会社名	PT Asuransi Jiwa Sequis Financial	
保険会社概要	設立年度	1984年
	本社所在地	ジャカルタ
	会社概要	Asuransi Jiwa Sequis Life の子会社で、インドネシア国内の保険商品、従業員福利厚生サービス等を展開している。Sequis Lifeは2014年に日本生命と業務提携をしている
	売上高	約900万USD (為替レートは6月27日UTC7:00時点を適応)
	従業員数	150人
保険商品概要	<ul style="list-style-type: none">国内・海外での入院・治療をカバーし、特に海外で治療を希望するプレミアム顧客を対象とした保険商品ただし、追加保険であり、生命保険と併せて購入する必要がある	
保険商品のターゲット層	インドネシア国民・インドネシア居住者	
対象国	<ul style="list-style-type: none">プラン3：アジア全域プラン4：全世界	
加入条件	契約年齢範囲	・ 生後30日～70歳 (継続は100歳まで可)
特徴	<ul style="list-style-type: none">がん治療における化学療法、放射線療法、陽子線治療、免疫療法などが全額補償である入院前30日、入院後90日の外来診察、検査、理学療法等も補償される	

Manulife Indonesiaの保険では、がん・心疾患・臓器移植などの重症疾患に係る入院治療を補償し、外来での診療・治療・検査等は全額補償である

インドネシア：保険商品の事例② (Asuransi Jiwa Manulife Indonesia)

保険商品名	Proteksi Prima Sehat Global	
保険会社名	Manulife Indonesia	
保険会社概要	設立年度	1985年
	本社所在地	ジャカルタ (本拠はカナダ・トロント)
	会社概要	カナダに本拠を置くマニライフ・ファイナンシャル・コーポレーションのグループ会社。個人・企業に対し保険商品や資産運用のサービスを提供するグローバル民間企業
	売上高	約8億1,000万USD (為替レートは6月27日UTC7:00時点を適応)
	従業員数	11,000人
保険商品概要	<ul style="list-style-type: none">インドネシア国内・海外での入院・外来治療に係る医療費用をカバーする包括的な保険商品インドネシアと比較した海外の医療費高騰を受け提供している	
保険商品のターゲット層	インドネシア国民・インドネシア居住者	
対象国	<ul style="list-style-type: none">エクシト：インドネシア、マレーシアエメラルド/ ルビー/ ダイヤモンド：アメリカを除く全世界	
加入条件	契約年齢範囲	<ul style="list-style-type: none">契約者及びその配偶者：18歳～70歳 (継続は80歳まで可)契約者の子供：6か月～17歳
	その他	<ul style="list-style-type: none">ダナモン・インドネシアの銀行口座を保有
特徴	<ul style="list-style-type: none">がん(化学療法、放射線治療等)、心疾患、腎不全、臓器移植などの重症疾患が補償される外来での診察、治療、検査等は全額補償であるオプションで歯科治療、理学療法、妊娠・出産を提供している	

出所: <https://www.manulife.co.id/id/produk/kesehatan/asuransi-kesehatan/proteksi-prima-sehat-global.html>,
<https://www.danamon.co.id/id/Personal/Asuransi/Kesehatan/Proteksi-Prima-Sehat-Global>

東京海上インドネシアの保険商品では、がん治療・腎不全の治療に加え、喘息・高血圧などの慢性疾患や健康診断も補償される

インドネシア：保険商品の事例③(Tokio Marine Life Insurance Indonesia)

保険商品名	Optima Health Hospital & Surgery (Executive Silver and Platinum)	
保険会社名	Tokio Marine Life Insurance Indonesia(東京海上インドネシア)	
保険会社概要	設立年度	1975年
	本社所在地	ジャカルタ (本拠は東京大手町)
	会社概要	東京海上日動の子会社。インドネシアで生命、医療保険、車、旅行、損害賠償保険等多岐にわたる保険商品を提供。東京海上アジアはインドネシアの他、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、マレーシア、インド等のアジア諸国にも子会社がある
	売上高	約1億733万USD(為替レートは6月27日 UTC7:00時点を適応)
	従業員数	394人
保険商品概要	インドネシア国内・海外での入院・手術、治療を対象とした医療保険。また、同一商品内で多数のプランを提供し、幅広い対象疾患をカバーするなど、多様なニーズに対応している	
保険商品のターゲット層	インドネシア国民・インドネシア居住者	
対象国	・ 全世界 (国・地域に応じて補償範囲が異なる)	
加入条件	契約年齢範囲	・ 生後15日～70歳 (継続は100歳まで可)
特徴	・ 外来の がん治療・腎不全の治療・透析 は全額補償される ・ 臓器移植、喘息、糖尿病、高血圧、血液疾患、白内障、尿結石、関節の炎症等の疾患、健康診断 も補償される	

出所: <https://www.tokiomarine.com/id/en/non-life/about-us/general-insurance.html>、<https://www.tokiomarine.com/content/dam/tokiomarine/indonesia/non-life/about-us/about-us-general-insurance/documents/Company%20Profile%202022%20PT%20Asuransi%20Tokio%20Marine%20Indonesia.pdf>、<https://www.tokiomarine.com/id/en/life/products/personal/health-protection/tm-optima-health-hospital-surgery.html>

ベトナムで医療保険を扱っている保険会社のうち、医療渡航向けの保険商品を扱っており、企業形態が異なる3つの会社の商品を調査した

ベトナム：医療保険を扱っている保険会社一覧

※ 緑色が今回調査した保険会社

保険会社名	設立年	企業形態	シェア(2018年)
Bao Viet Holdings	1965	国営(ベトナム)	22.78%
PetroVietnam Insurance	1995	民間(ベトナム)	10.34%
Bao Minh Insurance	1994	民間(ベトナム)	9.46%
Post and Telecommunication Joint Stock Insurance	1998	民間(韓国・ベトナム)	9.17%
VASS	2003	民間(ベトナム)	7.62%
Petrolimex Joint Stock Insurance Company	1995	民間(ベトナム)	6.85%
VietinBank Insurance	2008	民間(ベトナム)	3.87%
Liberty Insurance	1912	民間(アメリカ)	1.76%
MSIG Viet Nam	2009	民間(日本)	0.95%
United Insurance Company	1997	民間(日本・韓国・ベトナム)	0.85%

出所： https://healthcare-international.meti.go.jp/files/document/r3fy_kmsi_tagcards_19_19.pdf

ベトナムのBao Minhの保険は全世界が対象国である。他社の保険と比較し、補償内容は充実していないが、41歳以上の人向けの保険料は安価である

ベトナム：保険商品の比較

※ 補償等の料金は1ベトナムドン=0.000042USD(2023年6月23日時点)で換算

保険会社名(保険のグレード)		①Bao Minh	②Liberty(Classic、Zone2)	③Bao Viet(Classic)
会社形態		民間企業(ベトナム)	民間企業(アメリカ)	国営企業(ベトナム)
対象国 ※ 全て日本を含む		全世界	ベトナム・中国・タイ・シンガポール・台湾・韓国・日本・マレーシア・インドネシア・フィリピン	アジア諸国
年間保険料(USD)	0～18歳	421	386(0～5歳) 358(6～17歳)	362
	41～45歳	599	673(40～44歳)	668
	61～64歳	1,294	1,790(60～64歳)	1,902
年間補償限度額(USD)		50,000	93,456	180,000
補償例(USD)	室料(1日)	150	234	446
	集中治療室入院	500	フルカバー	フルカバー
	手術	30,000	フルカバー	フルカバー
	臓器移植	30,000	フルカバー	53,562
	家族・知人の航空券	エコノミークラス往復航空券1回	エコノミークラス往復航空券1回	エコノミークラス往復航空券1回
フルカバーされる項目		<ul style="list-style-type: none">医師の訪問(1日1回)、救急搬送	<ul style="list-style-type: none">がん治療、在宅看護、救急搬送、臓器移植、緊急搬送・本国への送還(空路含む)、家族の航空券(エコノミークラス往復航空券1枚)	<ul style="list-style-type: none">診察、治療、手術、検査(CT、MRI、PETなど)、妊娠に係る救急治療、集中治療室(最大30日/疾病)、緊急搬送・本国への送還(空路含む)
オプション		なし	<ul style="list-style-type: none">外来治療、歯科治療	<ul style="list-style-type: none">外来治療、歯科治療、マタニティケア

Bao Minh Insuranceはベトナム国民とベトナムに合法的に居住している外国人向けに全世界を対象に医療費を補償する保険商品を販売している

ベトナム：保険商品の事例① (Bao Minh Insurance)

保険商品名	International Personal Accident and Health care Insurance	
保険会社名	Bao Minh Insurance	
保険会社概要	設立年度	1994年
	本社所在地	ホーチミン
	会社概要	ベトナム人、ベトナムの企業向けに各種保険業務(医療保険・傷害保険・賠償責任保険)を販売している民間保険会社。その他、損害鑑定業務や投資活動(国債・株式・不動産など)を行っている
	売上高	約2億7千万USD(1ベトナムドン=0.000042USD(2023年6月23日時点)で換算)
	従業員数	1,635人
保険商品のターゲット層	ベトナム国民・ベトナム居住者	
対象国	全世界	
加入条件	国籍 居住実態	<ul style="list-style-type: none">ベトナム国民ベトナムに合法的に居住している外国人
	契約年齢範囲	生後15日～64歳

アメリカの保険会社Liberty Insuranceはベトナム人及びベトナムの永住者向けにベトナムを含む4つの対象国の範囲で医療費を補償する保険を販売している

ベトナム：保険商品の事例② (Liberty Insurance(1/2))

保険商品名	Liberty Insurance Premium Health Insurance	
保険会社名	Liberty Insurance Limited	
保険会社概要	親会社	Liberty Mutual Insurance
	設立年度	1912年
	本社所在地	アメリカ・ボストン(ベトナムの本社はホーチミン)
	会社概要	個人向けの自動車保険・医療保険・旅行保険・火災保険、企業向けの労災保険・賠償責任保険などを全世界で展開している損害保険会社
	連結売上高	48億USD
	従業員数	約45,000人
保険商品のターゲット層	ベトナム国民・ベトナム居住者	
対象国	以下から選択 <ul style="list-style-type: none">Zone1：全世界(ただし、アメリカ・カナダについては1,869USDまで補償)Zone2：ベトナム・中国・タイ・シンガポール・台湾・韓国・<u>日本</u>・マレーシア・インドネシア・フィリピンZone3：全世界Zone4：アメリカ・カナダを除く全世界	
加入条件	国籍 居住実態	・ ベトナム人、又はベトナムの永住権を持つ人
	契約年齢範囲	生後15日～74歳

出所： <https://www.libertyinsurance.com.vn/en/healthcare>

Liberty Insuranceが販売している日本を含むアジア諸国が対象の保険商品の年間補償限度額は約9万USDから約93万USDである

ベトナム：保険商品の事例② (Liberty Insurance(2/2))

◆ 入院治療プラン ※ 補償等の料金は1ベトナムドン=0.000042USD(2023年6月23日時点)で換算

保険のグレード		Classic	Executive	Premier
治療可能な国		• Zone2 : ベトナム・中国・タイ・シンガポール・台湾・韓国・ <u>日本</u> ・マレーシア・インドネシア・フィリピン		
年間保険料 (USD)	0～5歳	386	458	627
	40～44歳	673	799	1,093
	60～64歳	1,788	2,124	2,907
年間補償限度額(USD)		93,456	280,368	934,560
補償例 (USD)	室料(1日)	234	304	フルカバー
	18歳未満の扶養家族 の宿泊費 (最大10日/年)	93	168	フルカバー
	精神科治療	なし	なし	9,347
	HIV (5年継続後・1回のみ)	年間補償限度額の10%		
全てのグレードで フルカバーされる項目		• がん治療及びその他の疾患の治療、救急搬送、臓器移植、患者の緊急時の家族・友人などの訪問に係る航空券(エコノミークラス往復航空券1枚)、緊急搬送・本国への送還(空路含む)など		
オプション		• 外来治療、歯科治療		

Bao Vietはベトナムの富裕層向けにベトナム国内、又は国外の病院での医療費を補償する保険を販売している

ベトナム：保険商品の事例③ (Bao Viet Insurance(1/2))

保険商品名	Bao Viet Healthcare Insurance – Intercare – Essential Package	
保険会社名	Bao Viet Insurance Corporation	
保険会社概要	親会社	Bao Viet Holdings(ベトナム財務省管轄の国営企業)
	設立年度	1965年
	本社所在地	ハノイ
	関連会社	Bao Viet Life(生命保険事業)、Bao Viet Securities Joint Stock Company(証券事業)、Bao Viet Commercial Joint Stock Bank(銀行事業)、Bao Viet Fund Management Company(金融投資事業)、Bao Viet Investment One Member Company Limited(不動産事業)
	連結売上高	2億3千万USD(2022年・1ベトナムドン=0.000043USD(2023年6月14日時点)で換算)
保険商品のターゲット層	ベトナム国内の富裕層向けの病院、又はベトナム国外の病院で治療を受けたい富裕層	
対象国	以下から選択 <ul style="list-style-type: none">Area1：ベトナムArea2：ASEAN諸国Area3：アジア諸国Area4：アメリカ・カナダを除く全世界Area5：全世界	
加入条件	国籍 居住実態	<ul style="list-style-type: none">ベトナム人6か月以上ベトナムに住んでいる、又はベトナムで働いている人
	契約年齢範囲	生後15日～75歳

出所：https://paa.vn/en/INTERCARE-BAOVIET-HEALTHCARE-INSURANCE-ESSENTIAL-PACKAGE

Bao Viet Insuranceは保険のグレードにより治療可能な国が異なり、コアプランである入院治療プランに、外来治療、歯科治療、マタニティケアに関するオプションを付加できる

ベトナム：保険商品の事例③ (Bao Viet Insurance(2/2))

◆ コアプラン(入院治療プラン) ※ 補償等の料金は1ベトナムドン=0.000043USD(2023年6月14日時点)で換算

保険のグレード		Select	Essential	Classic	Gold	Diamond
治療可能な国		ベトナムのみ	ASEAN諸国	アジア諸国	アメリカ・カナダを除く全世界	全世界
年間保険料 (USD)	0～18歳	264	307	362	481	651
	41～45歳	477	489	668	889	1,276
	61～64歳	1,032	1,151	1,159	1,453	2,404
年間補償限度額(USD)		45,000	90,000	180,000	225,000	450,000
補償例 (USD)	室料と食費(1日)	179	268	446	714	893
	同伴者宿泊費 (1日・最大10日/年)	54	80	134	214	268
	家族の航空券	×	×	×	往復 (エコノミークラス)	往復 (エコノミークラス)
	HIV (5年継続後・1回のみ)	4,464	8,927	17,854	22,317	44,634
	臓器移植(1回のみ)	26,781	35,708	53,562	71,417	89,271
全てのグレードでフルカバーされる項目		・ 診察、治療、手術、治療に係る検査(CT、MRI、PETなど)、妊娠に係る救急治療、集中治療室(最大30日/疾病)、緊急搬送・本国への送還(空路含む)				
オプション		・ 外来治療、歯科治療、マタニティケア(18～45歳の女性に限る)				

Great Eastern General Insurance社のPrestige Global Health Optionsはシンガポールの外国人が海外で医療サービスを受けた際の費用を補償する保険である

シンガポール：保険商品の事例

保険商品名	Prestige Global Health Options		
保険会社	Great Eastern General Insurance Limited (GEG)	・本保険商品の引受を行っている (Underwriter) ・1908年 シンガポールとマレーシアで生命保険グループのGreat Easternが設立された ・1932年 GEGが設立された ・2004年 OCBC銀行の子会社になった ・現在、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、ハノイ、ホーチミン、中国にも拠点を有する	
	Cigna	・本保険商品の運営を行っている (Administrator) ・世界各地の医療機関とのネットワークを有しており、200カ国に8600万人の顧客を有している。	
保険加入条件	被保険者	シンガポールに居住する外国人	
	契約可能年齢	18歳以上	
	契約期間	1年間	
サービス内容	医療サービス	【コアプラン】手術・相談、入院補償、がん治療の中からコアプランを選択 【詳細】入院、日帰り入院費用、手術、処方薬・包帯、集中治療、入院中の回診、保護者等の院内宿泊、臓器移植、骨髄移植、造血幹細胞移植、腎臓透析、MRI/CT/PET検査等、理学療法、在宅ケア (30日まで)、リハビリ(30日まで)、ホスピス、緩和ケア 等	
		【オプションプラン】外来、医療後送(medical evacuation), 健康診断等、眼科・歯科	
	地域	・米国を <u>含む</u> 世界全地域、又は米国を <u>除く</u> 世界全地域 ・Cigna社の提携医療機関での受診	
コアプランの年間最高補償限度額	シルバープラン	ゴールドプラン	プラチナプラン
	USD 1,000,000	USD 2,000,000	USD 3,000,000

出所： <https://www.greathenlife.com/sg/en/personal-insurance/our-products/health-insurance/prestigeglobalhealthoptions.html>、 <https://www.cignaglobal.com/dvc-pdfs/CEIC-OACEP7/en/200035%20PGHO%20GEG%20Sales%20Brochure%20-%20May%202019.pdf>

【参考】Cigna社はインターナショナル医療保険を世界で販売しており、通院や健康診断もオプションで付けられるようプランが設定されている

シグナ・グローバルプラン

補償内容	シルバー	ゴールド	プラチナ
インターナショナル医療保険(コアプラン)			
最高補償限度額	\$ 1,000,000	\$ 2,000,000	無制限
病院(入院)費用	全額セミプライベートルーム	全額セミプライベートルーム	全額セミプライベートルーム
病理学、放射線学及び診断テスト	全額支払い	全額支払い	全額支払い
先端医療イメージング (MRI、CT及びPETスキャン)	\$5,000	\$10,000	全額支払い
メンタルヘルスケア	\$5,000	\$10,000	全額支払い
妊婦入院	カバーされていない	\$7,000	\$14,000
ガンのケア	全額支払い	全額支払い	全額支払い
旅行の安全教育	含まれていない	含まれる	含まれる
通院費用(オプション)			
全体的な補償限度額	\$10,000	\$25,000	無制限
医療従事者と専門家の診断料	一回の訪問 \$ 125 限度 年間15回まで	一回の訪問 \$250 年間30回まで	全額支払い
病理学、放射線学 & 診断テスト	\$2,500	\$5,000	全額支払い
薬と包帯費用	\$500	\$2,000	全額支払い
出産前及び出産後のケア	カバーされていない	\$3,500	\$7,000
健康診断補償(オプション)			
定期的な健康診断	\$225	\$450	\$600
標準的な健康スクリーニング	\$225	\$450	全額支払い
ライフマネジメント支援プログラム	全額支払い	全額支払い	全額支払い

出所： https://www.kojinhokenusa.com/medical_cigna3.html

第8章 マーケティング・プロモーションの実施

- 8-1. ターゲット国の選定
- 8-2. マーケティング(ウェブアンケート調査)
- 8-3. 日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信
- 8-4. 意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出

海外調査の結果と日本への渡航者の動向を総合的に整理し、本年度事業のターゲット国は中国とベトナムを中心とし、インドネシアは将来の新規開拓先としてニーズの把握を行った

8-1-1. 日本の医療インバウンドのターゲット国の選定

■ アジア圏の医療アウトバウンド国の主な渡航先

以下の表の読み方
◎ 医療アウトバウンド国の出身者が最も多く渡航する国
○ 医療アウトバウンド国の出身者が渡航するその他の主な国々
【例】ミャンマー人はタイに最も多く渡航し、マレーシアやインドにも渡航している

医療アウトバウンド国

	中国	ベトナム	インドネシア	バングラデシュ	ミャンマー
日本	◎				
マレーシア	○	◎	◎	○	○
シンガポール	○	○	○	○	
タイ	○	○		○	◎
インド				◎	○
韓国	○	○	○		

主な渡航先

注) 各国の医療インバウンド及びアウトバウンドの動向については一元的なデータが存在せず、各国の統計や医療渡航事業者のレポート等から情報収集を行ったため各国比較は困難であるものの、本事業の各国調査の結果に基づき上記の通りにアウトバウンド国の医療渡航者の渡航先を整理した。また、各国の渡航者数は、データの出所やデータ入手が可能な年によりばらつきが見られるため、上記の表では示していない

■ 各国調査結果に基づくターゲット国の選定

- 中国：中国から見た医療渡航先ランキングの1位が日本であり、日本から見た医療渡航者受入れ数の中でも中国が1位である
- ベトナム：アジア諸国に医療渡航を行っているものの、メディカル・ツーリズム・インデックスの上位の受入れ国ではベトナムからの渡航者が見られないことから医療渡航者数の母数は多くないと思われる。ただし、日本の観光庁の統計や医療ビザの発行数の増加傾向から日本にとっての潜在的なマーケットとして捉えられる
- インドネシア：日本への医療渡航実績はほとんど見られないが、多くのインドネシア人医療渡航者はマレーシアかシンガポールに渡航しているため、マーケットの新規開拓先としてニーズの把握を行う

2019年の日本への医療渡航者数は、「訪日外客数」に訪日外国人消費動向調査で旅行内容を「治療・検診」と回答した人の構成比を乗じて推定したところ48,110人である

8-1-2. 日本への年間医療渡航者数の推定(2019年)

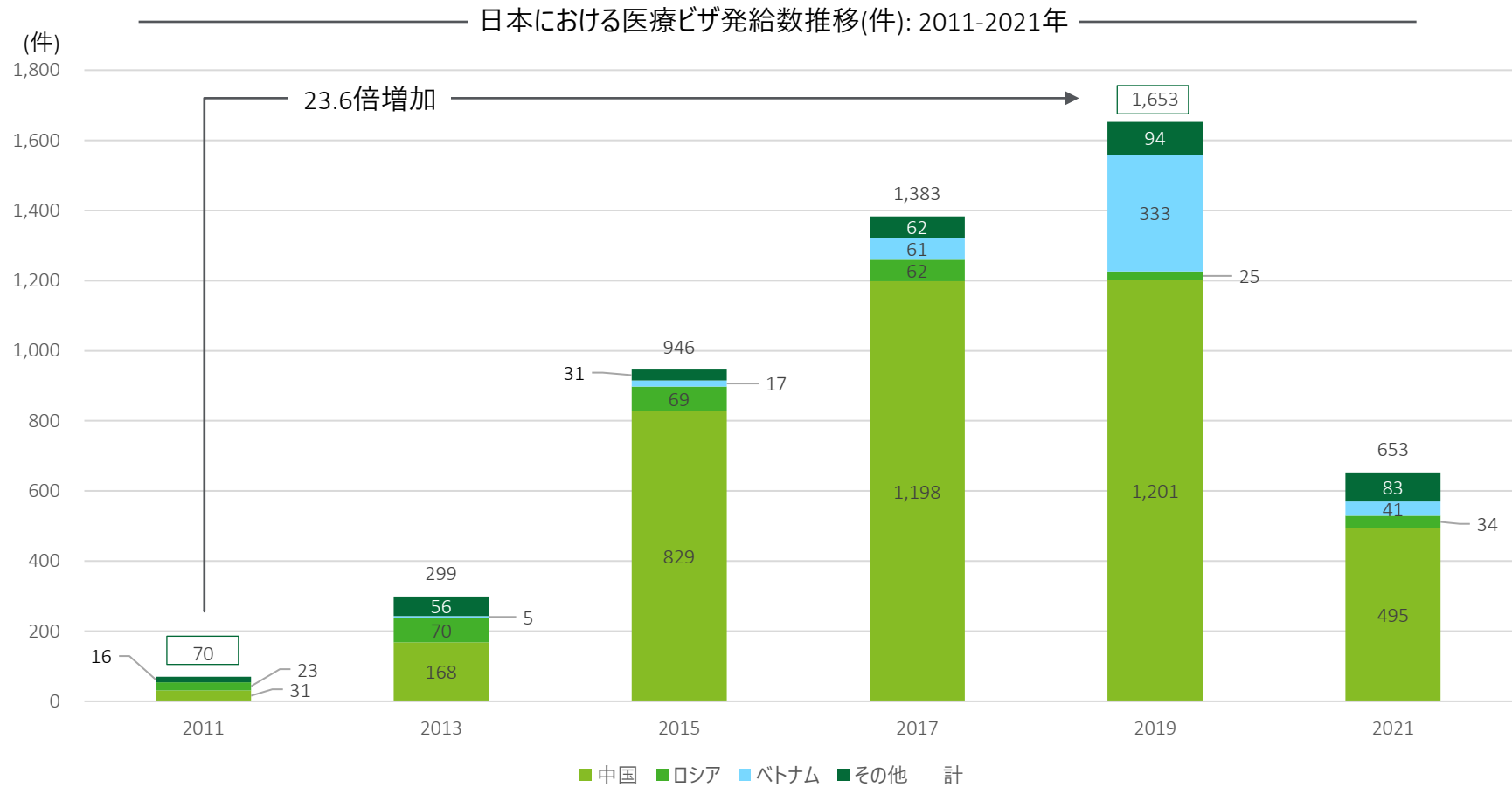
■ 推定値の算定：「訪日外客数(31,882,049人)」×「『治療・検診』と回答した人の構成比(0.15%)」=「医療渡航者数の推定値(48,110人)」
(構成比の小数点3桁以下の端数も含めて計算しているため、算定結果に誤差が生じています)

国籍 旅行内容	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		タイ		シンガポール		マレーシア		インドネシア		フィリピン		ベトナム		インド	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
観光・レジャー	23,353	76.85	2,674	77.84	2,497	88.54	2,671	91.64	3,726	84.21	1,067	77.25	501	71.31	998	67.00	612	64.02	632	61.57	624	44.32	230	21.31
親族・知人訪問	2,314	4.81	231	5.30	78	2.80	49	1.75	149	2.77	81	5.40	15	2.28	48	3.09	68	6.91	215	17.85	139	9.66	66	5.90
ハネムーン	168	0.37	4	0.08	5	0.20	5	0.19	12	0.30	1	0.10	1	0.19	9	0.68	7	0.86	3	0.33	4	0.28	1	0.09
学校関連の旅行	173	0.45	21	0.64	2	0.10	4	0.16	27	0.52	9	0.60	1	0.23	4	0.20	15	0.99	1	0.08	12	0.95	4	0.36
スポーツ・スポーツ観戦	421	0.93	8	0.18	6	0.21	7	0.24	4	0.07	2	0.12	6	1.82	13	1.01	1	0.15	0	0.00	1	0.04	6	0.53
イベント	175	0.47	23	0.71	17	0.45	13	0.46	14	0.26	10	0.70	2	0.12	12	0.83	1	0.11	5	0.48	6	0.41	6	0.50
留学	394	0.75	21	0.48	12	0.46	3	0.11	32	0.70	18	1.03	2	0.12	12	0.60	24	1.70	3	0.23	79	4.67	14	1.18
治療・検診	43	0.15	3	0.08	18	0.53	1	0.03	6	0.13	0	0.00	0	0.00	1	0.07	0	0.00	0	0.00	8	0.38	0	0.00
インセンティブツアー	146	0.33	5	0.20	3	0.10	2	0.08	14	0.29	21	1.49	1	0.16	32	2.21	7	0.62	15	1.34	24	1.84	7	0.63
展示会・見本市	345	0.95	53	1.14	21	0.78	14	0.49	55	1.15	11	0.60	9	1.99	20	0.99	11	1.25	4	0.30	29	1.99	18	1.47
国際会議	640	1.17	32	0.72	18	0.61	9	0.31	18	0.41	28	1.94	14	2.42	32	2.33	26	2.77	16	1.30	35	2.07	66	5.99
企業ミーティング	2,263	4.06	184	4.50	48	1.49	39	1.33	123	2.46	44	2.78	66	8.83	162	10.14	56	5.91	46	4.13	113	7.60	336	29.07
研修	759	1.39	33	0.70	13	0.44	8	0.29	63	1.22	49	3.02	10	1.78	59	3.90	58	5.05	48	3.50	151	9.34	36	3.11
その他ビジネス	3,235	6.33	280	6.31	82	2.84	85	2.78	244	5.11	68	4.10	57	8.09	98	6.16	86	8.49	86	6.58	211	13.31	299	26.28
トランジット	346	0.40	5	0.13	2	0.08	0	0.00	0	0.00	2	0.20	2	0.28	8	0.45	9	0.77	22	1.52	24	1.39	37	3.16
その他	259	0.58	41	0.99	10	0.37	4	0.14	23	0.40	12	0.66	2	0.39	7	0.34	3	0.40	11	0.79	33	1.75	5	0.42
合計	35,034	100.00	3,618	100.00	2,832	100.00	2,914	100.00	4,510	100.00	1,423	100.00	689	100.00	1,515	100.00	984	100.00	1,107	100.00	1,493	100.00	1,131	100.00
訪日外客数	31,882,049		5,584,597		4,890,602		2,290,792		9,594,394		1,318,977		492,252		501,592		412,779		613,114		495,051		175,896	
治療・検診受信者数	48,110		4,691		25,803		797		12,732		0		0		355		0		0		1,879		0	

算定の基礎としたデータ①：「観光庁 訪日外国人消費動向調査(2019年) [表1-1 国籍・地域(21区分)別 回答者属性及び旅行内容]」
(調査対象空港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末、又は紙で調査票を示し、聞き取り調査を実施)
②：「観光庁 訪日外客統計」

訪日外国人に対する医療ビザの発給数は2011-2019年の間で23.6倍に増加しており、近年のビザ取得者は中国人とベトナム人が多い

8-1-3. 国籍別医療ビザ発給数の推移



出所: https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00300500&result_page=1

ASEAN諸国において、シンガポールとマレーシアの主要な医療渡航受診者受入れ元はインドネシアである

8-1-4. ASEANにおける医療渡航事情(主な診療科目と医療渡航者の主要出身国)

ASEANにおける医療渡航事情				
国	主な診療科目 (2019年)	医療渡航患者の主要出身国 (2019年)	インバウンド 医療渡航者数 (2016年)	推定収入(USD) (2016年)
シンガポール	心臓外科、脳神経外科、肝臓移植、 がん治療	<u>インドネシア</u> 、フィリピン、オーストラリア	90万人	\$ 8億3,000万
マレーシア	心臓手術	<u>インドネシア</u> 、シンガポール、中東	90万人	\$ 2億8,000万
タイ	美容整形、性転換、幹細胞療法	中東、インドシナ、中国、日本、米国、英国	320万人	\$ 12億9,000万

出所 : https://www.academia.edu/40438998/In_depth_Study_of_Health_Tourism_in_ASEAN_SMEs

第8章 マーケティング・プロモーションの実施

- 8-1. ターゲット国の選定
- 8-2. マーケティング(ウェブアンケート調査)
- 8-3. 日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信
- 8-4. 意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出

医療渡航の動向や外国人の医療渡航ニーズ、日本の受入れ体制の課題を把握することで、今後の受入体制の整備やプロモーション施策に活かすことを目的にアンケート調査を行った

8-2-1. アンケート調査の概要

調査目的	医療渡航の動向及び外国人の渡航ニーズや日本に対する課題を把握することで、今後の受入体制の整備やプロモーションに活用する
調査手法	中国、ベトナム、インドネシアの3か国でパネル調査を実施
実施時期	2023/9/15～2023/9/26
調査対象	中国、ベトナム、インドネシア3か国の20歳以上の男女
サンプル数	7,043人にアンケートを配信し、下記の基準でスクリーニングを実施した ■ 組み入れ基準 1. 海外医療渡航経験がある、又は検討したことがある ■ 除外基準 1. 海外医療渡航経験がなく、かつ検討もしたことがない 2. 20歳未満 スクリーニングの結果、有効回答として1,500の回答を得た (内訳)中国: 500、ベトナム: 500、インドネシア: 500
アンケート調査委託先	株式会社クロスマーケティング

国・年代		回答数 (内訳)				%
全体		1,500	男	女	その他	100.0
1	中国／20-29歳	83	49	34	0	5.5
2	中国／30-39歳	84	36	48	0	5.6
3	中国／40-49歳	84	38	46	0	5.6
4	中国／50-59歳	83	41	42	0	5.5
5	中国／60-69歳	83	44	39	0	5.5
6	中国／70代以上	83	49	34	0	5.5
7	ベトナム／20-29歳	88	34	53	0	5.9
8	ベトナム／30-39歳	89	45	42	1	5.9
9	ベトナム／40-49歳	89	53	33	1	5.9
10	ベトナム／50-59歳	89	42	45	0	5.9
11	ベトナム／60-69歳	89	66	19	2	5.9
12	ベトナム／70代以上	56	32	31	1	3.7
13	インドネシア／20-29歳	87	38	49	1	5.8
14	インドネシア／30-39歳	88	48	41	0	5.9
15	インドネシア／40-49歳	87	47	42	0	5.8
16	インドネシア／50-59歳	87	56	33	0	5.8
17	インドネシア／60-69歳	87	45	44	0	5.8
18	インドネシア／70代以上	64	30	23	3	4.3

アンケート結果から、日本の医療渡航の認知度とニーズ、医療渡航に関する情報収集ルート、受入れ体制に係る課題について把握することができた

8-2-2. アンケート調査結果のサマリ及び示唆

日本への医療渡航の認知度

- ✓ 3か国における日本の医療渡航受入れに関する認知度は70%以上であり、医療渡航したことがある国、又は医療渡航を検討する先の国として日本は上位に挙がった

医療渡航に関する情報の収集

- ✓ 3か国ともに情報収集の媒体としてWebサイトを最も多く利用し、中国、ベトナムでは医療機関や知人・友人からの情報を、インドネシアでは保険会社からの情報を参考にしていました

日本への医療渡航のニーズ

- ✓ 3か国ともに医療渡航をする際には医療技術のレベルの高さ、自国では受けられない医療、手ごろな費用を重要視している
- ✓ 日本への渡航目的として、中国とインドネシアのトップ3は人間ドック、眼科治療、診断/セカンドオピニオンであった
- ✓ インドネシアでは1位の人間ドックと2位の差が約2.5倍あり、日本の人間ドックへの関心の高さが際立った

受入れ体制に係る課題

- ✓ コミュニケーション不足による課題や言語・文化の違いに対する配慮、また渡航支援企業からのレスポンスについての不満が挙げられた

全体の示唆

- 3か国における日本への医療渡航受入れに関する認知度はあるため、Webサイトからの情報発信を充実させて受入れを推進する
- 医療渡航受入れ対象国と日本との医療機関や保険会社の連携関係を構築し、情報発信を強化する
- 医療渡航受診者の受入れに係る課題として、大きな投資を必要とせずに改善可能な内容も挙がっている。それらに積極的に対応することで外国人が安心して受診できる環境整備を推進する

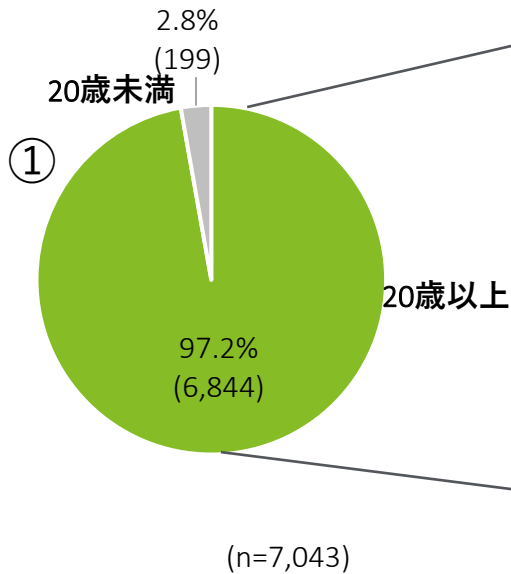
本調査は「医療渡航の経験あり」と医療渡航の経験がないものの「医療渡航の検討あり」と回答した人を対象とした

8-2-3. アンケート結果

(スクリーニング)海外に医療渡航をした経験と検討の有無

①

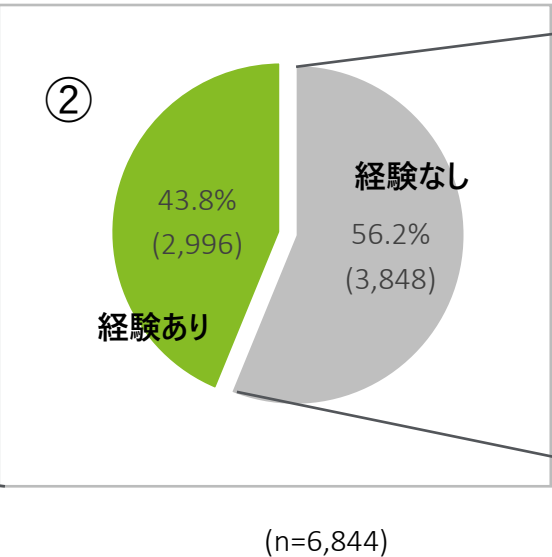
7,043人のアンケート回答	
20歳未満 (除外)	199人
20歳以上 (組入れ)	(7,043-199=)6,844人



②

対象者	①で20歳以上と答えた人(6,844人)
質問	これまでに海外に医療渡航を経験したことがありますか (SA)
回答	医療渡航経験あり：2,996人
	医療渡航経験なし：3,848人

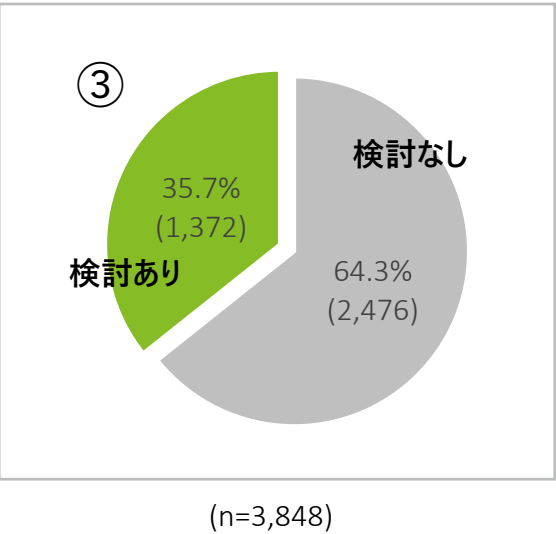
②



③

対象者	②で「医療渡航経験なし」と答えた人(3,848人)
質問	これまでに海外への医療渡航を検討したことがありますか (SA)
回答	医療渡航の検討あり：1,372人
	医療渡航の検討なし：2,476人

③



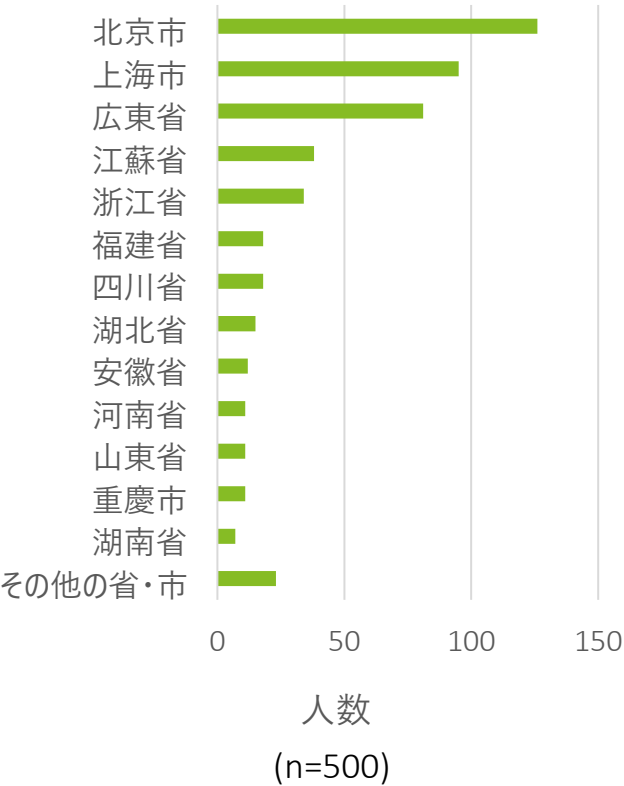
上記の「医療渡航の経験あり」及び「医療渡航の検討あり」対象群より、性別及び年齢による割付けを各国に行い、500ずつ抽出している

調査を行った3か国の都市別の回答数分布は以下の通りである

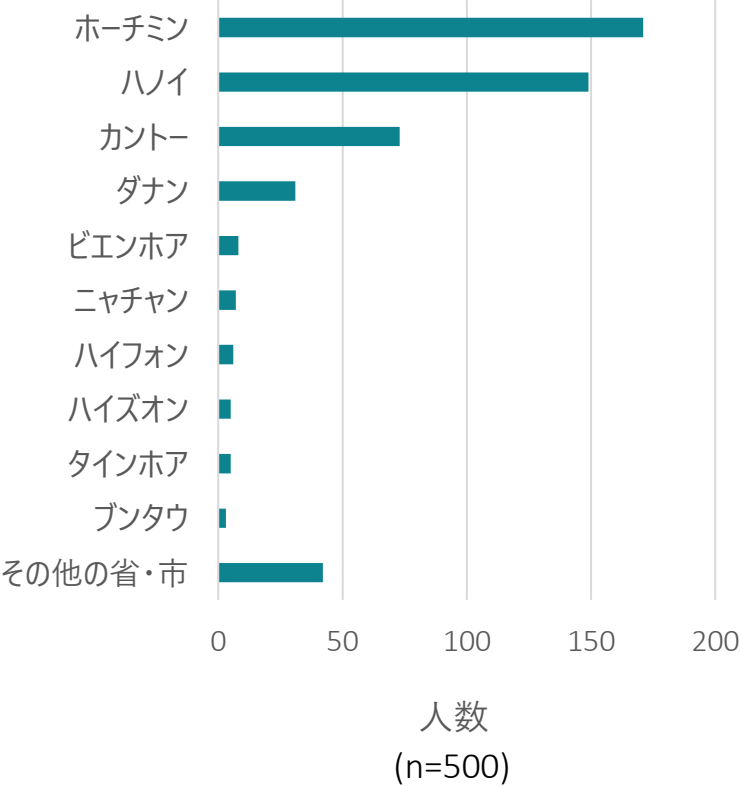
8-2-3. アンケート結果

設問： (各国回答者500人全員に対して) 住んでいるエリアをお選びください (国別、単数回答)

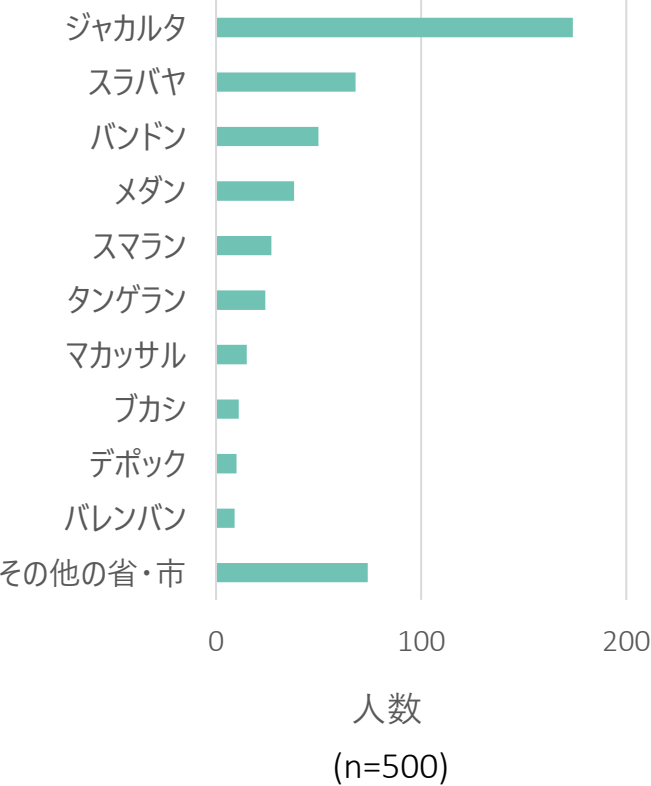
中国



ベトナム



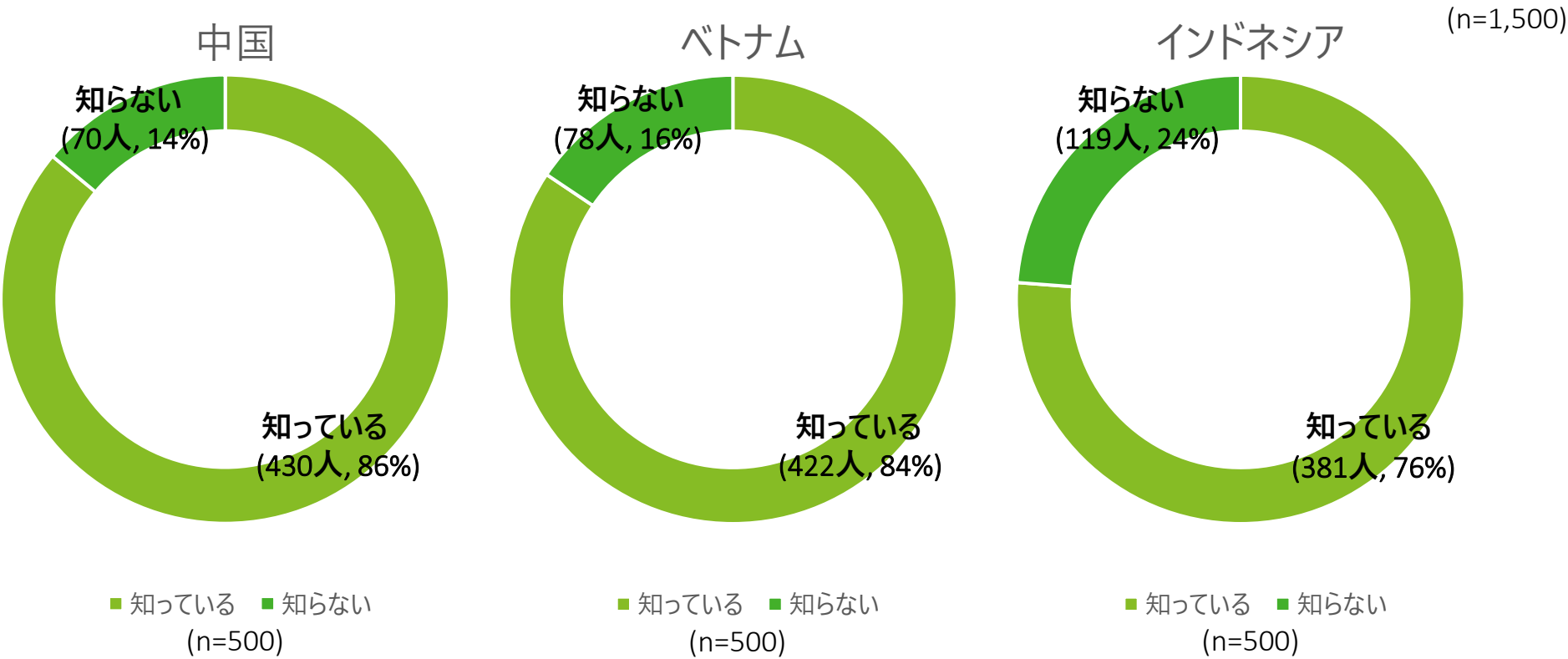
インドネシア



中国では、日本の医療渡航受診者受入れについて86%の人が認知しており、ベトナムでは84%、インドネシアでは76%であった

8-2-3. アンケート結果

設問： (回答者1,500人全員に対して)
日本が治療や検診等の医療渡航受診者を受け入れていることを知っていますか (国別、単数回答)



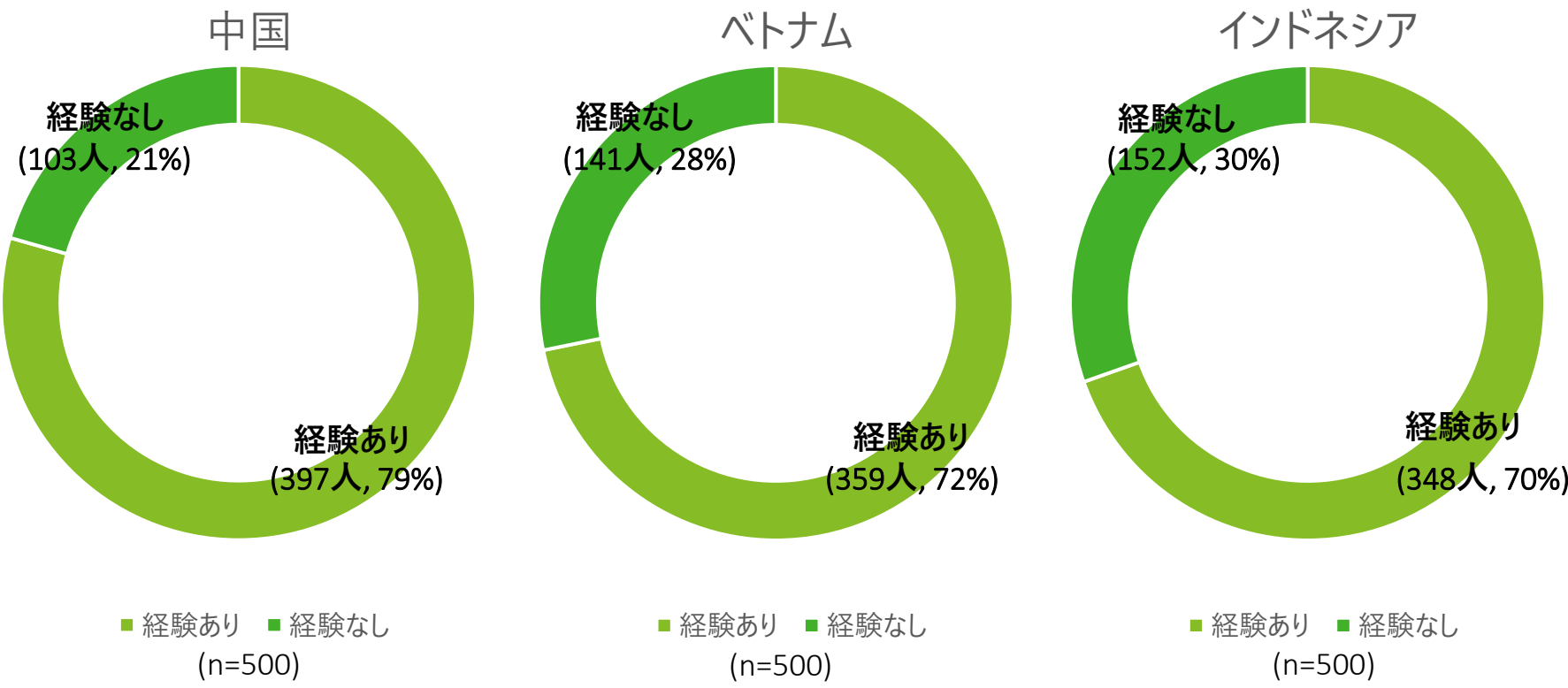
いずれの国も、70%以上の人が医療渡航を経験したことがあると回答した

8-2-3. アンケート結果

設問： (回答者1,500人全員に対して)
これまでに海外に医療渡航をした経験がありますか (国別、単数回答)

(n=1,500)

回答	合計 (3か国)
医療渡航の経験なし	396人
医療渡航の経験あり	1,104人

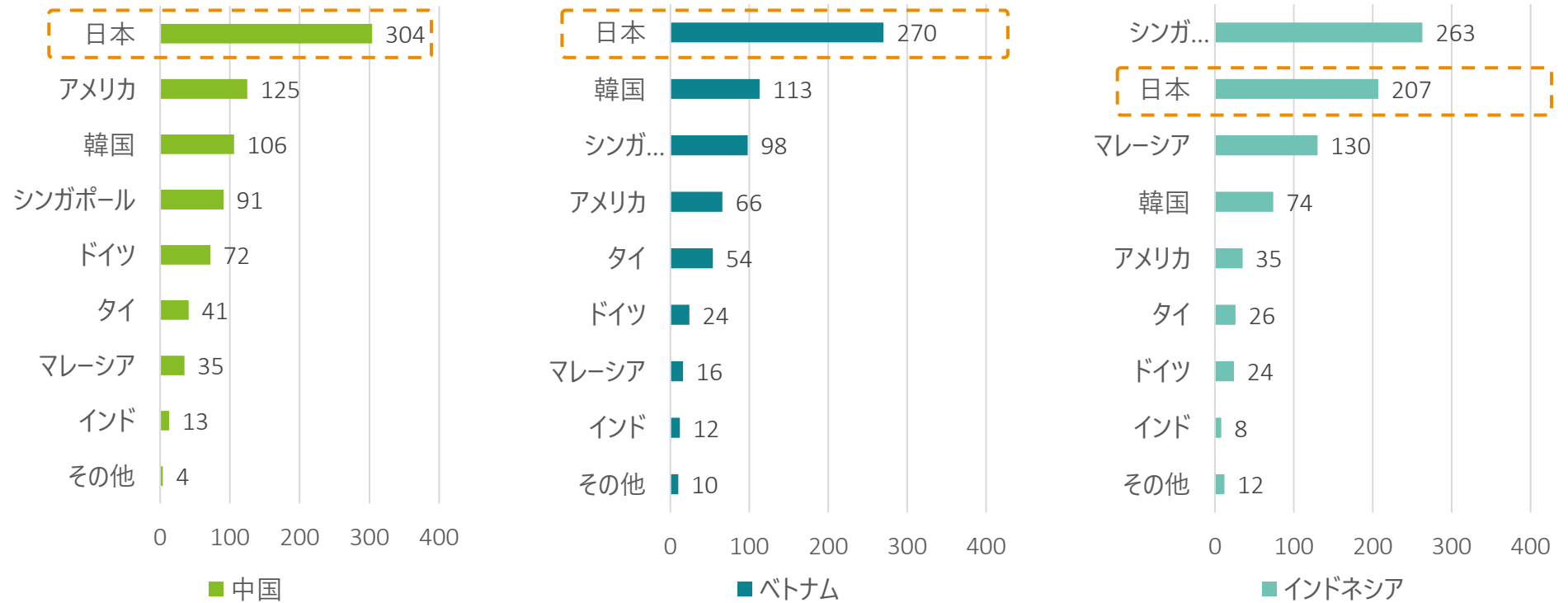


医療渡航したことがある国として中国とベトナムでは日本が1位に挙がり、インドネシアでは2位であった

8-2-3. アンケート結果

設問：(スクリーニングで海外に医療渡航をした経験があると回答した1,104人に対して)
医療渡航したことがある国をすべてお選びください (国別、複数回答)

(n=1,104)

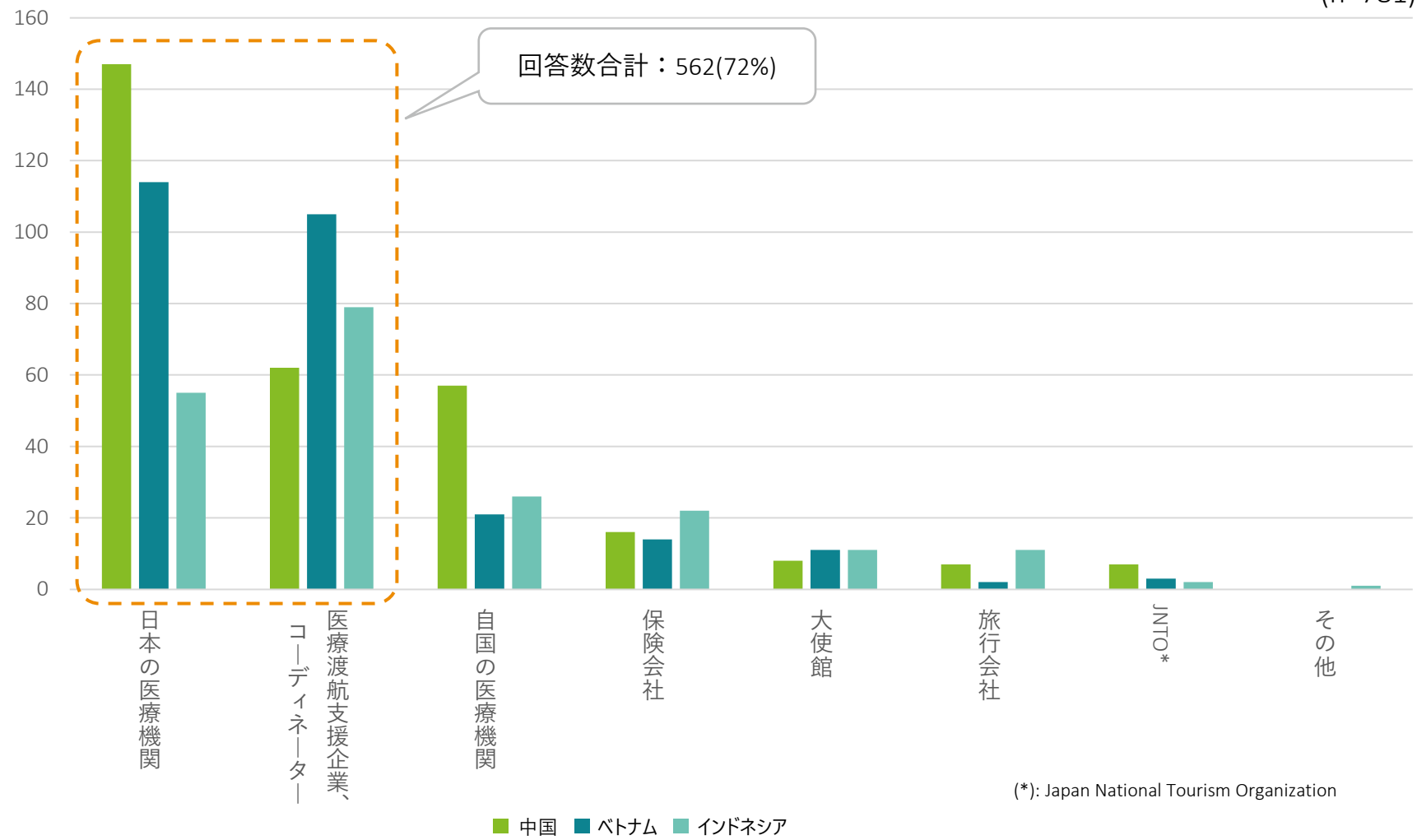


日本への医療渡航を計画する際の最初の問合せ先として、日本の医療機関若しくは医療渡航支援企業・コーディネーターが7割以上を占めていた

8-2-3. アンケート結果

設問：日本への海外医療渡航を計画した際に最初に問い合わせた機関を教えてください(国別)

(n=781)

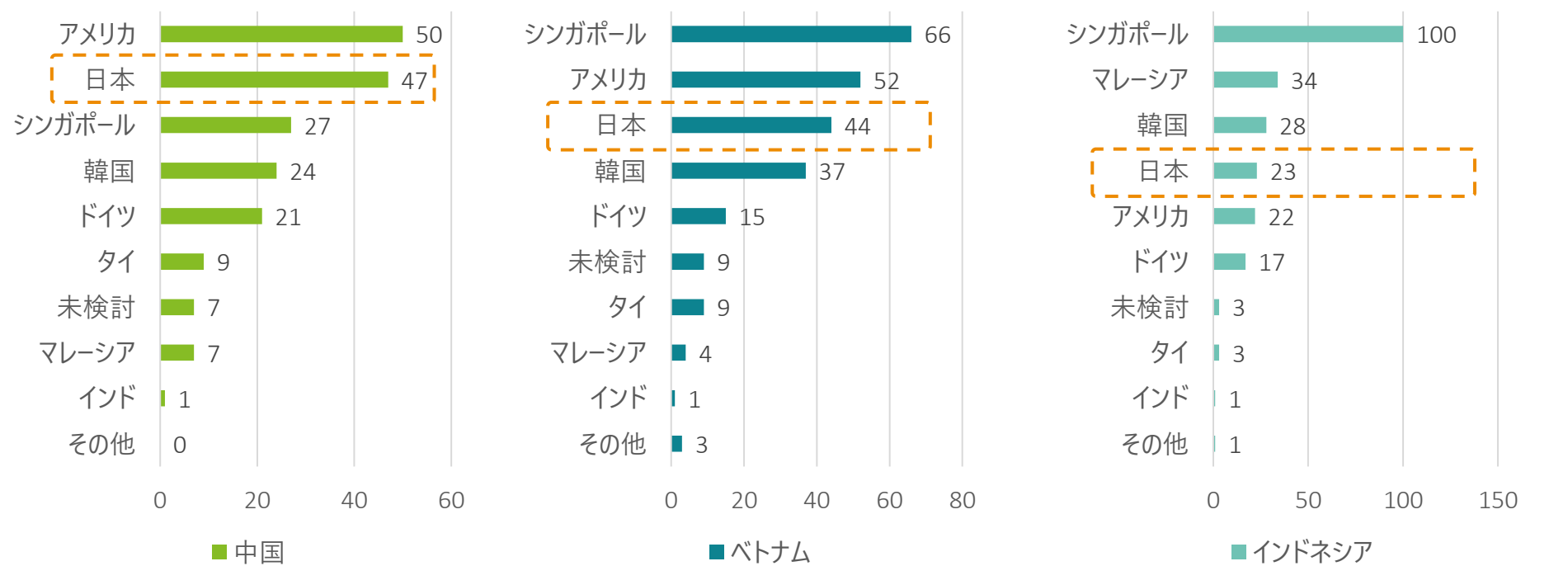


医療渡航の経験がないものの、検討している渡航先として日本は中国では2位、ベトナムでは3位、インドネシアでは4位に挙がった

8-2-3. アンケート結果

設問： (スクリーニングで海外に医療渡航をした経験は無いが医療渡航を検討していると回答した396人に対して)
医療渡航を検討している国を選んでください(国別、複数回答)

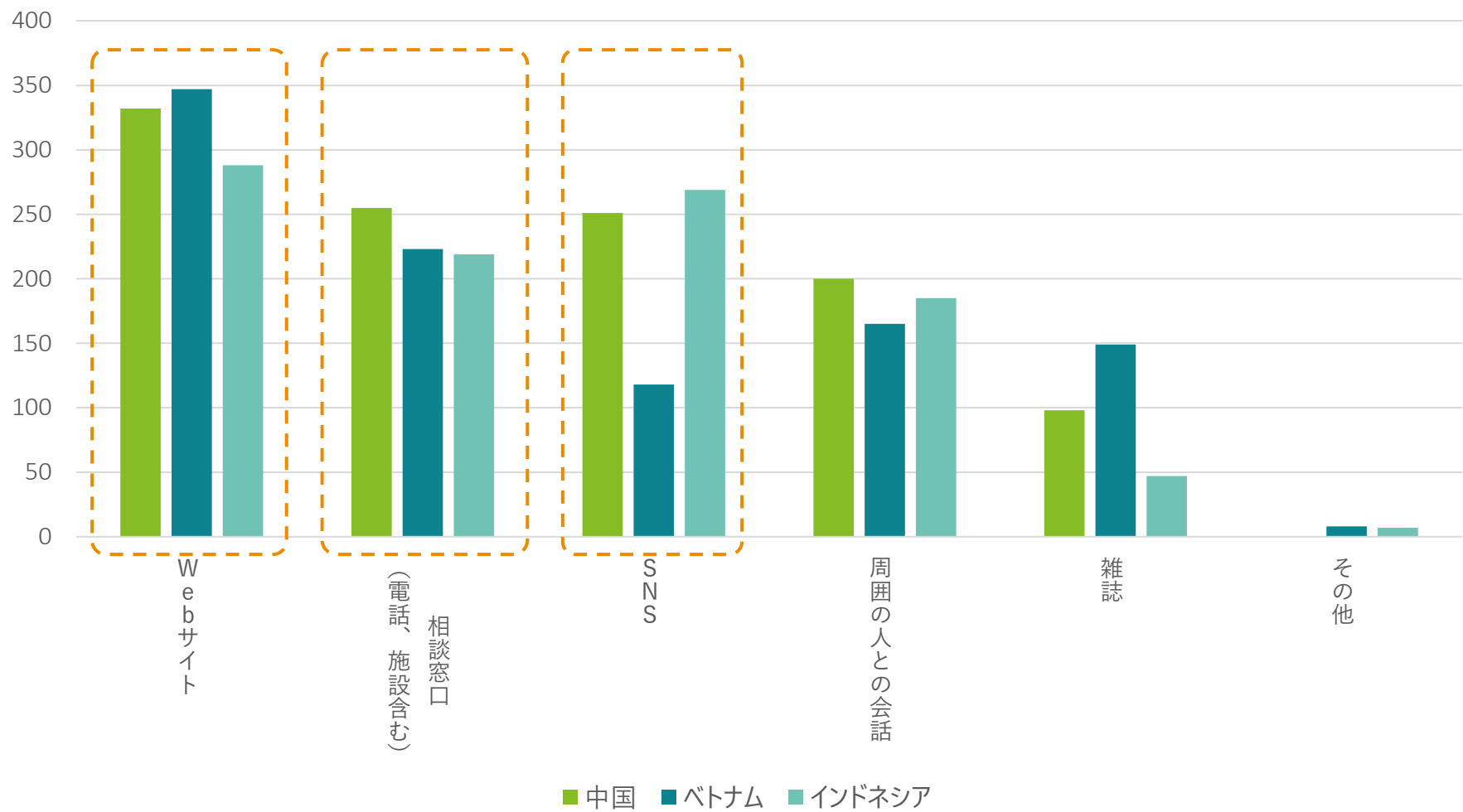
(n=396)



海外医療渡航に関する情報を入手するための媒体は3か国ともWebサイトが最も多く、相談窓口、SNSと続いた

8-2-3. アンケート結果

設問：海外医療渡航に関する情報の入手先(媒体)を教えてください(国別、複数回答) (n=1,500)

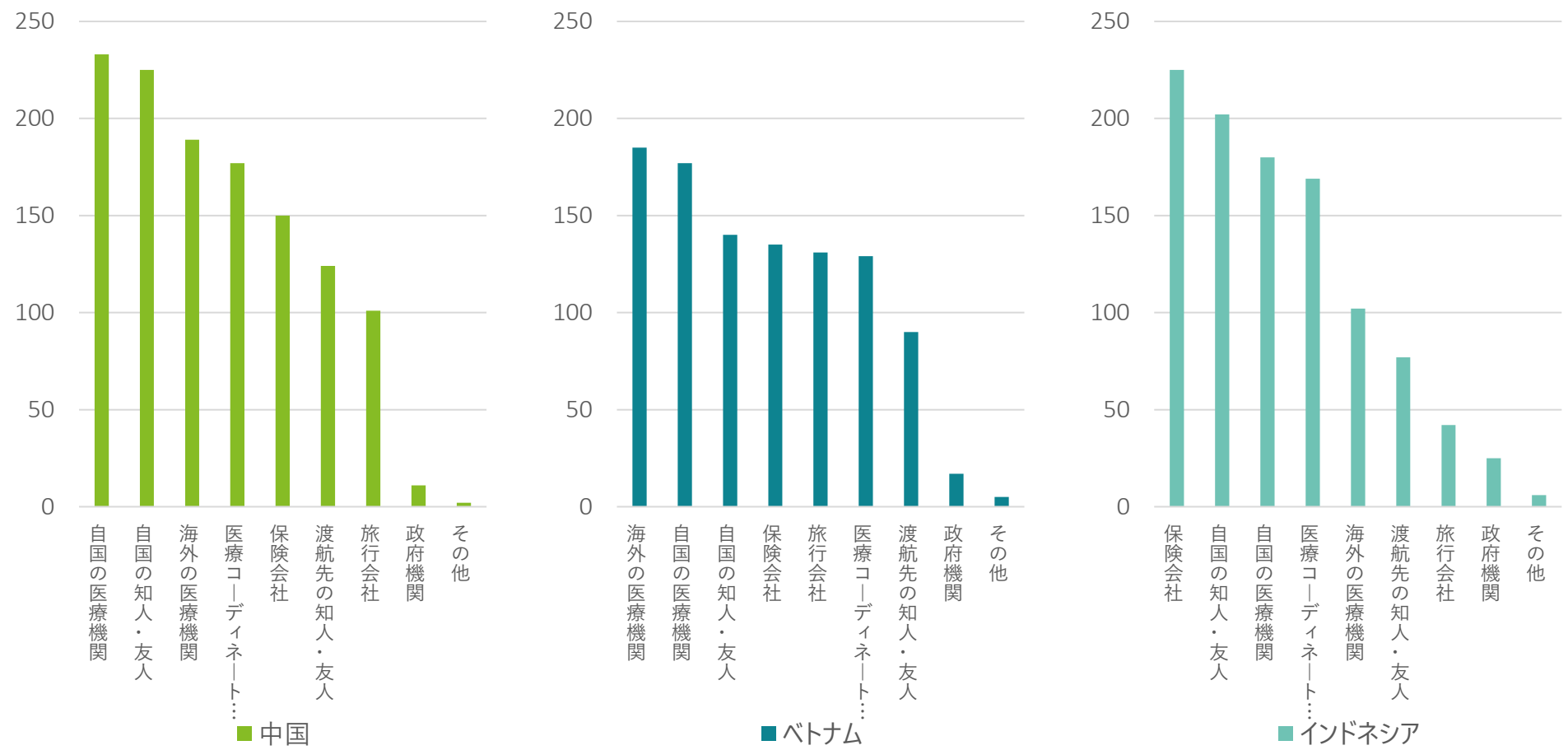


海外医療渡航に関する情報収集においては、医療機関や知人・友人、保険会社からの情報を参照している

8-2-3. アンケート結果

設問：海外医療渡航に関する情報の発信者は誰か教えてください (国別、複数回答)

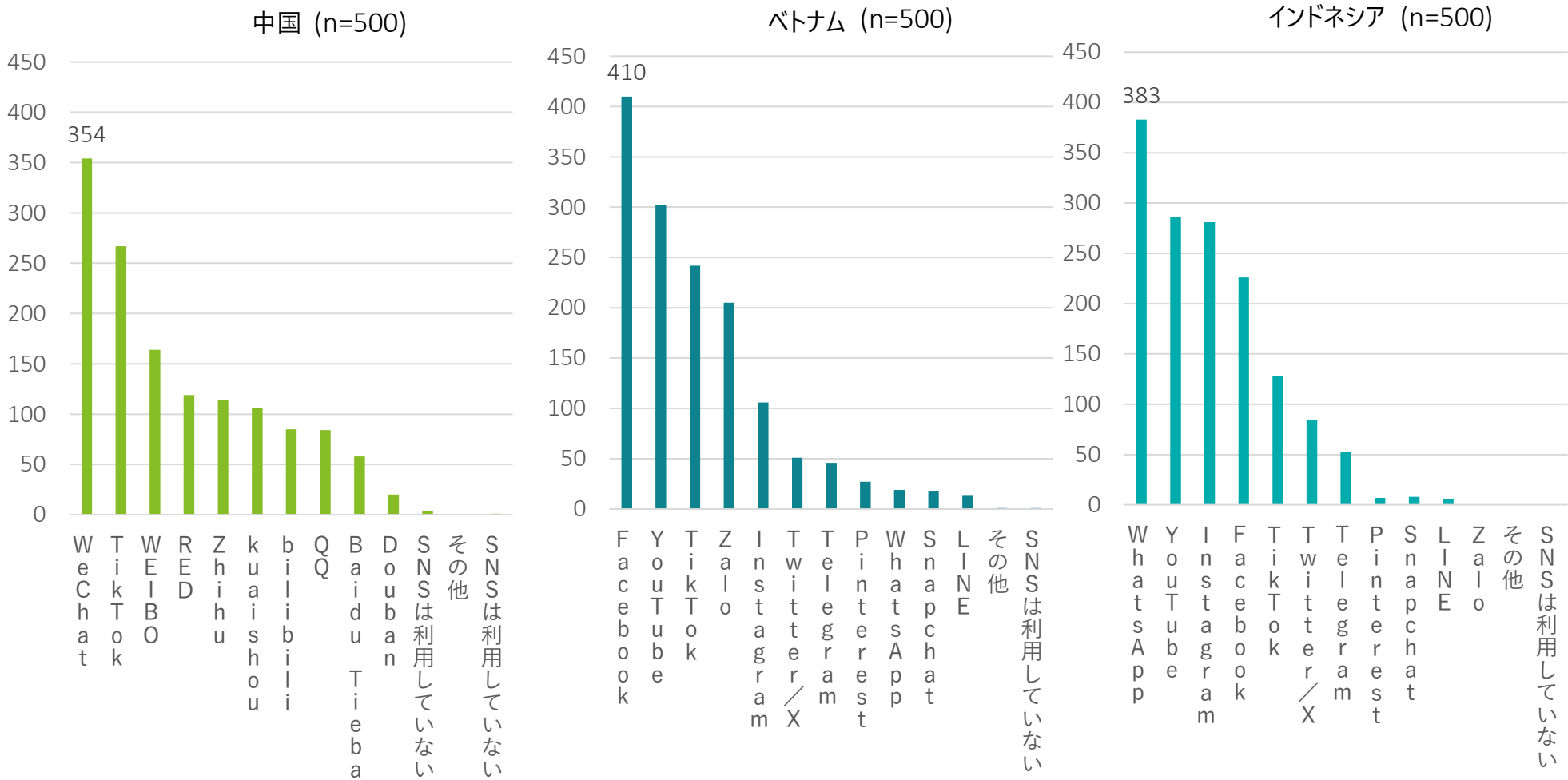
(n=1,490)



普段利用しているSNSは、中国ではWeChat、ベトナムではFacebook、インドネシアではWhatsAppがそれぞれ 1位を占めている

8-2-3. アンケート結果

設問：普段利用しているSNSは何か教えてください (国別、複数回答)

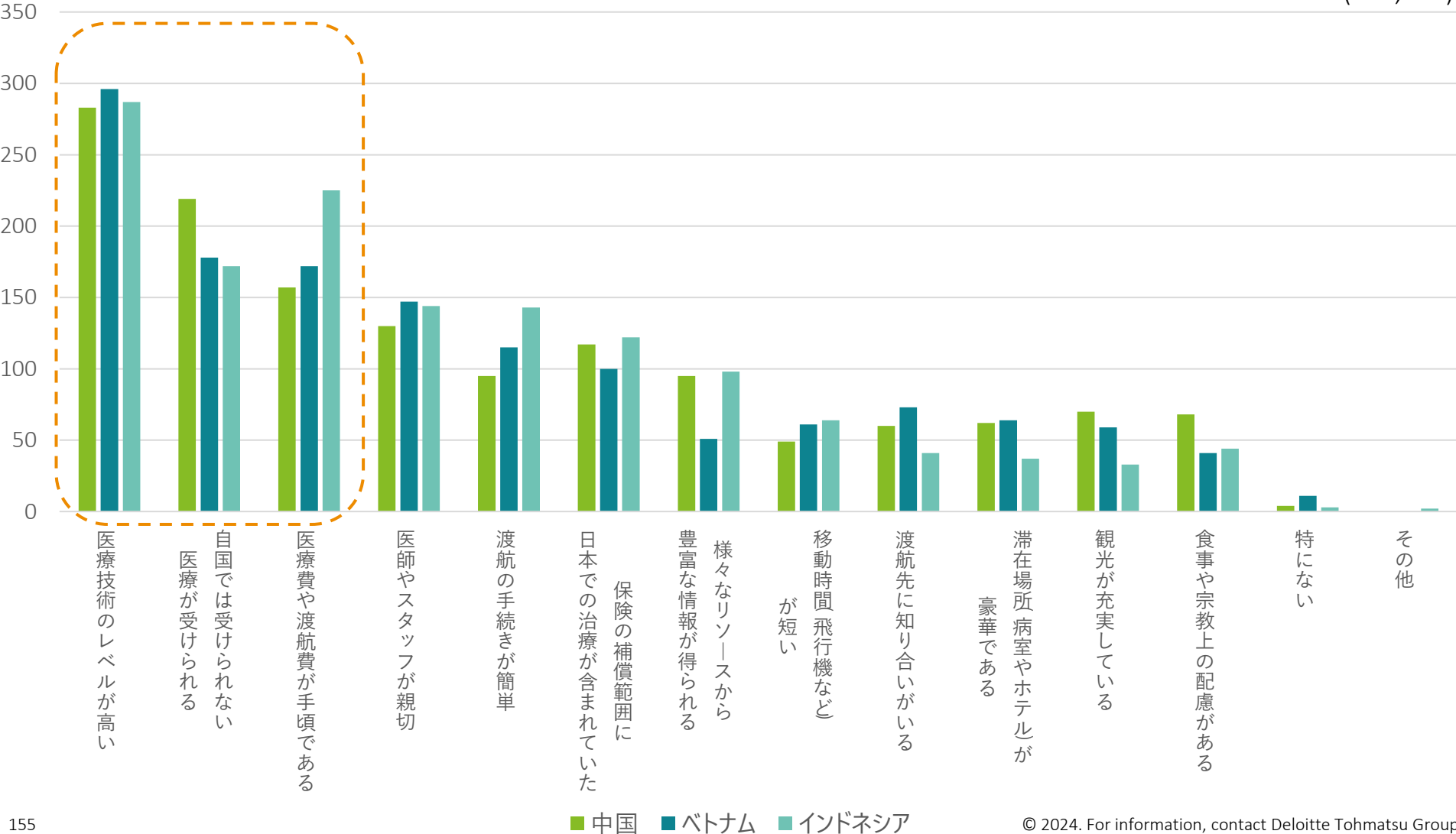


渡航先を選ぶ際は、3か国とも医療技術のレベルの高さが最も重視されている。更に、自国では受けられない医療と手ごろな費用も検討材料になっている

8-2-3. アンケート結果

設問：海外医療渡航先を選ぶ際の重要な項目を教えてください(国別、複数回答)

(n=1,500)

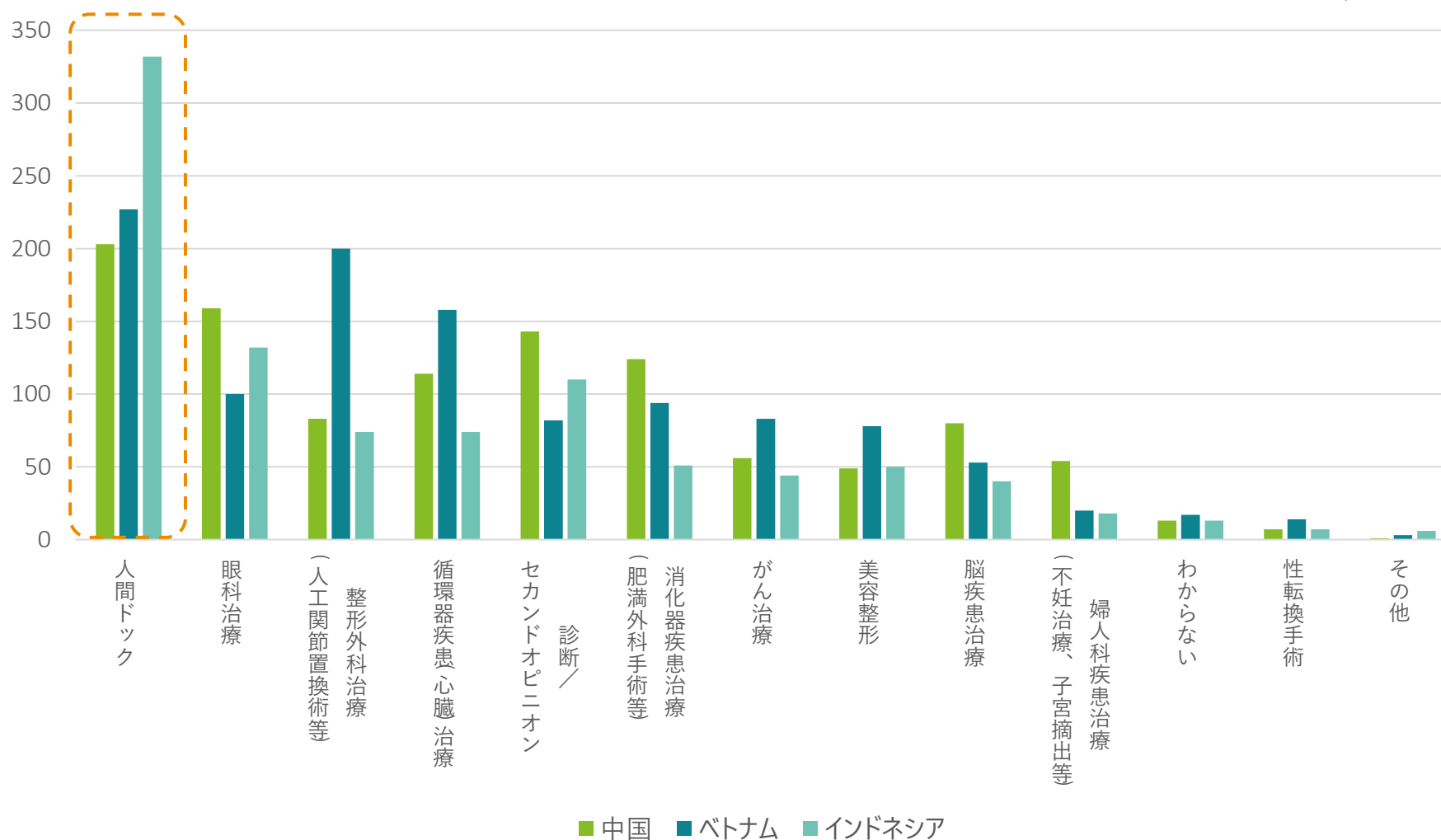


日本で受けてみたい医療については、人間ドックが最も高く、特にインドネシアは332人が人間ドックを選択した

8-2-3. アンケート結果

設問：日本で受けてみたい治療や検診内容を教えてください(国別、複数回答)

(n=1,500)

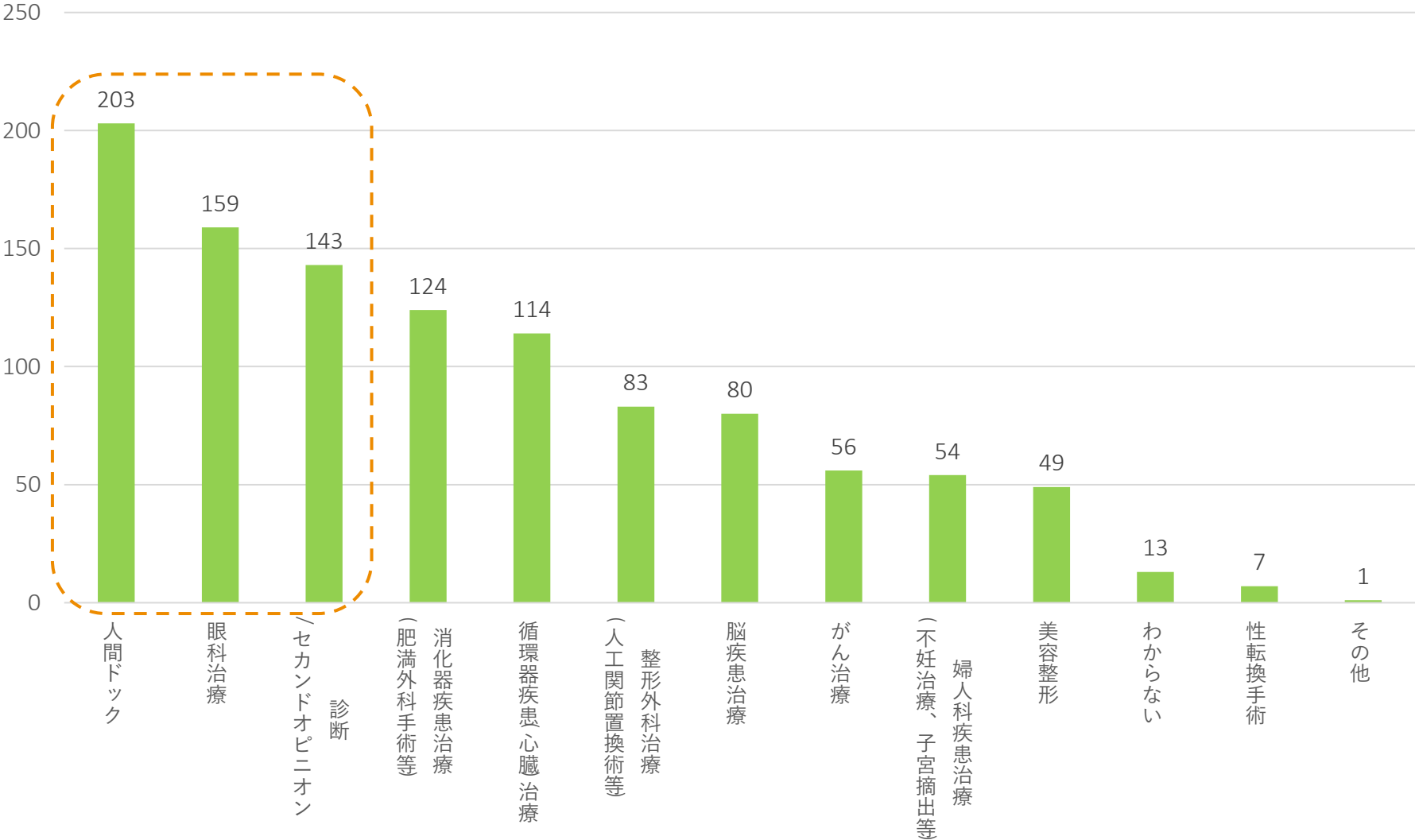


中国では、日本で受けた治療として人間ドック、眼科治療、診断/セカンドオピニオンが上位3位を占めた

8-2-3. アンケート結果

設問 (中国)：日本で受けてみたい治療や検診内容を教えてください(複数回答)

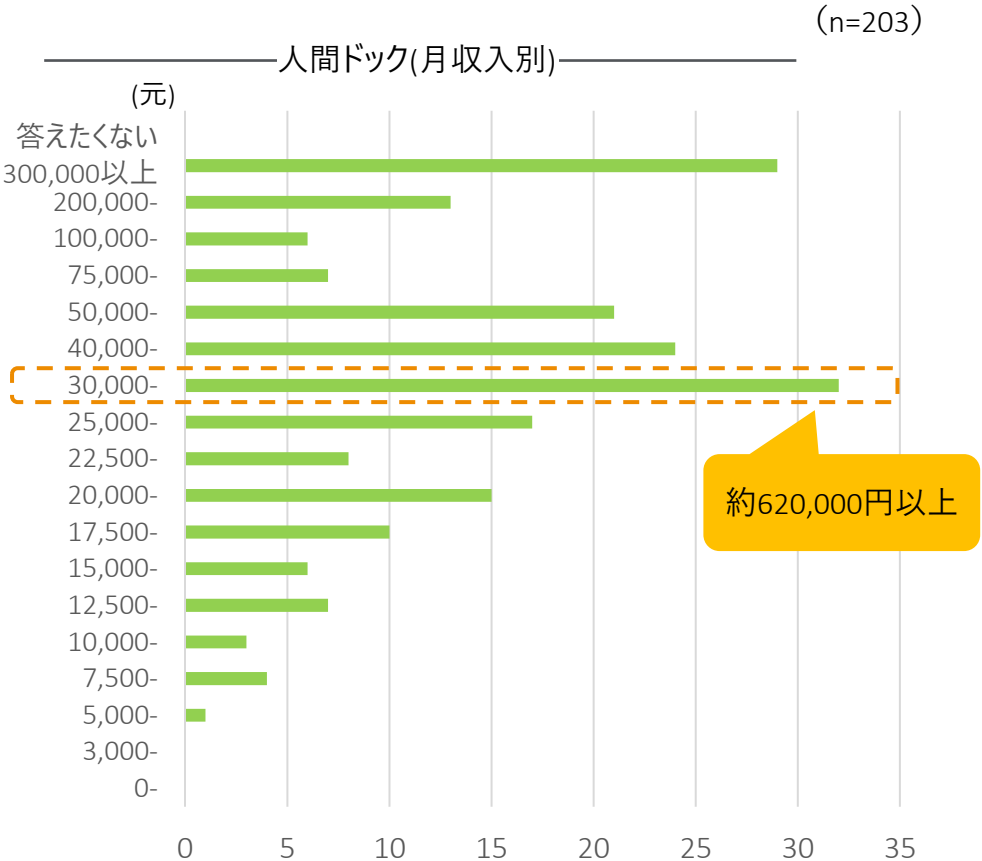
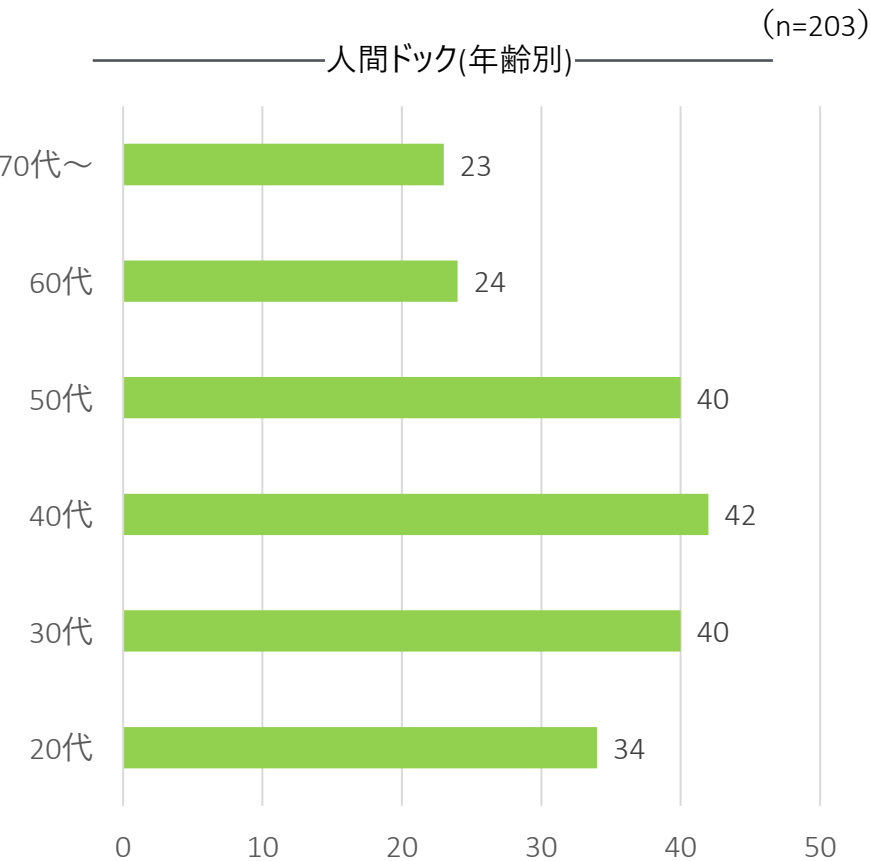
(n=500)



中国では幅広い年齢層が人間ドックを受診したいと回答し、収入層では30,000元台が多かった

8-2-3. アンケート結果

設問 (中国)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)
人間ドック×年齢別 / 収入別集計



(1元= 20.92円 2023/2/15時点)

眼科治療を受診したいと回答した年齢層は20代が最も多く、その次に70代が多い。また収入層では50,000元台が多かった

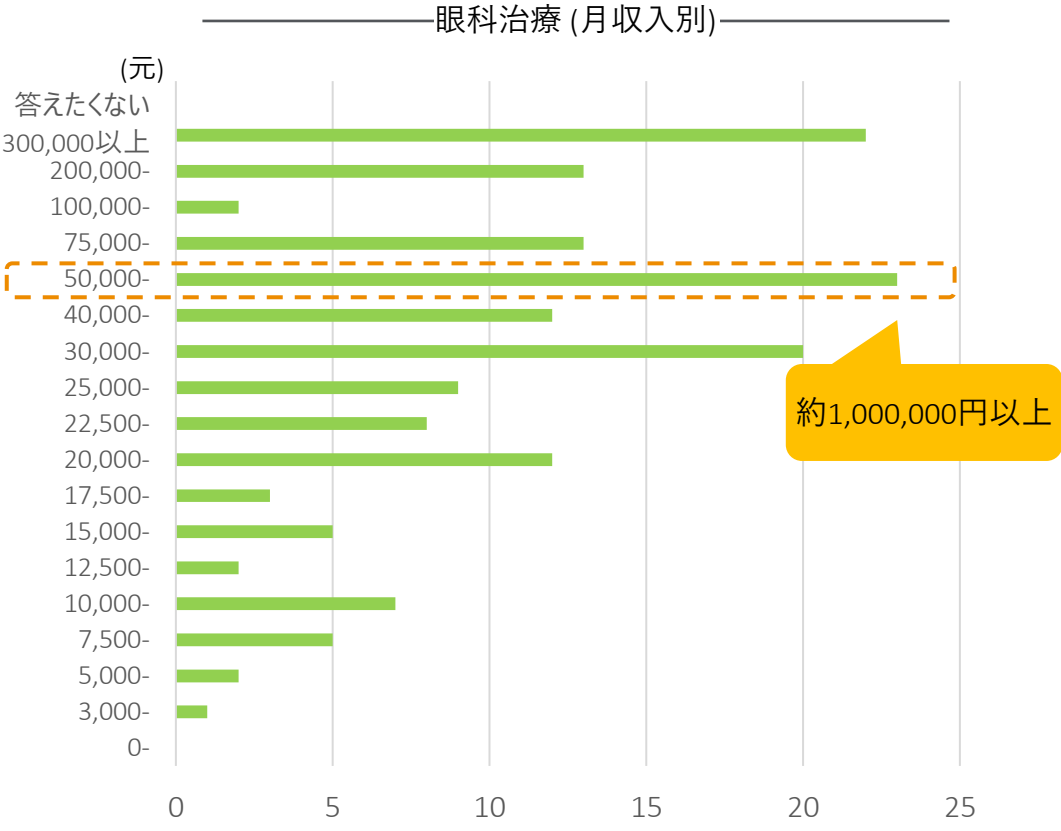
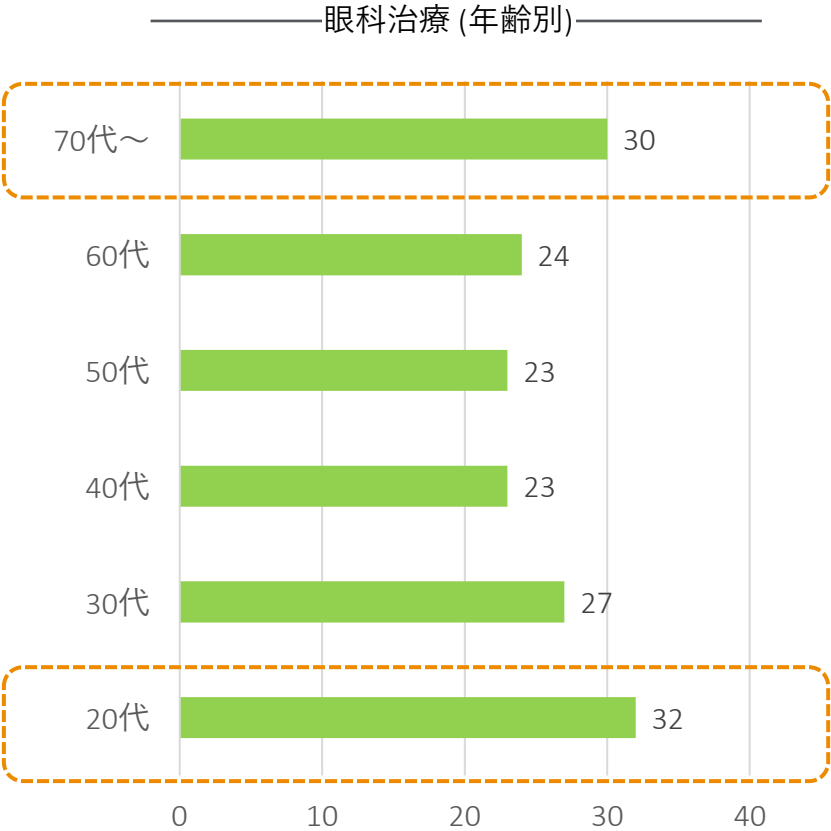
8-2-3. アンケート結果

設問 (中国)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)

眼科治療×年齢別 / 収入別集計

(n=159)

(n=159)

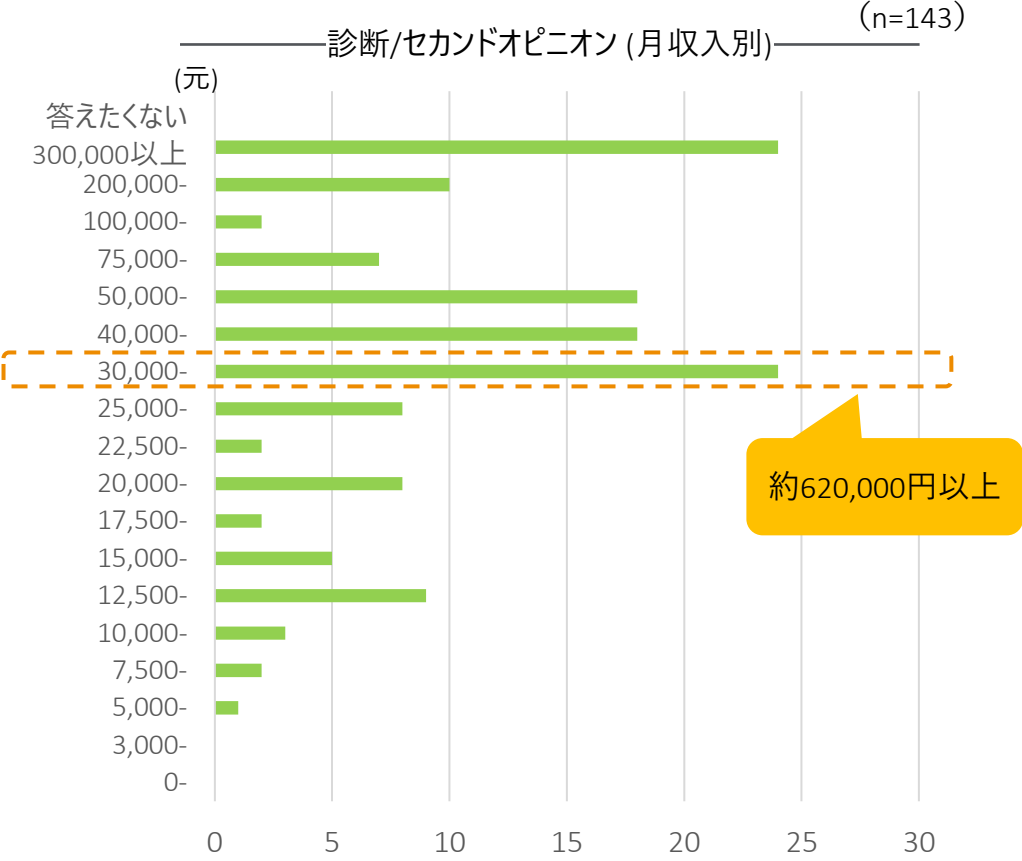
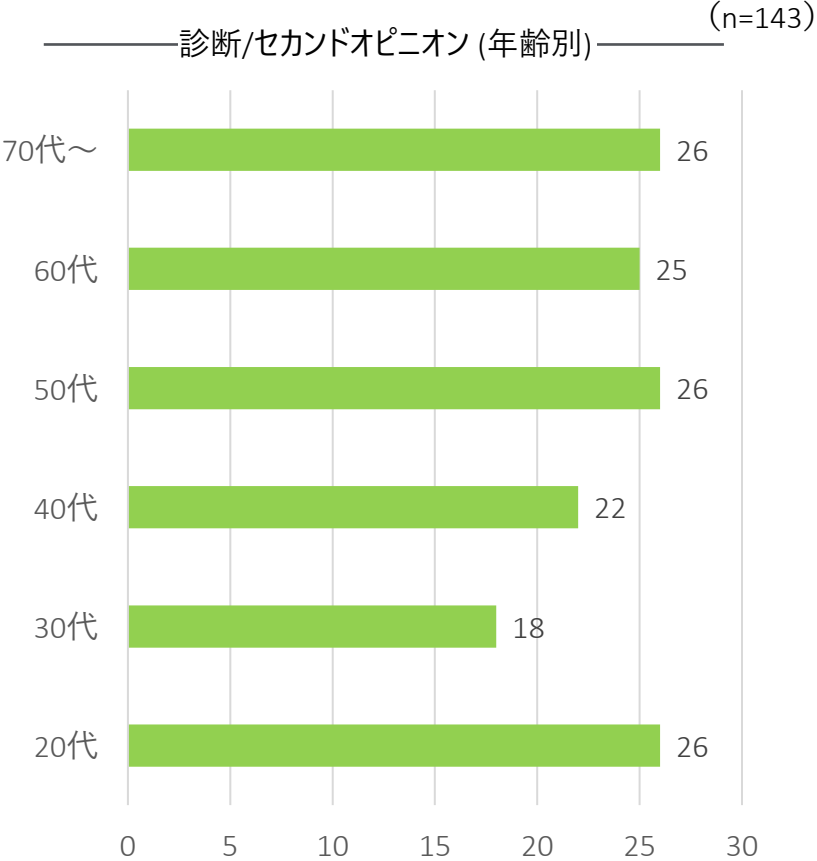


(1元= 20.92円 2023/2/15時点)

診断/セカンドオピニオンを受けたいと回答した年齢層は30代の他は同程度あり、人間ドックと同様に30,000元台の収入層が多く選択していた

8-2-3. アンケート結果

設問 (中国)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)
診断/セカンドオピニオン×年齢別 / 収入別集計

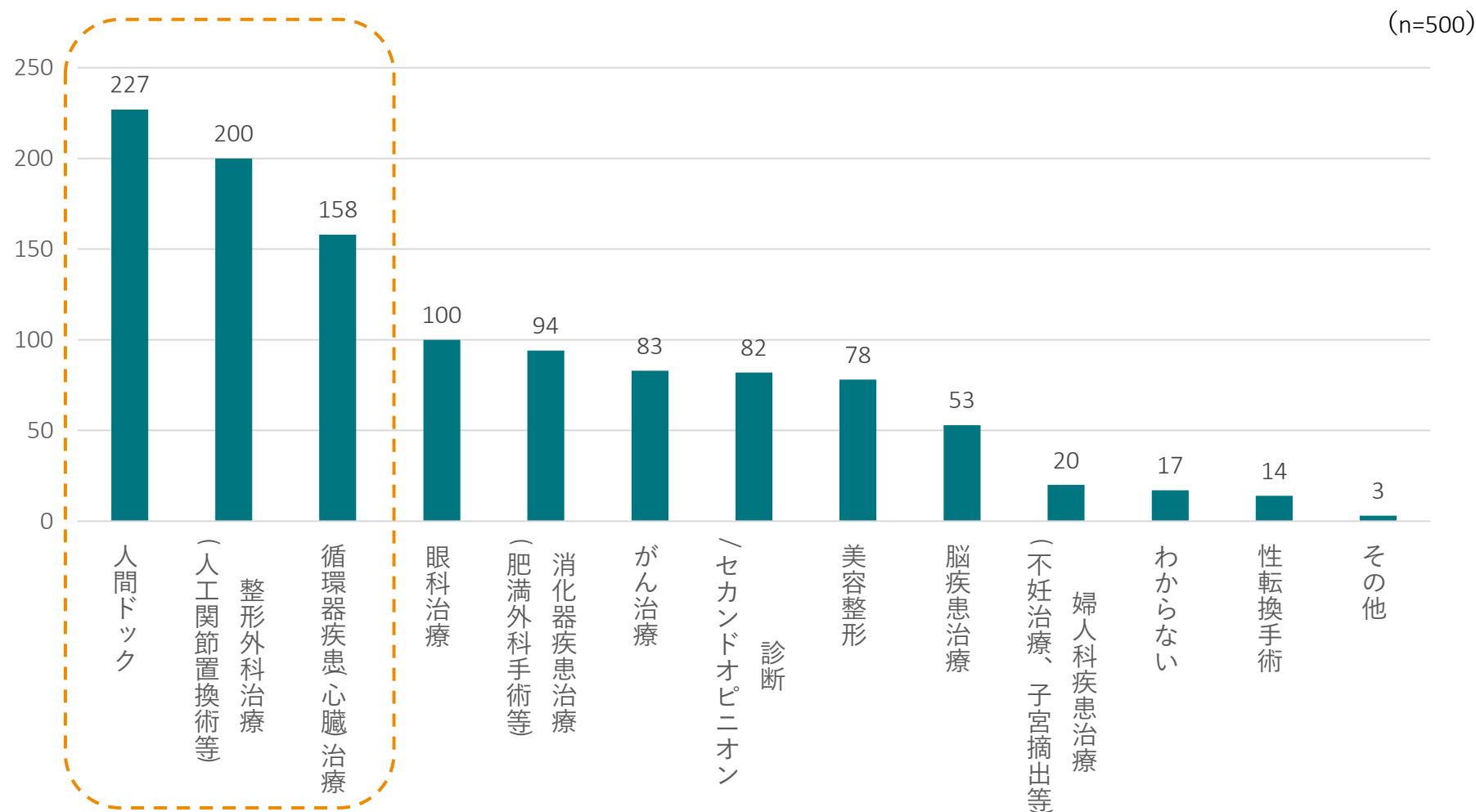


(1元= 20.92円 2023/2/15時点)

ベトナムでは、日本で受けてみたい医療サービスの1位に人間ドック、2位に整形外科治療、3位に循環器疾患治療が挙がった

8-2-3. アンケート結果

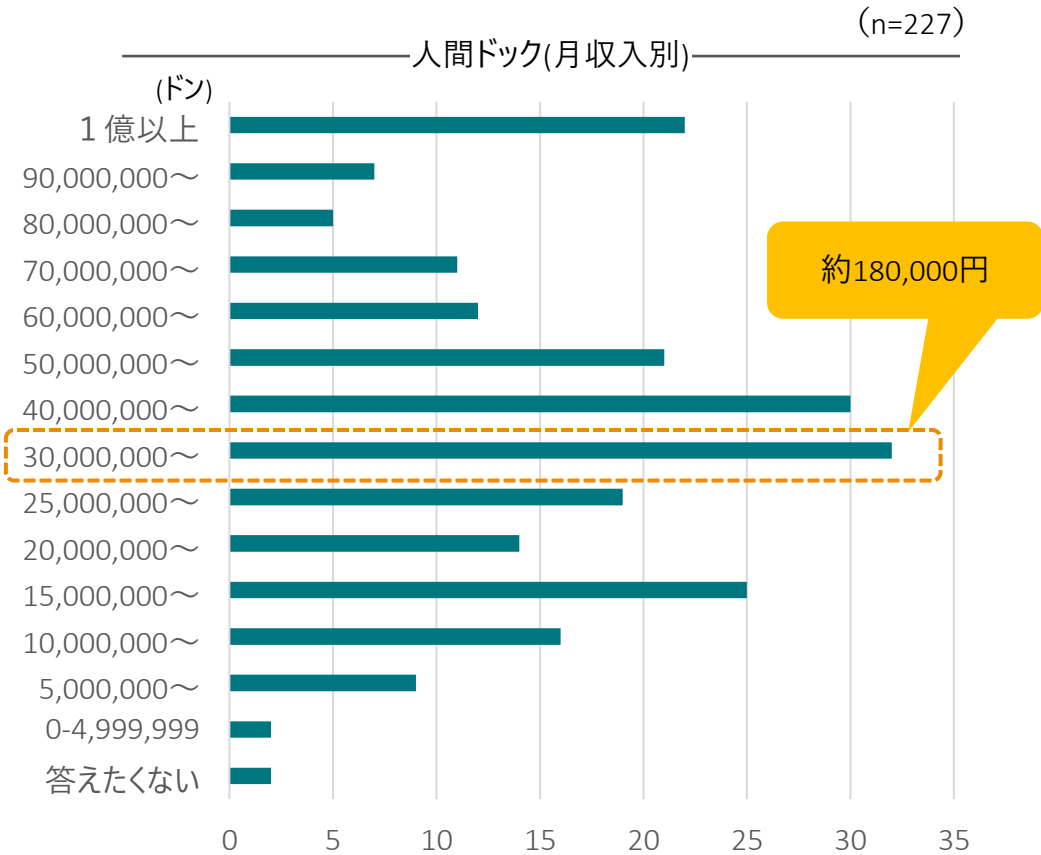
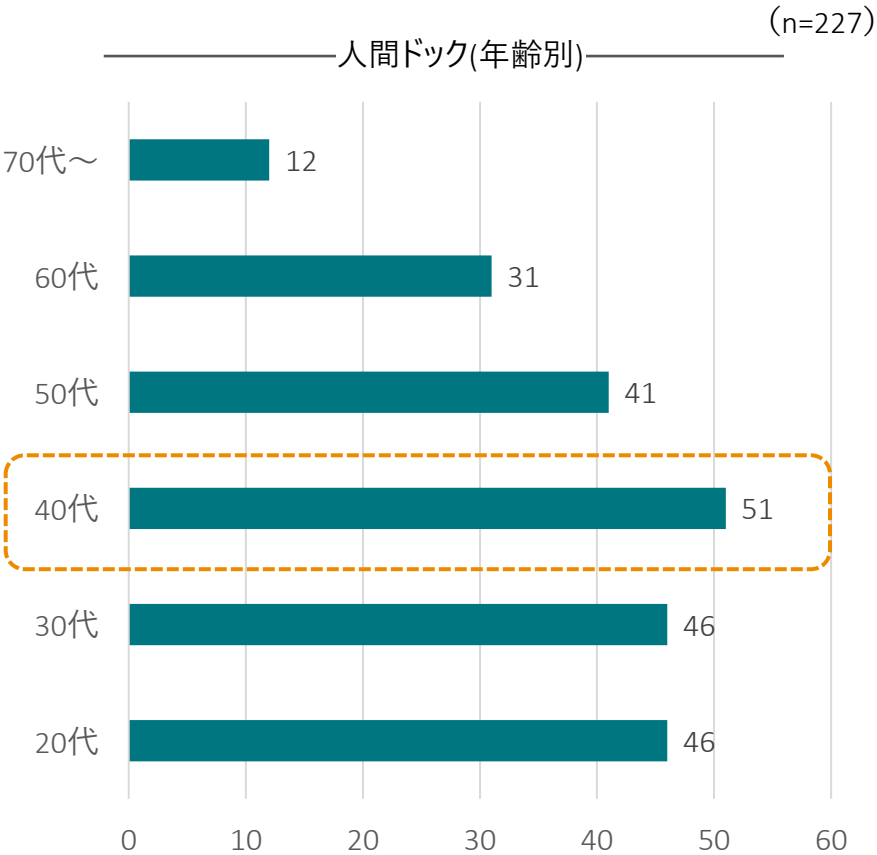
設問 (ベトナム)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)



ベトナムで人間ドックを受けたいと回答した年齢層は40代が最も多く、収入層では30,000,000ドン台が最も多かった

8-2-3. アンケート結果

設問 (ベトナム)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)
人間ドック×年齢別 / 収入別集計

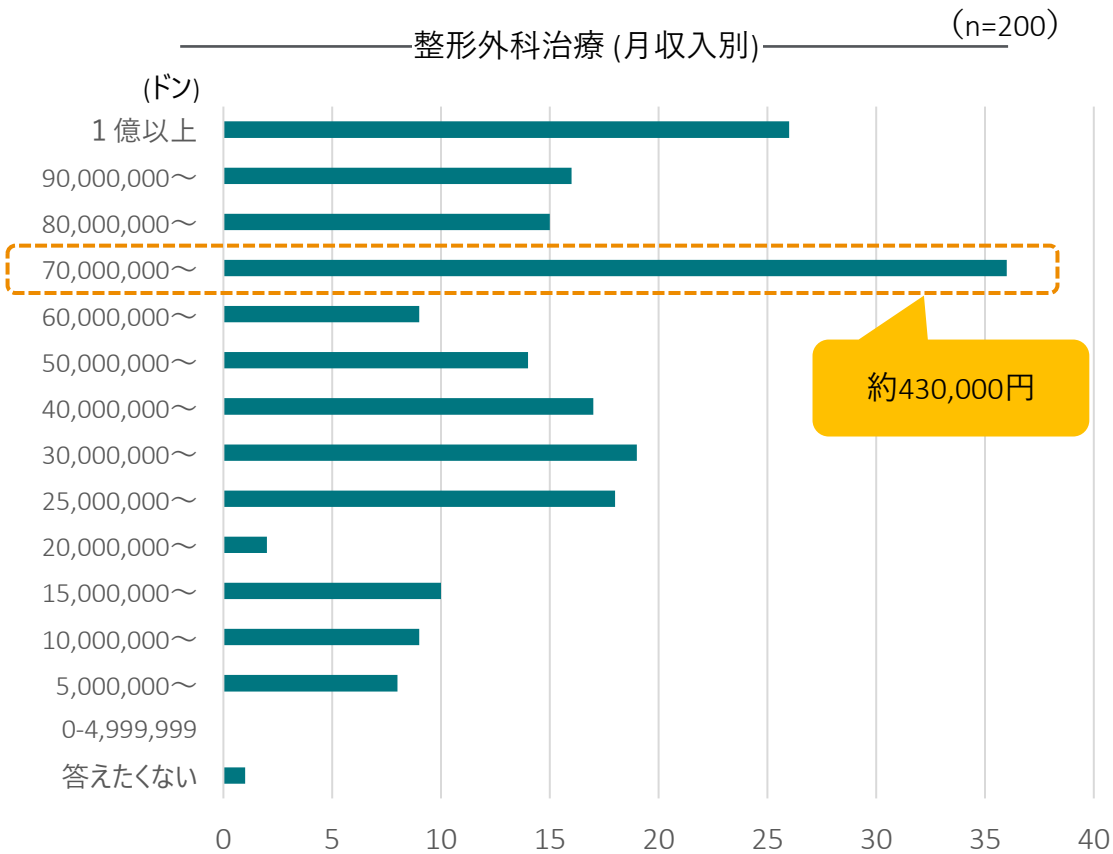
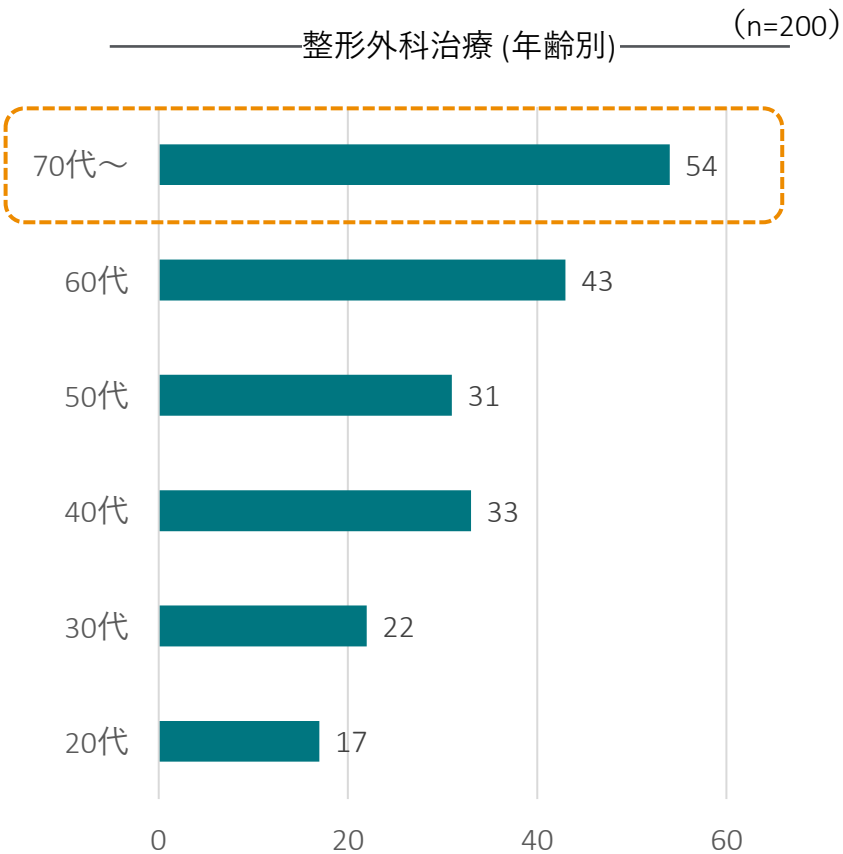


(1ドン=0.0061円 2023/9/28時点)

整形外科治療を受けたいと回答した年齢層は70代が最も多く、収入層では70,000,000ドン台が最も多かった

8-2-3. アンケート結果

設問 (ベトナム)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)
整形外科×年齢別 / 収入別集計



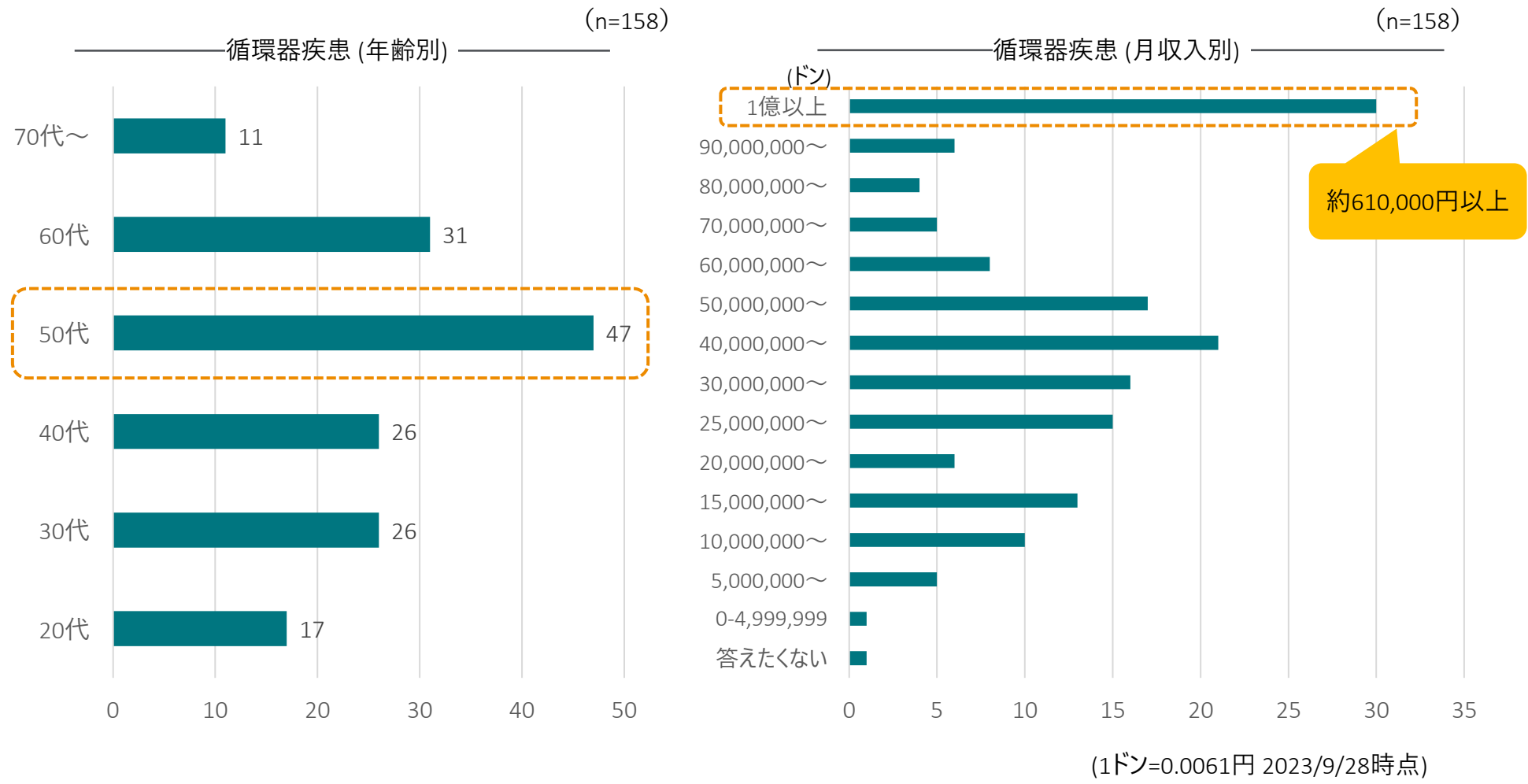
約430,000円

(1ドン=0.0061円 2023/9/28時点)

循環器疾患治療を受けたいと回答した年齢層は、50代が最も多く、収入層では1億ドン以上が最も多かった

8-2-3. アンケート結果

設問 (ベトナム)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)
循環器疾患×年齢別 / 収入別集計

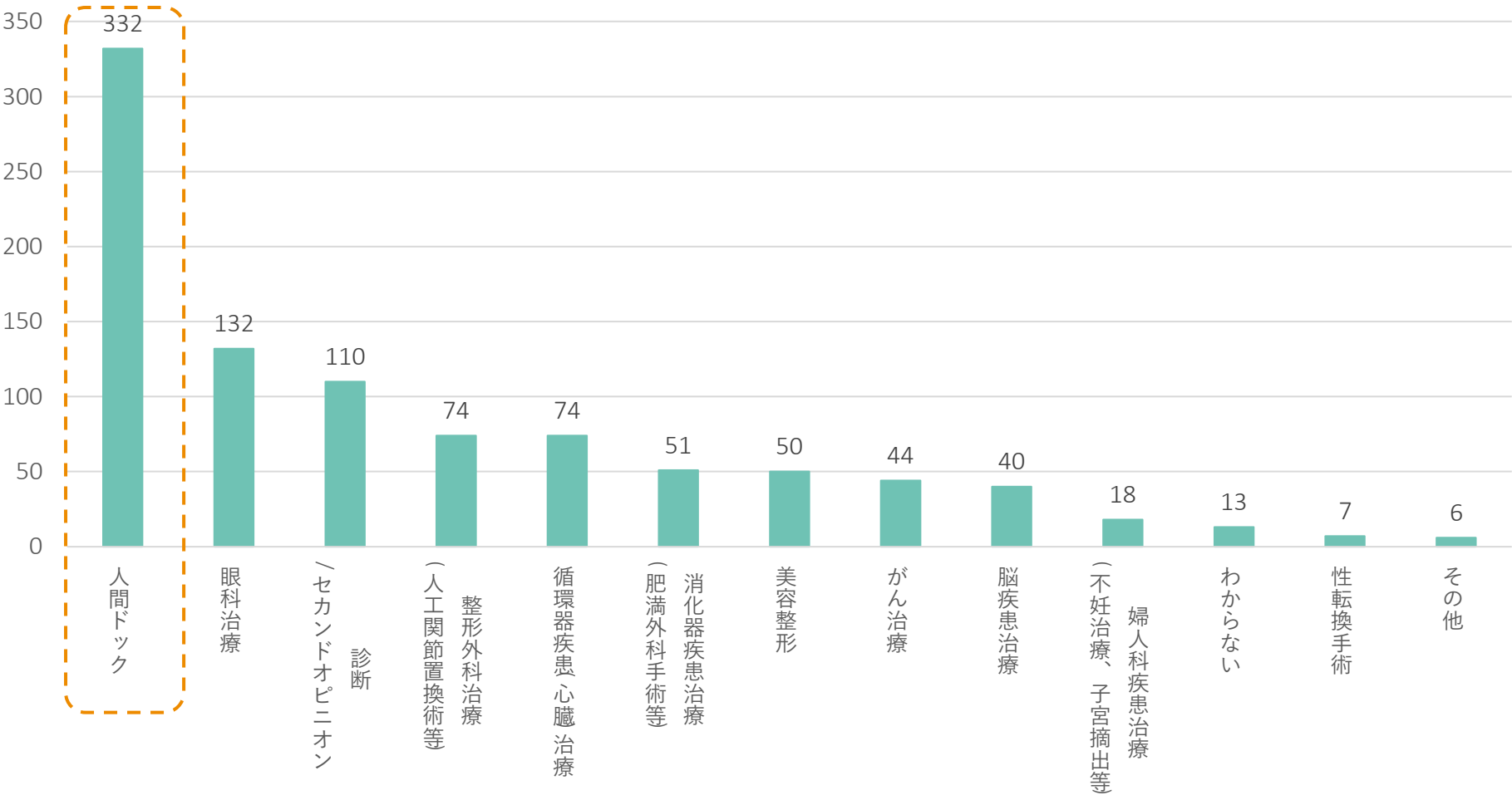


インドネシアでは、受けてみたい治療・診療として人間ドックが最も多く選択され、2位の眼科治療の2.5倍に達している

8-2-3. アンケート結果

設問 (インドネシア)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)

(n=500)

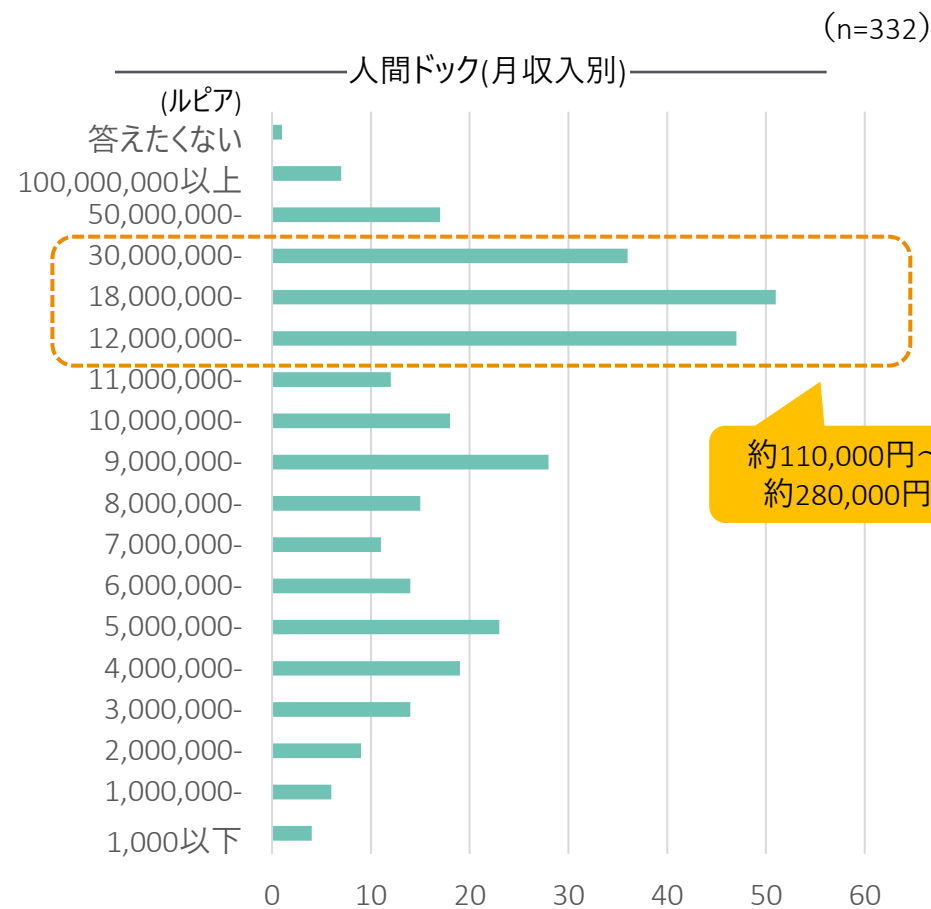
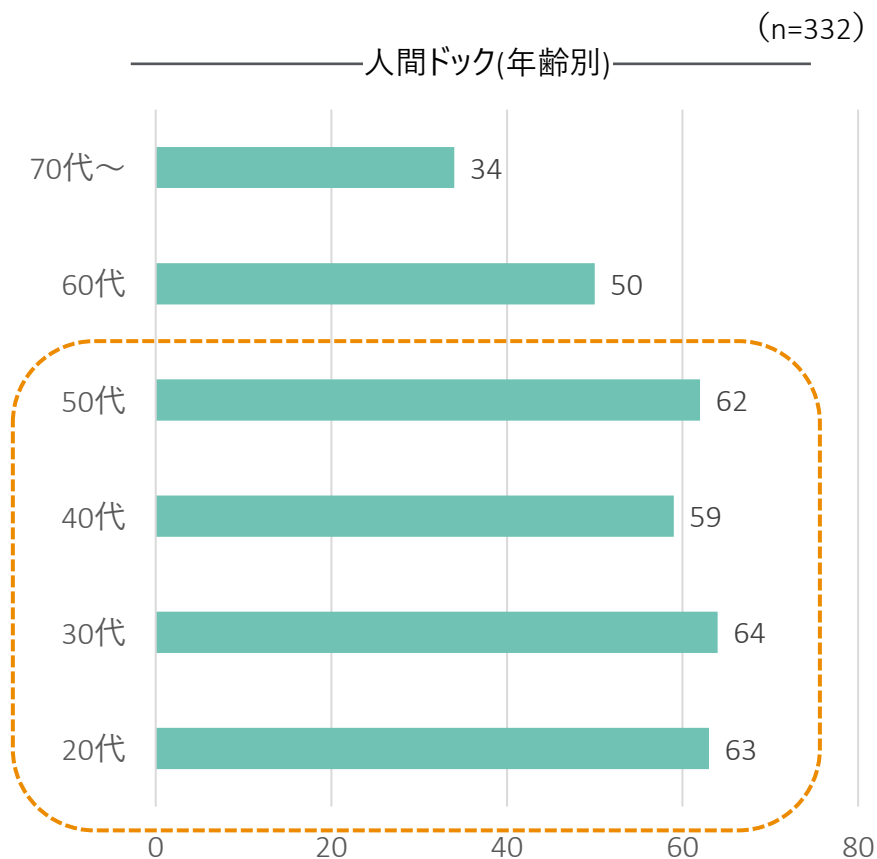


人間ドックを受診したいと回答した年齢層は20代～50代と幅広く、また12,000,000～30,000,000の収入層が中心に選択した

8-2-3. アンケート結果

設問 (インドネシア)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)

人間ドック×年齢別 / 収入別集計



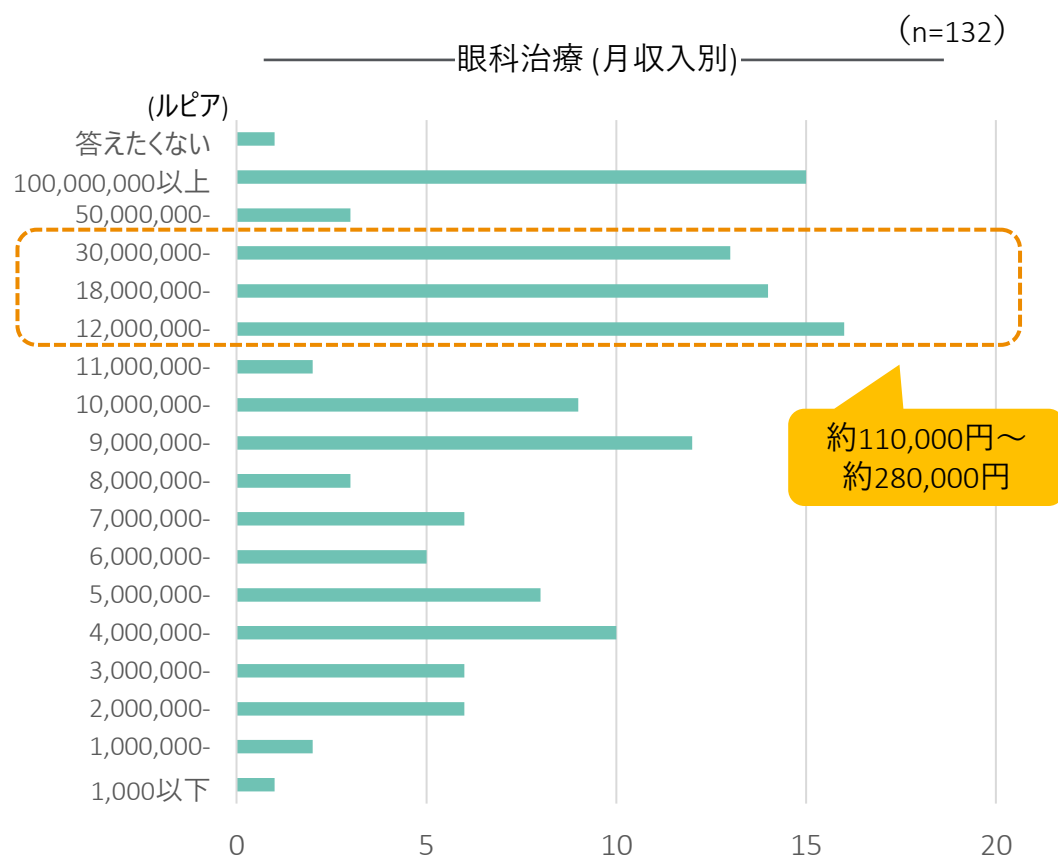
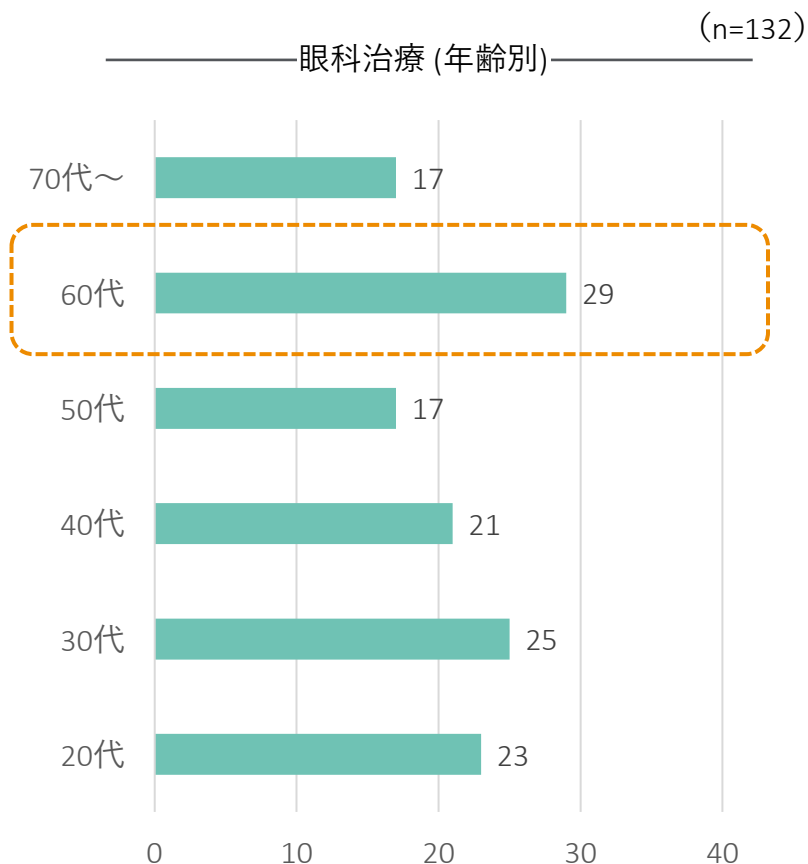
(1ルピア= 0.00959767円, 2023/2/16時点)

眼科治療は60代の年齢層が最も多く、12,000,000～30,000,000の収入層が中心に選択した

8-2-3. アンケート結果

設問 (インドネシア)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)

眼科治療×年齢別 / 収入別集計



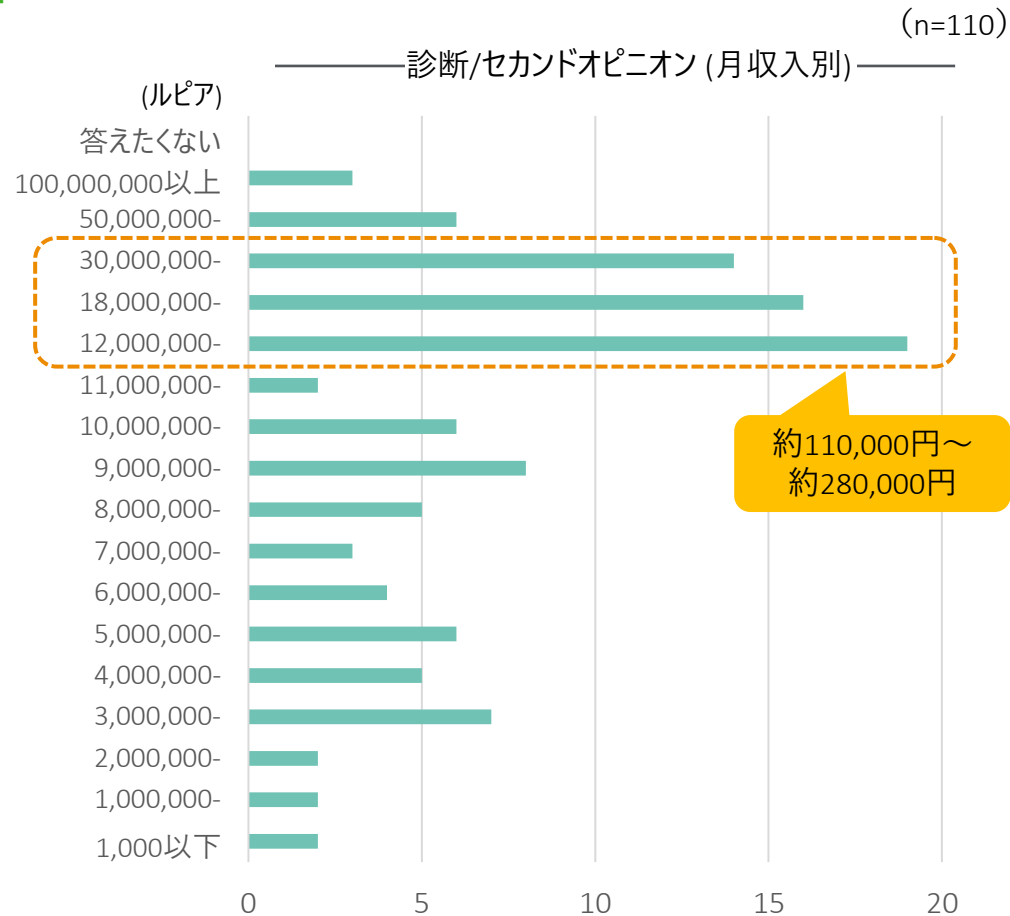
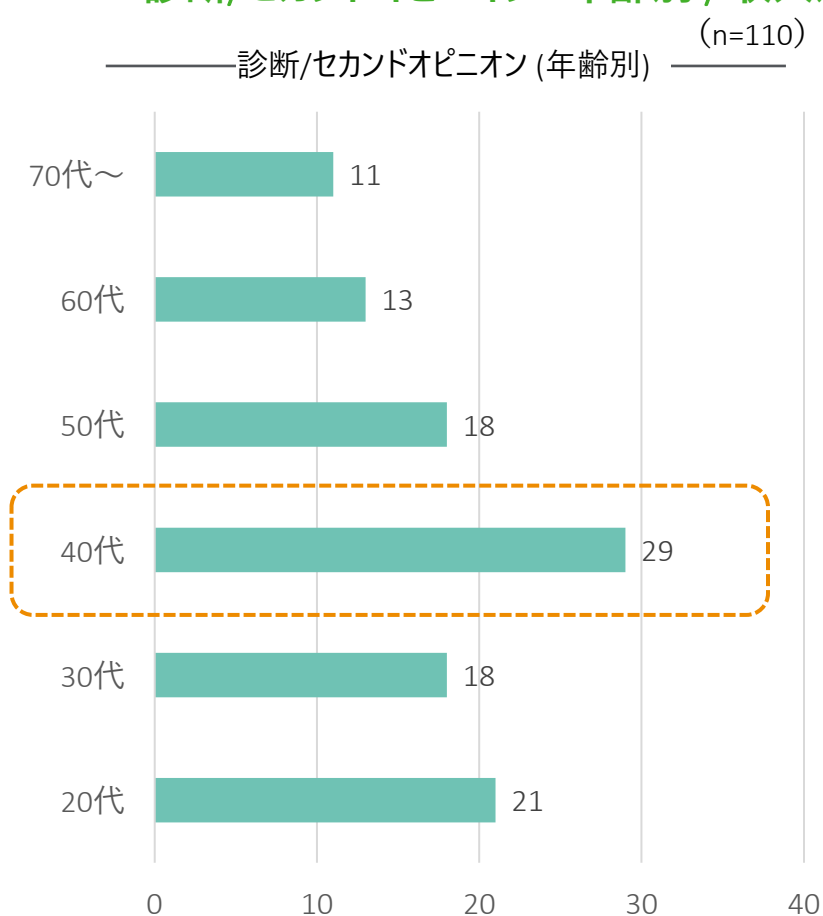
(1ルピア= 0.00959767円, 2023/2/16時点)

診断/セカンドオピニオンは40代の層が最も選択した。人間ドックと同様に12,000,000～30,000,000の収入層が中心に選択している

8-2-3. アンケート結果

設問 (インドネシア)：日本で受けてみたい医療サービスを教えてください(複数回答)

診断/セカンドオピニオン×年齢別 / 収入別集計



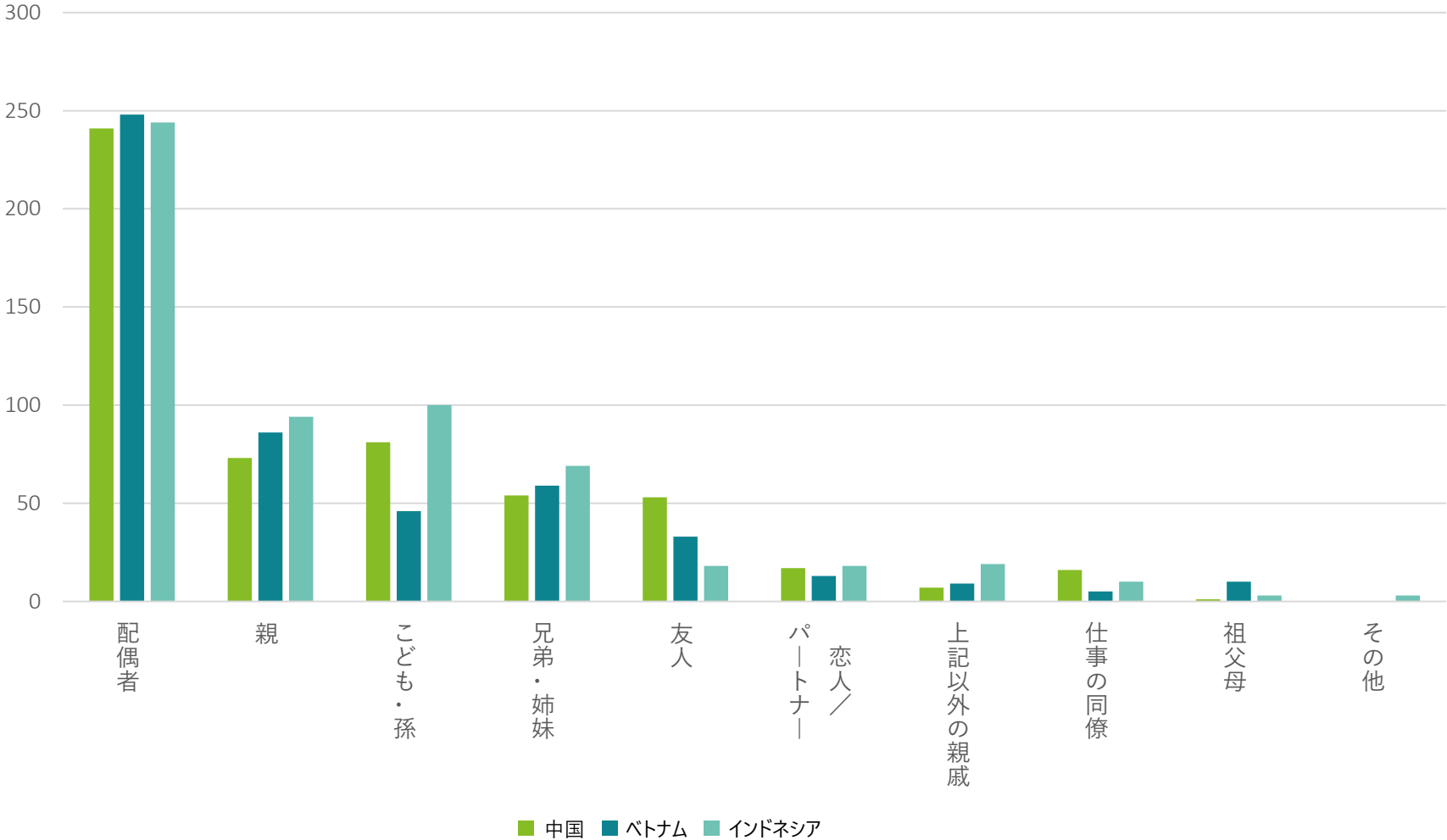
(1ルピア = 0.00959767円, 2023/2/16時点)

中国、ベトナム、インドネシアのいずれの国も医療渡航の際には配偶者が同行して渡航するケースが最も多い

8-2-3. アンケート結果

設問：同行者がいた場合の同行者の属性を教えてください(国別、複数回答)

(n=1,022)

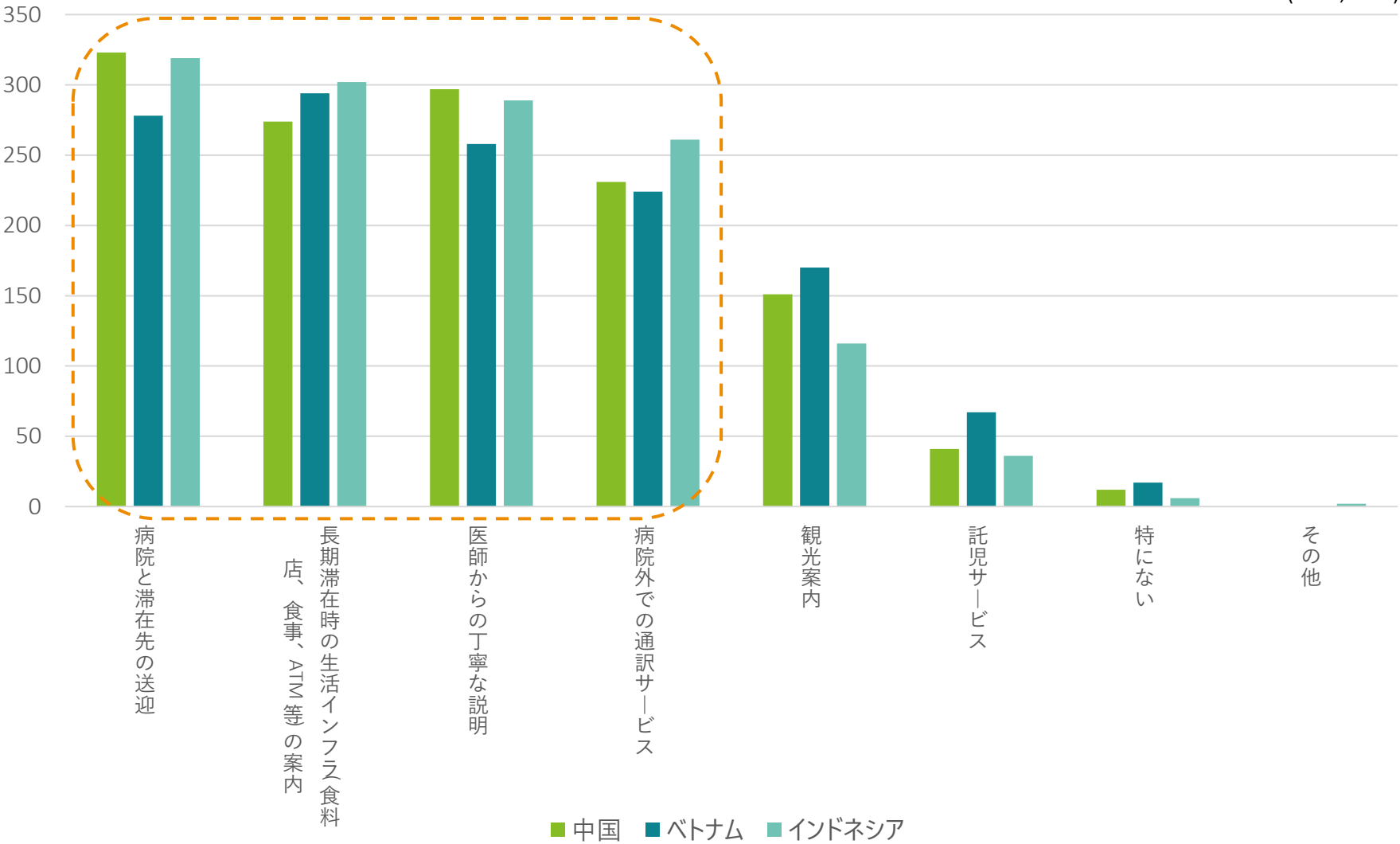


医療渡航中の同伴者のためのサービスとして、病院と滞在先の送迎や生活インフラ、医師からの丁寧な説明、病院外での通訳サービスなどが求められている

8-2-3. アンケート結果

設問： 同伴者のために欲しいサービスを教えてください (国別、複数回答)

(n=1,500)

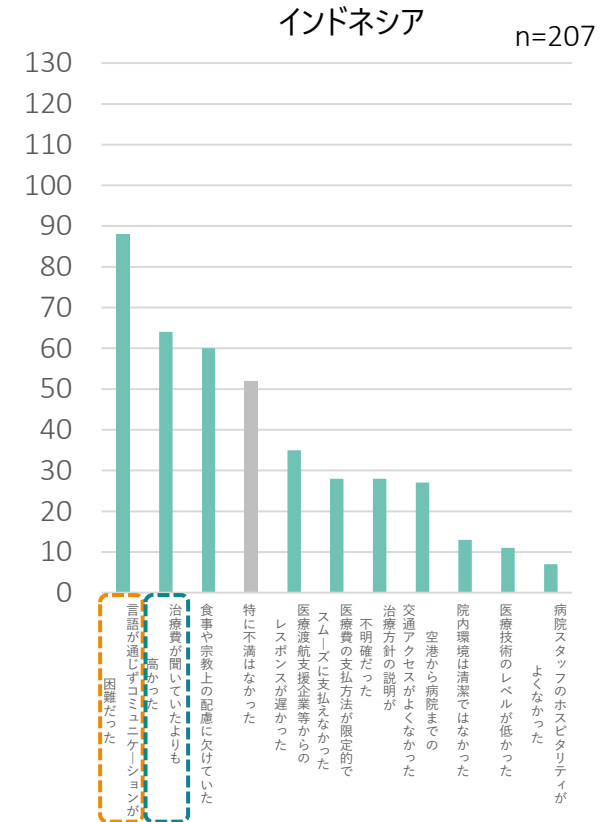
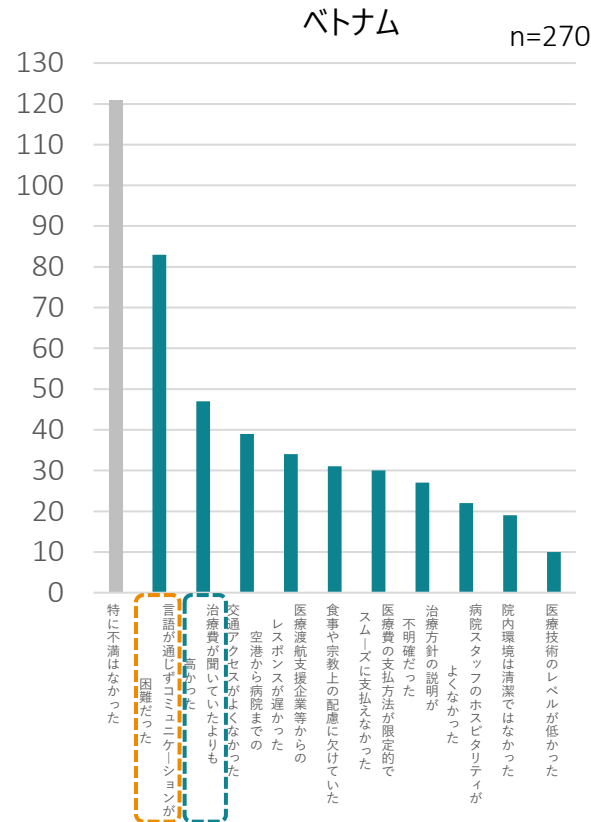
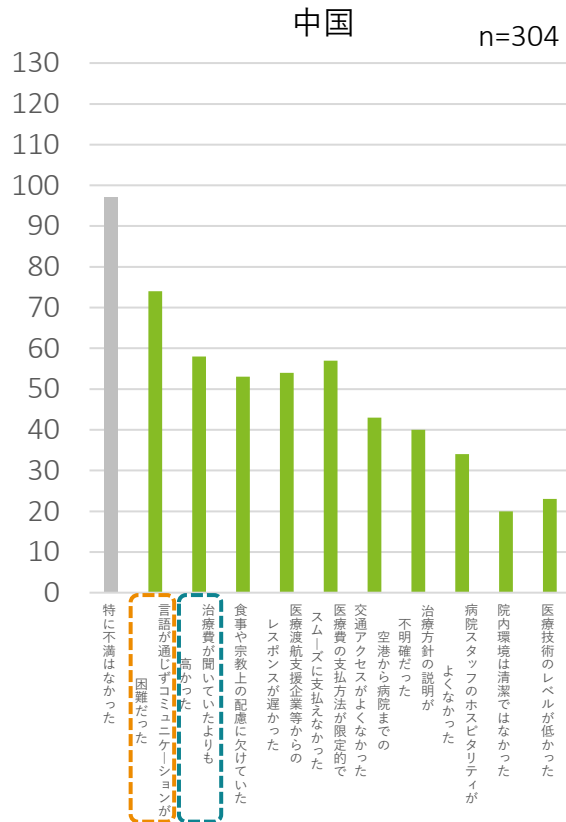


日本での滞在中は、言葉が通じずコミュニケーションが困難だった事や治療費が聞いていたよりも高かったという2点がいずれの国でも不満要素として上位2位に挙がった

8-2-3. アンケート結果

設問：日本での滞在中に不満を感じたことを教えてください(国別、複数回答)

(n=781)

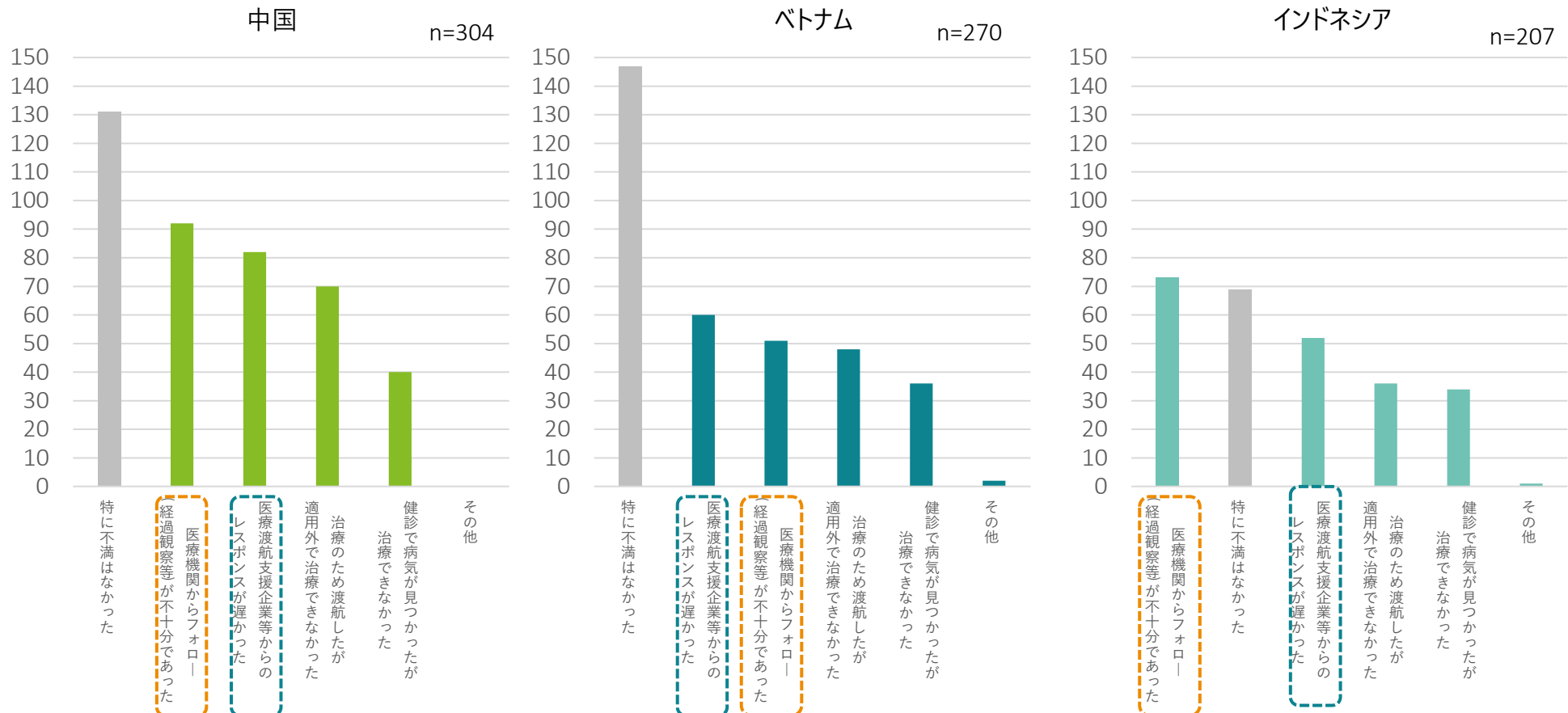


自国への帰国後は、医療機関や医療渡航支援企業からのフォローに関する不満が上位に挙がった

8-2-3. アンケート結果

設問：日本への渡航後に不満を感じたことを教えてください(国別、複数回答)

(n=781)



*「医療渡航支援企業」は日本だけでなく自国の企業が含まれる場合も考えられる

第8章 マーケティング・プロモーションの実施

- 8-1. ターゲット国の選定
- 8-2. マーケティング(ウェブアンケート調査)
- 8-3. 日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信
- 8-4. 意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出

諸外国で実施されている医療渡航のプロモーション施策を参考に、本事業で実施するプロモーション施策を検討した

8-3-1. 諸外国のプロモーション施策

○：実施済み -：未実施

プロモーション施策			韓国	マレーシア	タイ	シンガポール	日本
広告	①SNS発信	政府	○	○	○	-	-
		医療機関	○	○	○	○	○
	②PR動画配信	政府	○	○	-	-	○
		医療機関	○	○	○	○	○
体験	③バーチャルツアー	医療機関	○	○	○	○	○
	④病院体験プログラム	政府	○	-	-	-	-
イベント	⑤展示会	政府	○	○	○	○	○ (オンラインのみ)
窓口設置	⑥空港ブースの設置	政府	○	○	-	-	-
		医療機関	-	-	○	-	-
	⑦海外拠点設置	政府	○	○	-	○	-
		医療機関	-	-	○	○	○

出所：諸外国政府・医療機関HP

韓国政府は医療渡航関連のイベント情報に加え、自国の医療機関が提供している医療及び観光などの情報を複数のSNSで発信している

8-3-2. プロモーション施策①：SNS発信(政府：Medical Korea(韓国))

◆ヘルスケア業界の最新動向や展望に関する情報交換、グローバルネットワークの拡大、韓国の医療の宣伝を目的に2010年より年1回開催されている韓国政府主催のイベント「Medical Korea」は開催時以外でもSNSを通じ、情報発信を行っている

	発信内容	対応言語	フォロワー数等
YouTube	<ul style="list-style-type: none"> イベント情報 健康・疾患に関する一般的な情報 韓国の医療・観光に関する情報(治療体験談、病院での食事、観光地等) 	<ul style="list-style-type: none"> 主に韓国語と英語 中国語・ロシア語・アラビア語・タイ語・ベトナム語で作成された動画もある 	<ul style="list-style-type: none"> 2012年1月開設 125本の動画 4,870フォロワー
Facebook	<ul style="list-style-type: none"> イベント情報 YouTube動画に関する投稿 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語、英語 	<ul style="list-style-type: none"> 2010年2月開設 6.7万フォロワー
Instagram	<ul style="list-style-type: none"> イベント情報 YouTube動画に関する投稿 	<ul style="list-style-type: none"> 英語 別アカウントでロシア語で英語と同じ内容を投稿 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年2月開設 522の投稿 6,679フォロワー
KakaoTalk	<ul style="list-style-type: none"> イベント情報 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語・英語 	<ul style="list-style-type: none"> 548フォロワー

2023年8月22日時点

タイのバムルンラード病院は自院で提供している医療の情報発信に加え、SNSにチャット機能を設け日本語での問合せを可能にしている

8-3-2. プロモーション施策①：SNS発信(医療機関：バムルンラード病院(タイ))

- ◆ バムルンラード病院は病院で提供している医療の情報と健康・疾患に関する一般的な情報を複数のSNSで発信している
- ◆ 下記以外に、Twitter(28万フォロワー)、Instagram(3万フォロワー)のアカウントも開設している

	発信内容	対応言語	フォロワー数等
YouTube	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院で提供している医療の情報 ・ 健康・疾患に関する一般的な情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主にタイ語で英語字幕が付されている ・ 中国語・アラビア語・ミャンマー語・クメール語・ベトナム語・バングラデシュ語・アムハラ語(エチオピア)の動画もある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年10月開設 ・ 1,164本の動画 ・ 19.5万フォロワー
Facebook	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院で提供している医療の情報 ・ YouTube動画に関する投稿 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ語、英語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年10月開設 ・ 259万フォロワー
TikTok	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院で提供している医療の情報(ショート動画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ語、英語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.7万フォロワー
LINE	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院で提供している医療の情報(LINE@) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイ語、英語 ・ 日本語の公式LINEがあり、チャット機能で問合せが可能である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 13万フォロワー(LINE@)

2023年8月22日時点

マレーシア政府と韓国政府は自国の医療や観光に関するPR動画を作成し、複数の媒体に投稿している

8-3-2. プロモーション施策②：PR動画の配信(マレーシア、韓国)

マレーシアの事例

作成者	マレーシア医療観光協会(政府系組織)
配信チャンネル	YouTube、SNS、公式Webサイト
多言語化	主に英語だが、中国語・ベトナム語・インドネシア語・バングラデシュ語、ミャンマー語に翻訳された動画もある
内容	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアの医療や観光に関する情報 患者の体験談

韓国の事例

作成者	韓国保健福祉省
配信チャンネル	YouTube、SNS、公式Webサイト
多言語化	主に韓国語と英語だが、ロシア語・アラビア語・中国語・ベトナム語・タイ語などに翻訳された動画もある
内容	<ul style="list-style-type: none"> イベント情報 健康・疾患に関する一般的な情報 韓国の医療・観光に関する情報(治療体験談、病院での食事、観光地等)



Malaysia Healthcare - Quality Care for Your Peace of Mind

183万回視聴・7年前



Experience the care beyond the cure, Medical Korea(30s)

1619万回視聴・5年前

出所：https://www.youtube.com/@mhtcmalaysia/videos、https://www.youtube.com/user/MedicalKoreaOfficial

シンガポールとタイの病院は、病院内の施設を閲覧できるバーチャルツアーを提供している

8-3-2. プロモーション施策③：バーチャルツアー(シンガポール、タイ)

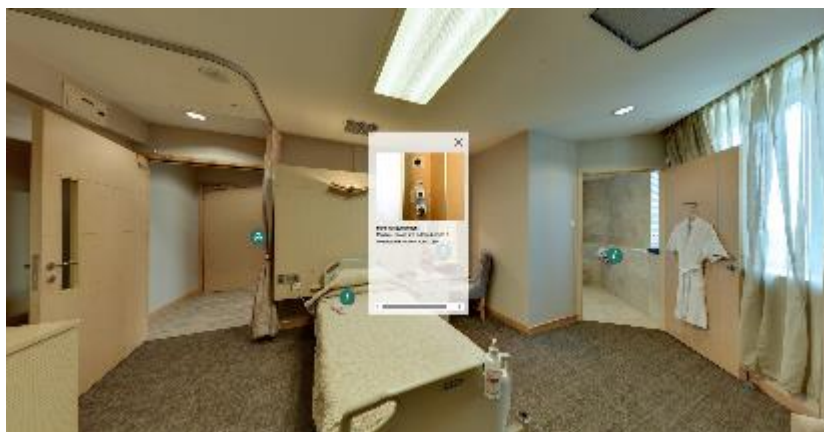
シンガポールの事例

実施主体	ラッフルズ病院
掲載場所	ラッフルズ病院ホームページ
掲載言語	英語
閲覧方法	Web
内容	<ul style="list-style-type: none"> 病室などをWeb上で閲覧できる ベッドやシャワーなど特定の設備の詳細説明をクリックすると英語で閲覧できる

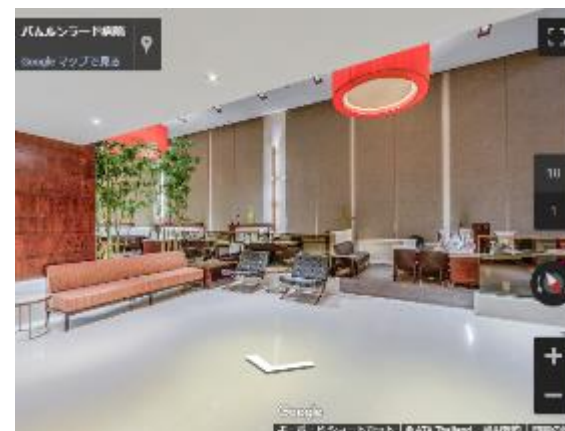
タイの事例

実施主体	バムルンラード病院
掲載場所	バムルンラード病院ホームページ
掲載言語	英語
閲覧方法	Web/Googleマップ
内容	主に病院の待合室やロビーをWeb上で閲覧できる

バーチャルツアーの画像



バーチャルツアーの画像



出所： <https://www.rafflesmedicalgroup.com/services/hospital/patients-visitors/visitors/visiting-guide/>、 <https://www.bumrungrad.com/zh/medical-travel/virtual-tours>

韓国では海外の医療関係者やステークホルダーを招待し、韓国の病院における医療サービスを体験できるプログラムを実施している

8-3-2. プロモーション施策④：病院体験プログラム(韓国)

実施国	韓国
実施主体	韓国保健福祉省
プログラム内容	海外の医療関係者やステークホルダーを招待し、韓国の病院における医療サービスを体験させる
参加国数(2016年)	13か国



インドネシアHASANUDDIN医科大学病院関係者



ベトナムPower Blogger代表团



Medical Korea & K-Hospital Fair2016参加者



国別参加実績

- 2009年から2016年まで、病院体験プログラムの参加者数は計722名である
- そのうち最も多い国は中国で、累計168人である

国	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	計
中国	14	23	10	5	38	31	30	17	168
アメリカ	33	37	26	7	13	4	3	4	127
インドネシア	—	—	—	3	2	11	—	69	85
カザフスタン	10	9	14	8	3	11	6	6	67
ロシア	11	9	3	1	1	26	7	3	61
ウズベキスタン	—	5	1	7	2	7	8	3	33
ベトナム	—	—	2	2	1	10	3	5	23
アラブ	—	1	11	6	1	—	1	—	20
シンガポール	—	2	6	3	6	—	—	2	19
日本	10	6	—	—	—	1	—	—	17
マレーシア	—	—	2	—	4	—	—	6	12
キルギスタン	—	—	—	1	2	2	5	1	11
その他	2	24	1	14	3	4	27	4	79
合計	80	116	76	57	76	107	90	120	722

出所： <https://www.khidi.or.kr/board/view?linkId=%20221358&menuId=MENU00085>

韓国では国内外の企業、医療機関、政府機関、研究者、大学関係者を招待し、オンライン及びオフラインで展示会を開催している

8-3-2. プロモーション施策⑤：展示会(Medical Korea Conference(韓国))

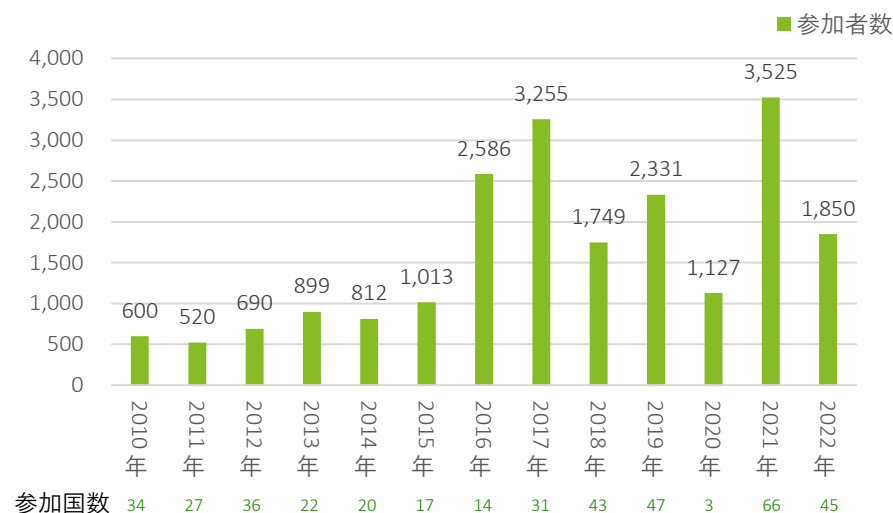
イベント名	Medical Korea Conference
実施国	韓国
実施主体	韓国保健福祉省
開始年	2010年
開催頻度	年1回
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国際医療動向交流 ・グローバルネットワークの拡大
開催方式	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン会場 ・オンライン：公式ホームページ、YouTube
登壇者	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア企業/IT企業/医療渡航支援企業の代表者 ・医療機関/病院協会の代表者 ・保健福祉省の代表者 ・研究者 ・大学関係者
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式、表彰式 ・講演(フォーラム、セミナー) ・ビジネスミーティング ・政府間MOU締結ミーティング ・韓国医療広報 ・病院体験等

出所：<https://www.mkconf.org/fairDash.do?hl=KOR>

展示会の様子



参加者数・参加国数推移



政府若しくは医療機関が医療渡航に関するブースを空港内に設置し、医療渡航事業の促進を図っている

8-3-2. プロモーション施策⑥：空港ブースの設置(韓国、タイ)

政府の事例

設置国	韓国
設置主体	韓国保健福祉省
場所	仁川国際空港 (到着ロビー)
対象	医療渡航者とその家族/旅行者
目的	<ul style="list-style-type: none"> 医療観光事業の支援・強化 韓国医療の宣伝
サービス	<ul style="list-style-type: none"> 医療/観光情報提供 医療機関/商品の案内 医療渡航者支援 (通訳支援、ビザ相談、予約等) トラブル相談窓口 医療体験(皮膚の診断など)



医療機関の事例

設置国	タイ
設置主体	バムルンラード病院
場所	バンコク新国際空港(到着ロビー)
対象	医療渡航者とその家族/一般渡航者
目的	<ul style="list-style-type: none"> 医療渡航者の支援 医療機関の宣伝
サービス	<ul style="list-style-type: none"> 医療渡航者支援(無料送迎、ホテルの予約等) 医療機関に関する情報提供



出所： <https://www.khidi.or.kr/board/view?linkId=48806593&menuId=MENU00085>, <https://www.bumrungrad.com/en/patient-services/airport-representative>

マレーシア政府及びシンガポールのラッフルズ病院は海外拠点を設置し、医療渡航に関する広報活動や医療渡航者に対する支援を行っている

8-3-2. プロモーション施策⑦：海外拠点設置

政府：Malaysia Healthcare(マレーシア)

- ◆ Malaysia Healthcare Travel Council(マレーシア保健省が設立)が運営している「Malaysia Healthcare」は、HPでマレーシアへの医療渡航者に対し、医療機関・医師・治療・観光の情報を発信している
- ◆ 海外拠点では広報活動、現地の医療機関や旅行代理店とのパートナーシップの構築、医療渡航者への支援を行っている

海外拠点設置国と都市

国	都市
インドネシア	ジャカルタ
バングラデシュ	ダッカ
ミャンマー	ヤンゴン
中国	杭州

医療機関：ラッフルズ病院(シンガポール)

- ◆ シンガポールのラッフルズ病院は6か国に駐在員事務所を開設し、医療渡航者への支援を行っている

【主な支援内容】

- ・ 病院が提供する医療に関する情報発信と問合せ対応
- ・ ビザの申請と延長
- ・ 宿泊施設・フライト予約の手続き
- ・ 空港での待ち合わせ・送迎サービス
- ・ 旅行計画の作成

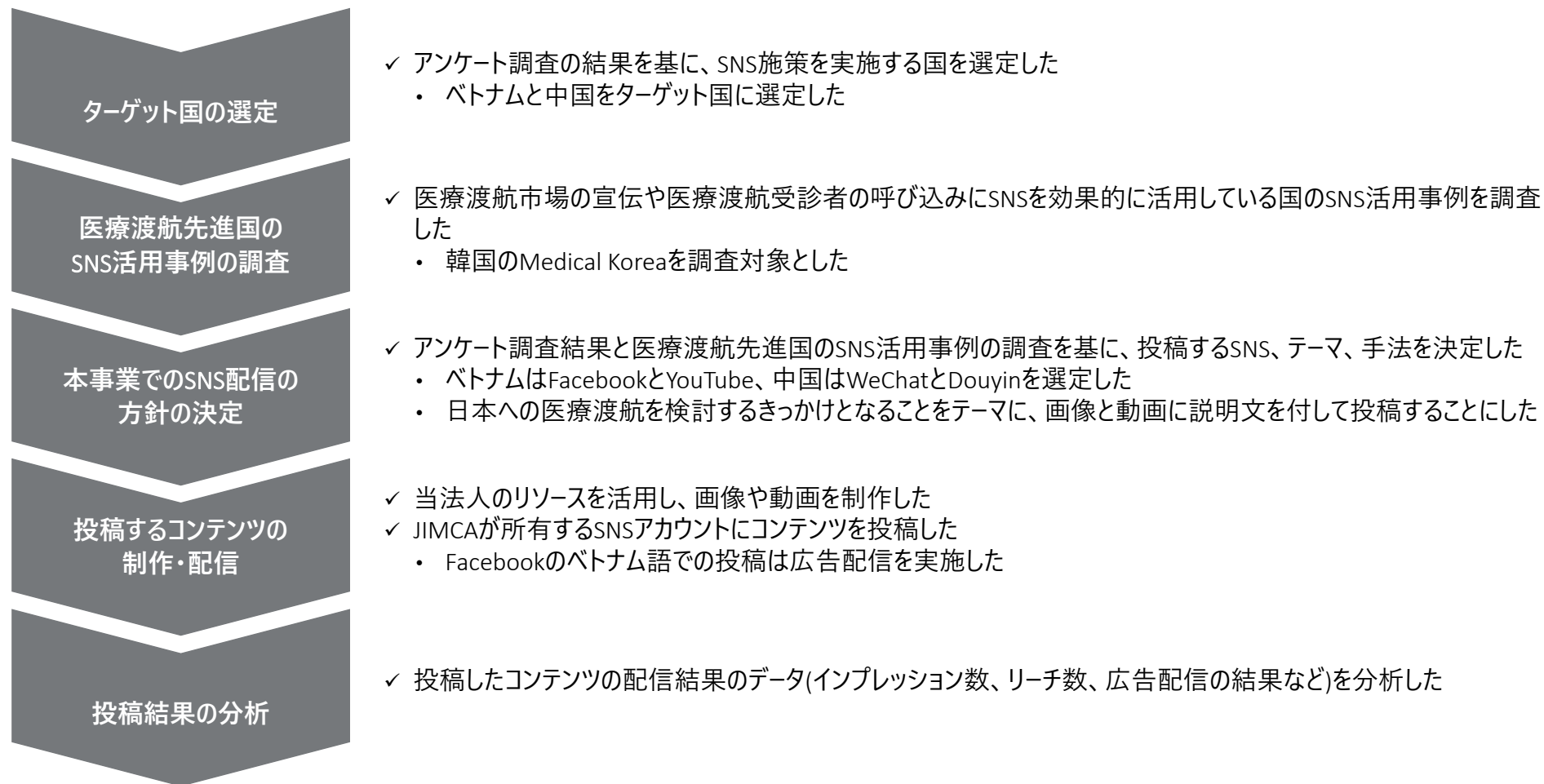
海外拠点設置国と都市

国	都市
インドネシア	ジャカルタ、スラバヤ、スラカルタ、スマラン、デンパサル、バンドン
バングラデシュ	ダッカ、チッタゴン
ベトナム	ハノイ、ホーチミン
カンボジア	不明
ミャンマー	不明
ロシア	不明

出所： <https://www.rafflesmedicalgroup.com/services/hospital/international-patients/international-patient-services/>
<https://www.malaysiahealthcare.org/?irclickid=zzWT0AP9LNZ6QDk6b8ctV>

アンケート調査結果を基にターゲット国を選定し、他国のSNS活用事例を参考にコンテンツを制作した。投稿後は抽出したデータを基に分析を行った

8-3-3. SNSを通じたプロモーション



韓国のMedical KoreaのFacebookでは、イベントの告知に加え、医療に関する情報提供や外国人患者の受入れを促進するマテリアルの投稿が行われている

8-3-4. SNS活用事例の調査

SNSを効果的に活用している国のSNS施策の参考事例(韓国：Medical KoreaのFacebook)(1/3)

アカウント名	Medical Korea
運営組織	韓国保健産業振興院 (KHIDI : Korea Health Industry Development Institute)
アカウント開設日	2010年5月13日
フォロワー数	6.7万人(2023年9月1日現在)
いいね数	6.7万件(2023年9月1日現在)
投稿頻度	平均週3回投稿 (直近200件の投稿に基づく分析)
言語	<ul style="list-style-type: none"> 主に英語だが、イベント告知やYouTube動画の宣伝では、英語と同じ内容を韓国語や中国語に翻訳し投稿している
投稿内容	<ul style="list-style-type: none"> イベントの告知 Facebook以外のSNS発信の拡散 医療に関する情報提供 外国人患者受入れ促進 アンケート
備考	中国語とベトナム語のFacebookアカウントも保有している

イベントの告知

- ✓ 主に年1回開催するイベント「Medical Korea」の告知
- ✓ 英語と韓国語で発信している

Facebook以外のSNS発信の拡散

- ✓ YouTube、InstagramなどFacebook以外のSNSにおける投稿の拡散
- ✓ YouTube動画の告知が主である

医療に関する情報提供

- ✓ 主に画像(5～9枚)で医療に関する情報を提供している

外国人患者受入れ促進

- ✓ 主に漫画で医療渡航体験談や医療チャリティープログラムを紹介

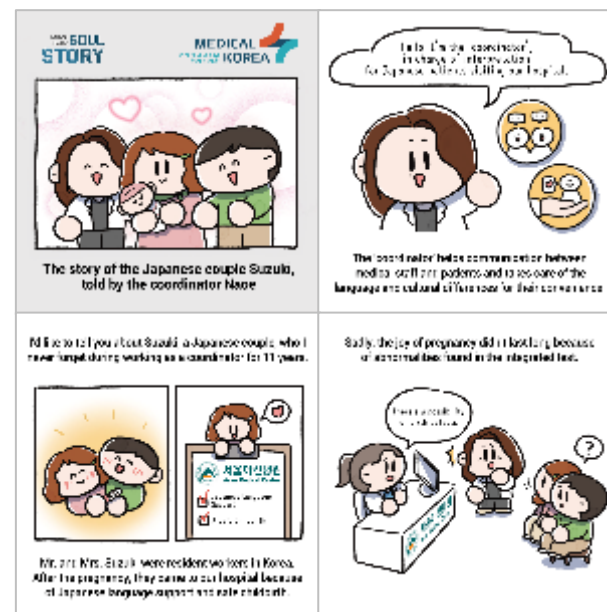
出所： <https://www.Facebook.com/MedicalKoreaOfficial>, <https://www.Facebook.com/KHIDIVietnam>, <https://www.Facebook.com/MedicalKoreaOfficial.chn>

SNSを効果的に活用している国のSNS施策の参考事例(韓国：Medical KoreaのFacebook)(2/3)

漫画投稿事例

投稿言語	英語
投稿内容	イベントの告知、Facebook以外のSNS発信の拡散、医療に関する情報提供、外国人患者受入れ促進、アンケート
1投稿での枚数	5～9枚
投稿頻度	週2～3回

投稿言語	英語
投稿内容	医療渡航体験談、医療チャリティープログラム
1投稿での枚数	10枚
投稿頻度	年3～5回



出所： <https://www.Facebook.com/MedicalKoreaOfficial>

画像、又は漫画を用いた投稿がいいね、及びシェアにより拡散されている

8-3-4. SNS活用事例の調査

SNSを効果的に活用している国のSNS施策の参考事例(韓国：Medical KoreaのFacebook)(3/3)

- ✓ 健康・疾患情報を画像で解説した投稿、又は漫画による外国人患者受入れ促進に関する投稿がいいね、及びシェアにより拡散されている
- ✓ コメント投稿による抽選を除くと、満足度調査と疾患の解説についての投稿について、ユーザーはコメントで反応している

番号	分類
①	イベント告知
②	Facebook以外のSNS発信の拡散
③	医療に関する情報提供
④	外国人患者受入れ促進
⑤	アンケート

いいね数上位10件

順位	手法	分類	投稿内容	いいね数
1	漫画	④	ストーリーコンテスト(日本人患者)	6,380
2	画像	③	春の流行病の症状と予防	5,099
3	画像	②	Medical Korea2022クイズ	3,687
4	YouTube動画	②	患者が無意識な時、目をチェックする理由	2,072
5	画像	③	胃がんに関する知識	1,952
6	画像	③	花粉アレルギーの注意点	1,885
7	YouTube動画	②	乳がん：ピンクリボンについて	1,758
8	漫画	④	コーディネーターの物語	1,607
9	YouTube動画	②	乳がん：ピンクリボンについて(予告)	1,428
10	画像	③	肌荒れ予防の知識	1,096

コメント数上位10件

順位	手法	分類	投稿内容	コメント数
1	画像	⑤	満足度調査	250
2	画像	②	満足度調査	214
3	YouTube動画	②	乳がん：ピンクリボンについて(予告)	209
4	YouTube動画	②	乳がん：ピンクリボンについて	180
5	画像	⑤	Medical Korea満足度調査	136
6	YouTube動画	②	プサン観光スポット	105
7	画像	②	整形外科に関する問合せの抽選	92
8	画像	②	シェア、コメントの抽選	92
9	画像	②	YouTubeフォロー、視聴及びコメントの抽選	91
10	画像	①	不妊症オンラインカウンセラーセンター告知	81

シェア数上位10件

順位	手法	分類	投稿内容	シェア数
1	画像	③	がんの早期発見	185
2	画像	③	糖尿病に関する知識	152
3	画像	③	花粉アレルギーの注意点	125
4	画像	③	脱毛症	71
5	画像	⑤	Medical Korea満足度調査	67
6	画像	⑤	Medical Korea満足度調査	65
7	画像	③	春の流行病の症状と予防	63
8	画像	③	がんの早期発見	62
9	画像	③	胃がんに関する知識	62
10	画像	③	乳がんに関する知識	54

出所： <https://www.Facebook.com/MedicalKoreaOfficial>

Medical KoreaのYouTubeではイベント情報に加え、健康・疾患に関する一般的な情報、韓国の医療や観光に関する情報の発信が行われている

8-3-4. SNS活用事例の調査

SNSを効果的に活用している国のSNS施策の参考事例(韓国：Medical KoreaのYouTube)(1/2)

チャンネル名	Medical Korea Official
運営組織	韓国保健産業振興院 (KHIDI : Korea Health Industry Development Institute) ✓ 韓国の医療・健康産業の国際的なプロモーション目的のイベントである「Medical Korea」を運営している 韓国保健福祉省傘下の組織
チャンネル開設日	2012年1月3日
チャンネル登録者数	4,900人(2023年8月28日現在)
動画数	126本(2023年8月28日現在)
動画の内容	<ul style="list-style-type: none"> 年1回開催しているイベント「Medical Korea」に関する動画(イベント開催情報、講演など) 健康・疾患に関する一般的な情報 韓国の医療・観光に関する情報(治療体験談、病院での食事、観光地等)
備考	一部の動画は多言語で作成されている

「Medical Korea」情報

- ✓ 韓国で外国人が医療を受けられる
- ✓ 医療は来韓目的の1つである
- ✓ 「Medical Korea」のアジェンダ、登壇者、講演内容

健康・疾患

- ✓ がん・肺疾患などの疾患情報から、歯磨きの方法・呼吸法など一般的な健康・疾患情報を啓発する

韓国で受けられる医療

- ✓ 外国人が医師に質問する、病院での食事の紹介することで、受診・治療に係る不安を取り除く

韓国の観光

- ✓ 韓国の著名な観光地の紹介に加え、その観光地で受診できる医療を紹介する

出所： <https://www.medicalkorea.or.kr/en/index>、 <https://www.youtube.com/@MedicalKoreaOfficial/featured>

Medical Koreaは外国人が韓国で医療を受けられることを周知し、韓国への医療渡航を促すことを目的に、多言語で動画を作成している

8-3-4. SNS活用事例の調査

他国のSNS施策の参考事例(韓国：Medical KoreaのYouTube)(2/2)

タイトル・URL	サムネイル	内容	特徴	
治療を超えたケアを体験 (30秒/60秒) https://www.youtube.com/watch?v=vgANh_q_EZg		✓ 音楽・ファッション・食事などに加え、医療も来韓目的の1つである	✓ 30秒の方が60秒よりも再生回数が多い	
			音声	英語、ベトナム語
			字幕	なし
また楽しい日々を始めましょう(30秒) https://www.youtube.com/watch?v=qvTqsR5l07c		✓ 韓国で外国人が医療を受けられる	✓ ベトナム語版が最も再生回数が多い	
			音声	英語、ベトナム語、中国語、タイ語、アラビア語、ロシア語
			字幕	なし
メディカルコリア(フル/ショート) https://www.youtube.com/watch?v=tmLMlrGfm2Y		✓ 自国で治療ができないと言われた場合に韓国での治療が選択肢になる	✓ 上記2つと比較し、重篤な症状を持つ外国人患者向けである	
			音声	韓国語、英語、アラビア語、ロシア語
			字幕	なし

出所： <https://www.youtube.com/@MedicalKoreaOfficial/featured>

韓国の例を参考に日本への医療渡航を周知することを目的としたコンテンツを制作し、ベトナムと中国をターゲットとして、JIMCAのSNSアカウントに投稿した

8-3-5. 本事業でのSNSを通じたプロモーション施策の概要

概要	JIMCAのSNSアカウントに日本の医療渡航に関する画像若しくは動画を投稿する			
目的	日本で外国人が治療や検診を受けることができる、また、治療や検診を受ける際の手順や決まりを訴求することで、日本への医療渡航に関する不安を取り除き、来日のきっかけとする			
対象	日本の医療渡航を知らない、又は来日を検討している中国人とベトナム人			
投稿したSNSと言語	Facebook	YouTube	WeChat	Douyin
	英語 ベトナム語		中国語	
広告配信	Facebookではベトナム語の記載がある投稿を広告配信の対象とした			

2023年10月より、Facebook、WeChat、Douyin、YouTubeに日本の医療の特徴やベトナム人による日本への医療渡航体験談を7回に渡って投稿した

8-3-6. コンテンツの制作・配信：実施したSNSを通じたプロモーション一覧

No	投稿タイトル	内容	目的	手法	投稿状況				
第1弾	富士山	日本で外国人が医療を受けることができることの紹介①	日本で外国人が医療を受けられることを周知し、日本への医療渡航検討のきっかけを作る	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					10/23		11/21		11/24
第2弾	グラフ	アンケート調査結果の公表	日本の医療に対するニーズを発信することで、日本への医療渡航に対する興味を高める	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					11/13		11/27		11/27
第3弾	重粒子線	日本で実施しているがん治療(重粒子線治療)の紹介	疾患の解説に加え、日本で実施しているがん治療と医師がどのように処置するかについて示すことで、来日の意欲を高める	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					12/4		12/7		12/7
第4弾	①宮城 ②メディポリス ③相澤 ④沖縄	医療と観光を組み合わせた滞在プランを作成している地域の取組紹介(厚労省の医療観光案件と連携)	観光に重きを置いている外国人患者向けに日本の観光資源を紹介し、日本への医療渡航への興味を高める	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					宮城	12/25	宮城	12/25	投稿なし
					メディポリス	1/2	メディポリス	1/5	
					相澤病院	1/22	相澤病院	1/22	
					タピック	2/5	タピック	2/5	
第5弾	体験談	医療渡航体験談の紹介	JIMCA経由で日本の医療渡航を受けた外国人患者が感じた良かった点を紹介し、日本への医療渡航についての興味を高める	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					2/23		2/26		2/26
第6弾	動画	日本で外国人が医療を受けることができることの紹介②	医療が来日目的の1つであることを周知し、日本への医療渡航検討のきっかけを作る	動画	YouTube	Facebook		WeChat	Douyin
					2/27	2/28		2/29	2/29
第7弾	渡航の流れ	日本の医療機関を受診する場合のプロセスの紹介	医療渡航支援企業を通じた手続きなどを紹介することで外国人患者の来日及び治療に対する不安を取り除く	画像	Facebook		WeChat		Douyin
					2/19		2/19		2/19

Facebookには日本の医療渡航に関するコンテンツをベトナム語と英語に翻訳して別々に投稿し、ベトナム語でのコンテンツは広告配信の対象とした

8-3-6. コンテンツの制作・配信：Facebookを通じたプロモーションの概要(例：第3弾、ベトナム語)

各投稿内容の詳細はAppendixに掲載しています



【説明文】

第1弾と第2弾は英語とベトナム語を併記、第3弾以降は英語版とベトナム語版を2つに分けて投稿した

【画像】

第1弾と第2弾の画像内の文字は英語のみ、第3弾以降は英語版とベトナム版を作成し、2つに分けて投稿した

【広告配信】

ベトナム語で表記されている投稿を広告配信の対象とした

説明文(日本語)

これらは何でしょう？これらは重粒子線治療に用いる(1)加速器、(2)コントロールルーム、(3)治療室です。
重粒子線治療は粒子線治療の1つで、がんに対する先進的な放射線治療法です。
重粒子線治療はがんに対する選択的照射と集中的な殺傷効果が期待でき、更に、従来の放射線治療に比べて、治療回数・日数が少ないことが特徴です。
現在、日本には7つの重粒子線治療施設を含む、粒子線治療施設が25施設あります。
本治療には治療前評価等の準備が必要であるため、詳しくはJIMCAまでご連絡ください。

✓ 上記、日本語の説明文を英語、ベトナム語、中国語に翻訳し投稿した

中国のSNSであるWeChatとDouyinではFacebookの説明文を中国語に翻訳し、英語版の画像と共に投稿した

8-3-6. コンテンツの制作・配信： WeChat、Douyinを通じたプロモーションの概要(例：第3弾)

各投稿内容の詳細はAppendixに掲載しています

WeChat



【画像】

Facebookに投稿した英語版を投稿した

【説明文】

Facebookの説明文を中国語に翻訳し記載した

Douyin



✓ 画像は英語版を投稿した

✓ 説明文はFacebookの説明文を中国語に翻訳し記載した

出所：https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhhC2ul4P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHo?modal_id=7309742347720445199

YouTubeでは主にベトナム向けに外国人受診者が日本で治療や健診が受けられることを訴求する動画を投稿した

8-3-6. コンテンツの制作・配信： YouTubeを通じたプロモーションの概要(例：第6弾、ベトナム語)

各投稿内容の詳細はAppendixに掲載しています



【動画】

- 英語版とベトナム語版を作成し、2つに分けて投稿した
- 質の高い検診、最先端の治療(重粒子線治療機)、ホスピタリティ、日本文化(食事、神社や温泉など観光名所)など6つのシーンに分かれた、49秒の動画である

【概要欄】

英語版とベトナム語版を作成し、動画の言語に合わせて記載した

出所： <https://www.youtube.com/watch?v=ZZJkuisHCTE>

ベトナムから日本への医療渡航を周知、促進することを目的として、「日本の医療への扉」と題して海外ウェビナーを開催した

8-3-7. 海外向けウェビナーの概要

イベント名	日本の医療への扉 ～ベトナムからの医療渡航について～
ターゲット	<ul style="list-style-type: none">ベトナムから日本への医療渡航に関心のある個人日本との医療連携に関心のあるベトナムの医療機関
目的	ベトナムから日本への医療渡航や日本の医療態勢を紹介し、日本への医療渡航を促進する <ul style="list-style-type: none">日本の医療渡航受入れ態勢日本の医療態勢医療渡航受入れの流れや受入れ後の対応日本の医療の強み (がん治療、人間ドック等)
方法	ZOOM Webinar 実施後、経済産業省のYouTubeチャンネルでアーカイブ配信を実施
日時	2月20日 16:00-18:00 (現地時間: 14:00-16:00)
場所	丸の内二重橋ビルディング 有限責任監査法人トーマツ 会議室
配信言語	ベトナム語及び日本語 (同時通訳)

過年度事業では中国をターゲットに施策を進めてきたが、近年、ベトナムの医療滞在ビザ発給件数の伸び率が大きいことを踏まえ、本年度はベトナムを対象とすることとした

8-3-7. 海外向けウェビナーの概要：海外向けウェビナー対象国の検討経緯

国	ターゲット国として選定した理由	本事業でのプロモーション施策実施状況	
		2022年度	今年度
中国	<ul style="list-style-type: none"> 日本が中国からのアウトバウンド先として1位であり、既存マーケットを拡大していくため 	<ul style="list-style-type: none"> 日中オンライン商談会 <ul style="list-style-type: none"> 参加者 <ul style="list-style-type: none"> 国内医療機関: 11 国内医療渡航支援企業: 40 中国医療渡航支援企業: 14 	<ul style="list-style-type: none"> SNS(WeChat、Douyin)経由の日本への医療渡航のプロモーションを実施 ※前年度にオンライン商談会を実施しているため、ウェビナーは実施しない
ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> 2013年以降、医療ビザ発給件数が急拡大しており、潜在的なマーケットであることが見込まれるため 	<ul style="list-style-type: none"> 現地医療機関へのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 継続的な連携に向け、医療渡航に関するセミナーを実施することで合意 	<ul style="list-style-type: none"> 医療渡航に対する需要を踏まえ、ウェビナーを実施する SNS(Facebook、YouTube)経由の日本への医療渡航のプロモーションを実施
インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> マーケットの新規開拓先としてニーズを把握するため 	<ul style="list-style-type: none"> なし 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアから日本への医療渡航のニーズを把握することを中心とし、プロモーション施策は予定していない

日本への医療渡航の全体像に加え、日本の医療機関による取組や実際の渡航事例を紹介できるようにプログラムと登壇者を決定した

8-3-7. 海外向けウェビナーの概要：海外向けウェビナーのプログラム

プログラム	講演内容	登壇者	時間 (計120分)
開会のあいさつ		経済産業省	5分
①日本への医療渡航の魅力	<ul style="list-style-type: none"> 日本への医療渡航にかかる現状 <ul style="list-style-type: none"> ➢ アンケート結果に基づく、医療渡航者からのニーズが高い治療や人間ドックへの期待感 ➢ ベトナムから日本への渡航状況 ➢ 日本で受けてみたい治療や検診の内容 	トーマツ	講演：10分
②日本における医療渡航者受入れ態勢	<ul style="list-style-type: none"> 国による医療渡航者受入れのための施策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 受入れの質を高めるための認定制度(JIH)の紹介 	MEJ	講演：15分
③日本への医療渡航体験向上のための取組	各医療機関による、医療渡航体験向上のための取組		講演：20分×2=40分
	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 医療渡航者へ提供する医療の概要 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 乳がんや肉腫、顎関節症治療を中心とした医療渡航受入れの内容を紹介する ➢ 医療渡航者受入れ体験向上の取組事例 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療渡航受入れのための部署を設置していることや、ロボット手術を含む高度な医療を提供していることを紹介する 	亀田総合病院 神戸大学医学部附属病院	
④日本における医療渡航受入れのための取組	<ul style="list-style-type: none"> 医療渡航支援企業とは何か <ul style="list-style-type: none"> ➢ 医療渡航の流れと医療渡航支援企業による支援 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療機関との調整、ビザ取得、渡航、フォローアップ など 	JIMCA	講演：20分
⑤日本への医療渡航の事例	日本への医療渡航者支援の事例紹介	ベトナムの医療渡航支援企業	講演：15分
質疑応答			10分
閉会のあいさつ		経済産業省	5分

参加者への広報をスムーズに実施するため、ベトナム語・日本語両方でチラシを作成し、トーマツ、JIMCA、MEJが有するネットワークを通じてウェビナーの案内を行った

8-3-7. 海外向けウェビナーの概要：海外向けウェビナーのチラシ

Gateway to Japanese Medical cares

Medical Travel from VIETNAM

日本の医療への扉
～ベトナムからの医療渡航について～

日時

2024年2月20日

ベトナム時間:

14:00～16:00

(日本時間: 16:00～18:00)

対象者

医療渡航に興味のある方
医療機関
医療渡航支援企業

開催方法

ZOOMウェビナー

プログラム

- 日本への医療渡航にかかる現状 Deloitte Touche Tohmatsu LLC
- 日本国による医療渡航者受け入れのための施策 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN
- 医療渡航受診者受け入れ事例 神戸大学医学部附属病院、鎌倉総合病院
- 医療渡航支援企業とは何か 一般社団法人 国際医療・ヘルス・コーディネーター事業者協会(JIMCA)
- 日本への医療渡航者支援の事例紹介 株式会社 MIRAI CARE

参加費

無料

お申込み方法

【申込フォームURL】※右のQRコードからもお申し込みいただけます。

<https://deloitte.zoom.us/join/6j133807?from=addon>

※申込み完了後、ウェビナーのURLが送付されます。届かない場合は下記【お問合せ先】までご連絡ください。

【申込期限】2024年2月16日（金）12:00（ベトナム時間）

お問合せ先

「Gateway to Japanese Medical cares」セミナー事務局
Email: daisuke.sugihara@tohmatu.co.jp / aya.murakami@tohmatu.co.jp
※本セミナーは経済産業省の委託を受けて、Deloitte Touche Tohmatsu LLCとJIMCAが共同実施します。



Cánh cửa hướng tới chăm sóc y tế Nhật Bản

～ Về du lịch y tế từ Việt Nam～

Ngày giờ

Thứ 3 Ngày 20 Tháng 2 Năm 2024

Giờ Việt Nam:

14:00～16:00

(Giờ Nhật Bản: 16:00～18:00)

Đối tượng

Người quan tâm tới y tế du lịch
Cơ sở y tế
Công ty hỗ trợ y tế du lịch

Phương pháp tổ chức

Hội thảo trực tuyến ZOOM

Chương trình

- ◆ Tình hình hiện tại liên quan tới du lịch y tế đến Nhật Bản Deloitte Touche Tohmatsu LLC
- ◆ Các biện pháp để Nhật Bản tiếp nhận du khách y tế Medical Excellence JAPAN
- ◆ Ví dụ về việc tiếp nhận bệnh nhân đi du lịch y tế KOBE University Hospital, KAMEDA Medical Center
- ◆ Công ty hỗ trợ du lịch y tế là gì International Medical Coordination Business Association Japan(JIMCA)
- ◆ Giới thiệu thực tế về việc hỗ trợ khách du lịch y tế đến Nhật Bản MIRAI CARE ,JSC

Miễn phí tham gia

Phương pháp đăng kí

【Mẫu đăng kí】※ Có thể đăng kí từ mã QR bên phải.

https://deloitte.zoom.us/webinar/register/WN_z1Kglm7_RdWeSUKom09GXQ

Sau khi đăng kí, sẽ có thông báo từ web gửi về. Trường hợp không nhận được thông báo, hãy liên hệ tới chúng tôi theo [thông tin liên lạc] bên dưới.

【Thời hạn đăng kí】12:00 (Thứ 6) Ngày 16 tháng 2 năm 2024 (Giờ Việt Nam)

Thông tin liên lạc

「Gateway to Japanese Medical cares」Ban thư kí hội thảo
Email: daisuke.sugihara@tohmatu.co.jp / aya.murakami@tohmatu.co.jp
※ Hội thảo này do Bộ Kinh tế, Thương mại và Công nghiệp ủy quyền, được tổ chức bởi Deloitte Touche Tohmatsu LLC và JIMCA.



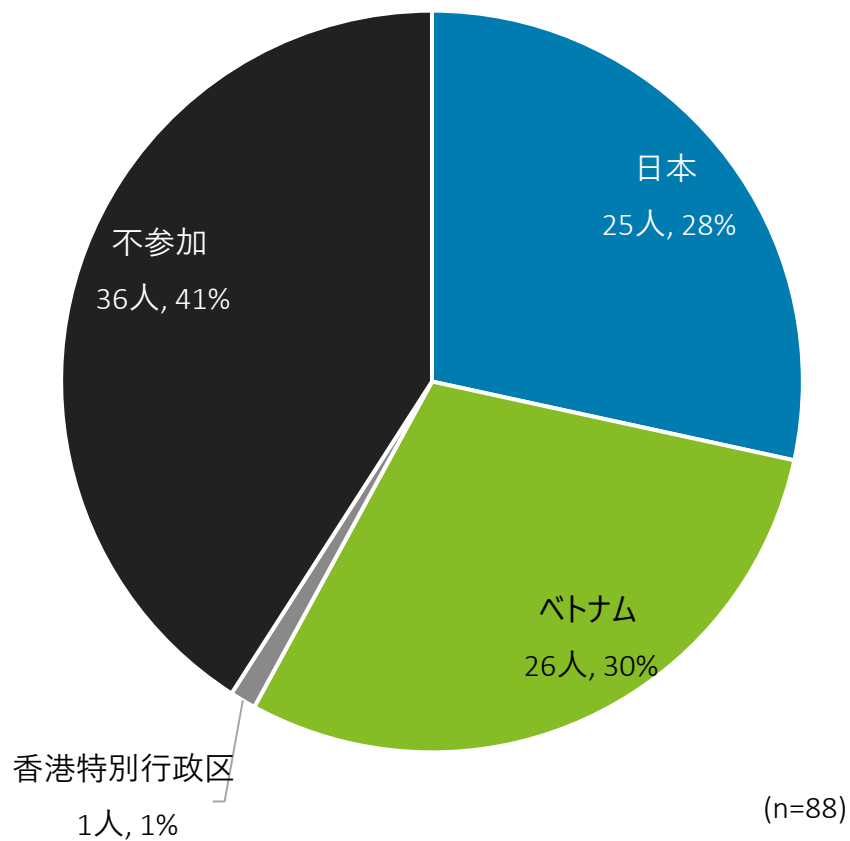
198

© 2024. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

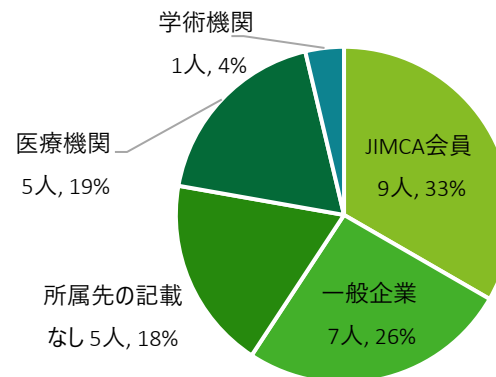
2月20日に実施した海外向けウェビナーの申込者88人に対して参加者は52人(参加率59%)であり、そのうちベトナムからの参加者が約半数であった

8-3-8. 参加者の概要

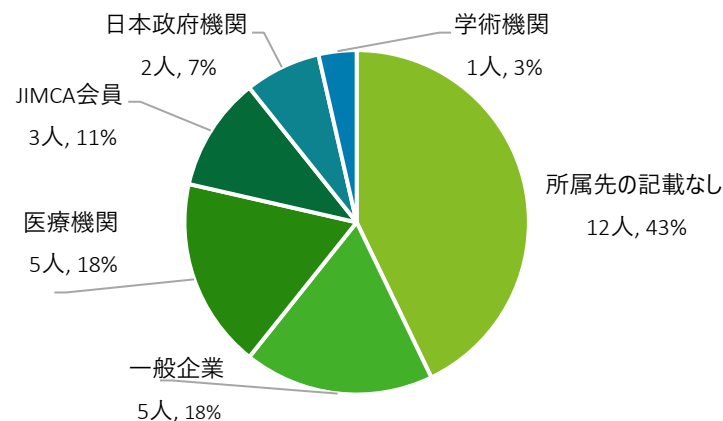
Zoomレポートにおける参加者の国別集計



日本からの参加者の所属先属性内訳



ベトナムからの参加者の所属先属性内訳



✓ 1つのスクリーンで複数名が視聴すると連絡があったため、実際の参加者数はより多いと思われる

ウェビナー中には、ベトナムと日本の双方から、医療機関の選定、医療渡航支援企業の探索方法、渡航手続き、医療渡航保険、患者の紹介方法などについて質問があった

8-3-9. 海外向けウェビナー中の質疑応答 (当日回答したもの) (1/2)

質問言語	トピック	質問内容	回答要旨
ベトナム語	医療機関選定について	JIHを持つ医療機関などでしか診察や治療を受けられないのか	JIHや総合病院が多いが、基本的に患者が希望する医療機関へ紹介することとなる
	医療渡航支援企業の探索方法	医療渡航支援企業はJIMCAのWebサイトで見つけることができるか。また、どのWebサイトが信頼できるのか	医療渡航支援企業については、いくつかのカテゴリーがあり、JIMCAのWebサイト若しくは、外務省に掲載されている身元保証機関の一覧、MEJの一覧などをご確認いただきたい
	渡航手続き	医療ビザの申請にはどのくらい時間がかかるのか	スムーズに進めば5営業日程度である。ただし、代理店によっては、慣れていないなどの理由で10営業日程かかるケースがあるため、代理店と確認しつつ進めることが必要である
	医療渡航保険	診察や治療の支払いに使用される医療旅行保険について、もっと丁寧に紹介して欲しい	保険でカバーできるのであれば、後日書類を取り寄せて還付を受けるケースがある。保険のカバー範囲をよくご確認ください
日本語	患者の紹介方法	神戸大学附属病院や亀田総合病院へ患者を紹介したいが、どのような流れで窓口連絡すればよいか。また、仲介会社は決まっているのか	メール等でコンタクトを取っていただいたのち、実績のある医療渡航支援企業を紹介し、手続きを進めることとなる。推奨する企業以外の企業を利用する場合は、身元保証機関の資格を確認した上で、当院と協議の上進めていきたい
	医療渡航のトレンド	日本への医療渡航が増えている背景は何か	<ul style="list-style-type: none"> 日本の医療レベルが優れていることが周知されてきたこと。特に、ベトナムの政治家が日本へ治療しに行くため、一般人もそれに追随することがある 医療ビザを取得することで長期的に治療が可能になったこと 言語の壁が薄くなってきたこと 日本へ旅行しに行きたい方が増えたこと。旅行中についでに健診を受けるニーズがあると考えられる
	費用	入院中の通訳費用はどちらが負担するのか	基本的には患者負担となるが、病院が契約している電話通訳などは病院が負担するケースがある

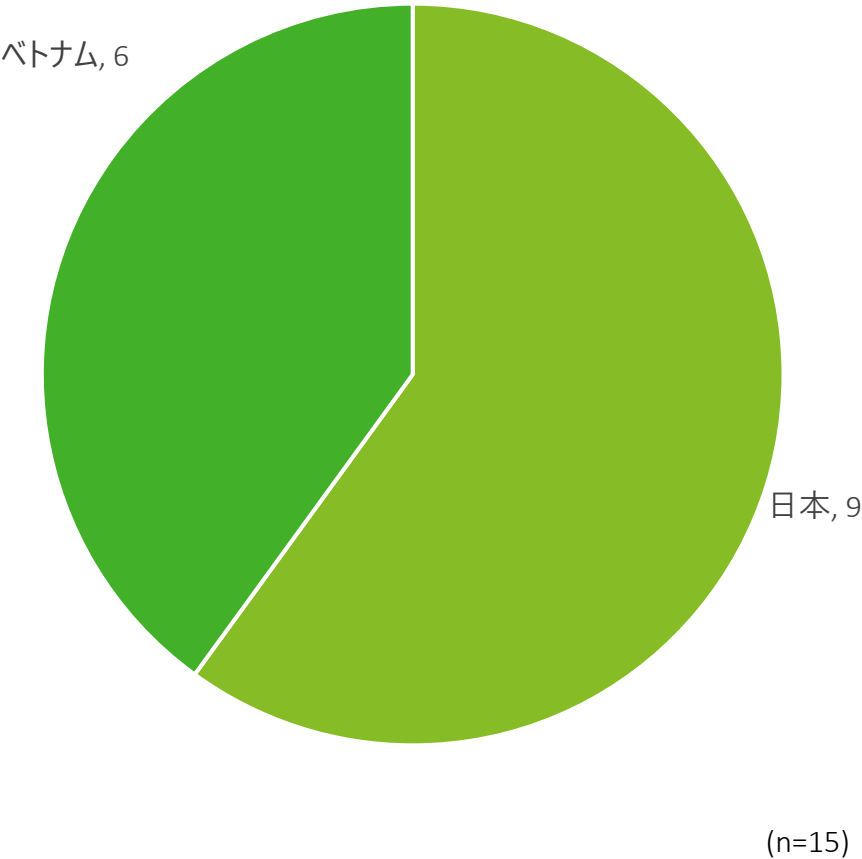
ウェビナー中に回答できなかった質問についても登壇者に回答を依頼し、後日質問者に回答を送付した

8-3-9. 海外向けウェビナー中の質疑応答 (後日回答したもの) (2/2)

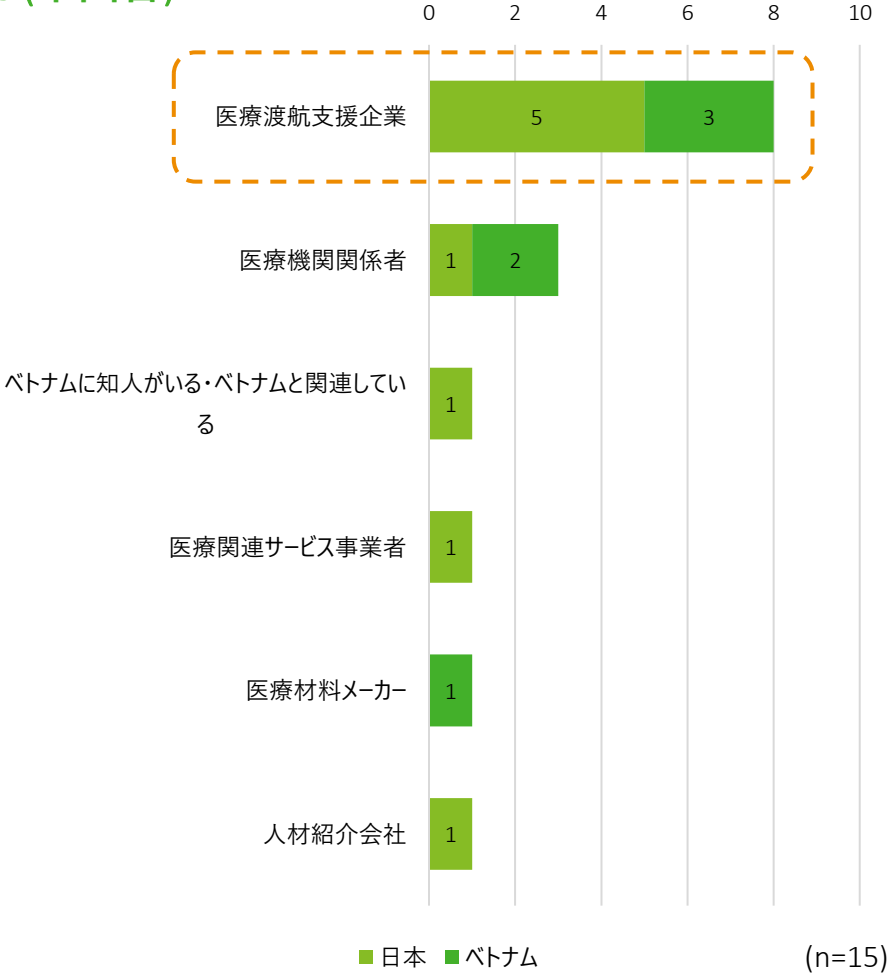
質問言語	トピック	質問内容	回答要旨
ベトナム語	医療機関の選定	人間ドックの見学・予約をするには、少なくとも数日前までに連絡する必要があるのか。また、人間ドックの結果を同日、又は翌日に返してくれる医療機関はあるか	<ul style="list-style-type: none">• 予約について 希望施設で希望日の予約を確実にしたい場合は、少なくとも1ヶ月前に連絡する必要がある。短期間で日時を優先して予約する場合は、空いている施設を探す必要がある• 人間ドックの結果受領までの期間について 当日に出せる検査結果については検査終了後の診察で医師の方から説明があるコースが多いと考えている。ただし、血液検査の項目や画像データの読影などには時間がかかる場合が多いので、正式な報告書による報告には早くても10日から1ヶ月程度が必要となる
	日越の医療機関間連携	ベトナムの病院が日本の病院と契約を結び、患者を日本に送患し、その後もベトナムで患者の治療を続けることはできるのか。 また、どのように必要な手続きをすればよいか	病院同士の連携は、最初から病院間の連携を実施するよりも、診療科同士での連携の経験を重ねつつ対象診療科を増やしていく流れが良いと考えている ただし、日本の医療機関では、医療渡航支援企業が仲介することを必須条件としているところが多いため、最初から医療渡航支援企業を巻き込んで進めるのが良いと考える ベトナムから日本への送患を積極的に進めたい病院・診療科が、日本のどの病院・診療科と連携をしたいのかを明確にしたうえで、提携希望先医療機関と関係が深い渡航支援企業にアプローチするか、直接提携希望先医療機関にアプローチすることになる

海外向けウェビナー終了時に実施したアンケート回答者の約半数が医療渡航支援企業であった

8-3-10. 海外向けウェビナーのアンケート結果
(質問1)あなたの居住地を教えてください(単回答)



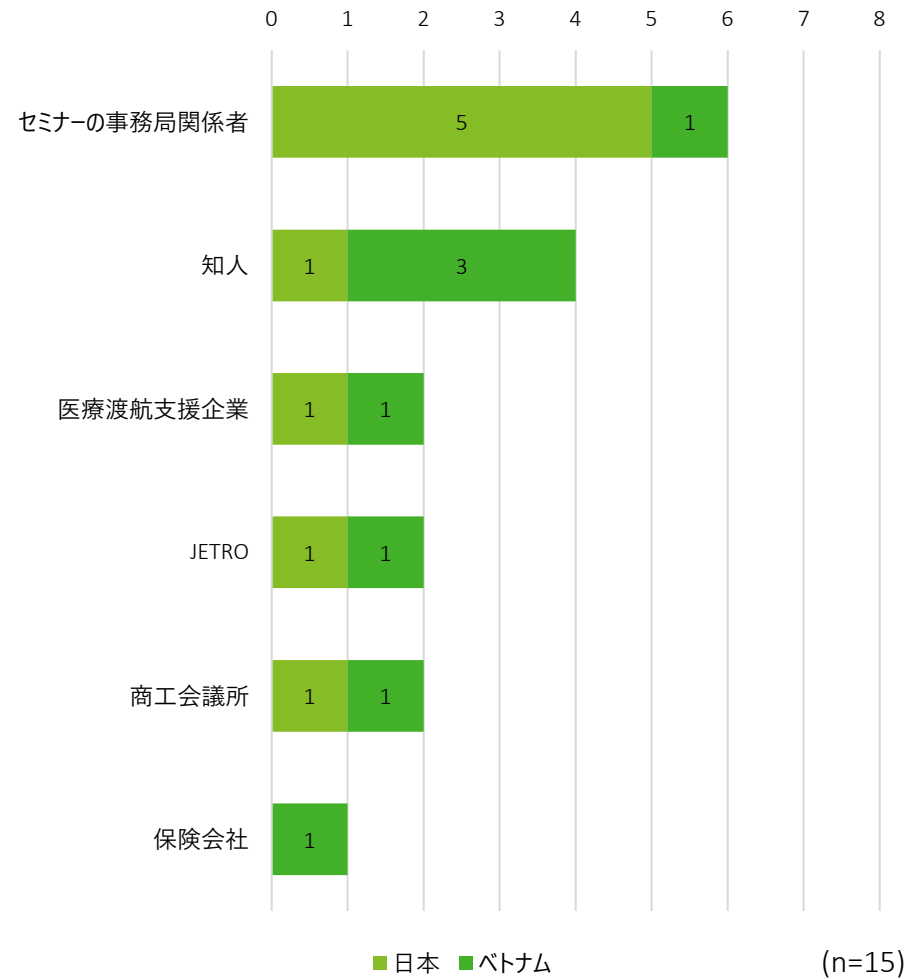
(質問2)このセミナーにはどういった立場で参加しましたか(単回答)



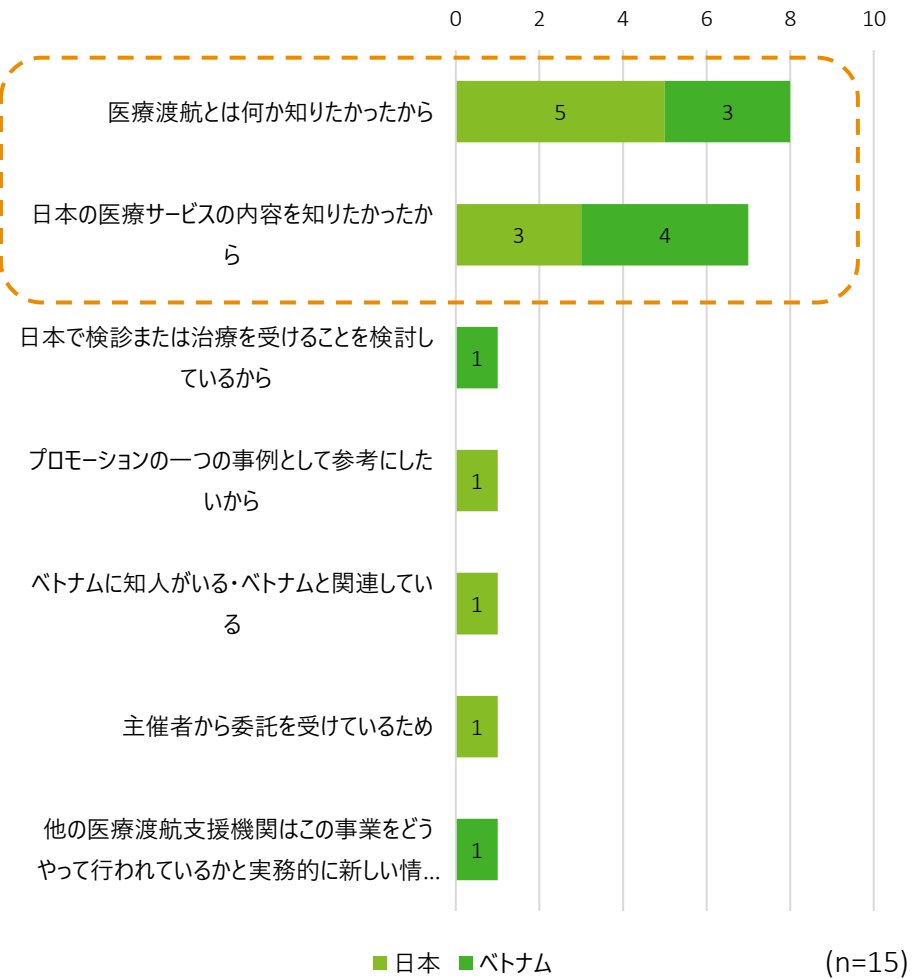
ウェビナーを受けようと思った理由は「医療渡航とは何か知りたかった」「日本の医療サービスの内容を知りたかった」が多かった

8-3-10. 海外向けウェビナーのアンケート結果

(質問3)本ウェビナーをどこで、若しくは誰から知りましたか
(複数回答)



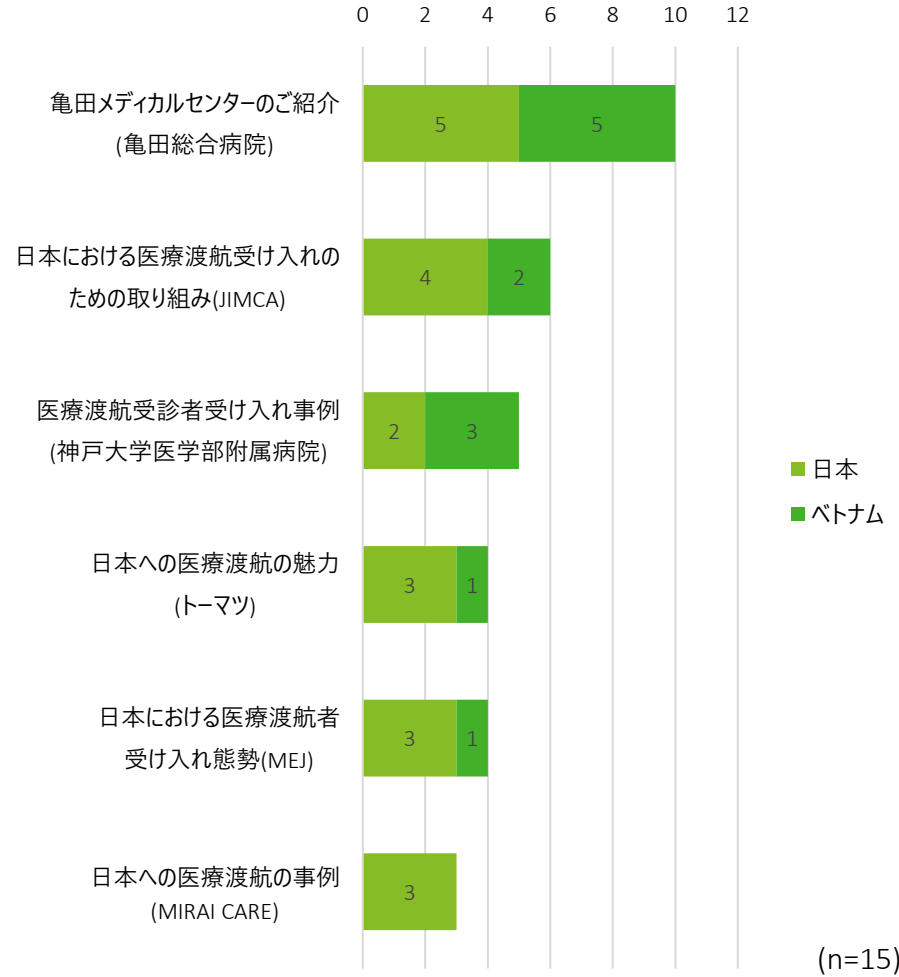
(質問4)本ウェビナーを受けようと思った理由を選択してください(複数回答)



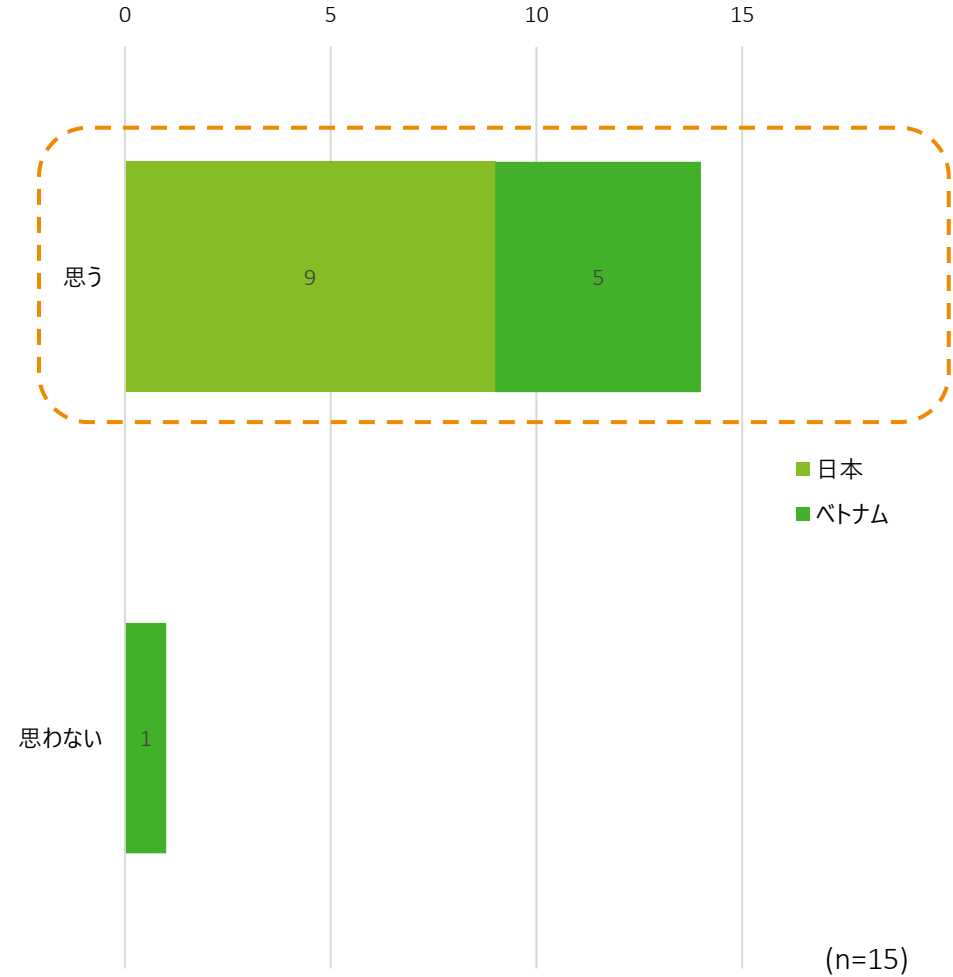
日本への医療渡航をしてみたい、あるいは勧めたいという回答がほとんどであり、ウェビナーの目的である医療渡航の促進を一定程度果たしたと考えられる

8-3-10. 海外向けウェビナーのアンケート結果

(質問5)本日の講演のうち、特に興味深かった講演を最大3つまで選択してください



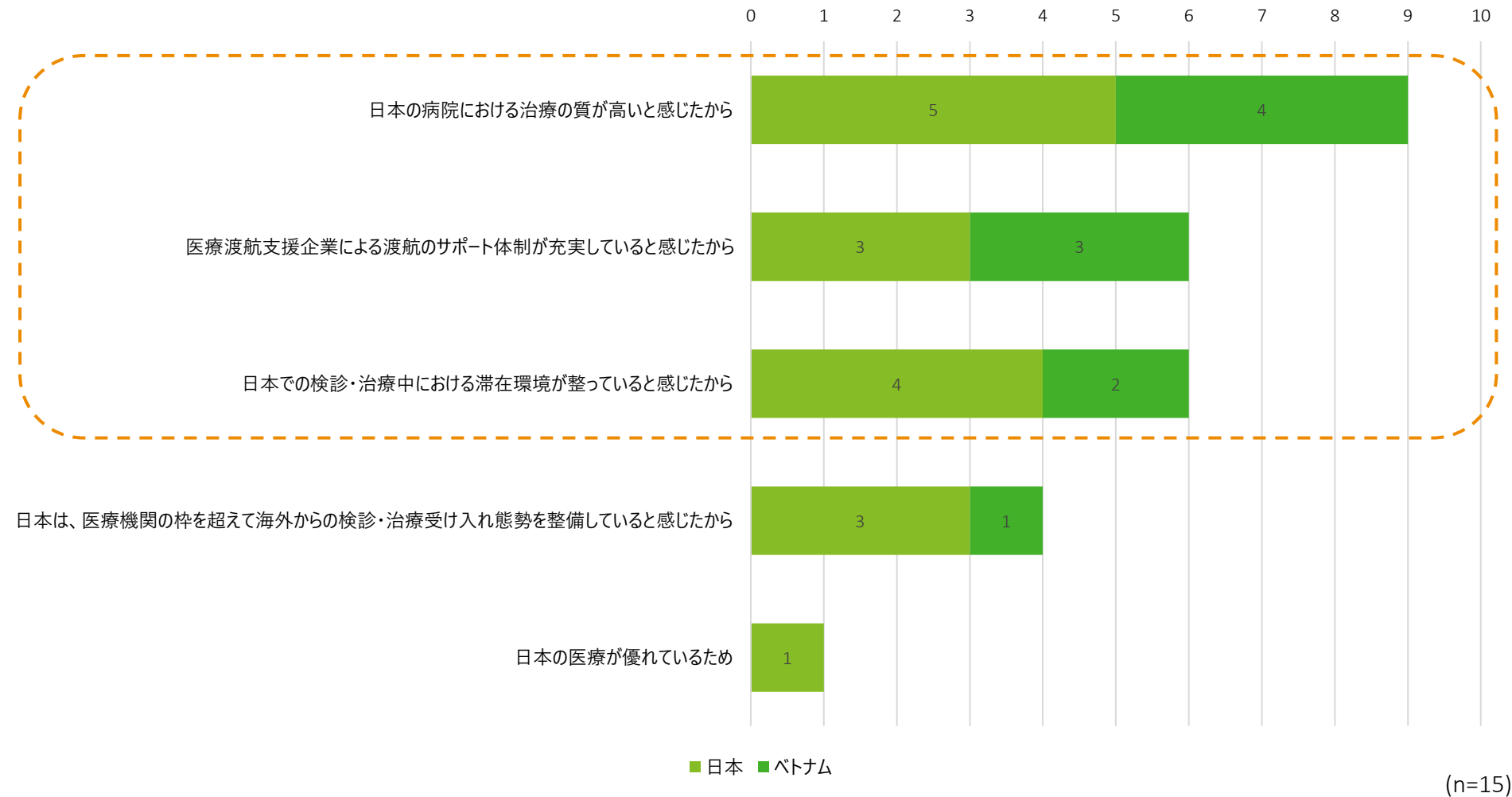
(質問6)本ウェビナーを通じて、日本で検診、又は治療を受けてみたい、又は周りに勧めたいと思いましたか



日本の治療の質の高さや医療渡航支援企業による渡航のサポート体制が充実していることについて理解を得られたと考えられる

8-3-10. 海外向けウェビナーのアンケート結果

(質問7)日本で検診、又は治療を受けてみたいと思った理由を選択してください(複数回答)



アンケートでは、今後ウェビナーで取り扱って欲しい国、日本とベトナムの医療機関間連携、医療渡航支援企業に関する意見や感想があった

8-3-10. 海外向けウェビナーのアンケート結果

(質問8)その他、本日のウェビナーの感想やご意見、登壇者に伝えたいことがあれば、ご記入下さい

回答言語	分類	感想や意見
ベトナム語	日本とベトナムの医療機関間連携	ベトナムの病院と日本の病院が協力して、検査や治療のために患者を日本に連れて行きたい
日本語	今後ウェビナーで取り扱って欲しい国	ベトナムを皮切りに各国向けのウェビナーを開催して欲しい
		今後も同様のベトナム向けセミナーの開催を期待する
	医療渡航支援企業	JIMCAの受入れの話が分かりやすく、JIMCAに興味を持った
		医療渡航支援企業があることを初めて知った。両国をうまく繋ぎ、win-winの関係が構築されることを望む
	ウェビナーに対する感想	非常に勉強になった。渡航患者の受入れの実情やメリットについて学ばせてもらった
		日本への医療渡航者が増えるということは、日本への信頼が増すということなので、今後も日本の為にも活躍されることを願っている

本ウェビナーにおいては、ベトナムの医療現場や一般の方における日本の医療への関心を知ることができた一方、ベトナムとのネットワークが弱いことが課題として挙げた

8-3-11. 海外向けウェビナーの成果と課題

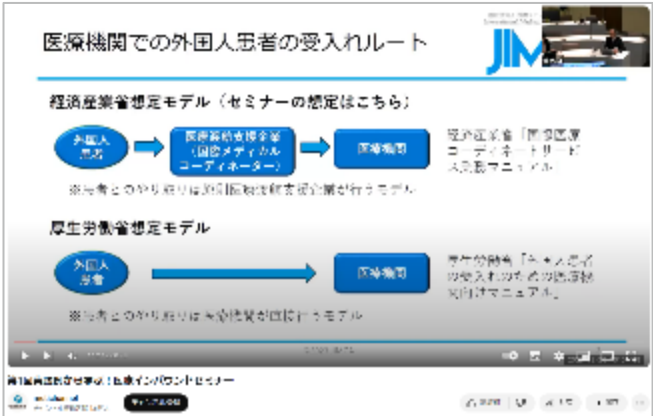
	成果	課題
ベトナムを対象とした配信	院内の多言語化や滞在環境の改善を積極的に図っている医療機関に登壇いただいたことで、ベトナムの方に対する日本の医療のアピールにつながった	ベトナム人受診者の受入れ実績がある医療機関が少なく、登壇者候補の選定に時間を要した
集客方法	<ul style="list-style-type: none">日本・ベトナム双方からの参加を受け付けることで、当日の質問においてより多様な方向の質問を受けることができたベトナムの医療機関等にも参加いただいたことで、ベトナムの現場の関心の高さを窺い知ることができた	ベトナムの組織・機関とコネクションが十分でなく、参加者募集が難航した
同時通訳による配信	同時通訳を利用して日本人・ベトナム人双方が参加できるウェビナーとしたことで、日本の方にも対ベトナムの発信を知っていただくとともに、ベトナムが市場になりうる機会を創出できた	同時通訳を意識した話し方を登壇者に共有できておらず、早すぎて聞き取れない、という意見があった

経済産業省のYouTubeアカウントに医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーのアーカイブ動画を配信し、対象者にURLを共有した

8-3-12. 医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーのアーカイブ配信（1/2）

目的	医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーの録画をYouTubeにて配信し、日本への医療渡航に関する情報を広く周知する
内容	<ul style="list-style-type: none">医療機関向け勉強会3回分の録画海外向けウェビナーの録画
共有方法	トーマツ及びJIMCAより動画のURLを送付する
動画掲載先	経済産業省のYouTubeアカウント
配信手順	<ol style="list-style-type: none">① トーマツがレコーディングした動画を編集(主に開始前など不要な部分を削除)し、経済産業省に共有する② 経済産業省がYouTubeアカウントに動画をアップロードする③ 医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーの参加者、及び希望者(参加申込みをしたが当日参加できなかった人など)に、トーマツ及びJIMCAからYouTube動画のURLをメールで案内する

医療機関向け勉強会のアーカイブ動画(例：第1回)



海外向けウェビナーのアーカイブ動画



医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーのアーカイブ配信を経済産業省とJIMCAのYouTubeチャンネルで実施した

8-3-12. 医療機関向け勉強会と海外向けウェビナーのアーカイブ配信（2/2）

	医療機関向け勉強会		海外向けウェビナー	備考
配信媒体	YouTubeチャンネル (経済産業省とJIMCA)		YouTubeチャンネル (経済産業省)	✓ 第1回と第2回は、経済産業省での配信手続き期間を鑑み、アーカイブ動画完成後、すぐに観てもらえるよう、まずはJIMCAのYouTubeチャンネルに限定公開でアップロードした。第3回は経済産業省のYouTubeチャンネルのみにアップロードした
公開範囲	経済産業省	一般公開 (全3回)	一般公開	✓ 公開時は日本語版とベトナム語版の動画を分け、それぞれの言語での説明文を掲載した ✓ 上記は検索で動画が表示されるようにすることが目的である
	JIMCA	限定公開 (第1回と第2回のみ)		
主な目的	✓ 当日参加できない人など、希望者にURLを展開し、アーカイブを視聴してもらう ✓ 参加者に再度視聴してもらい、情報共有を促進する			-
配信期間	無期限			✓ 配信中止のタイミングは経産省の判断による

■ 医療機関向け勉強会 アーカイブ配信URL

回数	URL
第1回	https://www.youtube.com/watch?v=QKnAihNnnxU
第2回	https://www.youtube.com/watch?v=2zHmf4Dw6r8
第3回	https://www.youtube.com/watch?v=pusmnTvzriQ

■ 海外向けウェビナー アーカイブ配信URL

言語	URL
日本語	https://www.youtube.com/watch?v=58pej8YZuVI
ベトナム語	https://www.youtube.com/watch?v=umP5TVU0wso

第8章 マーケティング・プロモーションの実施

- 8-1. ターゲット国の選定
- 8-2. マーケティング(ウェブアンケート調査)
- 8-3. 日本が医療渡航先国として選ばれるための情報発信
- 8-4. 意欲ある医療機関との連携による、医療インバウンド成功事例の創出

令和4年度は個別の医療機関を支援したが、令和5年度は全国の医療機関を対象に勉強会を開催した

8-4-1. 令和4年度、令和5年度の実施

	支援した医療機関	施策	伴走支援内容
令和4年度	亀田総合病院	✓ 中国国内の医療機関検索プラットフォームへの掲載 ✓ SNS等を用いた情報発信・拡散	院内の予算確保に向けた企画提案書作成の支援
	藤田医科大学病院	✓ 2023年秋に羽田クリニックを開設予定	ペルソナ分析のターゲットの整理を支援

令和5年度	支援の方針
	個別の医療機関の取組を支援するのではなく、広く国内の医療機関に発信を行い、 <u>全体的な医療インバウンドの普及促進を図る</u>
令和5年度	支援の方法
	<p>◆ 医療インバウンド成功事例の勉強会 (ハイブリッド) の開催</p> <p>【開催までの流れ】</p> <ul style="list-style-type: none">① 医療機関のピックアップ JIMCAに依頼し医療機関をピックアップ② ヒアリング調査に基づく事例の整理 医療機関に対してヒアリングを実施し、取組や優れている点、成功要因などを整理し、勉強会の講師を依頼③ 国内医療機関等を対象とした勉強会を実施し、医療機関に取組を共有

出所：令和4年度の報告書

医療インバウンドの普及促進を図る目的で医療機関や医療渡航支援企業を対象にオンラインセミナー(第2回と第3回はハイブリッド開催)を実施した

8-4-2. 医療機関向け勉強会の概要

イベント名	実践例から学ぶ！医療インバウンドセミナー
ターゲット	<ul style="list-style-type: none">国内の医療機関医療渡航支援企業
目的	国内の医療渡航の成功事例や医療機関が抱えている課題に対する解決策を紹介することで、医療インバウンドの普及促進を図る
方法	<ul style="list-style-type: none">(第1回)オンライン(ZOOM Webinar)(第2回と第3回)ハイブリッド
回数・時間	<ul style="list-style-type: none">1回あたり約2時間、計3回実施第1回：2023年12月20日(水) 16:00-18:00第2回：2024年1月26日(金) 16:00-17:45第3回：2024年2月21日(水) 16:00-17:45
集客方法	<ul style="list-style-type: none">経済産業省、JIMCA、MEJ、厚生労働省、トーマツからのチラシの配信Microsoft Formsの申込フォームから申込みを受け付ける

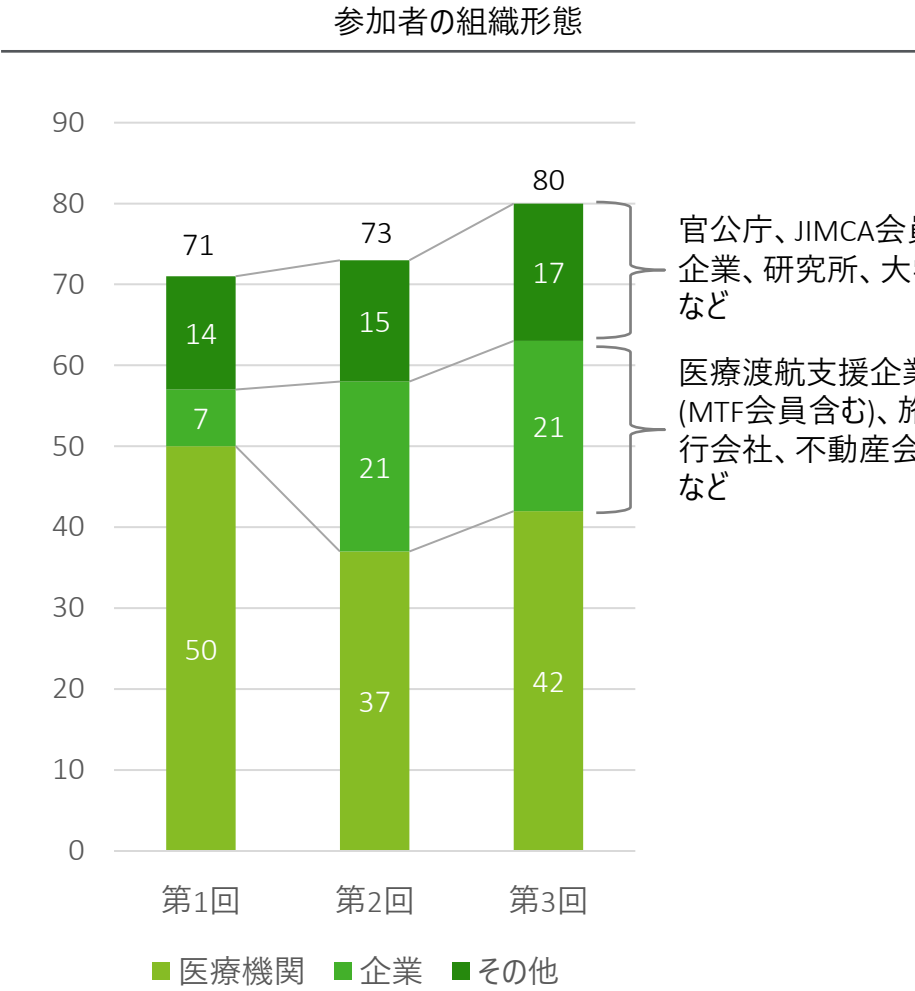
勉強会では、医療渡航受診者の来日前から帰国後の対応や、ベトナム人の医療渡航ニーズや受入れについて、JIMCA、MEJ、トーマツ、医療機関が登壇した

8-4-3. 医療機関向け勉強会のプログラムと登壇者

	テーマ	プログラム		
		内容	登壇者	時間
第1回 2023年 12月20日(水) 16:00-18:00	「医療渡航受診者来日前の対応」	渡航前における受診者への対応について (円滑な受入れを行うための渡航前の工夫、医療情報の提供方法、医療費の伝え方等)	大阪国際がんセンター	30分ずつ(計60分) + 質疑10分
		医療渡航支援企業との連携を前提とした医療機関の役割	北斗病院	
		医療渡航の流れについて (受入れの流れやビザ発給等)	JIMCA	20分 + 質疑10分
		Japan International Hospitals(JIH)の取組	MEJ	10分 + 質疑10分
第2回 2024年 1月26日(金) 16:00-17:45	「医療渡航受診者滞在中及び帰国後の対応について」	滞在中の外国人に対する院内でのルールやマナーの啓発に関する取組事例	藤田医科大学病院	30分ずつ(計60分) + 質疑10分
			大阪重粒子線センター	
		医療機関、医療コーディネーター、医療通訳の役割の明確化、帰国後のフォローアップに関する取組事例	JIMCA	20分 + 質疑10分
第3回 2024年 2月21日(水) 16:00-17:45	「ベトナム人の医療渡航ニーズや受入れ方法について」	ベトナムにおける医療渡航ニーズについて	トーマツ	20分
		ベトナム人の受入れ事例	東京都済生会中央病院	20分ずつ(計40分) + 質疑10分
			メディポリス国際陽子線治療センター	
		ベトナム人の受入れについて	JIMCA	20分 + 質疑10分
			100分	

勉強会のいずれの回も、120名前後が申込み、そのうち約6割が参加した。また、医療機関の参加が最も多かったが、第2回以降、企業の参加数が増加した

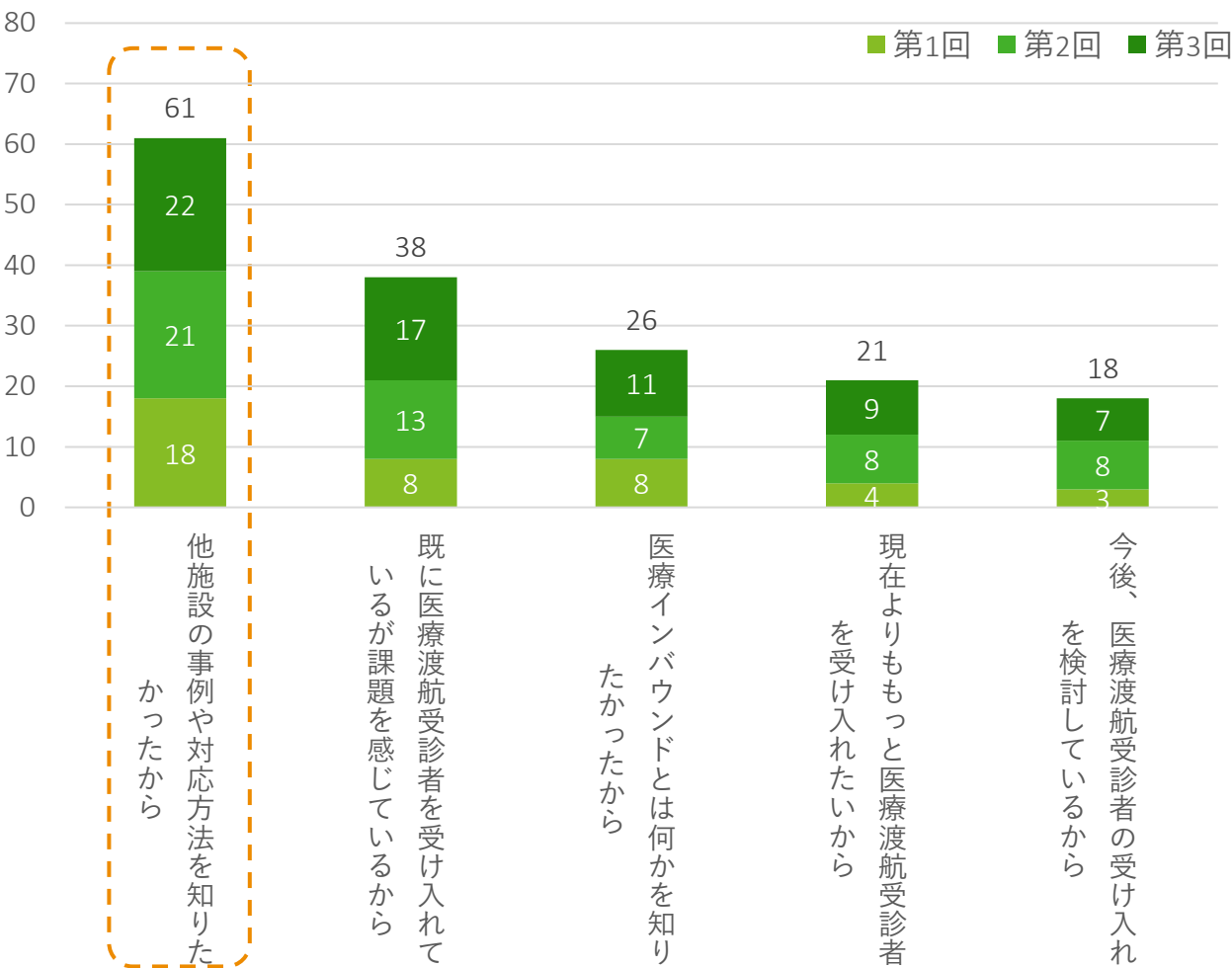
8-4-5. 医療機関向け勉強会の申込み及び参加状況



勉強会に参加した理由としては、「他施設の事例や対応方法を知りたかったから」という回答が最も多かった

8-4-6. 医療機関向け勉強会のアンケート結果(抜粋)(1/4)

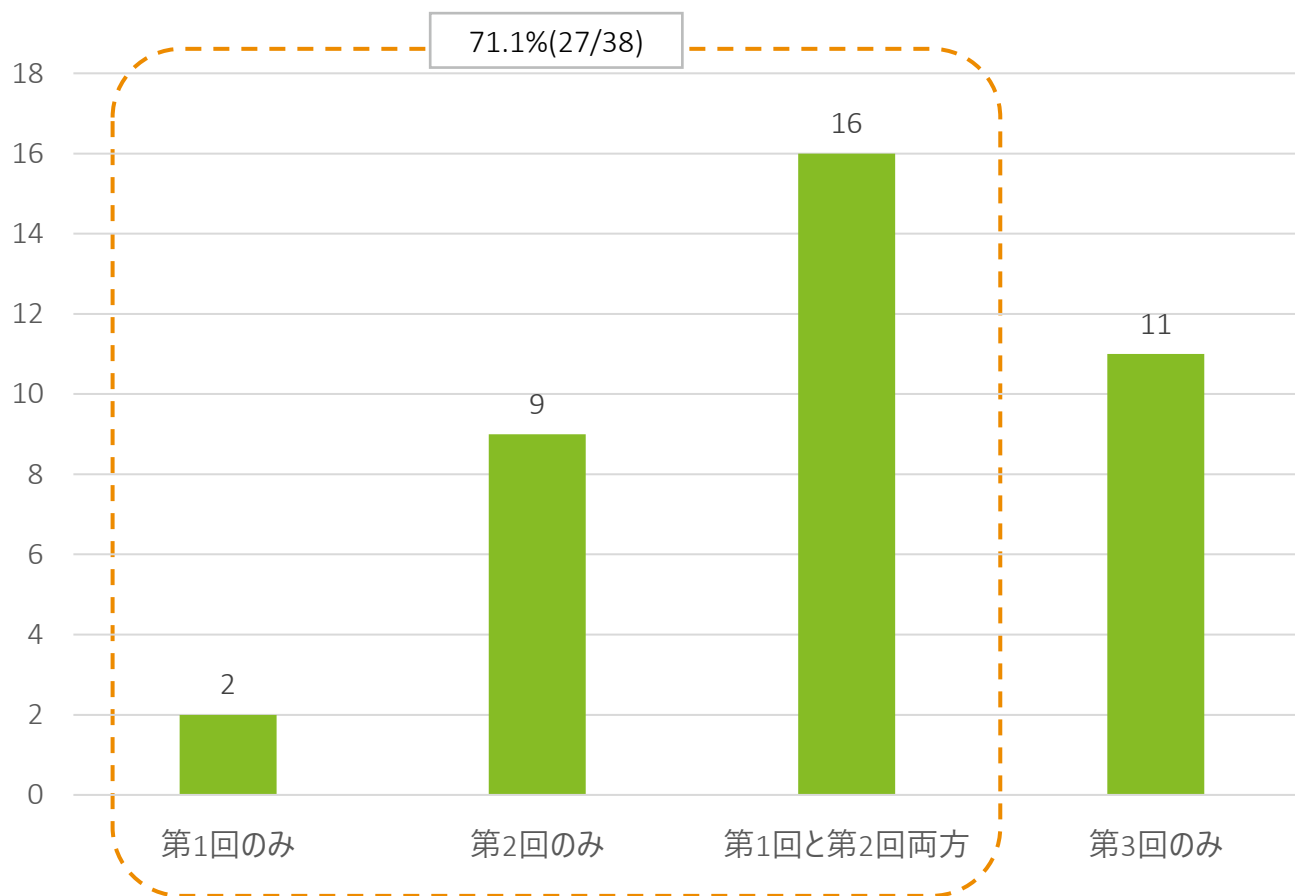
◆ 本セミナーを受けようと思った理由を選択してください(複数回答)(第1回～第3回)



第3回勉強会に参加した人のうち、第1回と第2回勉強会の両方、若しくはどちらかに参加した人は約7割に上った

8-4-6. 医療機関向け勉強会のアンケート結果(抜粋)(2/4)

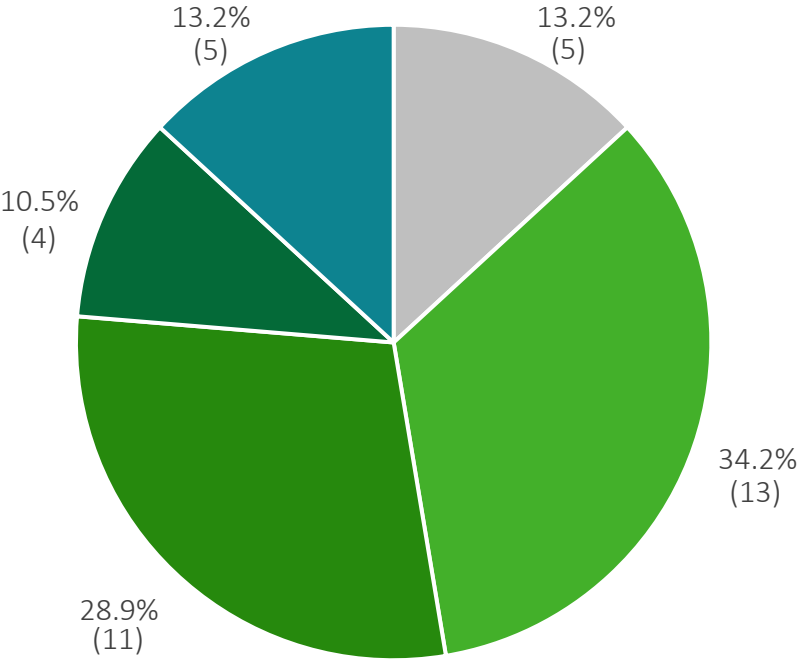
◆ 実践例から学ぶ！医療インバウンドセミナー」の第1回、第2回にも参加されましたか(単回答)(第3回、n=38)



第3回のアンケートにて、約9割が外国人患者を受け入れたことがあったが、その中でベトナム人患者を受け入れたことがない医療機関が半数以上であった

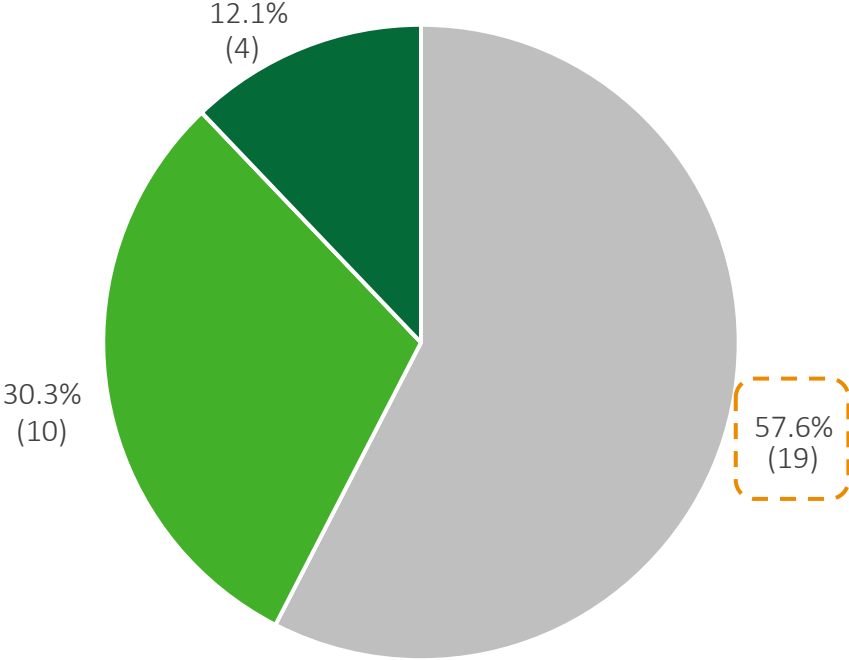
8-4-6. 医療機関向け勉強会のアンケート結果(抜粋)(3/4)

◆ 2019～2023年までの医療渡航受診者の受入れ人数(累計)をお聞かせください(単回答) (第3回、n=38)



■ 0人 ■ 1～10人 ■ 11～50人 ■ 51～100人 ■ 101人以上

◆ 2019～2023年に受け入れた医療渡航受診者の中でベトナム人の受入れ人数(累計)をお知らせください(単回答) (第3回、n=33)

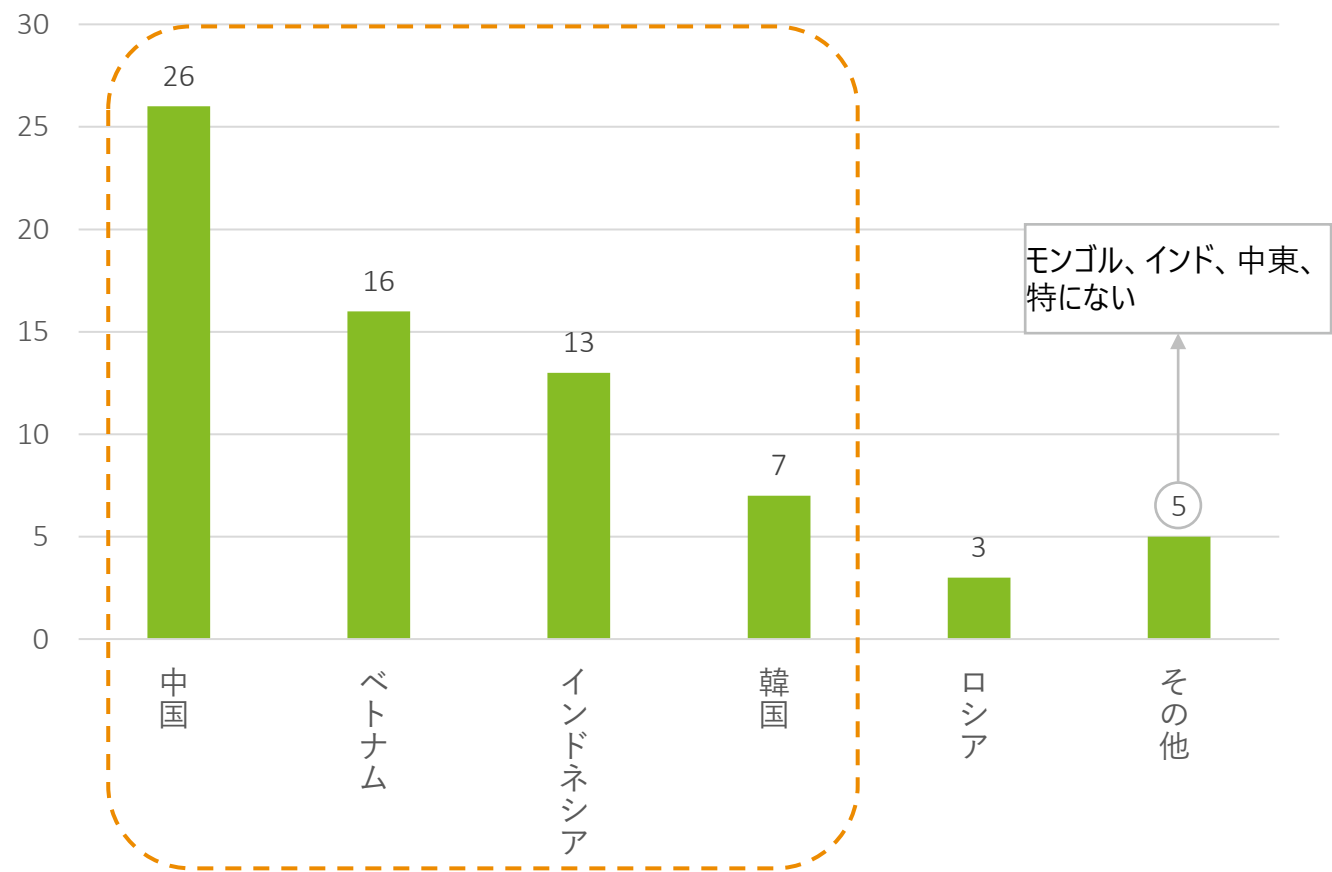


■ 0人 ■ 1～10人 ■ 11～20人 ■ 21人以上

第3回のアンケートにて、今後セミナーで取り扱って欲しい国は中国、ベトナム、インドネシア、韓国の順であった

8-4-6. 医療機関向け勉強会のアンケート結果(抜粋)(4/4)

◆ 今後セミナーで取り扱って欲しい国をお選びください(複数回答) (第3回、n=38)



勉強会では医療インバウンド受入れの流れや医療滞在ビザの申請等、基本的な内容に関する質問が出された

8-4-7. 3回の医療機関向け勉強会での質問と意見(抜粋)

No.	トピック	質問内容
1	未収金対策	医療費の請求はどのようになるのか。また、未収になることはないのか
		未収金になった場合の回収方法はあるか
		海外医療渡航者の未収金対策の他施設事例 (デポジットの計算にかなり時間がかかってしまうため、他施設では料金表等を準備して対応しているのかなど)
2	事例の共有	成功事例、失敗事例、トラブルとトラブル回避のノウハウを紹介してほしい
		集患方法、来日前の一般的な手順や流れ、受入れフローを教えて欲しい
		具体的な事例を医療機関と医療渡航支援企業の両方から説明するセミナーを期待する
		クリニックでの医療渡航に関する取組を共有して欲しい
3	医療滞在ビザ	渡航にあたり取得すべきビザの種類やサポートについて教えて欲しい
		① ベトナムのビザ申請と発行までのリードタイムはどれくらいか
		② 申請に関する制約事項はあるか ③ 発行を早める方法はあるか
4	医療渡航支援企業との連携	海外の患者を探しているので、集患と代理店募集の方法を知りたい
		医療渡航支援企業を介さない場合のリスクを教えて欲しい

3回の勉強会を通じて、安定して参加者を獲得でき、コミュニケーション機会の増加を達成できたが、サービス標準化に対するアプローチや勉強会開催後の対応が今後の課題である

8-4-8. 医療機関向け勉強会の総括

医療機関向け勉強会からの発見事項

安定した参加者の獲得

- ✓ 複数のチャンネルからの周知により、3回を通じて、参加者数が安定していた、かつ、複数回参加した人も一定数いたことから、医療渡航に興味がある医療機関や医療渡航支援企業に対し、情報共有を行うことができた

アンケート調査からの示唆の獲得

- ✓ 事後のアンケート調査により、医療渡航に興味がある医療機関と医療渡航支援企業が課題に思っていることや知りたいこと、取り扱って欲しい国を把握でき、次年度以降に取り扱うテーマや講演内容の参考とすることができた

コミュニケーション機会の増加

- ✓ ハイブリッドで開催したことにより、特に医療渡航支援企業同士、医療渡航支援企業と経済産業省・JIMCAとのコミュニケーションの機会を設けることができた

医療機関向け勉強会から見た今後の課題

サービス標準化の必要性

- ✓ ガイドラインや事例集を作成することでサービスの標準化を図る
 - ・ 特に医療機関は他施設の事例を知りたいようだが、事前質問やアンケート調査から、初歩的な事項について、対応に苦慮していることが分かった

勉強会開催後の対応の改善

- ✓ 資料の共有方法やアーカイブ配信の方法・手順・配信時期を予め把握し、タイムリーに情報の再共有を行うことで、参加者の知見を更に深める

Appendix

SNSを通じたプロモーションの各投稿詳細

第1弾はFacebookに2023年10月23日、WeChatに2023年11月21日、Douyinに2023年11月24日に投稿した

(SNS施策)第1弾の投稿(Facebook、WeChat、Douyin)

Facebook(ベトナム語)



2023年10月23日に投稿

WeChat



2023年11月21日に投稿

Douyin



2023年11月24日に投稿

出所: <https://www.facebook.com/jimca20210428/>

https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhhC2uI4P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHo?modal_id=7304953856746638626

第1弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第1弾の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療を求めるなら日本へ！
日本では先進的な医療設備が備わっており、ハイレベルな医療技術と行き届いた医療サービスを受けられます。
また、東京だけでなく、他の都市でも高度な治療・検診が受けられます。
日本で安心して医療を受けられるよう、医療コーディネーターがお手伝いいたします。
詳しくはJIMCAまでご相談ください。

英語(エンゲージメント：368)

Experience medical travel to Japan for treatment!!
Japan has advanced medical equipment, and you can access high-level medical technology and attentive medical services.
In addition, advanced treatment and examinations are available not only in Tokyo but also in other cities.
Our medical coordinator will help you receive medical care in Japan with peace of mind.
Please contact JIMCA for details.

ベトナム語(1投稿に2言語掲載したため、エンゲージメントは英語と同数)

Hãy trải nghiệm du lịch y tế khám và chữa bệnh tại Nhật Bản!
Nhật Bản với hệ thống trang thiết bị y tế tiên tiến, giúp các bạn có thể tiếp cận y học kỹ thuật cao và dịch vụ y tế chu đáo.
Ngoài ra, không chỉ có ở Tokyo mà tại các thành phố khác đều cung cấp dịch vụ khám và điều trị nâng cao.
Đội ngũ điều phối viên y tế sẽ giúp bạn yên tâm tiếp nhận dịch vụ chăm sóc y tế tại Nhật Bản.
Vui lòng liên hệ JIMCA để biết thêm chi tiết.

中国語(エンゲージメント：WeChat：1、Douyin：2)

日本拥有先进的医疗设备，可享受到高水平的医疗技术和贴心的医疗服务。
不仅在东京，其他城市也同样可提供先进的治疗和检查服务。
为了让您安心在日本接受医疗服务，医疗协调员将全程协助您。
日本拥有先进的医疗设备，可享受到高水平的医疗技术和贴心的医疗服务。
不仅在东京，其他城市也同样可提供先进的治疗和检查服务。
为了让您安心在日本接受医疗服务，医疗协调员将全程协助您。
详细信息请联系JIMCA。

第2弾はFacebookに2023年11月21日、WeChatとDouyinに2023年11月27日に投稿した

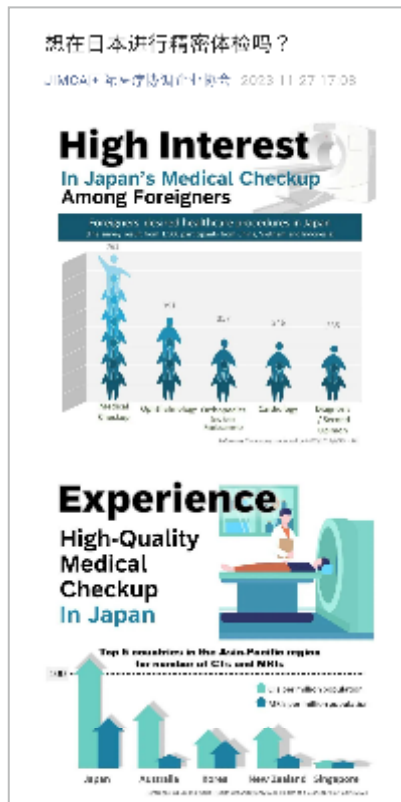
(SNS施策)第2弾の投稿(Facebook、WeChat、Douyin)

Facebook(ベトナム語)



2023年11月21日に投稿

WeChat



2023年11月27日に投稿

Douyin



約3秒ごとに切り替わる

2023年11月27日に投稿

出所: <https://www.facebook.com/jimca20210428/>

https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhhC2u14P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHO

第2弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第2弾の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

日本で人間ドックを受けてみませんか？

経済産業省が中国、ベトナム、インドネシアの方に実施したアンケート調査によると、日本の人間ドックへのニーズが高いという結果がでています。

日本のCT・MRIの人口100万人当たり保有台数がアジア太平洋地域No.1であり、日本ではこれらを用いた質の高い人間ドックが受けられます。

また、診断やセカンドオピニオン、治療に関する相談も承っております。

詳しくはJIMCAまでご連絡ください。

英語(エンゲージメント：15)

Why not experience a medical checkup in Japan?

According to the survey METI conducted among participants from China, Vietnam and Indonesia, there is a high interest in Japan's comprehensive medical checkup. Japan ranks No.1 in the Asia-Pacific region for the number of CTs and MRIs per million population, and you can receive high-quality checkups by using medical facilities equipped with these devices.

Additionally, we provide consultations regarding diagnosis, second opinions and treatment.

Please contact JIMCA for details.

ベトナム語(1投稿に2言語掲載したため、エンゲージメントは英語と同数)

Bạn có muốn thử trải nghiệm Khám sức khỏe tổng quát NINGEN DOCK tại Nhật Bản không?

Theo một cuộc khảo sát do Bộ Kinh tế, Thương mại và Công nghiệp Nhật Bản thực hiện với người dân Trung Quốc, Việt Nam và Indonesia, chúng tôi nhận thấy nhu cầu mong muốn đến Nhật Bản khám sức khỏe tổng quát là khá cao.

Số lượng máy CT và MRI trung bình trên 1 triệu dân của Nhật Bản là cao nhất khu vực Châu Á - Thái Bình Dương, tại Nhật Bản bạn sẽ được tiếp nhận dịch vụ khám sức khỏe tổng quát chất lượng cao sử dụng trang thiết bị hiện đại.

Bên cạnh đó, chúng tôi cũng cung cấp tư vấn về khám bệnh, xin ý kiến y tế thứ 2 và điều trị bệnh.

Chi tiết vui lòng lên hệ đến JIMCA.

中国語(エンゲージメント：WeChat：2、Douyin：2)

根据日本经济产业省对中国、越南和印度尼西亚的调查显示，对赴日精密体检的需求很高。

日本每百万人口的CT和MRI设备拥有率在亚太地区居首，因此在日本可以接受到利用这些设备进行的高品质精密体检。

此外，我们还提供诊断、第二诊疗意见以及有关治疗的咨询服务。

有关详细信息，请联系JIMCA。

第3弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第3弾の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

これらは何でしょう？これらは重粒子線治療に用いる(1)加速器、(2)コントロールルーム、(3)治療室です。
重粒子線治療は粒子線治療の1つで、がんに対する先進的な放射線治療法です。
重粒子線治療はがんに対する選択的照射と集中的な殺傷効果が期待でき、更に、従来の放射線治療に比べて、治療回数・日数が少ないことが特徴です。
現在、日本には7つの重粒子線治療施設を含む、粒子線治療施設が25施設あります。
本治療には治療前評価等の準備が必要であるため、詳しくはJIMCAまでご連絡ください。

英語(エンゲージメント：12)

What are these???... The photos show (1) an accelerator, (2) a control room and (3) a treatment room used for heavy ion radiotherapy.
Heavy ion radiotherapy is a type of particle therapy and is a cutting-edge cancer treatment. Heavy ion radiotherapy can be expected to selectively irradiate and intensively kill cancer cells; and is characterized by fewer treatments and shorter duration of treatment compared to conventional radiotherapy.
Currently, Japan has 25 particle beam therapy centers, including 7 heavy ion radiotherapy centers.
This treatment requires preparation such as pre-treatment assessment, so please contact JIMCA for details

ベトナム語(エンゲージメント：280)

Theo bạn, đây là hình ảnh gì?
Đây là (1) máy gia tốc, (2) phòng điều khiển và (3) phòng điều trị sử dụng trong điều trị ion nặng.
Điều trị ion nặng là một trong những liệu pháp chùm hạt, là phương pháp xạ trị tiên tiến trong việc điều trị ung thư. Đặc điểm nổi trội của phương pháp điều trị ion nặng có thể chiếu xạ tập trung vào khối u, hơn thế nữa, so sánh với xạ trị thông thường từ trước đến nay thì số lần điều trị và số ngày điều trị ít hơn.
Hiện nay, tại Nhật Bản có 25 cơ sở điều trị liệu pháp chùm hạt, trong đó 7 trung tâm có thiết bị điều trị ion nặng.
Để được tiếp nhận phương pháp này cần phải chuẩn bị những đánh giá trước khi điều trị, về thông tin chi tiết xin vui lòng liên hệ tới JIMCA

中国語(エンゲージメント：WeChat：2、Douyin：3)

照片上这是什么？
这些是用于重离子线治疗的(1)加速器、(2)控制室、(3)治疗室。
重离子线治疗是粒子线治疗的一种，是一种先进的针对癌症的放射线治疗方法。重离子线治疗可以实现对癌症的选择性照射和集中的杀伤效果，且相对于传统的放射线治疗，其治疗次数和天数相对较少。
目前，日本共有25处粒子线治疗设施，其中7处是重离子线治疗设施。
由于进行这种治疗需要进行治疗前评估等准备工作，详细信息请联系JIMCA。

第4弾・1つ目の投稿(宮城県、宮城創生DMO)はFacebook、WeChatともに2023年12月25日に投稿した

(SNS施策)第4弾・1つ目の投稿内容(宮城創生DMO／Facebook、WeChat)

Facebook(ベトナム語)



2023年12月25日に投稿

WeChat



WeChat

<https://miyagidmo.org/>

#Japan #medical #travel #treatment
#healthcare #nurse #healing #hospital
#doctor #nurse #patient
#MedicalTourism #MedicalTravel
#Sendai #Tohoku #PET #CT #Cancer

本信息是作为日本厚生劳动省和观光厅的“2023年度 促进地区医疗和旅游资源，推动外国人旅游的调查和实证事业”而刊载。

2023年12月25日に投稿

Douyin

Douyinの規約に抵触したため
削除された

第4弾・1つ目の説明文は下記の通り

(SNS施策)第4弾・1つ目の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療を求めるなら日本へ！
仙台画像検診クリニックは、PET/CTを用いてがんの早期発見、早期治療を可能にしています。
大自然を肌を感じながら、検診を受けましょう。
・滞在プランはご要望に合わせてカスタマイズさせていただきます。
詳しくは下記までご相談ください。

英語(エンゲージメント：8)

Travel to Japan for medical treatment!
Sendai Medical Imaging Clinic enables early detection and treatment of cancer using PET/ CT scanners.
You can also experience the great nature of Miyagi while undergoing medical screening.
・We will customize your stay plan to suit your preferences.
Go to the link below for details.

ベトナム語(エンゲージメント：183)

Trải nghiệm du lịch y tế - Điều trị tại Nhật Bản!
Trung tâm khám bệnh và chăm sóc sức khỏe Sendai sử dụng thiết bị công nghệ cao PET/CT giúp phát hiện ung thư ở giai đoạn sớm, nâng cao chất lượng điều trị bệnh.
Hòa mình với khung cảnh thiên nhiên tuyệt đẹp tại Miyagi sẽ khiến buổi khám trở nên thư thái, nhẹ nhàng hơn.
・Kế hoạch lưu trú tại Nhật sẽ được tùy chỉnh theo mong muốn của bạn.
Để biết thêm thông tin chi tiết, xin vui lòng liên hệ tới phòng khám theo URL dưới đây.

中国語(エンゲージメント：WeChat：2)

仙台画像検診诊所借助PET/CT技术实现癌症的早期发现和早期治疗。
让我们在感受大自然的同时进行检查吧。
我们将依据您的需求为您量身定制滞留计划。
更详尽的信息，欢迎随时与我们联系。

第4弾・2つ目の投稿(鹿児島県、メディポリス)はFacebookに2024年1月2日、WeChatに2024年1月5日に投稿した

(SNS施策)第4弾・2つ目の投稿内容(メディポリス／Facebook、WeChat)

Facebook(ベトナム語)



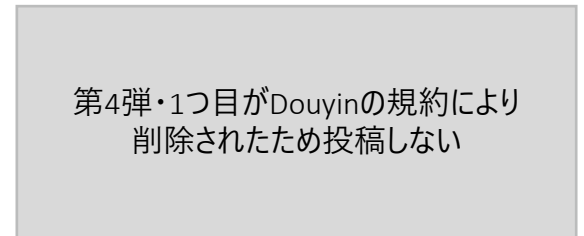
2024年1月2日に投稿

WeChat



WeChat

Douyin



• 治疗价格：约5,000,000日元起
 • 旅游计划 价格：另行商议
 译语咨询
 一文链接<https://medipolis-ptcr.org/chinese/>
 英文链接<https://medipolis-ptcr.org/english/>
 #Japan #medical #travel #treatment
 #healthcare #cure #healing #hospital
 #doctor #nurse #patient #MedicalTourism
 #MedicalTravel #proton #cancer
 #hotsprings #spa
 本信息是作为日本厚生劳动省和观光厅的“2023年度 促进地域医疗和旅游发展”；推动外国人接纳的调查和实证事业”而刊载。

2024年1月5日に投稿

第4弾・2つ目の説明文は下記の通り

(SNS施策)第4弾・2つ目の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療を求めるなら日本へ！

メディポリス国際陽子線治療センターは、2011年からがん治療を開始し、6,100名以上の治療実績があります。

広々とした快適な空間で、各種スパ施設、ジム、インドアゴルフなど、癒しのリゾートも充実しています。現実から切り離され、穏やかで心地よい時間をお過ごしいただけます。

・陽子線治療 価格：約5,000,000円～

・観光プラン 価格：別途

詳しくは下記までご相談ください。

英語(エンゲージメント：9)

Travel to Japan for medical treatment!

Medipolis International Proton Therapy Center has been providing cancer treatment since 2011, with over 6,100 patients treated. The facility offers spacious and comfortable environments, with various spa facilities, a gym, and indoor golf, ensuring a healing resort experience. You can escape from everyday life and enjoy a peaceful stay.

・Proton Therapy plan: 5,000,000 yen ~

・Sight-seeing inclusive plan: additional pricing

Go to the link below for details.

ベトナム語(エンゲージメント：251)

Trải nghiệm du lịch y tế - Điều trị tại Nhật Bản!

Trung tâm Trị liệu bằng chùm tia Proton Quốc tế Medipolis bắt đầu điều trị ung thư từ năm 2011 và đã điều trị cho hơn 6.100 bệnh nhân.

Nơi đây cung cấp khu nghỉ dưỡng thư giãn với suối nước nóng rộng rãi, thoải mái, sân golf trong nhà và nhiều dịch vụ spa đa dạng. Bạn có thể rời xa những bộn bề thường ngày và tận hưởng khoảng thời gian tĩnh dưỡng thoải mái.

- Chi phí trị liệu bằng chùm tia Proton: khoảng từ 5,000,000 Yên ~

- Chi phí tham quan du lịch: Chưa bao gồm

Thông tin chi tiết xin vui lòng liên hệ đến chúng tôi qua website dưới đây:

中国語(エンゲージメント：WeChat：1)

Medipolis国際质子治疗中心自2011年开始致力于癌症治疗，已成功治疗了超过6,100位患者。宽敞而舒适的环境中，中心提供多种设施，如SPA、健身房、室内高尔夫等，构建一个充满疗愈氛围的度假胜地。

在这里，您能够远离喧嚣，度过宁静而宜人的时光。・质子治疗 价格：约5,000,000日元起・旅游计划 价格：另行商议详细请咨询

第4弾・3つ目(相澤病院)はFacebook、WeChatともに2024年1月22日に投稿した

(SNS施策)第4弾・3つ目の投稿内容(相澤病院／Facebook、WeChat)

Facebook(ベトナム語)



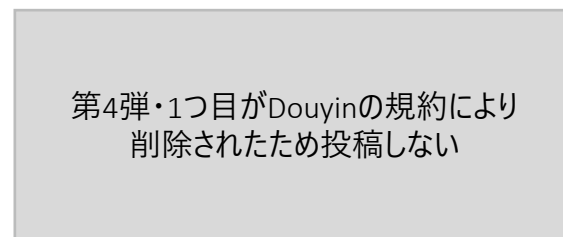
2024年1月22日に投稿

WeChat



2024年1月22日に投稿

Douyin



出所：https://www.facebook.com/jimca20210428/

第4弾・3つ目の説明文は下記の通り

(SNS施策)第4弾・3つ目の説明文(1/2、日本語・英語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療を求めるなら日本へ！

相澤病院では、国外から受診者を受け入れております。国際課という専属部署は、訪日受診に関わる企業や団体と共に受診者さんが来日前から帰国後まで、安心して治療を受けられるよう支援を行っています。

・陽子線治療センター：がん患者のための放射線治療

正常組織への影響が少なく、高齢者や手術のできない方などへの治療が可能
通院で治療を受けることができる

・相澤健康センター・相澤健康スポーツ医科学センター

高精度の検査機器を用いた充実した検診を提供

- 総合健診基本コース

- 総合健診女性コース

上記のほか、観光を含むコースもございますが、コースの詳細や予約等について

詳しくはJIMCAまでお問い合わせください。

英語(エンゲージメント：8)

Travel to Japan for medical treatment!

At Aizawa Hospital, we are welcoming patients from abroad.

Our dedicated international department will support you throughout your stay and will collaborate with travel assistance organizations to ensure patients can receive healthcare with comfort.

・Proton Therapy Center: Providing radiation therapy for cancer patients while minimizing effects on healthy tissues, making it a suitable option for elderly patients as well.

Hospitalization is not necessary for the treatment

・Aizawa Health Center/ Aizawa Medical Science Center for Health and Sports

Offering comprehensive medical check-ups using High-tech diagnostic equipment. Available courses:

- Basic Comprehensive Medical Check-up Course

- Women's Comprehensive Medical Check-up Course

In addition to these health-check up courses, we also provide plans which include tourism in Nagano.

Please contact JIMCA for details.

第4弾・3つ目の説明文は下記の通り

(SNS施策)第4弾・3つ目の説明文(2/2、ベトナム語・中国語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

ベトナム語(エンゲージメント：314)

Trải nghiệm du lịch y tế - Điều trị tại Nhật Bản!

Bệnh viện Aizawa luôn luôn chào đón bệnh nhân người nước ngoài. Bộ phận Quốc Tế chuyên trách của bệnh viện phối hợp cùng các doanh nghiệp và ban ngành liên quan luôn nỗ lực hỗ trợ để người bệnh có thể an tâm thăm khám, điều trị tại Nhật.

•Trung tâm trị liệu bằng chùm tia Proton: Điều trị xạ trị đối với bệnh nhân ung thư.

Xạ trị bằng chùm tia Proton hạn chế gây tổn thương đến các mô lành xung quanh, phù hợp điều trị cho cả người cao tuổi và bệnh nhân không thể thực hiện phẫu thuật.

Phương pháp này có thể tiếp nhận điều trị ngoại trú.

•Trung tâm chăm sóc sức khỏe Aizawa / Trung tâm sức khỏe thể thao và y tế Aizawa

Nơi cung cấp dịch vụ khám sức khỏe toàn diện với các trang thiết bị y tế chất lượng cao.

- Gói khám sức khỏe tổng quát cơ bản

- Gói khám sức khỏe tổng quát cơ bản dành cho nữ giới

Ngoài các gói khám trên, chúng tôi cung cấp thêm gói khám bao gồm dịch vụ tham quan du lịch. Để biết thêm chi tiết về các gói khám, hoặc đặt lịch khám, xin vui lòng liên hệ đến JIMCA qua website sau:

中国語(エンゲージメント：WeChat：2)

相泽医院欢迎国外患者前来就诊。

医院的国际科室与有关访日就医的企业和团体密切合作，从患者赴日前直到返回国内，将提供全程支援，确保患者能够安心接受治疗。

•质子治疗中心：专为癌症患者提供的放射线治疗对正常组织的影响较小，适用于年长者和无法手术的患者等无需住院治疗。

•相泽健康中心

•相泽健康体育医学中心提供使用高精密检查设备的全面体检服务

-综合体检基本套餐

-综合体检女性套餐除上述之外，还有包括旅观光在内的其他套餐，欲知详情或进行预约，请咨询JIMCA。

第4弾・4つ目(沖縄タピック)はFacebook、WeChatともに2024年2月5日に投稿した

(SNS施策)第4弾・4つ目の投稿内容(沖縄タピック／Facebook、WeChat)

Facebook(ベトナム語)



2024年2月5日に投稿

WeChat



WeChat

Douyin

第4弾・1つ目がDouyinの規約により
削除されたため投稿しない

2024年2月5日に投稿

第4弾・4つ目の説明文は下記の通り

(SNS施策)第4弾・4つ目の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療を求めるなら日本へ！日本の南国観光地、沖縄。
温暖な気候、豊かな自然、地元の文化の中で、馬との触れ合いを楽しむことができるリハビリテーションと快適な宿泊を提供しています。ビーチなどの地域資源を利用したリハビリも可能で、宜野座村での海洋療法、南城市での温泉療法もごございます。
お1人お1人に合った、またご同行される方にも沖縄を満喫していただけるような滞在プランを作成し、ご提案いたします。
詳しくは下記までご相談ください。

英語(エンゲージメント：8)

Travel to Japan for medical treatment! Okinawa, a tropical tourist destination in Japan.
We are providing unique rehabilitation experiences in a setting of warm climate, rich nature, and local culture. Our services include rehabilitation with horse interaction and comfortable accommodations. We also provide rehabilitation using the region's natural assets, such as beach-based rehabilitation, marine therapy in Ginoza Village and hot spring therapy in Nanjo City.
Each plan is customized to the individual, ensuring that both the patient and their companions can fully enjoy their stay in Okinawa.
Go to the link below for details.

ベトナム語(エンゲージメント：464)

TTrải nghiệm du lịch y tế - Điều trị tại Nhật Bản! Okinawa, vùng đất du lịch phía nam Nhật Bản.
Với khí hậu ấm áp, thiên nhiên trù phú và nền văn hóa đậm đà bản sắc địa phương, Tapic có thể đem đến cho bạn những trải nghiệm phục hồi chức năng độc đáo như cung cấp nơi lưu trú thoải mái, trị liệu bằng cách tương tác với ngựa. Bên cạnh đó, chúng tôi cung cấp thêm các dịch vụ phục hồi chức năng bằng cách sử dụng nguồn tài nguyên địa phương như bãi biển, liệu pháp trị liệu bằng nước biển ở Làng Ginoza và liệu pháp suối nước nóng ở Thành phố Nanjo.
Chúng tôi có thể lên kế hoạch lưu trú và cung cấp dịch vụ phù hợp với từng bệnh nhân và người thân đi cùng để họ có thể tận hưởng Okinawa một cách trọn vẹn nhất.
Chi tiết vui lòng liên hệ với chúng tôi qua website:

中国語(エンゲージメント：WeChat：2)

日本的南国风光胜地，沖縄。这里有宜人的气候、丰富的自然景观和渊源的地方文化，我们提供可以和马儿亲密接触的康复治疗 and 舒适的住宿。
此外，您还可以使用沙滩等地区资源，也可以通过宜野座村的海洋疗法以及南城市的温泉疗法等来进行康复治疗。
我们将为每位来宾制定个性化的滞留计划，以确保您和您的同伴在沖縄尽情享受时光。
如需详细信息，请随时与我们联系。

第5弾はFacebookに2024年2月23日、WeChatとDouyinに2024年2月26日に投稿した

(SNS施策)第5弾の投稿(Facebook、WeChat、Douyin)

Facebook(バトナム語)

WeChat

Douyin



2024年2月23日に投稿



2024年2月26日に投稿



2024年2月26日に投稿

出所: <https://www.facebook.com/jimca20210428/>https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhC2u14P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHo?modal_id=7339699208334658850

第5弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第5弾の説明文(1/2、日本語・英語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

私には持病があり、ベトナムではずっと病院にかかっていました。しかし、なかなか体調が良くならず、心配な日々を送っていました。ある日、日本で定期的に人間ドックを受けている友人(ベトナム在住のベトナム人)に病気について相談をしたところ、日本での治療を勧められました。日本には仕事で行くことがあり、初めて行くわけではありませんでしたが、やはり費用や言葉は心配でした。どの様な流れで診察を受けるのかも分からず、正直言うと不安に感じる事が多くありました。

でも、日本へ渡航する前に、医療渡航コーディネーターがオンラインで打合せを設けてくれました。そこで、色々な質問や相談ができたので、不安や心配ごとが解消されました。渡航する前に安心できたのは、本当に良かったです。

更に、その打合せに同席してくれた通訳が、日本で受診する時も対応してくれましたので、とても安心できました。

医療コーディネーターには、たくさんサポートしていただきました。例えば、日本で医療を受ける際は、医療機関の選択や、受診の調整、ビザ取得用の書類の準備、通訳の手配などがありましたが、これらを医療渡航コーディネーターに代行してもらったので、とても助かりました。自分自身では、複雑な準備は難しく、これらのサポートがなければ、スムーズに治療を受けることは無理でした。

日本での治療体験は、想像していたよりもとても良く、素晴らしい体験でした。医師の対応が非常に良いのです！医師がわざわざ時間をとって、病状説明や治療方針を説明してくれました。これには驚きました。更に、入院中の看護師やスタッフの対応の良さにも驚きました。帰国後も、医療渡航コーディネーターが次回の訪日時期の調整をサポートしてくれ、とても助かりました。

海外で治療するなら、間違いなく日本を選択肢に入れたほうがいいです！何か分からなければ、医療渡航コーディネーターが教えてくれます！

日本で治療を受けたいけれど、何をどうすればよいか分からない、心配や不安がある方は、一度医療渡航コーディネーターに相談してみてもいいでしょうか。(65歳/男性/ホーチミン在住)

英語(エンゲージメント：7)

I had a pre-existing condition and had been receiving treatment in Vietnam, but my health had not shown significant improvement. I was in constant worry. One day, I consulted a Vietnamese friend who regularly undergoes health check-ups in Japan, and they recommended seeking treatment in Japan.

Although I had been to Japan before for business reasons, I had concerns about the costs and language barriers. However, a medical travel coordinator provided online guidance, easing my worries. They also arranged for an interpreter during my medical visits in Japan.

The coordinator provided me with extensive support, such as selecting a medical institution, appointment scheduling, visa document preparation, and arranging interpreters. This was essential as I couldn't have managed these complex preparations on my own.

The quality of medical care I received in Japan was beyond my expectations. I was genuinely impressed by the doctors' exceptional level of care and attendance. The doctor took extra effort to spend time in explaining my medical condition and treatment plans. Furthermore, the kindness and professionalism of the nurses and staff during my hospital stay were remarkable. The medical coordination agency also assisted me in scheduling my next visit to Japan, which was a great help.

If you're considering receiving medical treatment abroad, Japan is a great choice.

If you're unsure about the process or have any worries, I strongly recommend reaching out to a medical travel coordination agency. The coordination agencies will guide you. (65 years old/Male/Resident of Ho Chi Minh City)

第5弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第5弾の説明文(2/2、ベトナム語・中国語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

ベトナム語(エンゲージメント：112)

Tôi mắc bệnh mạn tính và phải điều trị liên tục tại Việt Nam. Tuy nhiên, tình trạng sức khỏe không mấy cải thiện, điều đó khiến tôi thực sự lo lắng. Sau khi trao đổi về bệnh tình với một người bạn (người Việt sống ở Việt Nam), người này thường xuyên đi khám sức khỏe ở Nhật, tôi được anh ấy khuyên nên sang Nhật điều trị. Mặc dù trước đây đã từng đến Nhật Bản công tác một vài lần nhưng vấn đề về chi phí và ngôn ngữ vẫn khiến tôi lo ngại. Thành thực mà nói, tôi cảm thấy bất an vì không biết quá trình khám chữa như thế nào.

Tuy nhiên, trước khi đến Nhật Bản, điều phối viên du lịch y tế đã mở một cuộc họp trực tuyến. Thông qua cuộc trao đổi, mọi thắc mắc của tôi đều được giải đáp nên phần nào bớt hoang mang hơn. Điều này khiến tôi cảm thấy an tâm trước chuyến đi rất nhiều.

Hơn nữa, khi khám bệnh tại Nhật, phiên dịch viên sẽ hỗ trợ tại bệnh viện nên tôi hoàn toàn yên tâm.

Điều phối viên y tế đã hỗ trợ tôi rất nhiều. Ví dụ như: khi khám bệnh ở Nhật Bản, lựa chọn cơ sở y tế phù hợp, sắp xếp tư vấn, chuẩn bị hồ sơ xin visa, sắp xếp phiên dịch viên, v.v., thật tốt khi tất cả đều có thể nhờ điều phối viên du lịch y tế xử lý. Nếu không có sự hỗ trợ này, tôi sẽ khó có thể tự mình thực hiện các thủ tục phức tạp và không thể tiếp nhận điều trị một cách suôn sẻ.

Trải nghiệm điều trị ở Nhật Bản thật sự tuyệt vời và vượt xa những gì tôi mong đợi. Các bác sĩ thăm khám, tư vấn rất nhiệt tình, giải thích tình trạng bệnh lý cũng như đưa ra kế hoạch điều trị rõ ràng. Điều này khiến tôi không khỏi bất ngờ. Đặc biệt, trong quá trình điều trị tại bệnh viện, tôi rất ấn tượng với sự chăm sóc, quan tâm, hỗ trợ của điều dưỡng và nhân viên y tế tại đây. Ngay cả khi về nước, điều phối viên du lịch y tế vẫn giúp tôi sắp xếp lịch trình cho chuyến thăm Nhật Bản tiếp theo, tôi thực sự đánh giá cao điều này.

Nếu bạn muốn trị liệu ở nước ngoài, tôi nghĩ Nhật Bản là một sự lựa chọn không thể bỏ qua!

Mọi thắc mắc đều được điều phối viên du lịch y tế trợ giúp!

Nếu muốn điều trị y tế tại Nhật Bản nhưng không biết phải làm sao, hoặc đang lo lắng, băn khoăn, hãy trao đổi với điều phối viên du lịch y tế. (Bệnh nhân nam, 65 tuổi, trú tại TP.HCM)

中国語(エンゲージメント：WeChat：1、Douyin：0)

我患有疾病，之前一直在越南接受治疗。然而，我的健康状况一直没有得到改善，所以每日都感到不安。有一天，我向一位定期在日本接受体检的朋友(居住在越南的越南人)咨询了我的情况，他建议我去日本接受治疗。我曾因工作曾经去过日本，虽然不是第一次去日本，依然对费用和语言仍感到担忧。因为我对就诊的流程并不了解，坦率地说，我感到非常不安和担心。在前往日本之前，通过医疗协调员给安排了视频会议。在会议上，我能够提出的各种问题并获得建议，这减轻了我的焦虑和担忧，能在出国前就感到安心真是太好了。此外，会议上的翻译人员在我赴日就医时也为我提供了帮助，让我感到非常放心。医疗协调员为我提供了很多支持。例如，在日本接受医疗服务时，需要选配医疗机构、安排就诊时间、准备签证文件、安排翻译等，这些都由医疗协调员代劳，让我非常感激。我个人来说，这些繁琐的准备工作很难完成，如果没有这些支持，我觉得我无法如此顺利的接受治疗。在日本接受治疗的经历远远超出了我的想象，是一次非常棒的经历。医生的态度非常好！他们不厌其烦地花时间向我解释我的病情和治疗方针。这让我感到非常惊讶。而且，住院期间护士和其他工作人员的服务态度也非常好，让我感到非常惊喜。返回越南后，医疗协调员继续帮助我安排下一次赴日时间，真是帮了大忙。如果要去海外接受治疗，选择日本绝对是明智的选择。如果有任何不清楚的地方，医疗协调员会为您解答！如果您想在日本接受治疗，但不知道该如何开始，或者有担心和不安的地方，建议您先向医疗协调员咨询。(65岁/男性/居住在胡志明市)欲了解更多详情，请联系JIMCA。

第6弾はYouTubeに2024年2月27日、Facebookに2024年2月28日、WeChatとDouyinに2024年2月29日に投稿した

(SNS施策)第6弾の投稿(YouTube、Facebook、WeChat、Douyin)

YouTube(ベトナム語)



2024年2月27日に投稿

Facebook(ベトナム語)



2024年2月28日に投稿

WeChat



2024年2月29日に投稿

Douyin



2024年2月29日に投稿

出所: <https://www.youtube.com/watch?v=ZZJkuisHCTE>

<https://www.facebook.com/jimca20210428/>

https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhhC2ul4P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHo?modal_id=7340948931519483151

第6弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第6弾の説明文(全言語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

治療と検診を求めるなら日本へ！
日本には先進的な医療設備が備わっており、質の高い検診と行き届いた医療サービスを受けられます。
更に、日本には温泉や日本食、日本文化を感じられる施設など魅力的な観光資源もございます。
日本で安心して医療を受けられるよう、医療コーディネーターがお手伝いいたします。
詳しくはJIMCAまでご相談ください。

英語(エンゲージメント：8)

Experience medical tourism in Japan for treatment and medical checkups !!
With advanced medical equipment, Japan offers high-level medical checkups and attentive medical services.
Beyond medical care, Japan is rich in attractive travel resources such as hot springs, Japanese food, and facilities where you can experience Japanese culture.
Our medical coordinators are available to assist you to ensure you receive medical care in Japan with a peace of mind.
Please contact JIMCA for details.

ベトナム語(エンゲージメント：12)

Trải nghiệm du lịch y tế - Khám và điều trị tại Nhật Bản!
Tại Nhật Bản được trang bị các thiết bị y tế tiên tiến, nơi bạn có thể tiếp nhận dịch vụ y tế khám chữa bệnh chất lượng cao, chu đáo và tận tình.
Hơn thế, Nhật Bản còn là điểm đến du lịch hấp dẫn giúp quý khách có thể trải nghiệm suối nước nóng, ẩm thực Nhật Bản và cảm nhận được nền văn hóa nơi đây.
Hãy để cho các doanh nghiệp điều phối y tế giúp bạn an tâm chăm sóc y tế tại Nhật Bản.
Chi tiết vui lòng liên hệ với JIMCA

中国語(エンゲージメント：WeChat：1、Douyin：1)

如果您正在寻求治疗和检查，那就来日本吧！
日本拥有先进的医疗设施，可以享受到高质量的检查和周到的医疗服务。
此外，日本还拥有温泉、日本料理和可以感受日本文化的设施等令人向往的旅游资源。为了让您在日本安心接受医疗服务，医疗协调员将为您提供帮助。
详情请咨询JIMCA。

第7弾はFacebook、WeChat、Douyinに2024年2月19日に投稿した

(SNS施策)第7弾の投稿(Facebook、WeChat、Douyin)

Facebook(ベトナム語)



2024年2月19日に投稿

WeChat



2024年2月19日に投稿

Douyin



2024年2月19日に投稿

出所: <https://www.facebook.com/jimca20210428/>

https://www.douyin.com/user/MS4wLjABAAAyAUFAGwhh_PYPICpnmhC2u4P78ASRRNGr2Zws513jLftP7H2Gj25NA000q3YHo?modal_id=7337127919644331298

第7弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第7弾の説明文(1/2、日本語・英語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

日本語

日本では海外からの医療渡航受診者を受け入れており、高い専門知識・技能を持つ医療スタッフが最先端の医療サービスを提供しています。

<JIMCAを通じた日本での治療の流れ>

- ① JIMCAへ連絡する。
- ② コーディネート事業者を通して病院と受入可否・治療内容・期間・費用の調整をする。
- ③ 医療機関への治療費の支払いを、コーディネート事業者に前払いする。
- ④ 日本へのビザを手配する(コーディネート事業者から医療滞在ビザの取得サポートを受けることもできる)
- ⑤ 渡航し、治療を受ける(国際メディカル・コーディネート事業者から送迎や入院時のサポートを受けることができる)
- ⑥ 国際メディカル・コーディネート事業者が治療費を清算する。
- ⑦ 帰国後のフォローアップを自国の主治医に行ってもらう。

海外在住の外国人患者が日本の医療機関での治療を希望する場合、国際メディカル・コーディネート事業者に医療機関での受入れのアレンジを任せることがスムーズに医療を受けるための近道となり、JIMCAは患者さんに合った国際メディカル・コーディネート事業者をご紹介します。

詳しくはJIMCAにお問い合わせください

英語(エンゲージメント：8)

Japan welcomes medical tourists from overseas to provide cutting-edge medical services delivered by highly skilled medical professionals.

<Treatment flow in Japan through JIMCA>

- ① Contact JIMCA.
- ② Communicate with a medical coordination agency to arrange details such as hospital acceptance, treatment, duration and costs.
- ③ Pay treatment fees in advance to the medical coordination agency.
- ④ Arrange a visa for Japan (The medical coordination agency can support you through the visa application process).
- ⑤ Travel to Japan and receive medical treatment (medical coordination agencies can provide transportation services and support your hospitalization).
- ⑥ The medical coordination agency settles the treatment fees.
- ⑦ After returning to your country, continue follow up care with your local healthcare provider.

If foreign residents wish to receive medical treatment in Japan, entrusting the coordination to an international medical coordination agency is a convenient way to access healthcare services.

JIMCA can introduce medical coordination agencies suitable for your needs.

Please contact JIMCA for details.

第7弾の説明文は下記の通り

(SNS施策)第7弾の説明文(2/2、ベトナム語・中国語)

エンゲージメントは3/25(月)にデータ取得

ベトナム語(エンゲージメント：128)

Nhật Bản sẵn sàng tiếp nhận bệnh nhân người nước ngoài, với đội ngũ nhân viên y tế có trình độ chuyên môn và tay nghề cao cung cấp dịch vụ chăm sóc y tế tiên tiến nhất.

<Quy trình điều trị tại Nhật thông qua JIMCA>

- ① Khách hàng liên hệ đến JIMCA.
- ② Doanh nghiệp điều phối y tế liên lạc bệnh viện, xem xét có thể tiếp nhận điều trị hay không, kế hoạch điều trị, sắp xếp lịch trình và thông báo chi phí ước tính cho khách hàng.
- ③ Khách hàng thanh toán trước cho doanh nghiệp điều phối y tế để thanh toán chi phí điều trị cho Cơ sở y tế.
- ④ Xin visa lưu trú tại Nhật Bản (Doanh nghiệp điều phối y tế có thể hỗ trợ khách hàng xin visa y tế)
- ⑤ Đến Nhật Bản và tiếp nhận điều trị (Doanh nghiệp điều phối y tế quốc tế có thể hỗ trợ dịch vụ đưa đón và hỗ trợ trong thời gian nằm viện)
- ⑥ Doanh nghiệp điều phối y tế quốc tế quyết toán chi phí điều trị.
- ⑦ Sau khi về nước, khách hàng tiếp tục tái khám, theo dõi tình trạng sức khỏe tại các cơ sở y tế.

Nếu bệnh nhân người nước ngoài mong muốn được điều trị tại các cơ sở y tế tại Nhật Bản, con đường thuận lợi nhất là liên hệ với các doanh nghiệp điều phối y tế quốc tế để sắp xếp cơ sở y tế tiếp nhận. JIMCA sẽ giới thiệu doanh nghiệp điều phối y tế quốc tế phù hợp với người bệnh.

Chi tiết xin vui lòng liên hệ với JIMCA.

中国語(エンゲージメント：WeChat：1、Douyin：2)

日本欢迎海外患者前来就医，由具有高度专业知识和技能的医护人员提供最先进的医疗服务。

以下是<通过JIMCA 在日本接受治疗的流程>

- 1.与 JIMCA 联系。
- 2.通过协调机构与医院协商接收条件、治疗内容、期限以及费用。
- 3.向协调机构预付医疗机构所需费用。
- 4.安排前往日本的签证(您也可以从协调机构获得医疗签证的服务支持)。
- 5.前往日本接受治疗(您可以从国际医疗协调机构获得接机和住院期间的服务支持)。
- 6.与国际医疗协调机构结算治疗费用。
- 7.回国后通过在本国的主治医进行治疗后的随访。

希望来日本医疗机构就诊的外国患者，通过委托国际医疗协调企业进行与医疗机构的对接，是顺利接受治疗的捷径。JIMCA可以为患者推荐适合其需求的国际医疗协调机构。

欲了解更多信息，请联系JIMCA。

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ リスクアドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人、DT 弁護士法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約2万人の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュート マツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、リスクアドバイザリー、税務・法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの45万人超の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲は
こちらをご覧ください

<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited